

GENNECT One ユーザーズマニュアル

第 20 版

作 成 者	日置電機株式会社
作 成 日	2018 年 7 月 31 日
最終更新日	2025 年 2 月 18 日

GENNECT One ユーザーズマニュアル	1
はじめに	8
GENNECT One 対応測定器一覧	8
画面について	8
「データ」タブ	9
「ファンクション」タブ	10
「コンソール」タブ	11
「ランチャー」タブ	12
インストールする	13
コンピューターと測定器を接続する	16
コンピューターと測定器を接続する (USB) (BT3554,BT3554-01,BT3554-50 のみ)	16
コンピューターと測定器を接続する (LAN)	19
データをインポートする	23
対応ファイル	23
測定器のファイルを自動で受け取る (ファイル転送 (自動) (LAN))	26
対応測定器	26
制限	26
操作の流れ	27
測定器の保存設定	34
エラーコード一覧	36
測定器から手動でファイルを取得する (ファイル取得 (手動) 機能)	40
対応測定器	40
制限	40
操作の流れ	40
ファイル取得 (手動) を開始する	40
インポートのメニューを利用する / ドラッグ&ドロップする	44
インポートのメニューを利用する	44
ファイル/フォルダをドラッグ&ドロップする	45
バッテリーテスト BT3554/BT3554-01/BT3554-50 からデータをインポートする	46
データを見る	48
対応ビューワ	48
操作手順	49

測定データを時系列ビューワで見る	50
制限	50
操作の流れ	50
測定データを選択する	50
測定項目を選択して時系列ビューワで開く	52
時系列(ロギング)ビューワの操作方法	54
電力解析モードを表示する (PW8001 のみ)	76
PW3360, PW3365 データの高調波グラフ・リスト、設定情報を表示する	89
パワーアナライザの CSV データを見る (PW Assistant)	99
測定データのファイルを開く	99
波形データのファイルを開く	101
バッテリーの測定データを見る	103
GENNECT Cross で取得したデータを見る	107
標準測定 of データを見る	107
ロギング(GENNECT Cross 形式) of データを見る	109
データを整理する	111
グループを操作する	111
グループを追加する	111
グループの名前を変更する	112
グループにデータを移動する	113
グループを削除する	114
データリストを操作する	115
データをフィルタする	116
データを削除する	119
データを出力する	120
自動で出力する	120
手動で出力する	120
対応出力形式	120
操作手順	121
帳票 (日報・週報・月報) を手動で出力する	121
測定器の設定をする (測定器の設定機能)	123
対応測定器 (LAN)	123
制限	123

操作の流れ	123
測定器の設定内容の変更を行う(LAN)	123
バッテリーテスト BT3554/BT3554-01/BT3554-50 の設定をする(USB)	127
時計の設定をする	128
本体メモリを削除する	129
しきい値をインポートする	129
しきい値テーブルを新規作成する	130
しきい値テーブルを削除する	132
しきい値テーブルをバッテリーテストに転送する	132
しきい値テーブルを編集する	133
プロファイル情報をインポートする (BT3554-50)	136
プロファイル情報テーブルを新規作成する (BT3554-50)	137
プロファイル情報テーブルを削除する (BT3554-50)	139
プロファイル情報テーブルをバッテリーテストに転送する (BT3554-50)	139
プロファイル情報テーブルを編集する (BT3554-50)	140
LR8101,LR8102 データロガーの IP アドレスを割り当てる	143
対応測定器	143
起動	143
機能説明	144
通信ステータス	145
測定値をリアルタイムで PC に表示・記録する	146
測定値をロギングする (ロギング機能 (LAN))	146
対応測定器	146
制限	147
操作の流れ	147
ロギングを開始する	148
ロギングを停止する	156
ロギングタスクを表示する	156
画面構成について	158
波形ツールボタン	159
波形を操作する	159
ロギングスケジュール機能を使う	161
操作の流れ	161
ロギングテーブル	161
ロギングスケジュール	164

スケジュールタスクを表示する	172
測定値をモニターする（ダッシュボード機能（LAN））	175
概要	175
対応測定器	176
制限	176
操作の流れ	177
ダッシュボードを開始する	178
MAP エディター（測定器の選択）を起動する	179
測定器のレイアウトを作成する（基本編）	187
測定器のレイアウトを作成する（応用編）	188
測定値のモニターを開始/停止する	210
測定器リストを管理する	214
アラーム機能	220
その他の機能	223
チャンネル間演算の詳細設定をする	234
演算式を設定する	234
自動出力（日報・週報・月報）の詳細設定をする	239
自動出力（CSV）の詳細設定をする	249
測定器を操作する（遠隔操作（LAN 内））	251
対応測定器	251
制限	251
操作の流れ	252
測定器の時計を合わせる（LAN 内）	253
対応測定器	253
操作方法（コンソール画面から時刻を合わせる）	253
操作方法（自動で時刻を合わせる設定をする）	254
測定器の時計合わせ詳細	256
GENNECT Cloud と連携する	259
インターネット接続について	259
GENNECT Cloud の準備	260
GENNECT Cloud にログインする	261
ログイン情報を保存 / 削除する	263
パスワードを再発行する	264

GENNECT Cloud と連携してデータを共有・管理する	265
制限	265
画面構成 (全体)	266
GENNECT One と GENNECT Cloud の測定データの連携を開始する	271
データリスト (クラウド) の測定データを管理する	273
遠隔計測モードを利用する	281
概要	281
操作の流れ	282
遠隔計測モードを開始する	282
遠隔計測モードを終了する	289
画面構成について	290
測定器を操作する (遠隔操作 (Cloud))	291
対応測定器	291
遠隔操作を開始する	291
測定器のリスタートを行う	292
ブラウザで開く	292
測定器のファームウェアをアップデートする	293
対応測定器	293
制限	293
操作の流れ	293
ユーザー情報・アカウント情報を確認・編集する	296
Trial ユーザーを削除する	296
Trial プランから Free プランにアップグレードする	297
バッテリーテストのしきい値, プロファイル情報をクラウド上で共有・管理する	298
バッテリーテストのしきい値をクラウド上で共有する	298
バッテリーテストのしきい値をクラウド上で管理する	300
バッテリーテストのプロファイル情報をクラウド上で共有する (BT3554-50 のみ)	303
バッテリーテストのプロファイル情報をクラウド上で管理する (BT3554-50 のみ)	304
ログアウトする	306
アプリケーションの設定をする	308
共通の設定をする	308
CSV 出力の設定をする	308
バージョンアップ通知の設定をする	310
ロギング/ダッシュボードの設定をする	310

バッテリー機能の設定をする	311
GENNECT Cloud に関するアプリケーション設定をする	313
[遠隔計測モード] タブ	313
[データリスト (クラウド)] タブ	313
[データリスト (ローカル)] タブ	314
[ロギングデータ] タブ	314
その他のアプリケーションのメニュー	316
バージョンを表示する	316
最新バージョンを確認する	316
ヘルプを表示する	317
お問い合わせフォームを表示する	317
プライバシーポリシーを表示する	318
表示言語を変更する	319
付録	320
ロギング・ダッシュボード機能の識別名と測定項目名	320
PW3335,PW3336,PW3337	320
PW8001	320
PQ3198	321
アンインストールする	322
[すべてのプログラム]からアンインストールする	322
[コントロールパネル]からアンインストールする	323

はじめに

この度は GENNECT One (ジェネクトワン) をご利用いただきありがとうございます。

GENNECT One 対応測定器一覧

GENNECT One は、以下の製品に対応しています。

形名	品名	URL
PQ3100	電源品質アナライザ	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1651
PQ3198	電源品質アナライザ	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1766
PW3335	パワーメータ	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=660
PW3336	パワーメータ	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=405
PW3337	パワーメータ	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=287
PW3360	クランプオンパワーロガー	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=235
PW3365	クランプオンパワーロガー	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=228
PW3390	パワーアナライザ	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1678
PW6001	パワーアナライザ	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=649
PW8001	パワーアナライザ	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1907
LR8400 LR8401 LR8402	メモリハイロガー	(廃止製品)
LR8410	ワイヤレスロギングステーション	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=911
LR8416	ワイヤレス熱流ロガー	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1020
LR8450	メモリハイロガー	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1794
LR8450-01	メモリハイロガー	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1808
LR8101 LR8102	データロガー	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1969
MR6000	メモリハイコーダ	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1716
MR8847A	メモリハイコーダ	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1539
BT4560-50	バッテリーインピーダンスメータ	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=779 (LAN インタフェース付きモデルのみ)
BT5525	絶縁抵抗試験器	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1936
BT6065 BT6075	バッテリーテスタ	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1990
ST5680	DC 耐電圧絶縁抵抗試験器	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1944
IM3523A	LCR メータ	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1943 (LAN インタフェース付きモデルのみ)
RM3545A	抵抗計	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1963
DM7275, DM7276	直流電圧計	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1550
BT3554 BT3554-01	バッテリーテスタ	(廃止製品)
BT3554-50	バッテリーテスタ	https://www.hioki.co.jp/jp/products/detail/?product_key=1878

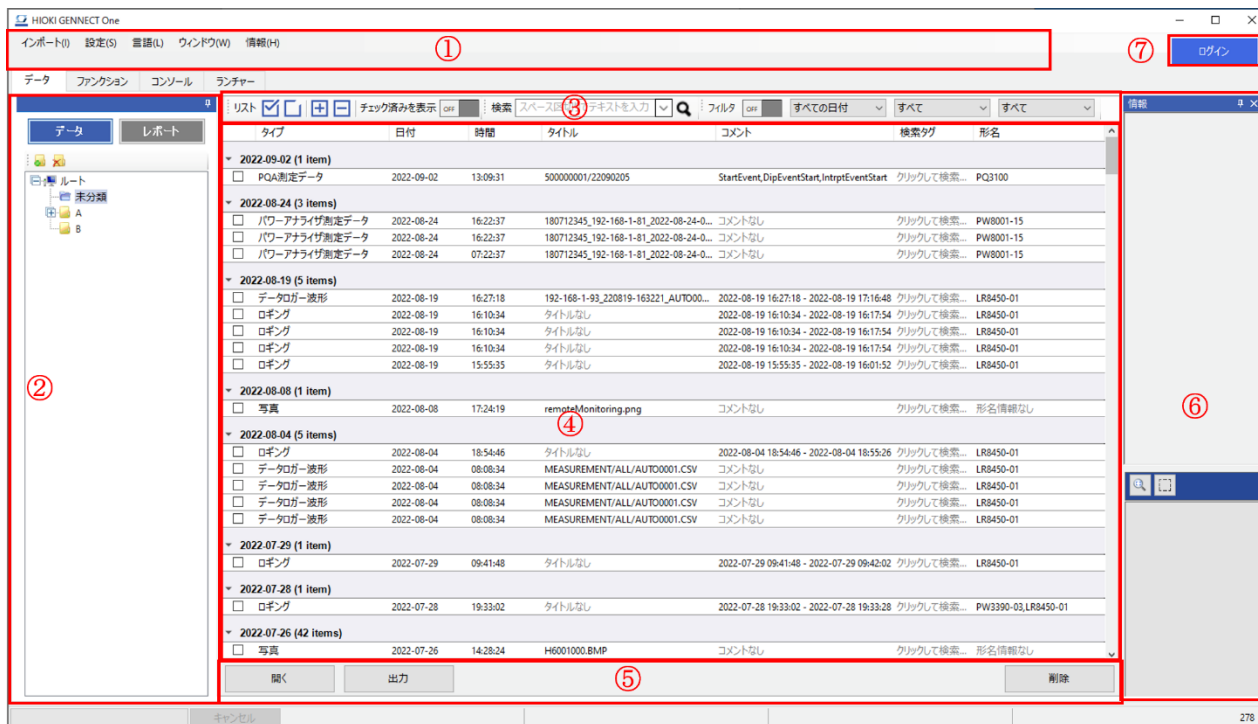
※測定器ごとに対応する機能や対応ファームウェアバージョンが異なります。詳細は各機能の[対応測定器]の項をご確認ください。

画面について

GENNECT One の画面は、「データ」、「ファンクション」、「コンソール」、「ランチャー」のタブから構成されています。

「データ」タブ

データの一覧を表示・管理します。



① メニューバー

アプリケーションで使用するメニューが表示されます。

各メニューの機能については以下を参照してください。

[データをインポートする](#)

[ロギングスケジュール機能を使う](#)

[アプリケーションの設定をする](#)

[その他のアプリケーションのメニュー](#)

② データ切り替えウィンドウ

データレポートを選択して、データリストに表示するデータの種類を変更します。

データのグループをツリー形式で管理します。

データリストに表示するデータを、選択したデータグループ内のものに限定します。

[データを整理する](#)

③ ツールバー

- ・データリスト内のデータを、テキストまたはタグで検索します。
- ・データリストに表示するデータを、フィルタ条件を指定して絞り込みます。
- ・データリストの展開/折りたたみとチェック状態を変更します。

ツールバーの機能については、以下を参照してください。

[データリストを操作する](#)

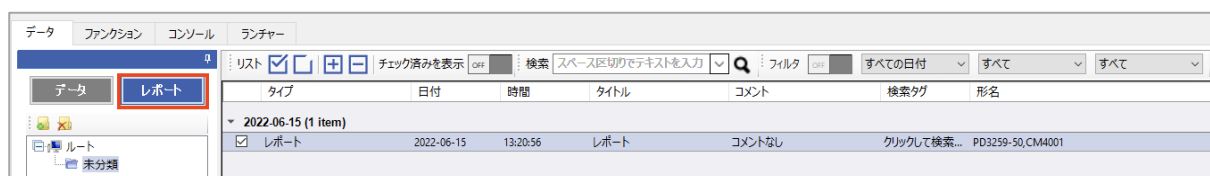
④ データリスト

測定器または GENNECT One から読み込んだデータをリスト形式で表示します。データは日付順に表示されます。

GENNECT One にインポートしたデータ、およびログイン/ダッシュボード機能で取得したデータは、[データ]の[未分類]グループに保存されます。



・拡張子が PDF のファイル、または自動出力機能で日報・週報・月報の保存先として GENNECT One を指定した場合は [レポート]の[未分類]グループにデータが保存されます。



⑤ ボタンパネル

- ・データリストで選択したデータを開きます。
- ・データリストで選択したデータを CSV、画像、PDF の形式で出力します。
- ・データリストで選択したデータを削除します。

詳細は以下を参照してください。

[データを見る](#)

[データを出力する](#)

[データを削除する](#)

GENNECT Cloud にログインしている場合は、[アップロード]ボタンが表示されます。

GENNECT One に保存された測定データをアップロードすることができます。アップロードされた測定データは GENNECT Cloud のドライブ画面と GENNECT One のデータリスト(クラウド)に反映されて、GENNECT Cloud とのデータ連携が開始されます。データ連携が開始された測定データはアカウント内の別のユーザーと共有することができます。

詳細は以下を参照してください。

[GENNECT Cloud と連携してデータを共有・管理する](#)

⑥ 情報ウィンドウ

データリストでフォーカスされたデータの詳細な情報を表示します。
データが画像の場合は、プレビュー画像を表示します。

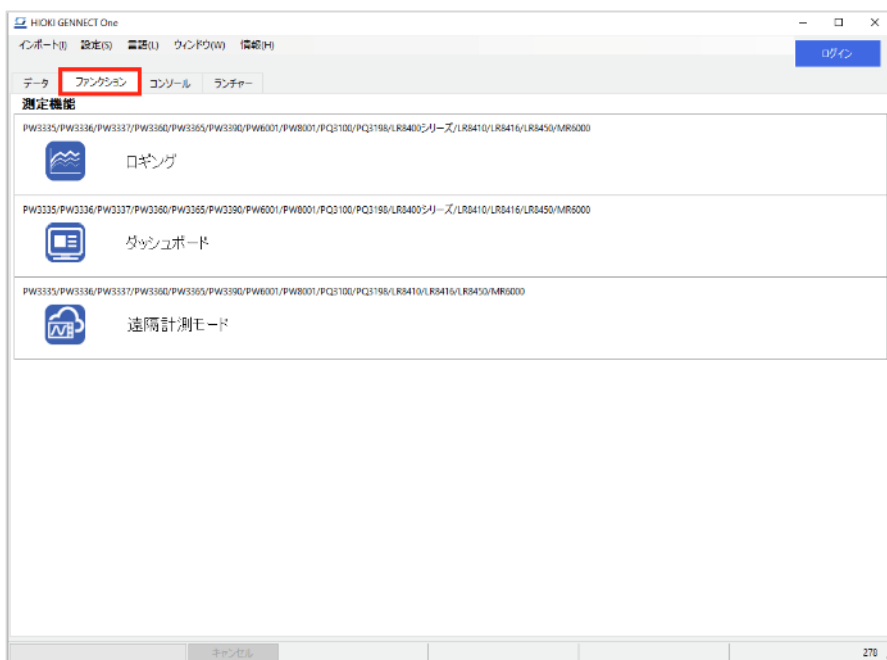
⑦ ログインボタン

GENNECT Cloud にログインします。

[GENNECT Cloud にログインする](#)

「ファンクション」タブ

測定器とコンピューターを LAN で接続して、測定値をリアルタイムで表示・記録します。



① ロギング

測定値を指定した間隔でロギングします。

ロギングの機能の詳細については、以下を参照してください。

[測定値をロギングする\(ロギング機能\(LAN\)\)](#)

② ダッシュボード

任意の背景画像の上に測定値を配置し、測定状況を視覚的にわかりやすくモニターします。

ダッシュボードの機能の詳細については、以下を参照してください。

[測定値をモニターする\(ダッシュボード機能\(LAN\)\)](#)

③ 遠隔計測モード

GENNECT Cloud と連携し、遠隔計測(モニター・ファイル転送・遠隔操作など)を行います。

[遠隔計測モードを利用する](#)

「コンソール」タブ

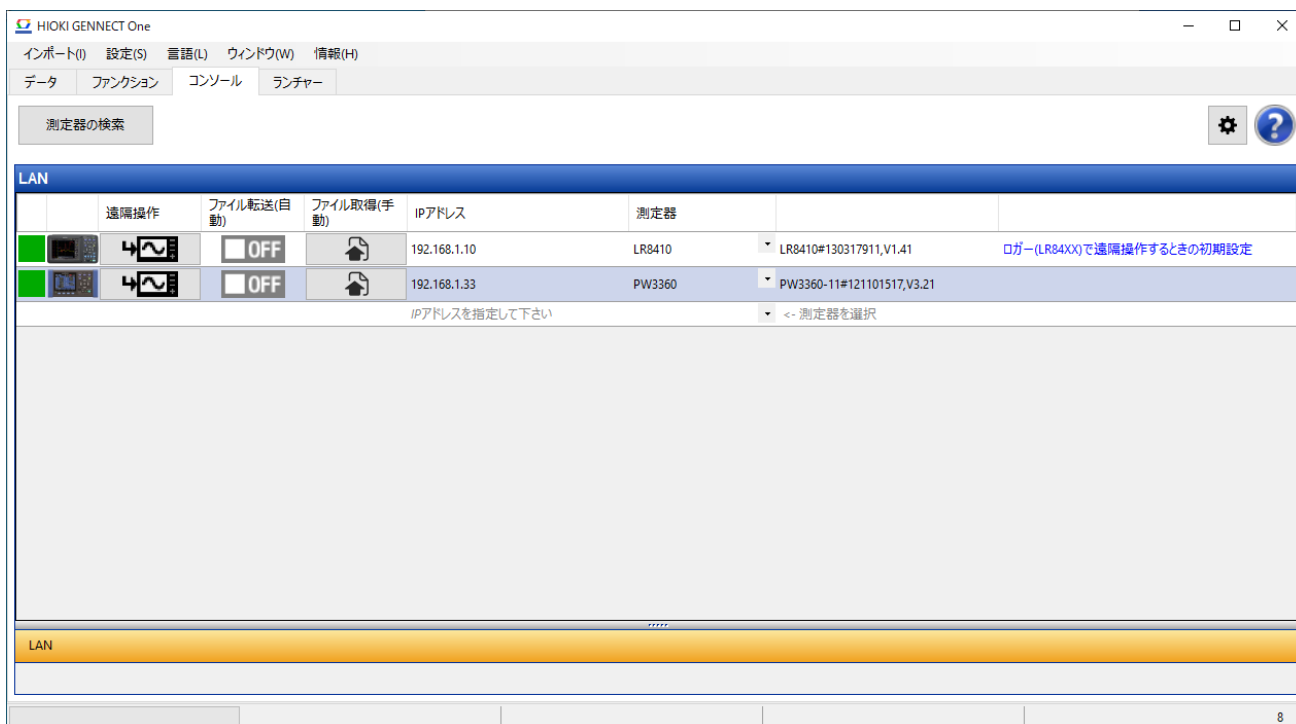
コンピューターと LAN で接続された測定器の情報を確認できます。また、以下の機能を利用できます。

[測定器を操作する\(遠隔操作\(LAN内\)\)](#)

[測定器のファイルを自動で受け取る\(ファイル転送\(自動\)\(LAN\)\)](#)

[測定器から手動でファイルを取得する\(ファイル取得\(手動\)機能\)](#)

[測定器のファームウェアをアップデートする](#)

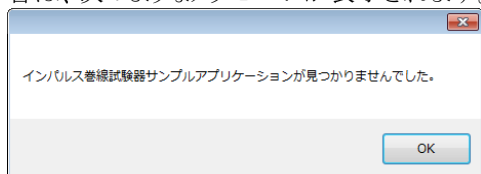


「ランチャー」タブ

お使いのコンピューターにインストールされた日置電機製のアプリケーションソフトウェアを起動します。



※ [ランチャー]タブに表示されたアプリケーションソフトウェアが、お使いのコンピューターにインストールされていない場合は、次のようなメッセージが表示されます。必要に応じて、アプリケーションソフトウェアをインストールしてください。



① インパルス巻線試験器 サンプルアプリケーション

ST4030 インパルス巻線試験器のサンプルアプリケーションを起動します。

② LR8101,LR8102 データロガーIP アドレス割り当てツール

LR8101,LR8102 データロガーIP アドレス割り当てツールを起動します。

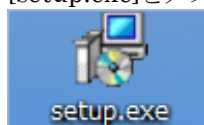
③ SWITCH MAINFRAME アプリケーション

SWITCH MAINFRAME アプリケーションを起動します。

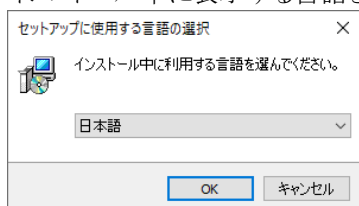
インストールする

GENNECT One のインストールは次の手順で行います。

1. [setup.exe]をダブルクリックします。



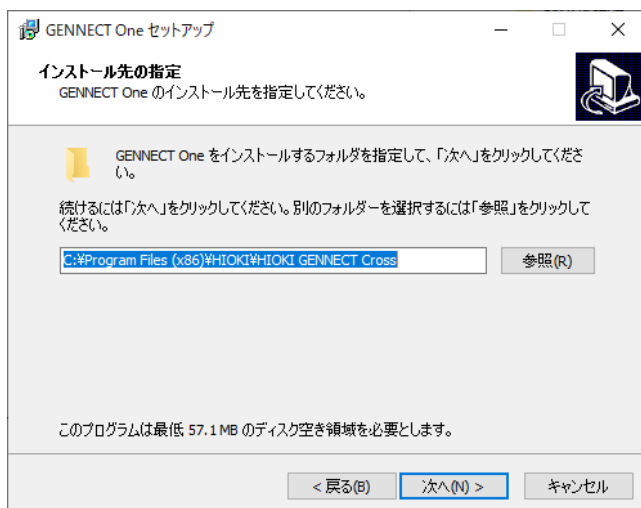
2. インストール中に表示する言語を選択して、[OK]ボタンをクリックします。



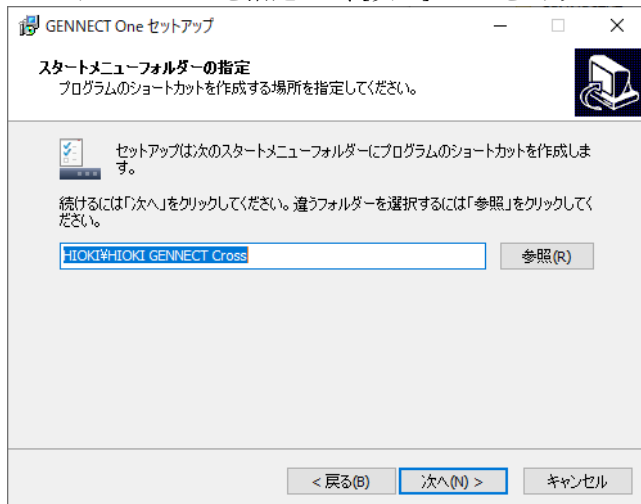
3. [次へ]ボタンをクリックします。



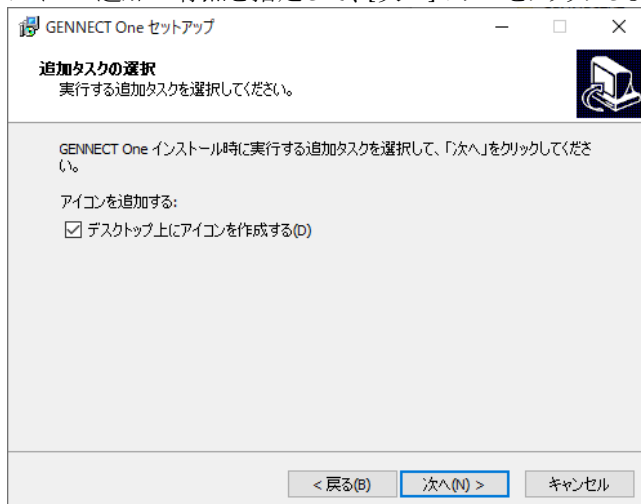
4. インストール先を指定して、[次へ]ボタンをクリックします。



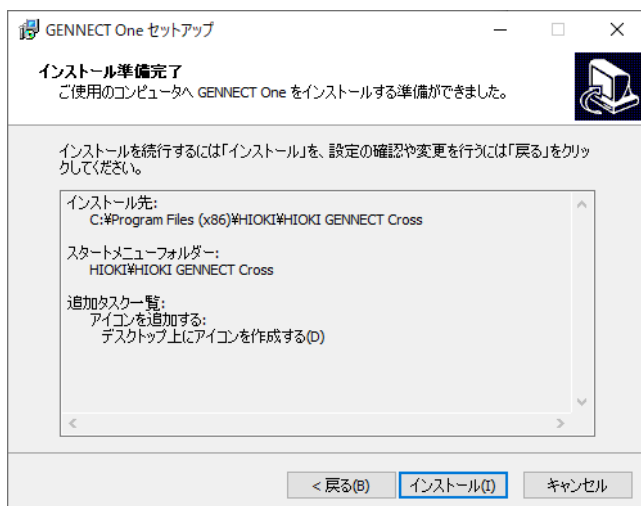
5. プログラムグループを指定して、[次へ]ボタンをクリックします。



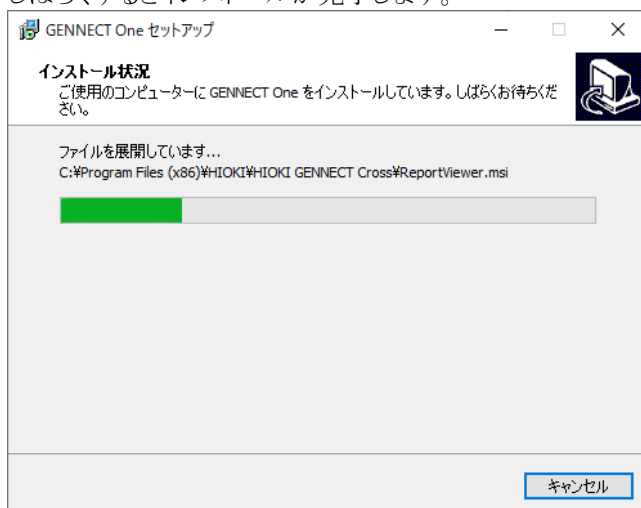
6. アイコン追加の有無を指定して、[次へ]ボタンをクリックします。



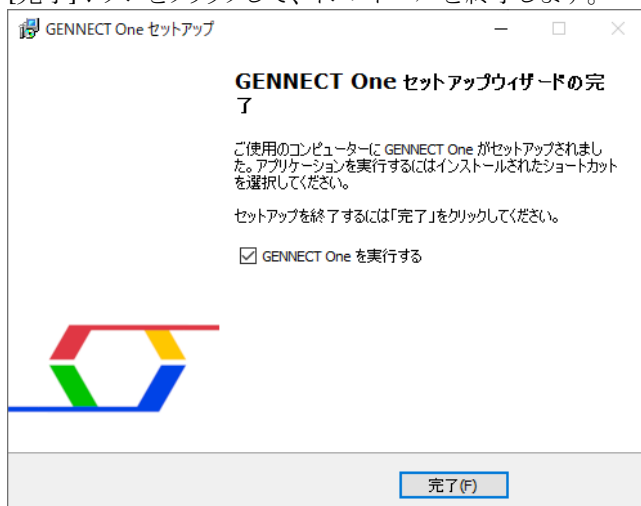
7. [インストール]ボタンをクリックします。



8. しばらくするとインストールが完了します。



9. [完了]ボタンをクリックして、インストールを終了します。



コンピューターと測定器を接続する

コンピューターと測定器を接続する (USB) (BT3554,BT3554-01,BT3554-50 のみ)

測定器とコンピューターを USB ケーブルで接続するためには、USB ドライバーをコンピューターにインストールする必要があります。バッテリーテスタ (BT3554,BT3554-01,BT3554-50) 用の USB ドライバーをインストールまたはアンインストールする方法を記述します。

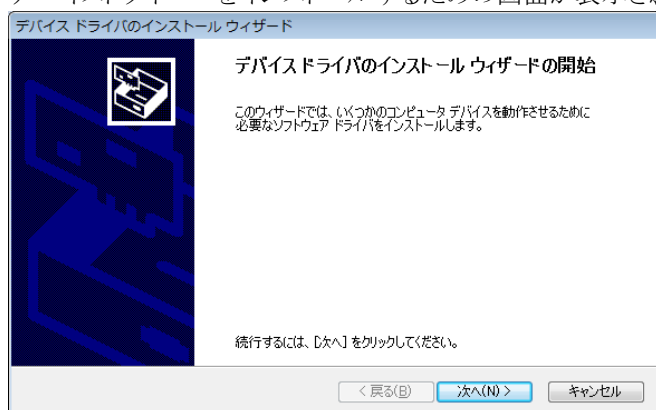
USB ドライバーをインストールする

旧製品の 3554 用 USB ドライバーをインストールする方法は、製品本体に付属の取扱説明書を参照してください。また、旧製品の 3554 は、Windows 8.0 以降のコンピューター上では動作しませんのでご注意ください。

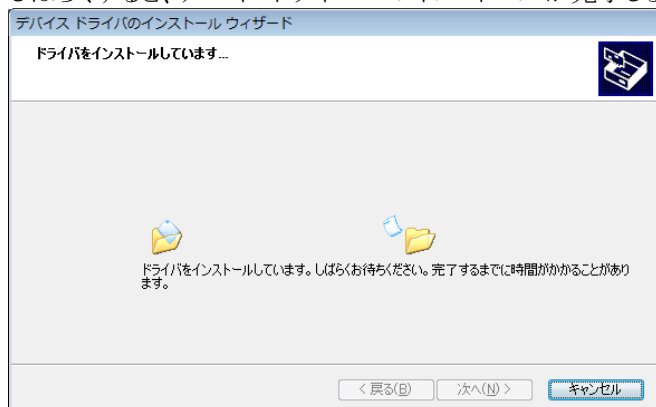
1. BT3554/BT3554-01/BT3554-50 バッテリーテスタに付属する CD-R をコンピューターにセットします。
2. [driver]フォルダを開きます。
3. [DPInst32.exe]または[DPInst64.exe]をダブルクリックして実行します。(※1)



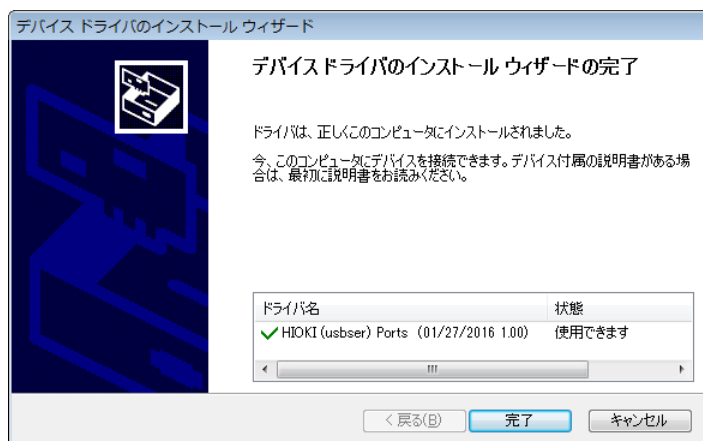
4. デバイスドライバーをインストールするための画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。



5. しばらくすると、デバイスドライバーのインストールが完了します。



6. [完了]ボタンをクリックして、画面を閉じます。



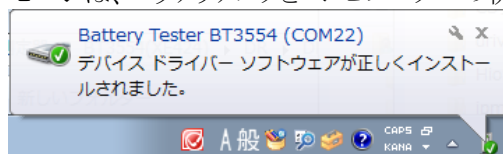
(※1)

32bit 版の Windows をお使いの場合は、[DPInst32.exe]を実行してください。

64bit 版の Windows をお使いの場合は、[DPInst64.exe]を実行してください。

コンピューターと測定器を接続する

1. コンピューターとバッテリーテスタを付属の USB ケーブルで接続します。
2. コンピューターがインストール済みのドライバーを発見すると、インストール完了のメッセージが表示されます。このメッセージは、バッテリーテスタとコンピューターの初回接続時に表示されます。



3. バッテリーテスタの LCD 部に[PC]と表示されていれば、接続は完了です。
※LCD 部に[PC]と表示されているが、GENNECT One にはバッテリーテスタが表示されない、というお問い合わせを数多くいただいています。その場合は、一度 USB ドライバーをアンインストールし、再度インストールしていただくことで解決することが報告されていますので、お試しください。

※ バッテリーテスタからデータを読み込む方法については、以下を参照してください。

[バッテリーテスタ BT3554/BT3554-01/BT3554-50 からデータをインポートする](#)

※ バッテリーテスタを設定する方法については、以下を参照してください。

▶ [バッテリーテスタ BT3554/BT3554-01/BT3554-50 の設定をする\(USB\)](#)

USB ドライバーをアンインストールする

旧製品の 3554 用 USB ドライバーをアンインストールする方法は、製品本体に付属の取扱説明書を参照してください。

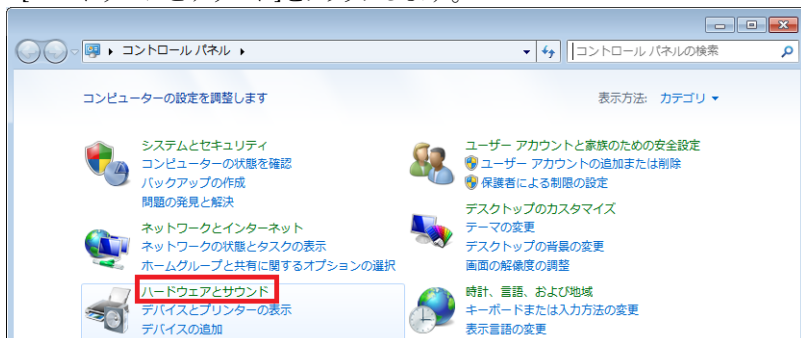
1. コンピューターとバッテリーテスタを USB ケーブルで接続します。
2. Windows の[スタート]メニューをクリックします。



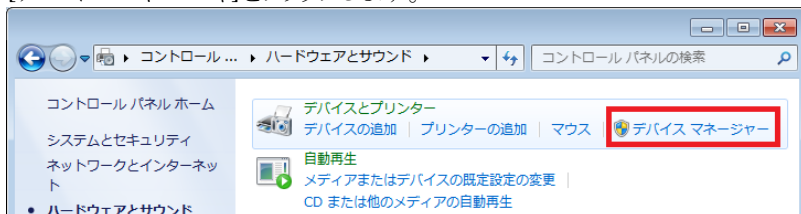
3. [コントロールパネル]をクリックします。



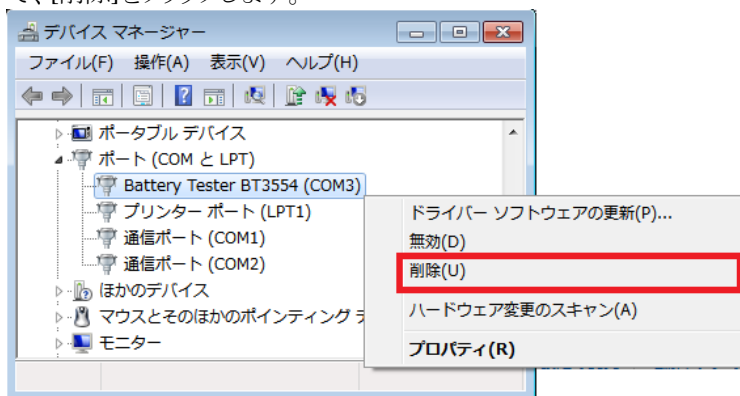
4. [ハードウェアとサウンド]をクリックします。



5. [デバイスマネージャ]をクリックします。



6. ポート(COMとLPT)のツリーを展開して、[Battery Tester BT3554]を選択します。右クリックで表示されるメニューで、[削除]をクリックします。



7. [このデバイスのドライバーソフトウェアを削除する]にチェックをつけて、[OK]ボタンをクリックします。



8. USBドライバーがコンピューターから削除されます。

コンピューターと測定器を接続する (LAN)

コンピューターと測定器の LAN 設定をする

本アプリケーションは有線 LAN 通信に対応しています。
 コンピューターと測定器の通信機能を利用するには、LAN ケーブルでコンピューターと測定器を接続し、両者のネットワーク設定を正しく行う必要があります。

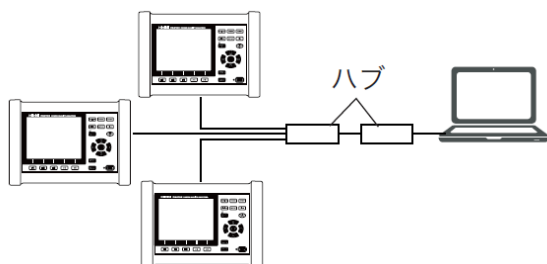
ここでは、測定器をローカルネットワークに接続する方法と、既存ネットワークに接続する方法について説明します。

※ 測定器のネットワーク設定の変更方法については、測定器に付属の取扱説明書を参照してください。

※ コンピューターのネットワーク設定の変更方法については、以下を参照してください。

➤ [コンピューターのネットワーク設定を確認・変更する](#)

測定器をローカルネットワークに接続する場合

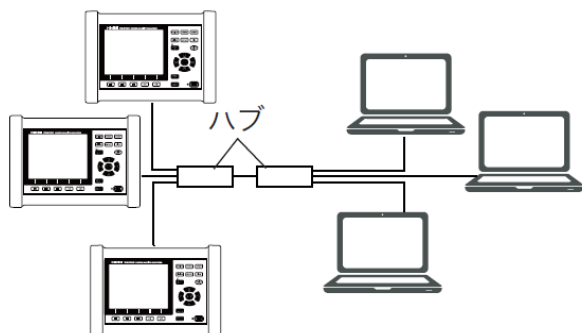


外部に接続しないローカルネットワークを構築する場合、以下の表に示すような IP アドレスを使用することが推奨されます。
 複数の測定器をコンピューターに接続する際には、IP アドレスが重複しないように注意して設定してください。

設定例: ネットワークアドレスを 192.168.1.0/24 としてネットワークを構築する場合

IP アドレス	コンピューター	192.168.1.1
	測定器 (1 台目)	192.168.1.2
	測定器 (2 台目)	192.168.1.3
	測定器 (3 台目)	192.168.1.4
サブネットマスク		255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	コンピューター	_____
	測定器	0.0.0.0

測定器を既存のネットワークに接続する場合



既存のネットワークに測定器を接続する場合は、ネットワーク管理者 (部署) に、測定器用のネットワーク設定 (IP アドレスなど) をあらかじめ割り当ててもらわなければならない。この際、IP アドレスが他の機器と重複しないよう注意し、本アプリケーションをインストールするコンピューターと同じネットワーク範囲に割り当ててもらってください。

以下の表の設定項目について、割り当てられた情報をメモし、測定器に設定してください。

IP アドレス	測定器 (1 台目)	_____
	測定器 (2 台目)	_____
	測定器 (3 台目)	_____
サブネットマスク		_____

デフォルトゲートウェイ

コンピューターのネットワーク設定を確認・変更する

Windows11 における操作方法について記述します。

- Windows11 の設定画面を開きます。設定画面を開くには下記のいずれかを実行します。
 - Windows の[スタート]ボタンを右クリックし、表示されたメニューから【設定】を選択します。



- Windows の[スタート]ボタンをクリックし、表示されたスタートメニューにある[設定]アイコンをクリックします。アイコンがピン留めされていない場合は、左上の[すべてのアプリ]ボタンをクリックし、[設定]メニューを選択します。



- 設定画面左にある[ネットワークとインターネット]をクリックして、ネットワークとインターネット画面を表示します。



- 確認したいネットワーク名の[プロパティ]をクリックして、イーサネット詳細画面を表示します。



- IPv4 設定表示欄にある[編集]ボタンを押下して、IP 設定の編集画面を表示します。

ネットワークとインターネット > イーサネット

識別されていないネットワーク
インターネットなし

認証設定 編集

従量制課金接続
このネットワークに接続している場合、データ使用量を減らすためにアプリによっては異なる動作が行われる可能性があります。 オフ

このネットワーク上のデータ使用量を制御するためのデータ通信量上限を設定する

IP 割り当て: 手動

IPv4 アドレス: 192.168.1.3

IPv4 マスク: 255.255.255.0 編集

IPv4 ゲートウェイ: 192.168.1.1

DNS サーバーの割り当て: 手動

IPv4 DNS サーバー: 192.168.1.1 (非暗号化) 編集

5. ネットワーク設定を確認します。また、設定を変更する場合は、設定項目を編集して[保存]ボタンをクリックします。

IP 設定の編集

手動

IPv4

オン

IP アドレス
192.168.1.3

サブネット マスク
255.255.255.0

ゲートウェイ
192.168.1.1

優先 DNS
192.168.1.1

HTTPS 経由の DNS
オフ

代替 DNS

保存 キャンセル

測定器を検索・接続する (LAN)

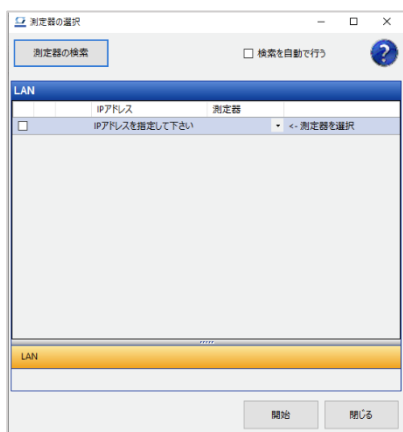
本アプリケーションで LAN 内の測定器を検索し、測定器との接続を確立する方法を説明します。

※ロギング機能の測定器選択画面を例として説明しますが、コンソール画面、遠隔計測モードの測定器選択画面も同様の方法になります。

※コンピューターと測定器の LAN 設定が済んでいない場合は、先に完了してください。

[コンピューターと測定器の LAN 設定をする](#)

1. [測定器の検索]をクリックします。



2. 数秒後、検索で見つかった測定器一覧が表示されます。

LAN				
		IPアドレス	測定器	
<input checked="" type="checkbox"/>		192.168.1.31	PQ3198	PQ3198#000025824,2.01
<input checked="" type="checkbox"/>		192.168.1.33	PW3360	PW3360-10#131199442,V3.22
<input type="checkbox"/>		192.168.1.35		<- 測定器を選択
<input type="checkbox"/>		IPアドレスを指定して下さい		<- 測定器を選択

3. 本アプリケーションで一度も接続したことがない測定器は、以下のような表示になります。この測定器との接続を確立するため、[測定器]のコンボボックスをクリックし、この測定器の形名を選択します。

<input type="checkbox"/>		192.168.1.35		<- 測定器を選択
--------------------------	--	--------------	--	-----------

4. アイコンが緑色になれば、測定器との接続は完了です。

<input checked="" type="checkbox"/>		192.168.1.31	PQ3198	PQ3198#000025824,2.01
-------------------------------------	--	--------------	--------	-----------------------

測定器が検索で見つからない場合

測定器が検索で見つからない場合は、以下を確認してください。

- LAN ケーブルが正しく接続されているか
- PC と測定器の IP アドレスが重複していないか

上記に問題がない場合は、PC と測定器を再起動した後、もう一度上記の手順を実行してください。

データをインポートする

測定器が生成した測定ファイルを GENNECT One にインポートすることで、データの一元管理、専用ビューワでの閲覧・解析、CSV ファイル形式での出力などができます。

※本アプリケーションにインポートできるファイル種類には制限があります。詳細は次項を参照してください。

※バッテリーテスタ(BT3554, BT3554-01, BT3554-50)から測定データをインポートする方法については、[以下を参照してください](#)。

[バッテリーテスタ BT3554/BT3554-01/BT3554-50 からデータをインポートする](#)

本アプリにデータをインポートする方法は 3 つあります。

1. ファイル転送(自動)機能を使う

測定器がファイルを生成したタイミングで、ファイルを自動で PC へ転送します。

- ・最大 15 台の同時利用が可能です。
- ・転送されたファイルはデータリストに表示されます。
- ・測定器と PC の LAN 接続が必要です。

詳細は以下を参照してください。

[測定器のファイルを自動で受け取る\(ファイル転送\(自動\)\(LAN\)\)](#)

2. ファイル取得(手動)機能を使う

測定器に挿入された記録メディア(SD カード等)内に保存されているファイルを、手動で PC に取得します。

- ・保存先として本アプリのデータリストまたは任意のフォルダを選択できます。
- ・測定器と PC の LAN 接続が必要です。

詳細は以下を参照してください。

[測定器から手動でファイルを取得する\(ファイル取得\(手動\)機能\)](#)

3. [インポート]のメニューを利用する / フォルダ/ファイルをドラッグ&ドロップする

ローカル PC 内に保存されている測定データを GENNECT One にインポートします。

- ・複数フォルダ/ファイルの選択が可能です。
- ・測定器と PC の LAN 接続は不要です。

詳細は以下を参照してください。

[インポートのメニューを利用する / ドラッグ&ドロップする](#)

対応ファイル

GENNECT One にインポートできるファイルの種類と、対応するインポート方法は以下のとおりです。

形名	種類(*1)	拡張子	ファイル転送(自動)	ファイル取得(手動)	メニュー、ドラッグ&ドロップ
PQ3100 PQ3198	フォルダ	—	○	○	○
PW3360	フォルダ	—	○	○	○

PW3365					
PW3390	ファイル	CSV	—	○	○
PW6001		CSV	—	○	○
PW8001	ファイル	BIN	○	○	○
		CSV	○	○	○
		PNG	○	○	○
		SET	○	○	—
		MAT	○	○	—
		DBC	○	○	—
		JSON	○	○	—
LR8400, LR8401, LR8402 LR8410,16	ファイル	MEM	○	○	○
		CSV	○	○	○
LR8450, LR8450-01 LR8101, LR8102	ファイル	MEM	○	○	○
		CSV	○	○	○
		MF4	○	○	○
MR6000	ファイル	MEM	○	○	○
		REC	○	○	○
		MDF	○	○	—
		MF4	○	○	—
		FLT	—	○	—
		CSV	○	○	○
		DAT	—	○	—
CFG	—	○	—		
MR8847A MR8875	ファイル	MEM	—	—	○
LR5000 シリーズ LR5001, LR5011, LR5021, LR5031 LR5041, LR5042, LR5043, LR5061(*2)	ファイル	hrp2	—	—	○
その他画像ファイル PDF HOK ファイル(*3)	ファイル	PNG BMP JPG PDF HOK	—	—	○

(*1) 選択した測定フォルダ(日付フォルダ)を保存します。

※バッテリーテスタ(BT3554, BT3554-01, BT3554-50)から測定データをインポートする方法については、以下を参照してください。

[バッテリーテスタ BT3554/BT3554-01/BT3554-50 からデータをインポートする](#)

(*2)

・データミニ LR5000 シリーズの測定器から、データミニ LR5000 シリーズ付属の PC アプリケーション LR5000 Utility で取得した測定ファイル(.hrp2)を、本アプリケーションにインポートすることができます。

・データミニ LR5000 シリーズの測定ファイル(.hrp2)を事前に PC に保存しておく必要があります。測定ファイル(.hrp2)を PC に保存する方法については、LR5000 シリーズのヘルプを参照してください。

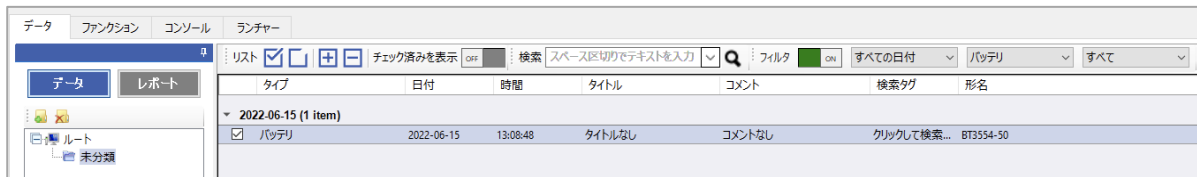
(*3) GENNECT Cross for iOS/Android、GENNECT Remote、GENNECT One で出力した HIOKI GENNECT Format(.hok)のファイルを、本アプリケーションでインポートすることができます。インポートしたデータは対応するビューワでの閲覧が可能です。GENNECT Cross、GENNECT Remote で取得したデータを hok 形式で出力する方法については、製品の取扱説明書を参照してください。

GENNECT One の測定データを hok 形式で出力する方法については、以下を参照してください。

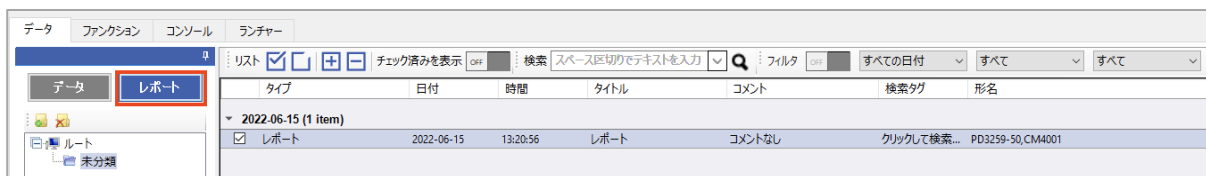
[データを出力する](#)

データの保存先

- GENNECT One にインポートしたデータは、[データ]の[未分類]グループに保存されます。



- 拡張子が PDF のファイル、または自動出力機能で日報・週報・月報の保存先として GENNECT One を指定した場合、[レポート]の[未分類]グループにデータが保存されます。



測定器のファイルを自動で受け取る（ファイル転送（自動）（LAN））

・ファイル転送(自動)は、測定器-PC間でFTP機能を使用し、測定器が作成したファイルをPCで受け取る機能です。受信したファイルは、本アプリケーション内のデータベースに保存されます。

・測定器本体にSDメモリーカードやCFカード等の記録メディアの挿入が必要です。

・本機能は、お使いのPCにFTPサーバーを設定して、測定器の測定ファイルを取得します。

※ PCの電源が入っていない間の測定ファイルはGENNECT Oneで取得することはできません。

※ MR6000,PW3360,PW3365,PQ3100,PQ3198,LR8450,PW8001のファイル転送(自動)をオンにした場合は、測定器本体に測定ファイルが保存されません。GENNECT Oneで測定ファイルを取得できたことを確認してPCの電源を落とすようにしてください。

※ 測定器から転送された測定ファイルがデータリストに反映されるまで7分程度の時間がかかります。

※ お使いのPC別の内にFTPサーバーが存在している場合は、本機能による測定ファイルの取得はできません。

※ セキュリティソフトウェアがお使いのPCに対する通信を制限する設定になっている場合、本機能による測定ファイルの取得ができない場合があります。この場合、セキュリティソフトウェアのマニュアルを参照して、測定器からPCへのFTP通信(ポート番号範囲:21,65000-65020)を許可する設定をする必要があります。

対応測定器

ファイル転送(自動)は次の測定器に対応しています。

形名	品名	対応バージョン
PQ3100 *1	電源品質アナライザ	V2.30以降
PQ3198 *1,*3	電源品質アナライザ	V1.10以降
PW3360 *1	クランプオンパワーロガー	V3.20以降
PW3365 *1	クランプオンパワーロガー	V2.10以降
PW8001 *2,*4,*5 *6	パワーアナライザ	V1.00以降
LR8400, LR8401, LR8402 *1	メモリハイロガー	V1.28以降
LR8410 *1	ワイヤレスロギングステーション	V1.42以降
LR8416 *1	ワイヤレス熱流ロガー	V1.42以降
LR8450, LR8450-01 *1,*5	メモリハイロガー	V1.20以降
LR8101, LR8102 *1,*5	データロガー	V1.02以降
MR6000	メモリハイコーダ	V2.10以降

*1 本機能の開始/停止時に測定器本体の測定を開始/停止します。

*2 本機能の開始/停止時に測定器本体を積算開始/停止します。

*3 本機能による測定開始時に測定器本体に保持されている解析データはリセットされます。本機能を開始する場合は測定器本体で測定データの解析が完了した状態(データリセット状態)にしておくことをお勧めします。

*4 本機能による測定開始時にその時点までに測定器本体が保持している積算データはリセットされます。本機能を開始する場合は積算データの記録と解析が完了した状態(データリセット状態)にしておくことをお勧めします。

*5 本機能の開始時に測定器の開始/停止制御設定(トリガ,開始/停止の時間制御)を解除して測定を開始します。

*6 本機能の開始/停止時に結線別積算または時間制御機能(タイマーまたは実時間制御)が有効な場合は測定を開始/停止しません(遠隔計測モード時を除く)

制限

ファイル転送(自動)に関する制限

項目	制限値	備考
測定器の最大接続台数	15 台	
通信インタフェース	LAN	
最大受信ファイル反映時間	7 分	FTP によるファイル受信成功後、本アプリケーション内データベースに反映されるまでにかかる最大時間。

通信に関する制限

項目	制限値	備考
インタフェース	LAN	
自動検索のネットワーク範囲	□.□.□.2 - □.□.□.254 ※コンピューターと同一のネットワーク範囲に限る	
DHCP	非対応	

操作の流れ

コンピューターと測定器を接続する (LAN)

ファイル転送(自動)をオンにする



ファイル転送(自動)をオフにする

ファイル転送(自動)の設定を確認・変更する

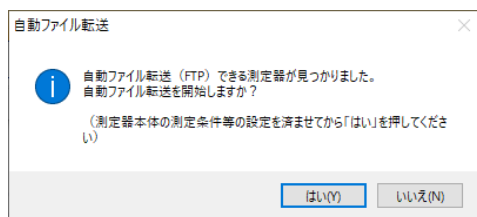
ファイル転送 (自動) をオンにする

一連の設定が終わると測定器は自動で測定を開始します。ファイル転送(自動)をオンにする前に、測定器本体の測定条件設定や結線を済ませておいてください。

アプリケーション起動時に設定する場合

ファイル転送(自動)に対応した測定器を接続してアプリケーションを起動することで、対象の測定器のファイル転送を開始します。

1. GENNECT One を起動します。
2. ファイル転送(自動)に対応した測定器が PC に接続されていて、ファイル転送(自動)の設定がされていない測定器を GENNECT One が検出した場合に、次のメッセージが表示されます。

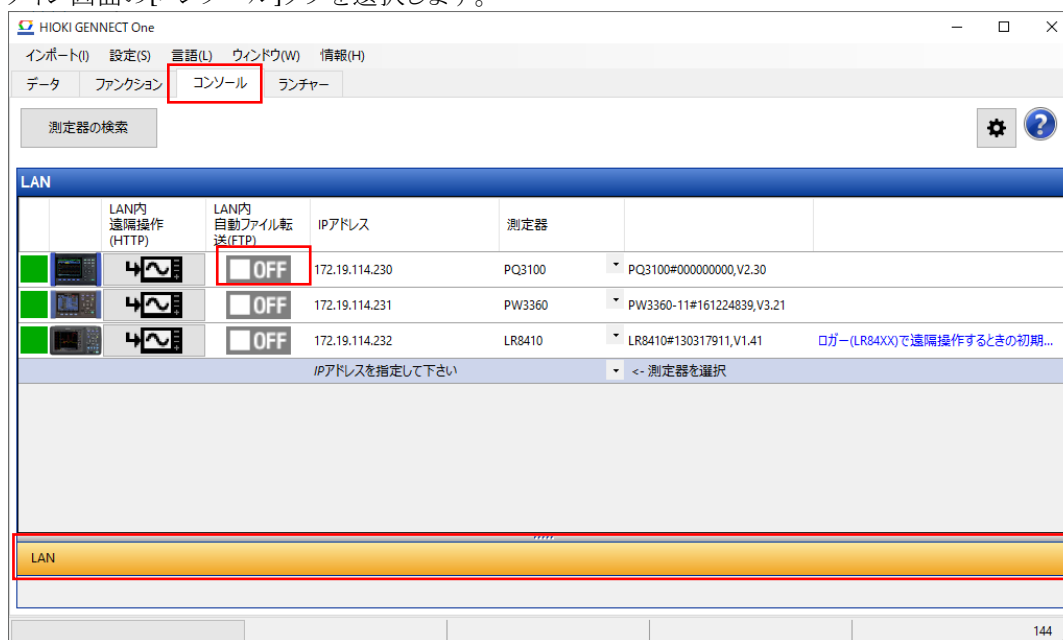


- [はい]をクリックすると、対象の測定器のファイル転送(自動)の設定をオンに変更します。この処理は数分程度かかる場合があります。処理の詳細は「[ファイル転送\(自動\)をオンにする\(詳細\)](#)」を参照してください。
- ファイル転送(自動)を開始すると、測定器の測定が開始されます。
※ メモリハイコーダ MR6000 では、ファイル転送(自動)を開始しても、測定器の測定は開始されません。測定器の[START]ボタンを押すか、LAN 内遠隔操作機能を使用して測定を開始してください。

[コンソール]タブから設定する場合

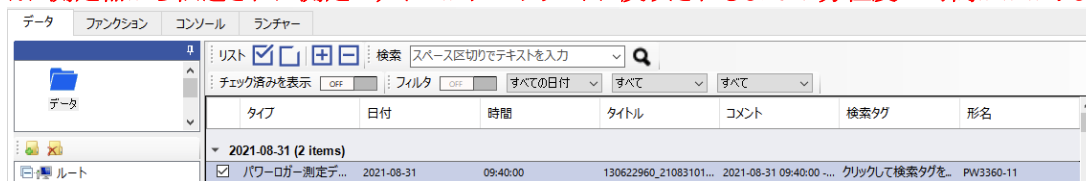
[コンソール]タブの測定器設定画面で、接続されている測定器の「ファイル転送(自動)」ボタンをオンにすることで、対象の測定器のファイル転送を開始します。

- メイン画面の[コンソール]タブを選択します。



- [LAN]のナビゲーションバーを選択します。
- 「ファイル転送(自動)ボタン」(OFF)をクリックして、ボタンをオン(ON)にします。
- 対象の測定器のファイル転送(自動)設定をオンに変更します。この処理は数分程度かかる場合があります。処理の詳細は「[ファイル転送\(自動\)をオンにする\(詳細\)](#)」を参照してください。
- ファイル転送(自動)を開始すると、測定器の測定が開始されます。
※ メモリハイコーダ MR6000 では、ファイル転送(自動)を開始しても、測定器の測定は開始されません。測定器の[START]ボタンを押すか、LAN 内遠隔操作機能を使用して測定を開始してください。
- 測定器が測定ファイルを作成すると PC に測定ファイルが転送されます。
※ 転送のタイミングは測定器の測定停止、または測定器による測定ファイル/フォルダの分割のいずれかです。
※ 測定ファイルの分割は電力計(PW8001)および記録計(MR6000)を除いて1日に1回行われる設定に自動設定されます。

※ 測定器から転送された測定ファイルがデータリストに反映されるまで 7 分程度の時間がかかります。



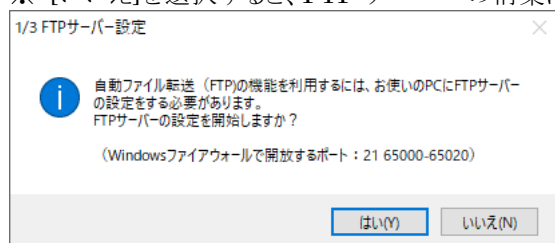
ファイル転送（自動）をオンにする（詳細）

【FTP サーバー構築（FTP サーバーが未構築の場合）】

お使いの PC に FTP サーバーが未構築の場合、FTP サーバーを構築します。

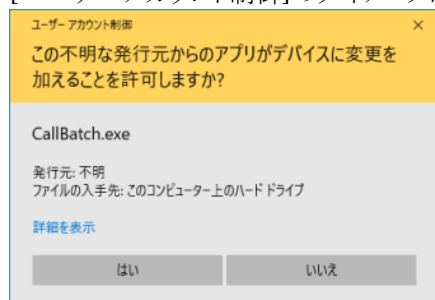
確認のダイアログが表示されるので[はい]を選択します。

※ [いいえ]を選択すると、FTP サーバーの構築は開始されません。

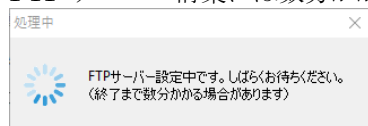


FTP サーバーの構築には管理者権限が必要です。

【ユーザーアカウント制御】のダイアログが表示されますので、[はい]を選択します。



FTP サーバー構築には数分かかる場合があります。



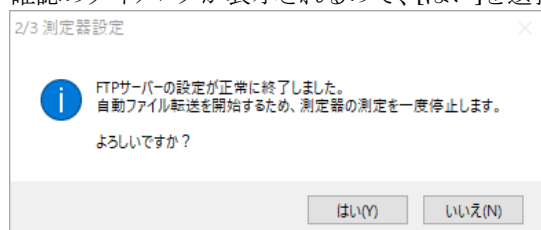
FTP サーバーの構築に失敗した場合は、エラーの詳細を表示することができます。

[エラーコード一覧](#)を参照し、手動での設定をお願いします。

【測定器の設定】

測定器に対し、ファイル転送するために必要な項目を自動で設定します。

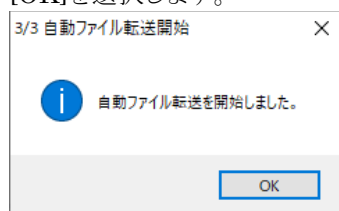
確認のダイアログが表示されるので、[はい]を選択します。



- ※ 測定が開始されている場合、ファイル転送(自動)を開始するために、一度測定を停止する必要があります。
- ※ [いいえ]を選択すると、ファイル転送(自動)は開始されません。

測定器の設定が終了するとファイル転送(自動)の準備は完了です。

[OK]を選択します。



測定器がファイルを作成すると PC にファイルを自動で転送し、本アプリケーション内のデータベースに保存されます。

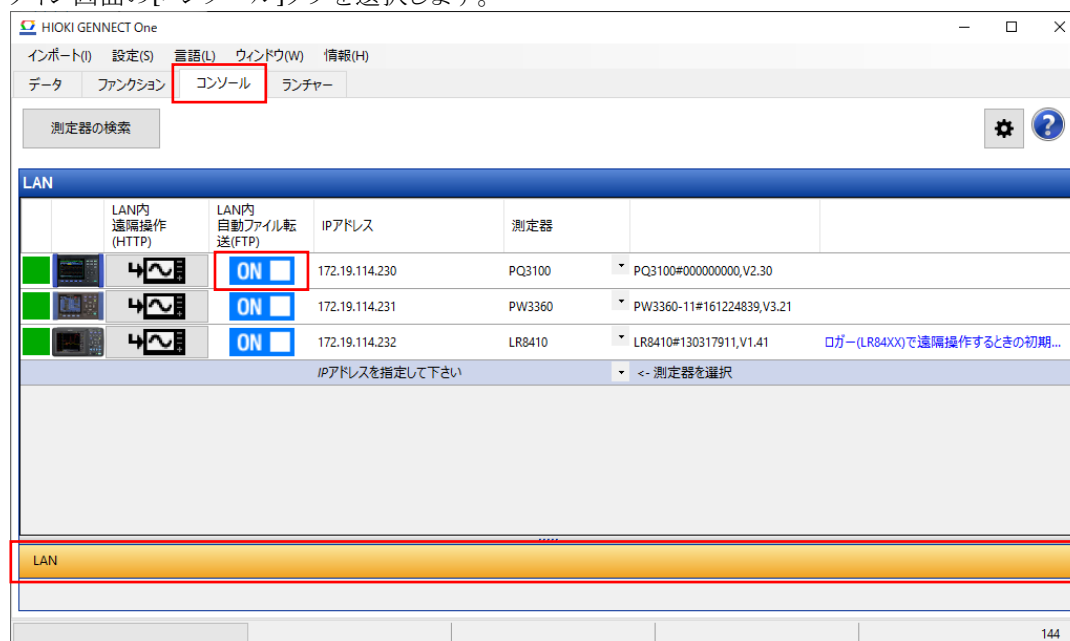
ファイル転送(自動)をオフにする

ファイル転送(自動)がオンのままだと、PC に接続していない状態でもファイルを転送しようとします。PC に接続せずに測定器をお使いになる場合は、ファイル転送(自動)をオフにしておくことをおすすめします。

[コンソール]タブから設定する

[コンソール]タブの測定器設定画面で、接続されている測定器の「ファイル転送(自動)」ボタンをオフにすることで、ファイル転送を停止します。

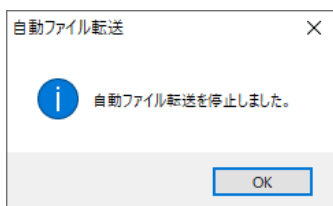
1. メイン画面の[コンソール]タブを選択します。



2. [LAN]のナビゲーションバーを選択します。
3. [ファイル転送(自動)]ボタン(ON)をクリックして、ボタンをオフ(OFF)にします。
4. 対象の測定器のファイル転送(自動)設定をオフに変更します。
この処理は数分かかる場合があります。

※ 測定が開始されている場合は測定が停止され、作成された測定ファイルが PC に転送されます。この転送が完了するまでは PC の電源を切らないでください。

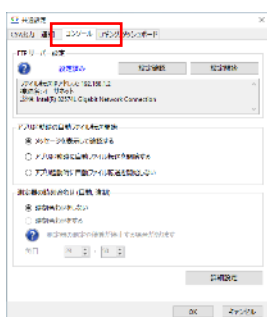
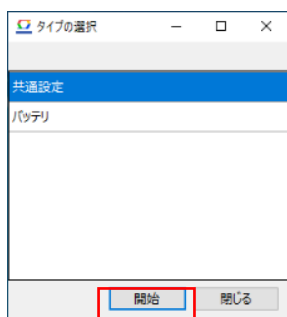
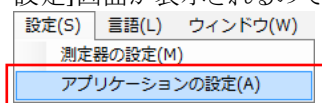
※ 測定器から転送された測定ファイルがデータリストに反映されるまでは 7 分程度の時間がかかります。



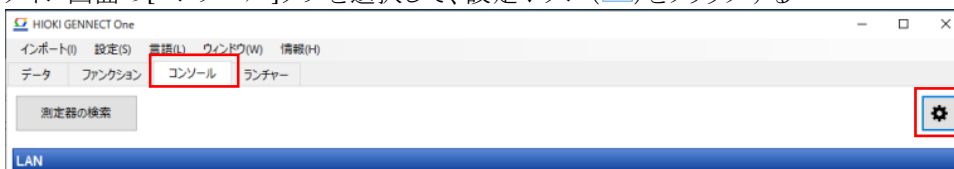
ファイル転送（自動）の設定を確認・変更する

ファイル転送(自動)に関する設定を変更します。

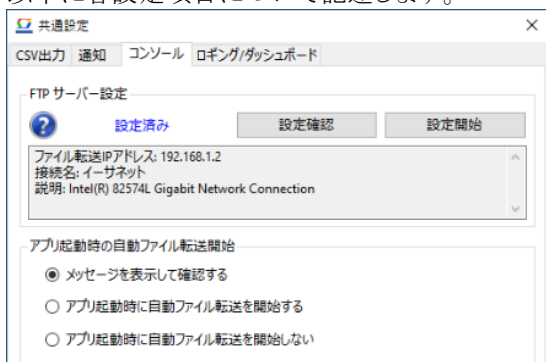
- 次のいずれかの操作で、[共通設定]-[コンソール]の設定画面を表示します。
 - メイン画面の[設定]-[アプリケーションの設定]メニューを選択して、[共通設定]を選択して[開始]をクリックする。[共通設定]画面が表示されるので、[コンソール]のタブを選択する



- メイン画面の[コンソール]タブを選択して、設定ボタン (⚙️) をクリックする



- [共通設定]-[コンソール]画面が表示されます。以下に各設定項目について記述します。

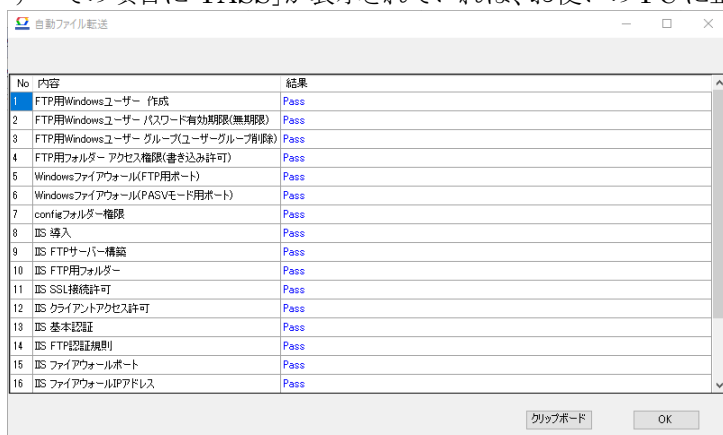


FTP サーバーの構築・確認

ファイル転送(自動)を使用するために必要な FTP サーバーの設定を確認したり、FTP サーバーの構築することができます。

- [設定確認]ボタンをクリックして、FTP サーバーが正しく設定されているか確認します。

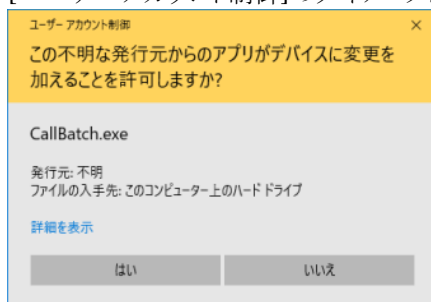
FTP サーバーの設定状態がリストで表示されています。
すべての項目に「PASS」が表示されていれば、お使いの PC に正しく FTP サーバーが設定されています。



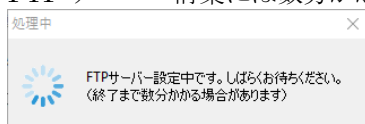
No	内容	結果
1	FTP用Windowsユーザー 作成	Pass
2	FTP用Windowsユーザー パスワード有効期限(無期限)	Pass
3	FTP用Windowsユーザー グループ(ユーザーグループ削除)	Pass
4	FTP用フォルダー アクセス権限(書き込み許可)	Pass
5	Windowsファイアウォール(FTP用ポート)	Pass
6	Windowsファイアウォール(PASVモード用ポート)	Pass
7	configフォルダー権限	Pass
8	IS 導入	Pass
9	IS FTPサーバー構築	Pass
10	IS FTP用フォルダー	Pass
11	IS SSL接続許可	Pass
12	IS クライアントアクセス許可	Pass
13	IS 基本認証	Pass
14	IS FTP認証規則	Pass
15	IS ファイアウォールポート	Pass
16	IS ファイアウォールIPアドレス	Pass

- [設定開始]ボタンをクリックして、新たに FTP サーバーを構築します。
設定確認でお使いの PC に FTP サーバーが正しく設定されていないと判定された場合は、本機能により FTP サーバーを構築してください。この処理は数分かかる場合があります。

FTP サーバーの構築には管理者権限が必要です。
[ユーザーアカウント制御]のダイアログが表示されますので、[はい]を選択します。



FTP サーバー構築には数分かかる場合があります。



アプリ起動時の設定 (アプリ起動時のファイル転送 (自動) 開始)

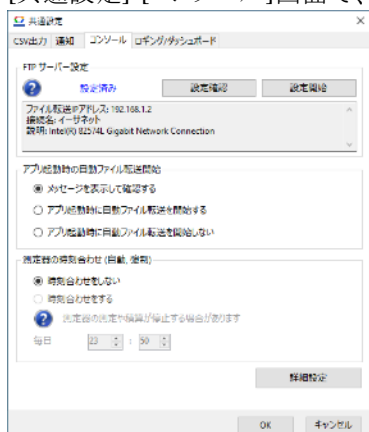
アプリケーション起動時にファイル転送 (自動) を開始するかを設定できます。
「アプリ起動時のファイル転送 (自動) 開始」では以下のように変更できます。

- [メッセージを表示して確認する]:
アプリ起動時に、本アプリケーションがファイル転送 (自動) に対応した測定器を検出すると、ファイル転送 (自動) を開始するかをダイアログで確認します。
- [アプリ起動時にファイル転送 (自動) を開始する]:
アプリ起動時に、本アプリケーションがファイル転送 (自動) に対応した測定器を検出すると、ファイル転送 (自動) を開始します。
- [アプリ起動時にファイル転送 (自動) を開始しない]:
アプリ起動時に、ファイル転送 (自動) を開始しません。

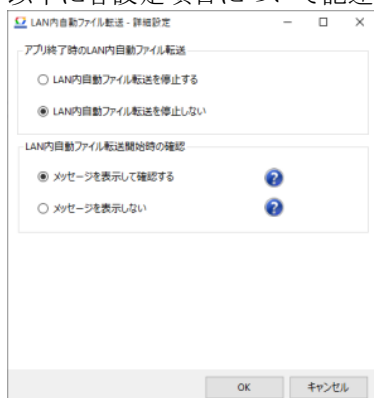
詳細設定を変更する

ファイル転送 (自動) に関する詳細設定を変更します。

1. [共通設定]-[コンソール]画面で、[詳細設定]ボタンをクリックします。



2. [ファイル転送(自動) – 詳細設定]画面が表示されます。以下に各設定項目について記述します。



アプリ終了時の設定 (アプリ終了時のファイル転送 (自動))

アプリケーションを閉じるときにファイル転送(自動)をオフにするかを設定できます。詳細設定の「アプリ終了時のファイル転送(自動)」では以下のように変更できます。

- [ファイル転送(自動)を停止する]:
すべての測定器のファイル転送(自動)を停止した後、アプリケーションを終了します。
※ 測定中にファイル転送(自動)をオフにする場合は測定を停止し、そこまで作成していたファイルを転送します。ファイルのサイズ、通信状況によりアプリが閉じられるまで数分かかる場合があります。
- [ファイル転送(自動)を停止しない]:
測定器のファイル転送(自動)を停止せずに、アプリケーションを終了します。

測定器設定前の確認ダイアログ表示 (ファイル転送 (自動) 開始時の確認)

ファイル転送(自動)開始/停止時の測定器設定で、確認のダイアログを表示するかを設定できます。詳細設定の「ファイル転送(自動)開始時の確認」では以下のように変更できます。

- [メッセージを表示して確認する]:
ファイル転送(自動)の開始/停止の設定を行うときに、確認のダイアログを表示します。
- [メッセージを表示しない]:
ファイル転送(自動)の開始/停止の設定を行うときに、確認のダイアログを表示しません。

測定器の保存設定

ファイル転送(自動)機能をオンにすると、各測定器に次の保存設定を自動で行います。

形名	品名	自動保存設定	ファイル保存タイミング
PQ3100 (*1)	電源品質アナライザ	<ul style="list-style-type: none"> ・記録インターバル: 1sec ~ 5min ・記録開始方法: 繰り返し 2000-01-01 ・記録停止方法: 繰り返し 2079-12-31 ・記録時間帯: 00:00 ~ 24:00 ・FTP 送信後のファイル削除: ON ・フォルダ/ファイル名の設定: 自動 	<ul style="list-style-type: none"> ・測定器設定条件によりイベントが発生したとき ・毎日 00:00 ・測定停止時 ・時系列ファイルが 20MB に達したとき
PQ3198 (*2)	電源品質アナライザ	<ul style="list-style-type: none"> ・実時間制御: ぴったり時間 ・繰り返し記録: 1 日 ・開始時刻: 00:00、終了時刻: 00:00 ・繰り返し回数: ∞ (GENNECT のみ設定可能値) ・FTP 送信後のファイル削除: ON ・フォルダ/ファイル名の設定: 自動 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日 00:00 ・測定停止時 (イベント発生時のファイル送信は不可)
PW3360, PW3365 (*3)	クランプオンパワーロガー	<ul style="list-style-type: none"> ・記録測定開始方法: 繰り返し ・記録繰り返し期間: 2000-01-01 ~ 2079-12-31 ・記録繰り返し時刻: 00:00 ~ 24:00 ・ファイル送信後のファイル削除: ON ・フォルダ分割: OFF の場合は DAY に変更 ・保存ファイル/フォルダ名: AUTO-NAME 	<ul style="list-style-type: none"> ・測定器設定条件によりイベントが発生したとき ・毎日 00:00 ・測定停止時 ・時系列ファイルが 20MB に達したとき
PW8001	パワーアナライザ	<ul style="list-style-type: none"> ・自動保存: ON ・送信後ファイル削除: ON ・マニュアル保存設定・FTP サーバーへの保存: OFF 	<ul style="list-style-type: none"> ・測定停止時, DATA RESET 時 ・ファイルサイズが 500MB に達したとき ・波形保存時 ・設定ファイル保存時 ・画面コピー保存時 (※マニュアル保存した測定データはファイル転送(自動)には非対応)
LR8400, LR8401, LR8402 LR8410 LR8416	メモリハイロガー ワイヤレスロギングステーション ワイヤレス熱流ロガー	<ul style="list-style-type: none"> ・記録時間設定: 連続記録 ・自動保存設定: 波形または CSV (演算ファイルは非対応) ・削除保存: ON ・分割保存: ※ON/定時 ※自動保存設定時は以下に変更 分割保存: 定時 	<ul style="list-style-type: none"> ・分割保存で設定した時刻に達したとき ・測定停止時

		分割時間:1 日 基準時刻:00:00	
LR8450, LR8450-01	メモリハイロガー	<ul style="list-style-type: none"> ・記録時間設定:連続記録 ・自動保存設定:波形または CSV(演算ファイルは非対応)または MDF 形式 ・削除保存:ON ・分割保存:※ON ※自動保存設定時は以下に変更 分割時間:1 日 基準時刻:測定開始時刻 [FTP データ自動送信設定] <ul style="list-style-type: none"> ・接続の保護:なし ・送信済ファイル削除:ON 	<ul style="list-style-type: none"> ・分割保存で設定した分割時間に達したとき ・測定停止時
LR8101, LR8102	データロガー	<ul style="list-style-type: none"> ・記録時間設定:連続記録 ・自動保存設定:ON, MEM 形式(*1) ・削除保存:ON ・分割保存:ON ・分割時間:1 日 ・基準時刻:0:00 <ul style="list-style-type: none"> ・接続の保護:なし ・送信済ファイル削除:ON 	<ul style="list-style-type: none"> ・分割保存で設定した分割時間に達したとき ・測定停止時 *1:記録間隔や使用チャンネル数の設定によっては、自動保存設定を ON にできない場合があります。詳細については、測定器の取扱説明書をご確認ください。
MR6000 (*4)	メモリハイコーダ	<ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイム保存:OFF ・自動保存:※ON ※自動保存設定対象が OFF の場合、以下に変更 波形保存:ON 保存種類:バイナリー 保存方法:削除保存 ファイル分割:64MB <ul style="list-style-type: none"> ・分割保存設定 設定がバイナリーで 0 の場合:64 に変更 設定がテキストで 0 の場合:1000000 に変更 <ul style="list-style-type: none"> ・保存ファイル名:AUTO ・バックアップ保存設定:ON(*1) ・バックアップ保存先:SD/USB/SSD/HDD (*5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動保存機能を使用し、測定器設定条件により測定完了したとき (リアルタイム保存による自動送信は非対応) *4: 本体バージョンが V3.00 以降の場合に有効になります。 *5: <ul style="list-style-type: none"> ・複数の保存先が存在する場合、SD, USB, SSD/HDD の順に優先して設定します。 ・どの保存先も存在しない場合、バックアップができません。この場合、FTP 送信に失敗したファイルは保存できず失われてしまうため、ご注意ください。

*1: GENNECT One V5.40 より PQ3100 では以下の設定の場合に自動保存設定を変更せずにファイル転送を開始します。

- ・記録開始方法が ”時刻指定” かつ記録停止方法が “手動” の場合
- ・記録開始方法が “繰り返し” の場合

上記設定の場合でも ”フォルダ/ファイル名” は “自動” に変更されます。

*2: GENNECT One V5.40 より PQ3198 では以下の設定の場合に自動保存設定を変更せずにファイル転送を開始します。

- ・ 実時間制御が ”びったり時間” かつ繰り返し記録が “1 日” の場合
- ・ 実時間制御が “時刻指定” かつ繰り返し記録が “OFF” または “1 日” の場合 の場合

*3: GENNECT One V5.40 より PW3360, PW3365 では以下の設定の場合に自動保存設定を変更せずにファイル転送を開始します。

- ・ 記録開始方法が ”時刻指定” かつ記録停止方法が “手動” の場合
- ・ 記録開始方法が “繰り返し” の場合

エラーコード一覧

ファイル転送(自動)開始時の設定で失敗した場合、対応するエラーコード・メッセージを参照し、手動で設定を行ってください。

エラーコード	メッセージ	対策(手動設定) ※管理者権限が必要
001	FTP 用ユーザを作成できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールパネル/システムとセキュリティ/管理ツール/コンピューターの管理/システムツール-ローカルユーザとグループ-ユーザを右クリック、新しいユーザをクリック ユーザ名:ONE_FTP パスワード:P@SSWORD00 ・「ユーザは次回ログイン時にパスワードの変更が必要」のチェックをはずす ・「パスワードを無期限にする」のチェックをはずす
002	FTP 用ユーザのパスワードを設定できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールパネル/システムとセキュリティ/管理ツール/コンピューターの管理/システムツール-ローカルユーザとグループ-ユーザ ・ ONE_FTP が存在しない場合は「001」の対策(手動設定)手順でユーザを作成 ・ ONE_FTP が存在する場合は 右クリック/プロパティ/「パスワードを無期限にする」にチェック
003	FTP 用ユーザの設定を変更できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールパネル/システムとセキュリティ/管理ツール/コンピューターの管理/システムツール-ローカルユーザとグループ-ユーザ ・ ONE_FTP が存在しない場合は「001」の対策(手動設定)手順でユーザを作成 ・ ONE_FTP を右クリック/プロパティ/所属するグループで Users を選択し「削除」で Users が消えたことを確認し「OK」
004	FTP 用フォルダーの設定を変更できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・GENNECT One インストールパスに移動(デフォルトは C:¥Program Files (x86)¥HIOKI¥HIOKI GENNECT Cross¥FTP)し、直下にある「hioki_one_ftp」フォルダーを右クリック ・プロパティ/セキュリティの「編集」を選択 ・グループ名またはユーザ名に ONE_FTP がいなければ「追加」を選択、「選択するオブジェクト名を入力してください」に「ONE_FTP」を入力し「OK」 ・ ONE_FTP を選択し「許可」の「フルコントロール」にチェックを入れる
005	Windows ファイアウォール (FTP 用)を設定できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールパネル/システムとセキュリティ/Windows ファイアウォールの「詳細設定」で受信の規則を選択し「新しい規則」を選択 規則の種類:「ポート」 プロトコル:「TCP」 対象:「特定のローカルポート」、「21」

		<p>操作:「接続を許可する」</p> <p>プロファイルの適用:「ドメイン、プライベート、パブリック」(3 つすべてにチェック)</p> <p>名前:「GENNECT One」 として「完了」</p>
006	Windows ファイアウォール (PASV モード用)を設定できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> コントロールパネル/システムとセキュリティ/Windows ファイアウォールの「詳細設定」 で受信の規則を選択し「新しい規則」を選択 規則の種類:「ポート」 プロトコル:「TCP」 対象:「特定のローカルポート」、「65000-65020」 操作:「接続を許可する」 プロファイルの適用:「ドメイン、プライベート、パブリック」(3 つすべてにチェック) 名前:「GENNECT One(PASV)」 として「完了」
007	config フォルダの設定ができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> FTP サーバーが導入されていない場合は「101」の FTP サーバー導入に成功後に設定 C:\Windows\System32\inetrv\config をダブルクリック (アクセス許可のダイアログが出たら「続行」) 「config」フォルダを右クリックしてプロパティ/セキュリティの「編集」を選択 グループ名またはユーザ名に Everyone がいなければ「追加」を選択 「選択するオブジェクト名を入力してください」に「Everyone」を入力し「OK」 Everyone を選択し「許可」の「フルコントロール」にチェックを入れ「OK」 (セキュリティのダイアログが表示されたら「はい」)
101	FTP サーバーを導入できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> コントロールパネル/プログラムと機能/Windows の機能の有効化または無効化 を選択 インターネットインフォメーションサービスの FTP サーバー、FTP サービスと Web 管理ツール、IIS 管理コンソール をチェックし「OK」
102	FTP サーバーを構築できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> コントロールパネル/システムとセキュリティ/管理ツール/インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャー を起動 「サイト」を選択し「FTP サイトの追加」を選択 FTP サイト名を「one.hioki.co.jp」、物理パスを「GENNECT One のインストールパス\hioki_one_ftp」(デフォルトは C:\Program Files (x86)\HIOKI\HIOKI GENNECT Cross\FTP\hioki_one_ftp) として「次へ」 SSL は「許可」(SSL の許可以外はデフォルト)で「次へ」 認証は「基本」、アクセスの許可は「指定されたユーザー」で「ONE_FTP」を指定、アクセス許可は「読み取り」「書き込み」両方にチェックし「終了」
103	FTP サーバーのフォルダを設定できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> コントロールパネル/システムとセキュリティ/管理ツール/インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーを起動 「サイト」を展開し「one.hioki.co.jp」を右クリックし「FTP サイトの管理/詳細設定」 物理パスを「GENNECT One のインストールパス\hioki_one_ftp」(デフォルトは C:\Program Files (x86)\HIOKI\HIOKI GENNECT Cross\FTP\hioki_one_ftp)として「OK」

104	FTP サーバーの SSL 接続設定ができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールパネル/システムとセキュリティ/管理ツール/インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャーを起動 ・「サイト」を展開し「one.hioki.co.jp」をクリックし「FTP の SSL 設定」をダブルクリック ・SSL ポリシーを「SSL 接続を許可する」にチェックし「適用」
105	FTP サーバーの接続許可設定ができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールパネル/システムとセキュリティ/管理ツール/インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャーを起動 ・「サイト」を展開し「one.hioki.co.jp」をクリックし「FTP IPv4 アドレスとドメインの制限」をダブルクリック ・「機能設定の編集」をクリックし「特定できないクライアントへのアクセス」を「許可」にして「OK」
106	FTP サーバーの認証設定ができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールパネル/システムとセキュリティ/管理ツール/インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャーを起動 ・「サイト」を展開し「one.hioki.co.jp」をクリックし「FTP 認証」をダブルクリック ・「基本認証」をクリックし「有効にする」をクリック
107	FTP サーバーの認証規則を設定できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールパネル/システムとセキュリティ/管理ツール/インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャーを起動 ・「サイト」を展開し「one.hioki.co.jp」をクリックし「FTP の承認規則」をダブルクリック ・「許可規則の追加」をクリックし「指定されたユーザー」にチェックを入れ、「ONE_FTP」を入力し、アクセス許可の「読み取り」と「書き込み」の両方にチェックを入れ「OK」
108	FTP サーバーのファイアウォールポートを設定できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールパネル/システムとセキュリティ/管理ツール/インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャーを起動 ・接続のトップにあるローカルホストをクリックし「FTP ファイアウォールのサポート」をダブルクリック ・「データ チャネルのポート範囲」に「65000-65020」を入力し「適用」
109	FTP サーバーのファイアウォール IP アドレスを設定できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールパネル/システムとセキュリティ/管理ツール/インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャーを起動 ・「サイト」を展開し「one.hioki.co.jp」をクリックし「FTP ファイアウォールのサポート」をダブルクリック ・「ファイアウォールの外部 IP アドレス」に PC の IP アドレスを入力して「適用」
110	FTP サーバーのログフィールドを設定できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールパネル/システムとセキュリティ/管理ツール/インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャーを起動 ・「サイト」を展開し「one.hioki.co.jp」をクリックし「FTP ログ」をダブルクリック ・「W3C フィールドの選択」をクリックし「日付 (date)」「時刻 (time)」「クライアント IP アドレス (c-ip)」「メソッド (cs-method)」「完全なパス (x-fullpath)」にチェックを入れ「OK」、「適用」
111	FTP サーバーのログ保存フォルダを設定できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールパネル/システムとセキュリティ/管理ツール/インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャーを起動 ・「サイト」を展開し「one.hioki.co.jp」をクリックし「FTP ログ」をダブルクリック

		<ul style="list-style-type: none"> ・「ディレクトリ」の「参照」を選択し「GENNECT One のインストールパス¥ftpLog」(デフォルトは「C:¥Program Files (x86)¥HIOKI¥HIOKI GENNECT Cross¥FTP¥ftpLog」)を選択(なければ「新しいフォルダーの作成」で追加)し「OK」、「適用」
201	Windows ファイアウォールにより通信ポートが制限されています。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールパネル/システムとセキュリティ/Windows ファイアウォールの「詳細設定」で「受信の規則」を選択 ・ポート番号 21 および 65000-65020 を制限している規則を無効にする
301	FTP サーバーと通信できません。	<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールパネル/システムとセキュリティ/管理ツール/インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーを起動 ・「サイト」を選択し、状態が「開始済み(ftp)」になっているサイトを選択し「停止」one.hioki.co.jp を選択し「開始」

測定器から手動でファイルを取得する（ファイル取得（手動）機能）

- ・測定器の外部ストレージや外部メディアからファイルを取得します。
- ・PQ3100を除いて、内部メモリからファイルを取得することはできません。
- ・測定器が記録中（自動保存中）の状態でのファイル取得は測定器本体の測定に影響を与える可能性があります。測定器の記録（自動保存）を停止してから、本機能でファイルを取得してください。

対応測定器

ファイル取得（手動）は次の測定器に対応しています。

形名	品名	対応バージョン
PQ3100	電源品質アナライザ	V2.30 以降
PQ3198	電源品質アナライザ	V1.10 以降
PW3360	クランプオンパワーロガー	V3.20 以降
PW3365	クランプオンパワーロガー	V2.10 以降
PW3390	パワーアナライザ	V2.01 以降
PW6001	パワーアナライザ	V3.02 以降
PW8001	パワーアナライザ	V1.00 以降
LR8400, LR8401, LR8402	メモリハイロガー	V1.28 以降
LR8410	ワイヤレスロギングステーション	V1.42 以降
LR8416	ワイヤレス熱流ロガー	V1.42 以降
LR8450 LR8450-01	メモリハイロガー	V1.20 以降
LR8101 LR8102	データロガー	V1.02 以降
MR6000	メモリハイコーダ	V2.12 以降

制限

ファイル取得（手動）に関する制限

項目	制限値	備考
同時取得可能台数	1 台	
通信インタフェース	LAN	
通信プロトコル	FTP	PW3390 は通信コマンドを使用

通信に関する制限

項目	制限値	備考
インタフェース	LAN	
自動検索のネットワーク範囲	□.□.□.2 - □.□.□.254 ※コンピューターと同一のネットワーク範囲に限る	
DHCP	非対応	

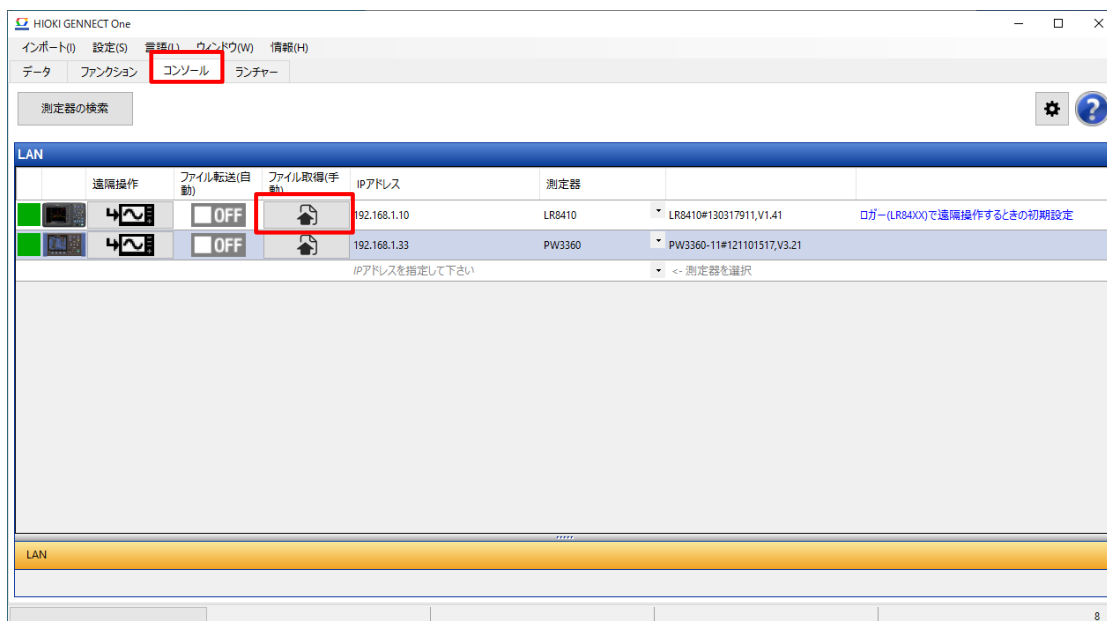
操作の流れ


コンピューターと測定器を接続する（LAN）

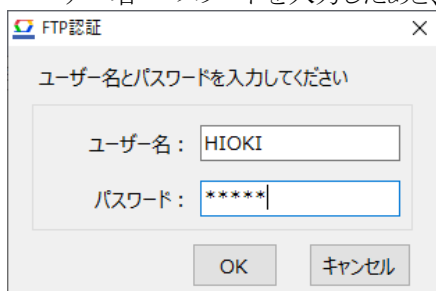
ファイル取得（手動）を開始する

ファイル取得（手動）を開始する

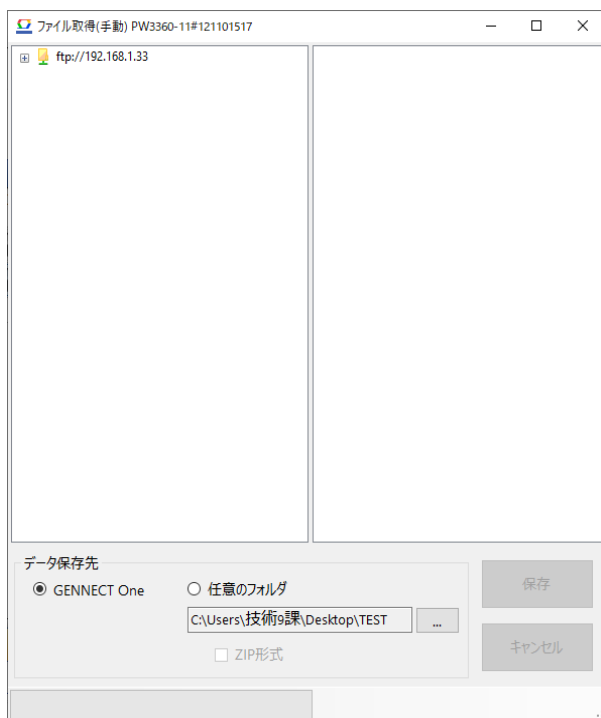
1. メイン画面の[コンソール]タブを選択します。



2. [LAN]のナビゲーションバーを選択します。
3. [ファイル取得(手動)]ボタン()をクリックします。
4. 測定器に FTP サーバーの認証設定がされている場合は、[FTP 認証]画面が開きます。ユーザー名・パスワードを入力したあと、[OK]ボタンをクリックします。



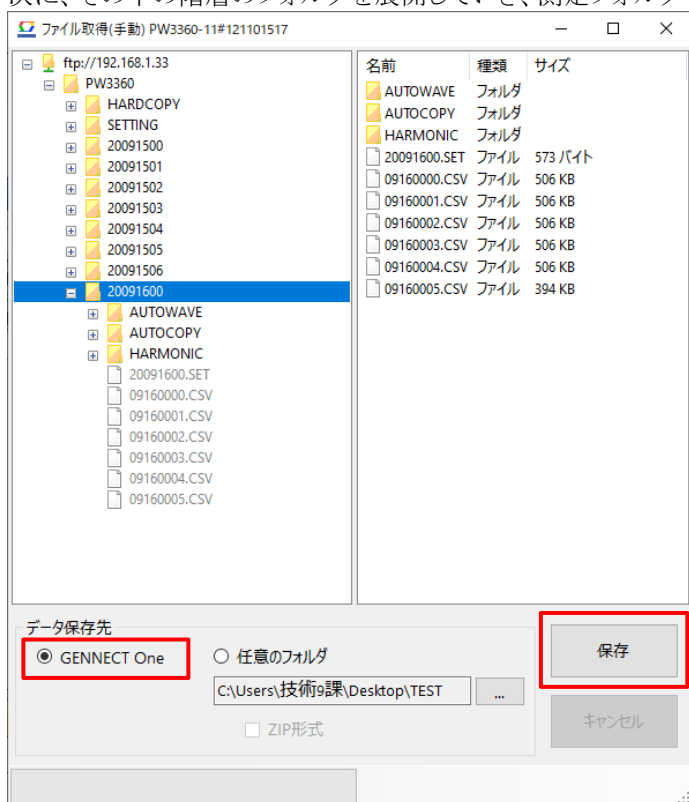
5. [ファイル取得(手動)]画面が開きます。この画面で測定器の外部ストレージや外部メディアからファイルを取得することができます。



注記

※ PW3360 を選択してファイル取得(手動)を開始した場合を例にして操作方法を説明します。

- 画面左側のツリーで「ftp://192.168.1.33」のルートフォルダ をクリックして展開します。
次に、その下の階層のフォルダを展開していき、測定フォルダ(日付フォルダ)を選択します。



注記

※ 測定器毎に選択可能な測定ファイルについては「対象ファイル一覧」の表を参照してください。

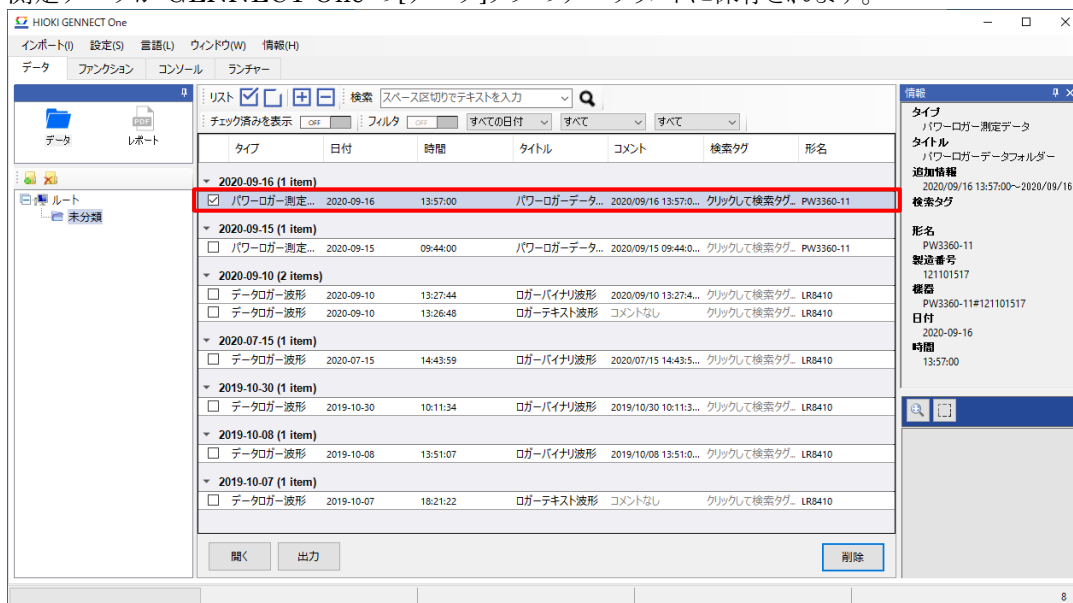
- [データ保存先]に[GENNECT One]を選択して、[保存]ボタンをクリックします。

注記

※ ファイルの種類によっては、保存先に[GENNECT One]を選択できない場合があります。詳細は以下を参照してください。

[対応ファイル](#)

8. 測定データが GENNECT One の[データ]タブのデータリストに保存されます。



注記

- ※ [データ保存先]に[任意フォルダ]を選択して、[保存]ボタンをクリックすると測定データフォルダが任意のフォルダに保存されます。
- ※ [データ保存先]が[任意フォルダ]の場合に、[ZIP形式]をチェックして[保存]ボタンをクリックすると、測定データフォルダをZIP圧縮して任意のフォルダに保存します。

インポートのメニューを利用する / ドラッグ&ドロップする

ローカル PC 内に保存されている測定データを GENNECT One にインポートします。

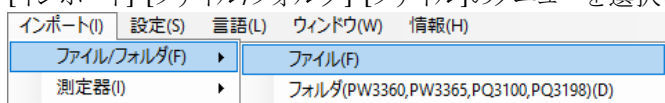
- 複数フォルダ/ファイルの選択が可能です。
- 測定器と PC の LAN 接続は不要です。
- GENNECT One にインポート可能なファイル種類については、以下を参照してください。

[対応ファイル](#)

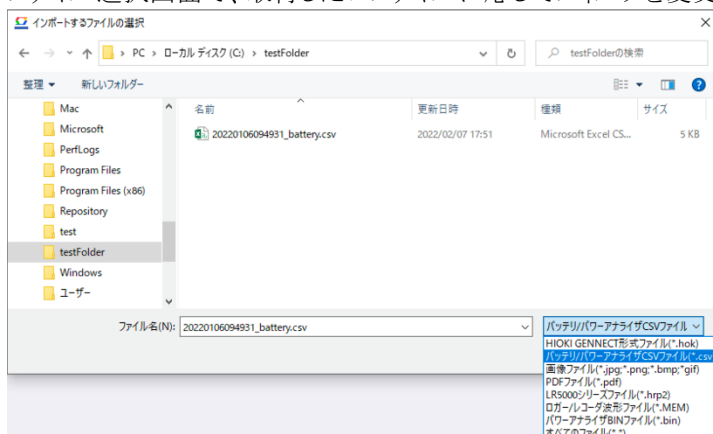
インポートのメニューを利用する

ファイルの場合

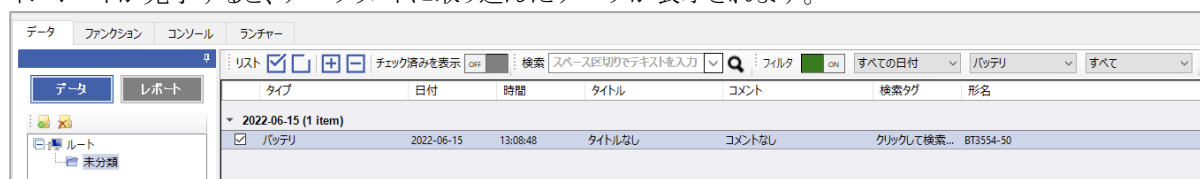
1. [インポート]-[ファイル/フォルダ]-[ファイル]のメニューを選択します。



2. ファイル選択画面で、取得したいファイルに応じてフィルタを変更します。

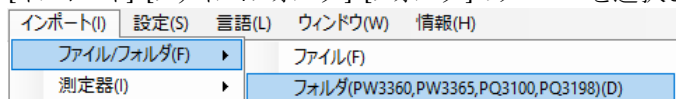


3. ファイルを選択して[開く]をクリックします。
インポートが完了すると、データリストに取り込んだデータが表示されます。

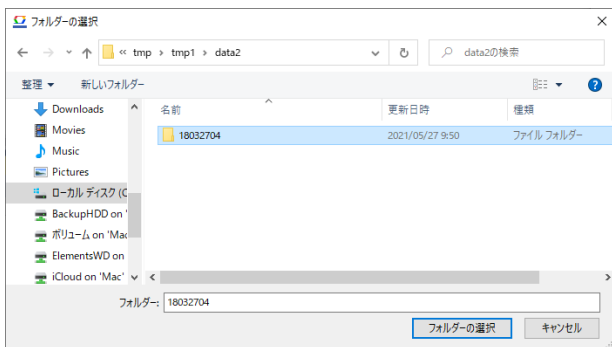


フォルダの場合 (PW3360, PW3365, PQ3100, PQ3198)

1. [インポート]-[ファイル/フォルダ]-[フォルダ]のメニューを選択します。



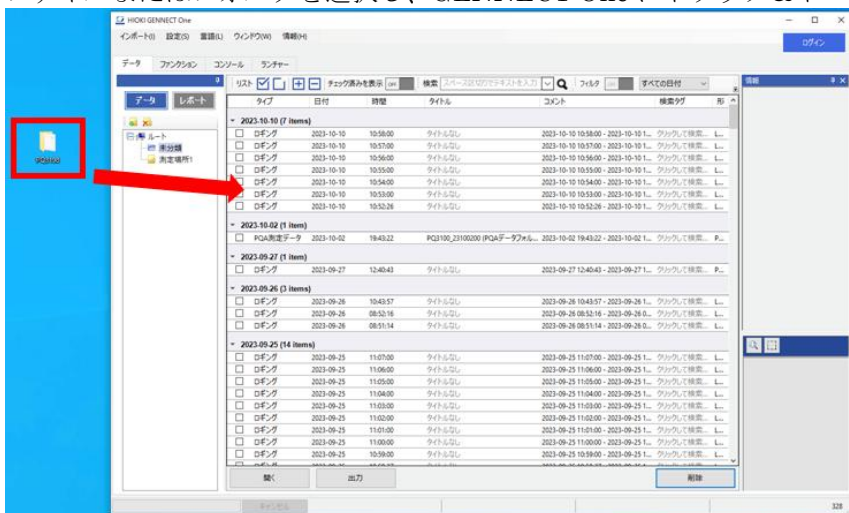
2. フォルダ選択画面でインポートしたい測定データフォルダを選択して[フォルダの選択]ボタンをクリックします。



3. インポートが完了すると、データリストに取り込んだデータが表示されます。

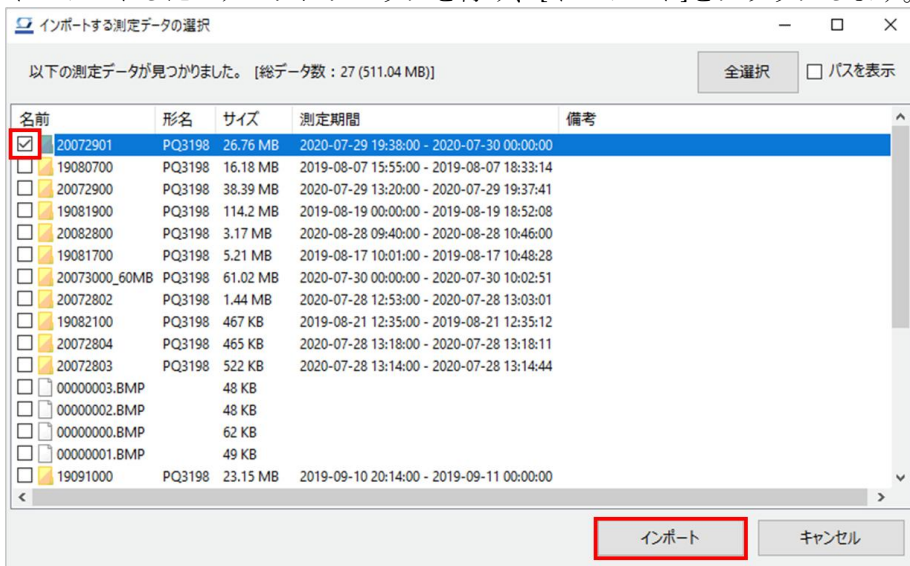
ファイルフォルダをドラッグ&ドロップする

1. ファイルまたはフォルダを選択し、GENNECT One にドラッグ&ドロップします。



2. 複数ファイル、またはフォルダをドラッグ&ドロップした場合、[インポートする測定データの選択]画面が表示されます。

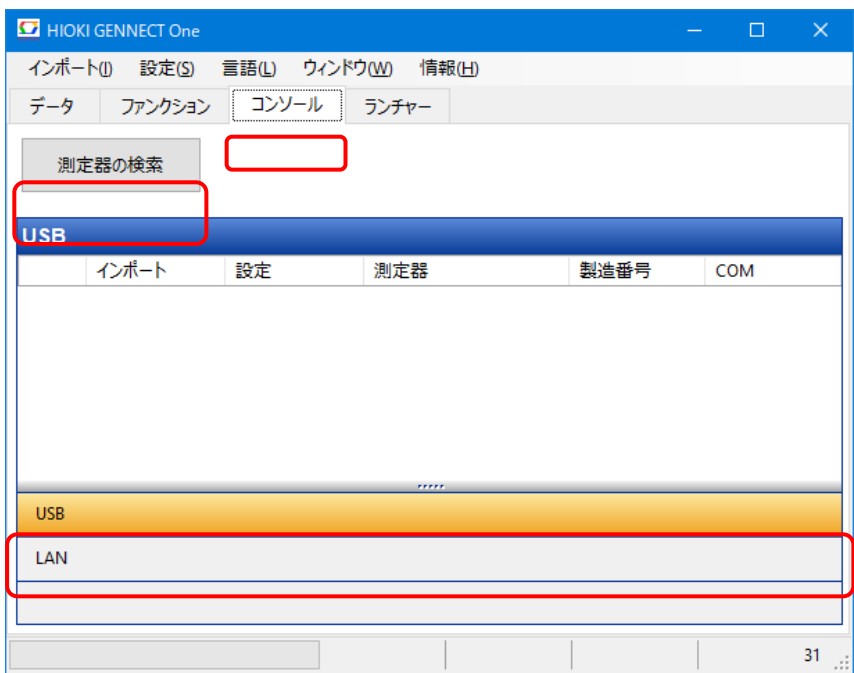
インポートしたいデータにチェックを付け、[インポート]をクリックします。



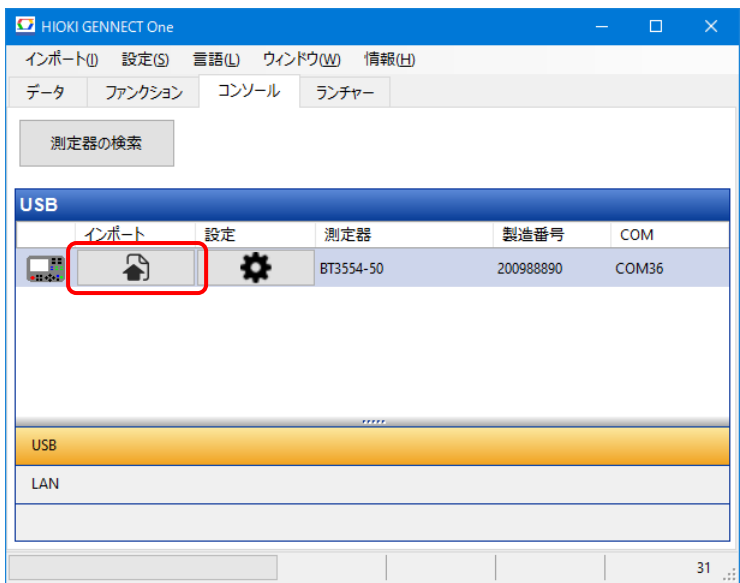
3. インポートが完了すると、データリストに取り込んだデータが表示されます。

バッテリーテスタ BT3554/BT3554-01/BT3554-50 からデータをインポートする

1. バッテリーテスタとコンピューターを接続します。
- ※ バッテリーテスタと USB で通信するためには、コンピューターに、専用の USB ドライバーがインストールされている必要があります。
- ※ BT3554 シリーズ用の USB ドライバーをインストールする方法については、次を参照してください。
- [USB ドライバーをインストールする](#)
- ※ 旧製品の 3554 用 USB ドライバーをインストールする方法については、本体に付属の取扱説明書を参照してください。
また、旧製品の 3554 は、Windows 8.0 以降のコンピューター上では動作しませんのでご注意ください。
2. 本アプリケーションを起動します。
3. [コンソール]タブを選択します。[USB]のインタフェースを選択して、[測定器の更新]ボタンをクリックします。



4. 接続されている測定器の、 ボタンをクリックして、データの取り込みを開始します。



5. [バッテリーテスタからインポート]の画面が表示されますので、取り込みたいメモリのユニットを選択して、保存先に[データベース]を選択します。[インポート]ボタンをクリックします。



※ 保存先に[CSV ファイル]を選択した場合は、データは GENNECT One に保存されません。
指定した CSV ファイルにテキストデータとして保存されます。

6. インポートが完了すると、[データ]の[未分類]グループに、バッテリーテスタから取り込んだデータが保存されます。



データを見る

GENNECT One にインポートされた測定データを専用のビューワで閲覧・解析することができます。
GENNECT One にデータをインポートする手順については以下を参照してください。

➤ [データをインポートする](#)

GENNECT One にインポートされたデータの種類(データ形式(タイプ))により、対応するビューワが異なります。
詳細は次項をご参照ください。

*データ形式(タイプ)とは、GENNECT One 内で定義されたデータの分類です。測定器本体のデータの分類名とは異なる場合があります。

対応ビューワ

データ形式(タイプ)	種別	形名	対応ビューワ
ロギング	ファイル (.hok)	ロギング/ダッシュボード機能 で取得したデータ	・時系列ビューワ(*1) (旧ロギングビューワ)
PQA 測定データ	フォルダ	PQ3100 PQ3198	・PQ ONE(*2)
パワーロガーデータフォルダ	フォルダ	PW3360 PW3365	・時系列ビューワ(*1) ・パワーロガービューワ SF1001(*3)
ロガーバイナリ波形	ファイル (.MEM)	LR8400, LR8401, LR8402 LR8410, LR8416 LR8450, LR8450-01(*8) LR8101, LR8102	・時系列ビューワ(*1) ・ロガーユーティリティ(*4)
パワーアナライザ測定データ	ファイル (.BIN)	PW8001	・時系列ビューワ(*1)
パワーアナライザ測定データ	ファイル (.CSV)	PW3390 PW6001 PW8001	・PW Assistant(*1)
メモリハイコーダ波形	ファイル (.mem, .rec)	MR6000 MR8875 MR8847A	・波形ビューワ Wv(*5) ・ウェーブプロセッサ 9335 (*6) ・MR6000Viewer (*7)
LR5000 シリーズ測定データ	ファイル (.hrp2)	LR5001, LR5011, LR5021 LR5031 LR5041, LR5042, LR5043 LR5061	・時系列ビューワ(*1)
バッテリー	ファイル (.hok)	BT3554, BT3554-01, BT3554-50, 3554	・バッテリービューワ
標準測定 ロギング(GENNECT Cross 形式)	ファイル (.hok)	GENNECT Cross 対応測定 器	・HOK ビューワ ・標準測定ビューワ ・ロギングビューワ
上記以外	—	—	お使いの PC で既定のビューワプログラ ムが起動します。

*1: GENNECT One の専用ビューワです。GENNECT One のインストール時に自動でインストールされます。

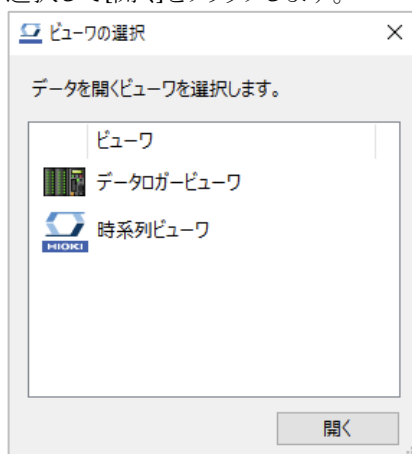
- *2: 別途インストールする必要があります。インストール方法は電源品質アナライザ PQ3100 の取扱説明書を参照してください。
- *3: 別途インストールする必要があります。インストール方法はパワーロガービューワ SF1001 の取扱説明書を参照してください。
GENNECT One が対応するパワーロガービューワのバージョンは V4.50.0 以降です。V4.00.0 以前のバージョンをお使いの場合は、最新版にバージョンアップしてください。
- *4: 別途インストールする必要があります。インストール方法はデータロガーの取扱説明書を参照してください。
- *5: 別途インストールする必要があります。インストール方法は MR8875 メモリハイコーダの取扱説明書を参照してください。
- *6: 別途インストールする必要があります。インストール方法はウェブプロセッサ 9335 の取扱説明書を参照してください。
- *7: 別途インストールする必要があります。インストール方法は MR6000 メモリハイコーダの取扱説明書を参照してください。
- *8:
 - LR8450 本体のファームウェアバージョンが V1.50 以降の状態で作成されたファイルが対象です。
 - CAN ユニット U8555, ワイヤレス CAN ユニット LR8535 を使用して作成された測定ファイル(.mem)は、時系列ビューワでのみ閲覧可能です。LoggerUtility では閲覧できません。

操作手順

1. [データ]タブを選択します。
2. データリスト上で閲覧したいデータを選択し[開く]をクリックするか、ダブルクリックします。

タイプ	日付	時間	タイトル	コメント	検索タグ	形名
▼ 2021-12-23 (1 item)						
<input type="checkbox"/>	PQA測定データ	2021-12-23	15:56:14	PQAデータフォルダー	スタートイベントストップイベント	クリックして検索... PQ3100
▼ 2021-12-16 (1 item)						
<input type="checkbox"/>	PQA測定データ	2021-12-16	00:00:00	PQAデータフォルダー	スタートイベント	クリックして検索... PQ3100
▼ 2021-12-15 (2 items)						
<input checked="" type="checkbox"/>	データロガー-波形	2021-12-15	17:46:26	AUTO_211215_174626_0001.MEM (...	2021-12-15 17:46:26 - 2021-12-15 1...	クリックして検索... LR8450-01
<input type="checkbox"/>	時系列測定デ...	2021-12-15	17:46:26	AUTO_211215_174626_0001.MEM (...	2021/12/15 17:46:26 - 2021/12/15 1...	クリックして検索... LR8450-01
▼ 2021-11-17 (1 item)						
<input type="checkbox"/>	PQA測定データ	2021-11-17	14:31:00	21111700 (PQAデータフォルダー)	2021-11-17 14:31:00 - 2021-11-17 1...	クリックして検索... PQ3198
▼ 2021-10-19 (1 item)						
<input type="checkbox"/>	データロガー-波形	2021-10-19	12:20:10	AUTO0001.MEM (ロガー(バイナリ)波形)	2021-10-19 12:20:10 - 2021-10-19 1...	クリックして検索... LR8450-01
▼ 2021-10-01 (9 items)						
<input type="checkbox"/>	ロギング	2021-10-01	13:00:00	タイトルなし	2021-10-01 13:00:00 - 2021-10-01 1...	クリックして検索... IM2704,PQ3100

3. 選択したデータに対応するビューワが自動で起動します。
対応するビューワが複数ある場合は[ビューワの選択]画面に対応するビューワ一覧が表示されますので、ビューワを選択して[開く]をクリックします。



測定データを時系列ビューワで見る

・時系列ビューワは、GENNECT One 独自のビューワです。
 ・測定データを時系列ビューワ形式にインポートすることで、異なる測定器で測定した測定データを同一の時系列に描画し、閲覧・解析をすることができます。

・測定データを時系列ビューワで開くには、事前に測定データを GENNECT One のデータリストにインポートする必要があります。測定データを GENNECT One のデータリストにインポートする方法については以下を参照してください。

[データをインポートする](#)

時系列ビューワで閲覧可能なデータ形式(タイプ)については、以下を参照してください。

[対応ビューワ](#)

制限

時系列ビューワに関する制限

項目	制限値	備考
測定項目数(読み込み)	最大 512 項目	
測定項目数(グラフ表示)	最大 32 項目	
グラフ表示画面切り替え可能数	最大 8 画面	
グラフ表示画面分割数	最大 2 画面	

操作の流れ

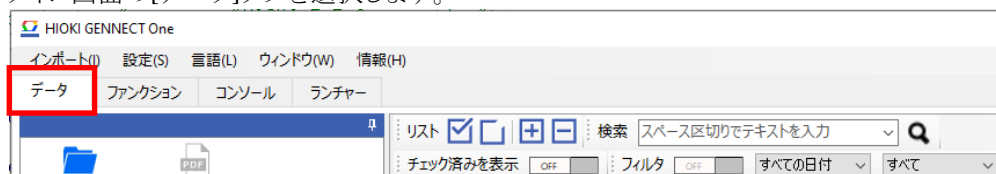
測定データを選択する (p.50)

測定項目を選択して時系列ビューワで開く (p.52)

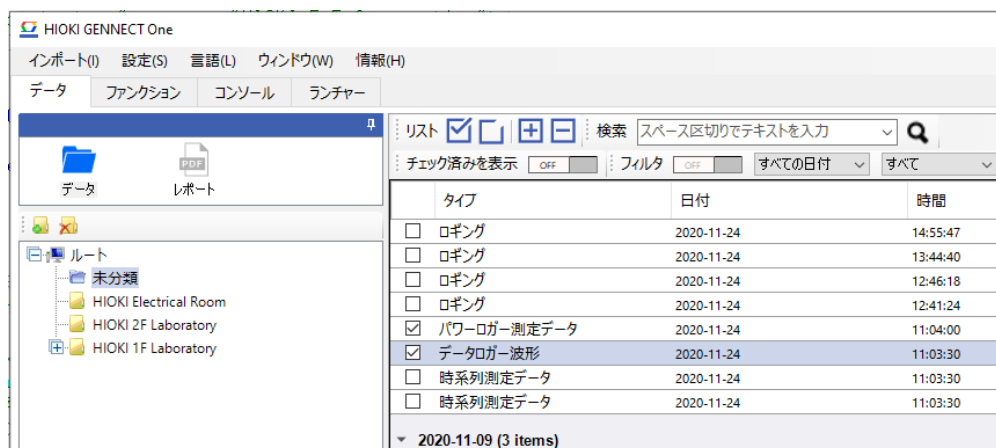
時系列ビューワの操作方法 (p.54)

測定データを選択する

1. メイン画面の[データ]タブを選択します。



2. データリスト上で時系列ビューワに対応した形式のデータを選択します。



注記

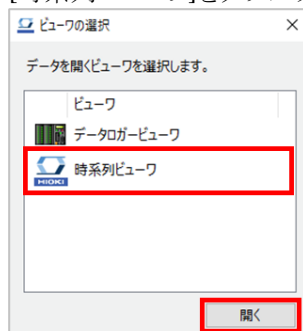
※ 時系列ビューワに対応したデータ形式は以下を参照してください。

対応ビューワ

3. [開く]ボタンをクリックします。

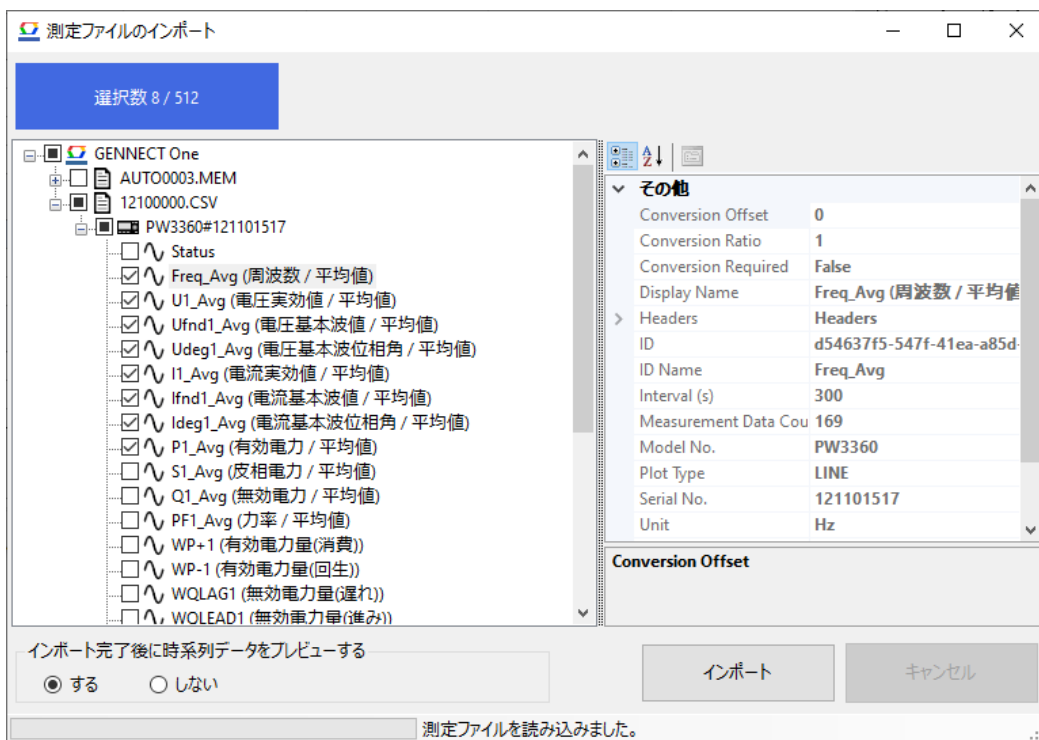
注記

※ データが[時系列ビューワ]以外のビューワでサポートされている場合は、[ビューワの選択]画面が表示されます。
[時系列ビューワ]をダブルクリックするか、[時系列ビューワ]を選択して[開く]ボタンをクリックします。



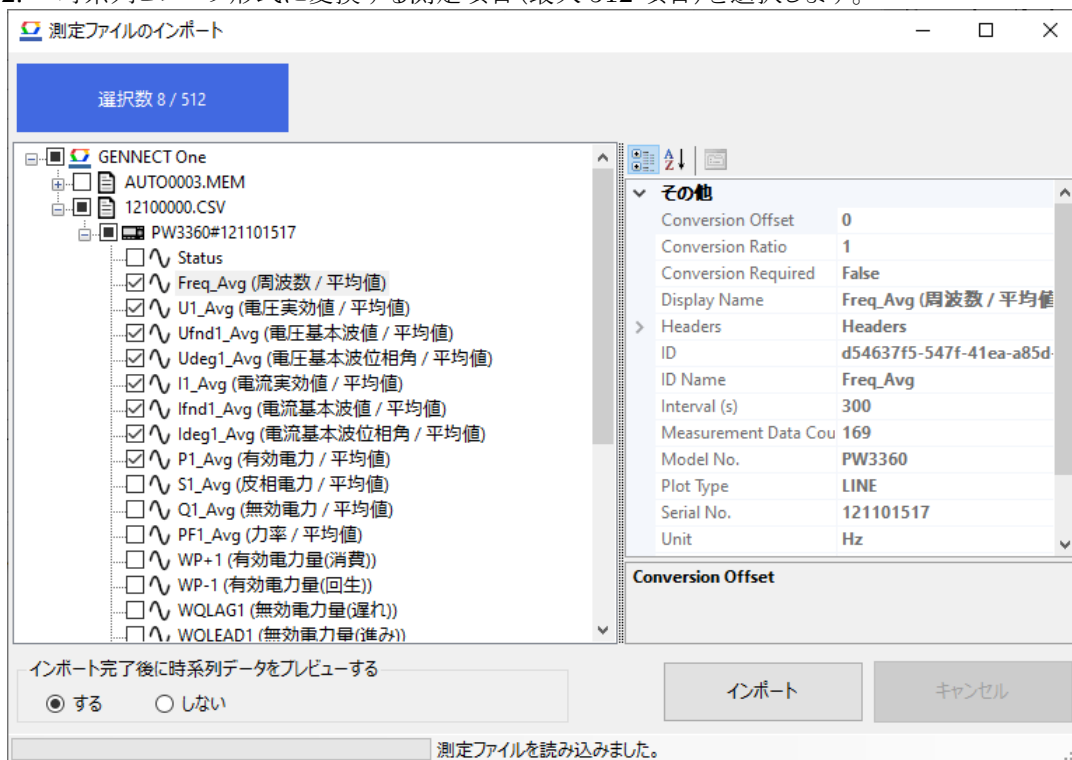
※ [キャンセル]ボタンをクリックすると時系列ビューワ形式への変換が中止されます。

4. [測定ファイルのインポート]画面が表示されます。



測定項目を選択して時系列ビューワで開く

1. [測定ファイルのインポート]画面左側のツリーを展開します。
2. 時系列ビューワ形式に変換する測定項目(最大 512 項目)を選択します。

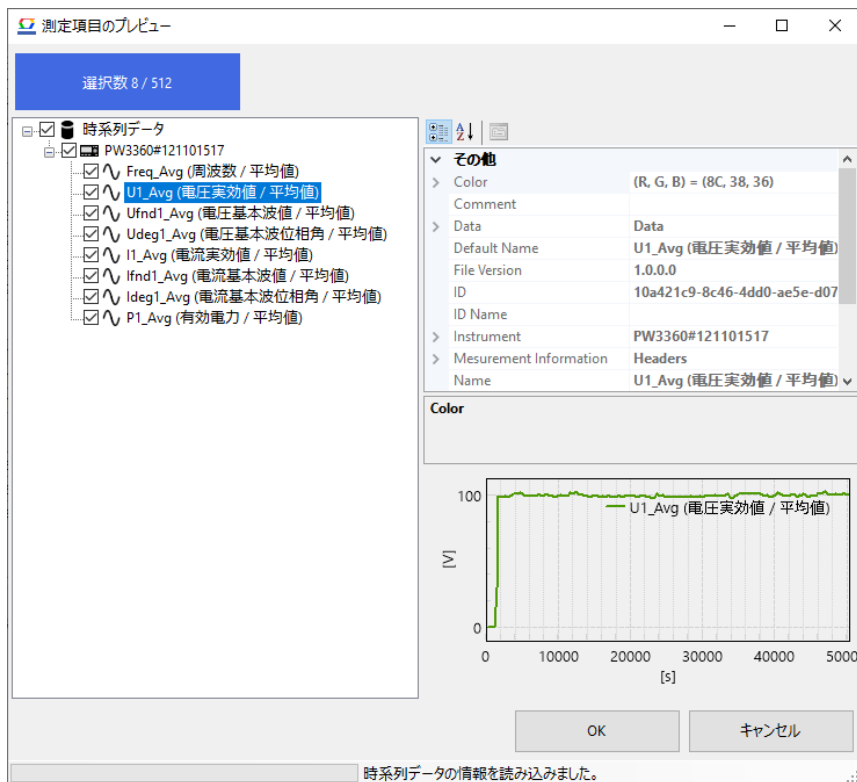


3. [インポート]ボタンをクリックします。
 選択した測定項目が時系列ビューワ形式に変換されます。
 インポートが完了すると、「インポートが完了しました。」のメッセージが表示されます。

注記

- ※ [インポート完了後に時系列データをプレビューする]で[しない]を選択している場合は、インポート完了後に時系列ビューが開かれます。
- ※ [インポート完了後に時系列データをプレビューする]で[する]を選択している場合は、インポート完了後に以降の手順に進みます。

4. [測定項目のプレビュー]画面が表示されます。
5. 左側のツリーを展開すると、インポートが完了した測定項目が表示されています。
(データロガーの各チャンネルにコメントが保存されている場合はチャンネル表示名のあとに括弧でコメントが表示されます。)



注記

- ※ 測定項目をクリックすると、右下に時系列ビュー形式に変換された波形のプレビューが表示されます。
- ※ 時系列ビューに読み込まない測定項目は、測定項目左側のチェックボックスのチェックをはずします。

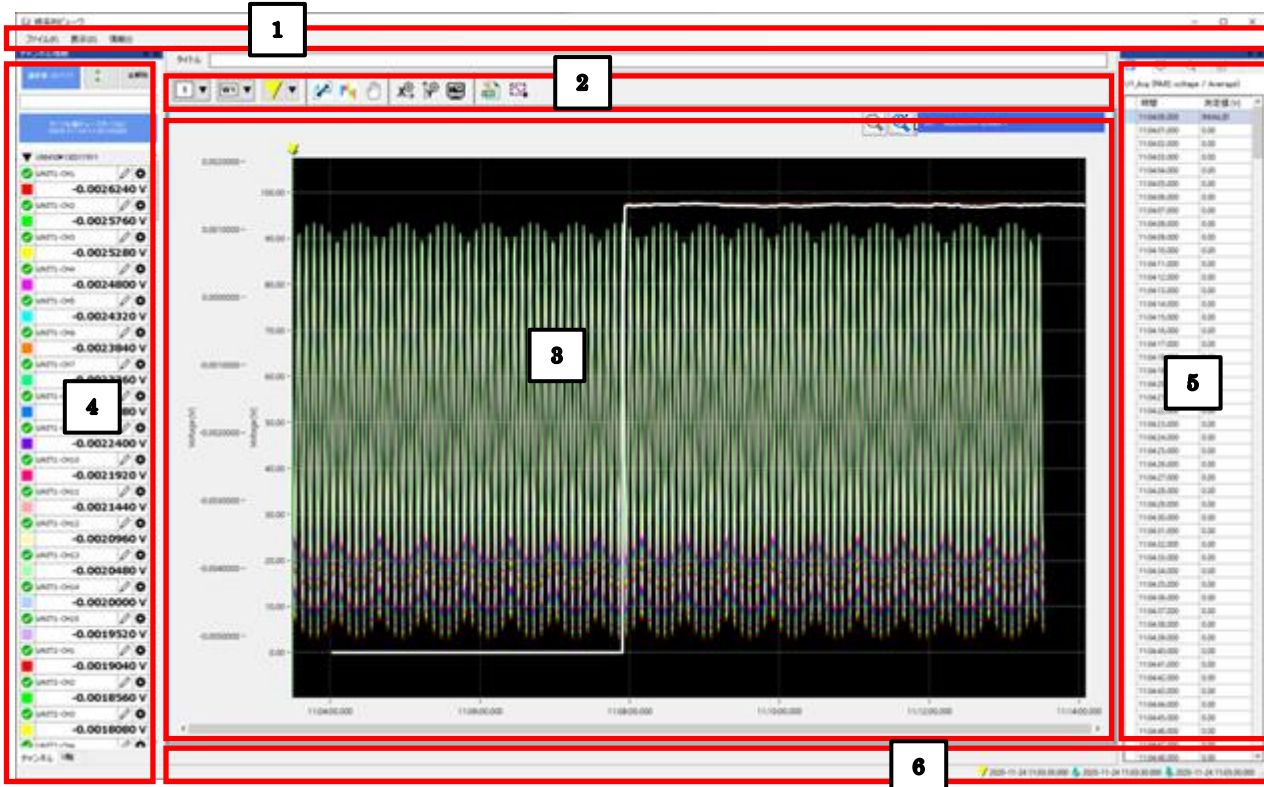
6. [OK]ボタンをクリックして選択した測定項目を時系列ビューで開きます。

注記

- ※ [キャンセル]ボタンをクリックすると測定項目のプレビューが中止されて、[測定ファイルのインポート]画面に戻ります。

時系列(ロギング)ビューワの操作方法

各部の名称



番号	名称	説明	詳細
①	メニューバー	本アプリケーションで使用するメニューです。	p.54
②	波形ツールボタン	波形の表示・操作に関するツールボタンです。	p.55
③	波形表示画面	波形を表示する画面です。 波形の拡大・縮小・スクロールなどの操作を行うことができます。	p.61
④	チャンネル情報パネル	測定項目(チャンネル)の選択や測定値・各種設定の表示/編集を行うことができます。	p.64
⑤	データ解析パネル	測定データリスト・イベントリスト・波形検索・統計解析・ABカーソル値リストなど測定データの解析を行うことができます。	p.68
⑥	ステータスバー	カーソル情報を表示します。	p.76

① メニューバー

本アプリケーションで使用するメニューには以下のものがあります。

項目名		説明
ファイル	保存	時系列ビューワの現在の状態を保存します。
	終了	時系列ビューワを終了します。
表示	波形	強調表示 オン :フォーカスのある波形を強調表示します。 オフ :フォーカスのある波形を強調表示しません。
		分割数
ウィンドウ		各ウィンドウの表示/非表示を切り替えます。 ・チャンネル情報 ・データ解析 ・ステータスバー
カーソル		各カーソルの表示/非表示を切り替えます。 ・A,Bカーソル ・水平 A,Bカーソル
イベント		各イベントマークの表示/非表示を切り替えます。



情報	バージョン情報	<ul style="list-style-type: none"> 任意イベント 検索イベント アプリケーションのバージョン情報を表示します。
----	---------	--

2 波形ツールボタン

波形の表示・操作に関するツールボタンです。



名称	説明	詳細															
	波形分割数 波形表示画面の分割数を切り替えます 1(分割無し), 2 分割のいずれかを指定できます。																
	ウィンドウ切り替え 波形表示画面上で有効にするウィンドウを W1~W8 のいずれかに切り替えます。 ウィンドウ切り替えの詳細は ▶ ウィンドウを切り替える (p.56) を参照してください。	p.56															
	カーソル切り替え 有効なカーソルをトレースカーソル、A カーソル、B カーソルのいずれかに切り替えます。 カーソルを移動する方法は ▶ カーソルを移動する (p.56) を参照してください。	p.56															
	全体表示 波形表示画面に表示されている波形を全体表示します。																
	位置調整 波形表示画面に表示されている波形の縦軸位置を調整します。 位置調整の詳細は ▶ 波形の縦軸位置を調整する (p.62) を参照してください。	p.56															
	移動 移動モードのオン/オフを切り替えます。 オン: マウス左ボタンのドラッグが波形の移動(スクロール)になります。 オフ: マウス左ボタンのドラッグが波形の矩形拡大になります。																
	時間軸表示 時間軸の表示方法を切り替えます。 絶対時間: 時間軸の表示方法が絶対時間に切り替わります。 絶対時間の表示形式: <table border="1" data-bbox="655 1290 1334 1512"> <thead> <tr> <th>波形全体の時間幅</th> <th>波形全体の最小インターバル</th> <th>表示形式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 日以上</td> <td>1秒以上</td> <td>yyyy-MM-dd HH:mm:ss</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1秒未満</td> <td>yyyy-MM-dd HH:mm:ss.fff</td> </tr> <tr> <td>1日未満</td> <td>1秒以上</td> <td>HH:mm:ss</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1秒未満</td> <td>HH:mm:ss.fff</td> </tr> </tbody> </table> 相対時間(自動): 時間軸の表示方法が各測定項目の波形における開始位置を起点とした経過時間に切り替わります。経過時間は、波形全体の時間幅から自動で決定した単位で表示されます。 相対時間(秒): 時間軸の表示方法が各測定項目の波形における開始位置を起点とした経過時間に切り替わります。経過時間は秒で表示されます。	波形全体の時間幅	波形全体の最小インターバル	表示形式	1 日以上	1秒以上	yyyy-MM-dd HH:mm:ss		1秒未満	yyyy-MM-dd HH:mm:ss.fff	1日未満	1秒以上	HH:mm:ss		1秒未満	HH:mm:ss.fff	
波形全体の時間幅	波形全体の最小インターバル	表示形式															
1 日以上	1秒以上	yyyy-MM-dd HH:mm:ss															
	1秒未満	yyyy-MM-dd HH:mm:ss.fff															
1日未満	1秒以上	HH:mm:ss															
	1秒未満	HH:mm:ss.fff															
	数値軸表示 数値軸の表示方法を切り替えます。 チャンネル毎の軸: 測定項目(チャンネル)毎に別々の数値軸を持つ表示になります。 全チャンネル共通の軸: すべての表示されている測定項目(チャンネル)で共通の数値軸を持つ表示になります																
	表示設定 波形表示画面に表示されている波形の表示設定をします。 表示設定の詳細は ▶ 波形の表示設定をする (p.57) を参照してください。	p.57															
	CSV 出力 測定データを CSV 形式で出力します。 CSV 出力の詳細は ▶ 測定データを CSV 出力する (p.59)	p.59															

	波形画像出力	を参照してください。 波形表示画面に表示されている波形の画像をクリップボードにコピーします。 波形表示画面に表示されている波形の画像をファイルに出力します。 波形画像出力の詳細は ▶ 波形画像を出力する (p.60) を参照してください。	p.60
	電力解析モード	電力解析モードウィンドウを開きます。PW8001 の測定データに高調波データが含まれている場合にこのボタンが表示されます。電力解析モードの詳細は ▶ 電力解析モードを表示する (PW8001 のみ) を参照してください。	p.76

ウィンドウを切り替える

波形表示画面上で有効にするウィンドウを W1～W8 のいずれかに切り替えます。時系列ビューは最大8ウィンドウまで表示状態 (表示測定項目、表示範囲のいずれか) が異なる波形の組み合わせを保持することができます。ウィンドウを切り替えることで、各ウィンドウの表示状態を呼び出すことができます。



例1 波形分割数が1の場合

<ul style="list-style-type: none"> 有効なウィンドウが W1 の場合 	<ul style="list-style-type: none"> 有効なウィンドウを W3 に切り替えた場合 
---	---



例2 波形分割数が2の場合



<ul style="list-style-type: none"> 有効なウィンドウが W1 の場合 	<ul style="list-style-type: none"> 有効なウィンドウを W3 に切り替えた場合 
--	--

カーソルを移動する

有効なカーソルをトレースカーソル、A カーソル、B カーソルのいずれかに切り替えます。



	カーソル種類	説明
	トレースカーソル	測定値をトレースするためのカーソルです。

	A コーソル	範囲を設定するためのカーソルです。 ・A,B コーソル(時間軸方向の範囲を設定する) ・水平 A,B コーソル(数値軸方向の範囲を設定する) の2種類があります。 注記 水平 A,B コーソルは測定項目ごとに数値軸方向の範囲を設定します。
	B コーソル	

各カーソルは次のいずれかの方法で移動することができます。

方法1 カーソルマークまたはカーソルラインをマウスの左ボタンでドラッグする

* カーソルは現在有効な測定項目の測定ポイントに追従して移動します。

方法2 [カーソル切り替え]ボタンでカーソルを切り替えて波形表示領域の上部をクリックする

* カーソルは現在フォーカスのある測定項目(チャンネル)の測定ポイントのうちクリック位置に最も近いポイントに移動します。

* 水平 A,B コーソルはこの方法でカーソルを移動することはできません。

波形の表示設定をする

波形表示画面に表示されている波形の表示設定をします。



それぞれの画面で設定できるメニューは以下の表を参照してください。

■ [全般]タブ

設定項目		説明
表示	凡例	波形表示画面に凡例を表示するかどうか指定します。
背景	色	波形表示画面の背景色を指定します。
凡例	表示領域	凡例を表示する領域を指定します。 プロット領域の内側 プロット領域の外側
	フォント	凡例のフォントサイズとフォントスタイルを指定します。
	表示項目	凡例の表示項目を指定します。(複数選択可) 測定器名(形名#製造番号) チャンネル表示名 単位

■ [時間軸(X)]タブ

設定項目		説明
軸	表示	軸の表示/非表示を指定します。
	表示形式	軸の表示形式を指定します。 絶対時間 相対時間
軸タイトル	表示	軸タイトルの表示/非表示を指定します。
	フォント	軸タイトルのフォントサイズ、フォントスタイル、フォント色を指定します。
目盛り線	表示	目盛り線の表示/非表示を指定します。
	表示位置	目盛り線の表示位置を指定します。 外側: 時間軸の外側に表示する 内側: 時間軸の内側に表示する 交差: 時間軸と交差させて表示する
	色	目盛線の色を指定します。
目盛りラベル	フォント	目盛りラベルのフォントサイズ、フォントスタイルを指定します。
グリッド線	表示	グリッド線の表示/非表示を指定します。
	線幅	グリッド線の線幅を指定します。
	線種	グリッド線の線種を指定します。
	色	グリッド線の色を指定します。
余白	目盛りラベル・目盛線	目盛ラベルと目盛線の間余白間隔を指定します。
	軸タイトル・目盛ラベル	軸タイトルと目盛ラベルの間余白間隔を指定します。
動作	チャンネル追加時に全体を表示する	オン: 測定項目の選択状態を変更したときに時間軸方向の表示範囲を全体表示に変更します。 オフ: 測定項目の選択状態を変更したときに時間軸方向の表示範囲を変更しません。
	相対時間	時間軸形式が「相対時間」の場合の 0s を表示する基準位置を設定します。 トリガ位置を 0s として表示 先頭を 0s として表示

■ [数値軸(Y)]タブ

設定項目		説明
軸	表示	軸の表示/非表示を指定します。
	表示形式	軸の表示形式を指定します。 チャンネル毎: 測定項目(チャンネル)毎に別々の数値軸を持つ表示になります。 全チャンネル共通: すべての表示されている測定項目(チャンネル)で共通の数値軸を持つ表示になります
軸タイトル	表示	軸タイトルの表示/非表示を指定します。
	フォント	軸タイトルのフォントサイズ、フォントスタイル、フォント色を指定します。
目盛り線	表示	目盛線の表示/非表示を指定します。
	表示位置	目盛線の表示位置を指定します。 外側: 時間軸の外側に表示する 内側: 時間軸の内側に表示する 交差: 時間軸と交差させて表示する
	色	目盛線の色を指定します。
	補助目盛線を表示する	補助目盛線を表示するかどうかを指定します。
目盛りラベル	角度	目盛りラベルの表示角度を指定します。
	フォント	目盛りラベルのフォントサイズ、フォントスタイルを指定します。
グリッド線	表示	グリッド線の表示/非表示を指定します。

	線幅	グリッド線の線幅を指定します。
	線種	グリッド線の線種を指定します。
	色	グリッド線の色を指定します。
補助グリッド線	表示	補助グリッド線の表示/非表示を指定します。
	線幅	補助グリッド線の線幅を指定します。
	線種	補助グリッド線の線種を指定します。
	色	補助グリッド線の色を指定します。
余白	目盛りラベル・目盛り線	目盛りラベルと目盛り線間の余白間隔を指定します。
	軸タイトル・目盛りラベル	軸タイトルと目盛りラベル間の余白間隔を指定します。
動作	チャンネル追加時に全体を表示する	<input type="checkbox"/> オン :測定項目(チャンネル)の選択状態を変更したときに数値軸方向の表示範囲を全体表示に変更します。 <input type="checkbox"/> オフ :測定項目(チャンネル)の選択状態を変更したときに数値軸方向の表示範囲を変更しません。

■ [チャンネル]タブ

設定項目	説明	
共通	線幅	波形表示画面に表示する波形の線幅を指定します。
	強調表示する	フォーカスのある測定項目(チャンネル)の波形を強調表示するかどうかを指定します。
	強調表示-指定方法	<input type="checkbox"/> 自動 :強調表示する波形の線幅と表示色をアプリケーションのデフォルト値にします。 <input type="checkbox"/> 任意 :強調表示する波形の線幅と表示色を指定します。
	強調表示-線幅	強調表示する波形の線幅を指定します。
	強調表示-色	強調表示する波形の色を指定します。
チャンネル	チャンネル	設定を適用する測定項目(チャンネル)を指定します。
	表示	測定項目(チャンネル)の選択状態を指定します。
	色	測定項目(チャンネル)の波形表示色を指定します。
	測定器名	測定項目(チャンネル)の測定器名を表示します。 * 本項目の設定は変更できません。
	表示名	測定項目(チャンネル)の表示名を指定します。

■ [カーソル]タブ

設定項目	説明	
トレースカーソル	表示	トレースカーソルの表示/非表示、線幅、線種、色を指定します。
	動作	プロット領域にカーソル値を表示するかどうかを指定します。
A,B カーソル	表示	A,B カーソルの表示/非表示、線幅、線種、色を指定します。
	動作	プロット領域にカーソル値を表示するかどうかを指定します。
水平 A,B カーソル	表示	水平 A,B カーソルの表示/非表示、線幅、線種、色を指定します。
	動作	プロット領域にカーソル値を表示するかどうかを指定します。
表示項目	表示項目	カーソル値として表示する項目を指定します。(複数選択可) <input type="checkbox"/> 測定器名(形名#製造番号) <input type="checkbox"/> チャンネル表示名 <input type="checkbox"/> カーソル位置の値(単位)

■ [イベント]タブ

設定項目	説明	
任意イベント	表示-表示	任意イベントマークの表示/非表示を指定します。
	表示-表示項目	任意イベントマークの情報として表示する項目を指定します。(複数選択可) <input type="checkbox"/> 時間 <input type="checkbox"/> コメント
	動作	任意イベントマークに関する動作を有効にするかどうかを指定します。(複数選択可) <input type="checkbox"/> イベントマークをマウスオーバーして情報を表示する <input type="checkbox"/> イベントマークの追加時にコメントを入力する
検索イベント	表示-表示	検索イベントマークの表示/非表示を指定します。
	表示-表示項目	検索イベントマークの情報として表示する項目を指定します。(複数選択可) <input type="checkbox"/> 解析種類 <input type="checkbox"/> しきい値 <input type="checkbox"/> 測定器名(形名#製造番号) <input type="checkbox"/> チャンネル表示名 <input type="checkbox"/> 時間 <input type="checkbox"/> コメント
	トリガポイント	トリガマークの表示/非表示を指定します。
トリガポイント	表示	トリガマークの表示/非表示を指定します。
	表示-表示項目	トリガマークの情報として表示する項目を指定します。(複数選択可) <input type="checkbox"/> トリガ種類 <input type="checkbox"/> 時間

測定データを CSV 出力する

測定データを CSV 形式で出力します。



CSV出力

出力設定

チャンネル 表示チャンネル ▼

出力範囲 全範囲 ▼

時間軸形式 絶対時間

データ補完 なし ▼

データ間引き 1 ▼
(※1は間引きなし、2以上で間引き指定)

小数点以下桁数 5 ▼ +1.23456E+03

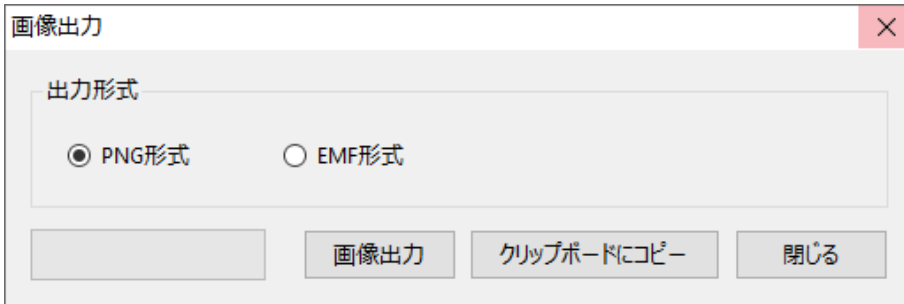
コメント

CSV出力
キャンセル
閉じる

項目	説明
出力設定	チャンネル CSV 出力する対象の測定項目 (チャンネル) を指定します。 表示チャンネル : 時系列ビューに読み込まれている測定項目 (チャンネル) のうち、波形表示画面に表示されている測定項目 (チャンネル) を対象にします。 全チャンネル : 時系列ビューに読み込まれているすべての測定項目 (チャンネル) を対象にします。
	出力範囲 CSV 出力する時間範囲を指定します。 全範囲 : 全体の時間範囲を対象にします。 A,B カーソル間 : A,B カーソル間の時間範囲を対象にします。
	時間軸形式 CSV 出力する時間の形式が絶対時間/相対時間で表示されています。 * 本項目の設定は[数値軸表示]の波形ツールバーボタンから変更できます。 * 本項目の設定は本画面では変更できません。
	データ補完 CSV 出力対象にインターバル時間が異なる測定項目 (チャンネル) が存在する場合、測定データが存在しない時刻に測定値を補完して出力するかどうかを指定します。 なし : 測定データが存在しない時刻の測定値を補完しない 直前の測定値で補完 : 測定データが存在しない時刻の測定値を直前の測定値で補完する
	データ間引き CSV 出力の際に途中のデータポイントを間引いて出力するかどうかを指定します。 * CSV 出力対象にインターバル時間が異なる測定項目 (チャンネル) が存在する場合は本項目の設定はできません。 (例) 1: 間引きなし 2: 2ポイント毎に1ポイントを出力します。 3: 3ポイント毎に1ポイントを出力します。 ...
	小数点以下桁数 CSV に出力する測定値の小数点以下の桁数を指定します。
コメント CSV のコメントヘッダに含めるコメントを指定します。	
[CSV 出力]ボタン	CSV 出力を実行します。
[キャンセル]ボタン	CSV 出力の実行をキャンセルします。
[閉じる]ボタン	本画面を閉じます。

波形画像を出力する

- 波形表示画面に表示されている波形の画像をクリップボードにコピーします。
- 波形表示画面に表示されている波形の画像をファイルに出力します。



項目	説明
出力形式	画像の出力形式を指定します PNG形式 :画像の出力形式を PNG 形式に指定します。 EMF形式 :画像の出力形式を EMF (拡張メタファイル)形式に指定します。
[画像出力]ボタン	画像をファイルに保存します。
[クリップボードにコピー]ボタン	画像をクリップボードにコピーします。
[閉じる]ボタン	本画面を閉じます。






3 波形表示画面

波形を表示する画面です。

波形を拡大・縮小・移動する

波形の拡大・縮小・移動などの操作を行うことができます。

操作	説明
拡大・縮小 (マウスホイール)	<ul style="list-style-type: none"> ■両方向に拡大・縮小する <ul style="list-style-type: none"> ・波形画面上でマウスホイールを回転させて、波形全体を拡大・縮小します。 ■水平方向に拡大・縮小する <ul style="list-style-type: none"> ・波形画面の下側5%の領域上でマウスホイールを回転させて、波形全体を水平方向に拡大・縮小します。 ・時間軸(X)上でマウスホイールを回転させて、波形全体を水平方向に拡大・縮小します。 ■垂直方向に拡大・縮小する <ul style="list-style-type: none"> ・波形画面の左側5%の領域上でマウスホイールを回転させて、波形全体を垂直方向に拡大・縮小します。 ・数値軸(Y)上でマウスホイールを回転させて、数値軸(Y)に所属するチャンネルの波形全体を拡大・縮小します。
拡大 (矩形指定)	<ul style="list-style-type: none"> ■両方向に拡大する <ul style="list-style-type: none"> ・波形画面上でマウスの左ボタンをドラッグして、波形全体を拡大します。 ■水平方向に拡大する <ul style="list-style-type: none"> ・波形画面の下側5%の領域上でマウスの左ボタンをドラッグして、波形全体を水平方向に拡大します。 ・時間軸(X)上でマウスの左ボタンをドラッグして、波形全体を水平方向に拡大します。 ■垂直方向に拡大する <ul style="list-style-type: none"> ・波形画面の左側5%の領域上でマウスの左ボタンをドラッグして、波形全体を垂直方向に拡大します。 ・数値軸(Y)上でマウスの左ボタンをドラッグして、数値軸(Y)に所属するチャンネルの波形全体を拡大します。 ■矩形拡大を戻す <ul style="list-style-type: none"> ・波形画面上でマウスの右クリックをして、矩形拡大を戻す(矩形拡大を戻す)をクリックすると直前に実行した矩形拡大を戻すことができます。
全体表示	<ul style="list-style-type: none"> ・全体表示()ボタンをクリックして表示波形を全体表示します。 ・波形画面上でマウスの左ボタンをダブルクリックして表示波形を全体表示します。
拡大・縮小 (ボタン)	<ul style="list-style-type: none"> ■水平方向に拡大・縮小する <ul style="list-style-type: none"> ・()ボタンクリックで水平方向(時間軸方向)に拡大します。 ・()ボタンクリックで水平方向(時間軸方向)に縮小します。
拡大・縮小	<ul style="list-style-type: none"> ■水平方向に拡大・縮小する

<p>(リスト)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・波形画面上でマウスの右クリックをして、時間軸拡大をクリックすると水平方向(時間軸方向)に拡大します。 ・波形画面上でマウスの右クリックをして、時間軸縮小をクリックすると水平方向(時間軸方向)に縮小します。 ・時間軸をクリックして表示される時間値をクリックすると、その時間値の区間を波形表示します。 
<p>移動 (移動モード: オフ )</p>	<p>移動モードをオフ()にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■任意の方向に拡大する ・波形画面上でマウスの右ボタンをドラッグして、波形を任意の方向に移動します。 ■水平方向に移動する ・波形画面の下側5%の領域上でマウスの右ボタンをドラッグして、波形全体を水平方向に拡大します。 ・時間軸(X)上でマウスの右ボタンをドラッグして、波形全体を水平方向に拡大します。 ■垂直方向に移動する ・波形画面の左側5%の領域上でマウスの右ボタンをドラッグして、波形全体を垂直方向に拡大します。 ・数値軸(Y)上でマウスの右ボタンをドラッグして、数値軸(Y)に所属するチャンネルの波形全体を拡大します。
<p>移動 (移動モード: オン )</p>	<p>移動モードをオン()にします。 移動操作がマウスの左ボタンのドラッグで行えるようになります。</p>
<p>移動 (スクロールバー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■水平方向に移動する ・波形画面の下側のスクロールバーを移動して、波形を水平方向に移動します。
<p>移動 (キー入力)</p>	<p>キー入力により波形全体を移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■水平方向に移動する ・[Shit]+[→]キー: 波形全体の表示領域を右方向に移動します。 ・[Shift]+[Ctrl]+[→]キー: 波形全体の表示領域を右方向に細かく移動します。 ・[Shit]+[←]キー: 波形全体の表示領域を左方向に移動します。 ・[Shift]+[Ctrl]+[←]キー: 波形全体の表示領域を左方向に細かく移動します。 ■垂直方向に移動する ・[Shit]+[↑]キー: 波形全体の表示領域を上方向に移動します。 ・[Shift]+[Ctrl]+[↑]キー: 波形全体の表示領域を上方向に細かく移動します。 ・[Shit]+[↓]キー: 波形全体の表示領域を下方向に移動します。 ・[Shift]+[Ctrl]+[↓]キー: 波形全体の表示領域を下方向に細かく移動します。

波形を全体表示する

波形を全体表示します。



■ [全体表示]ボタンのクリック

波形ツールバーの[全体表示]ボタンをクリックします。
波形表示画面が全体表示されます。

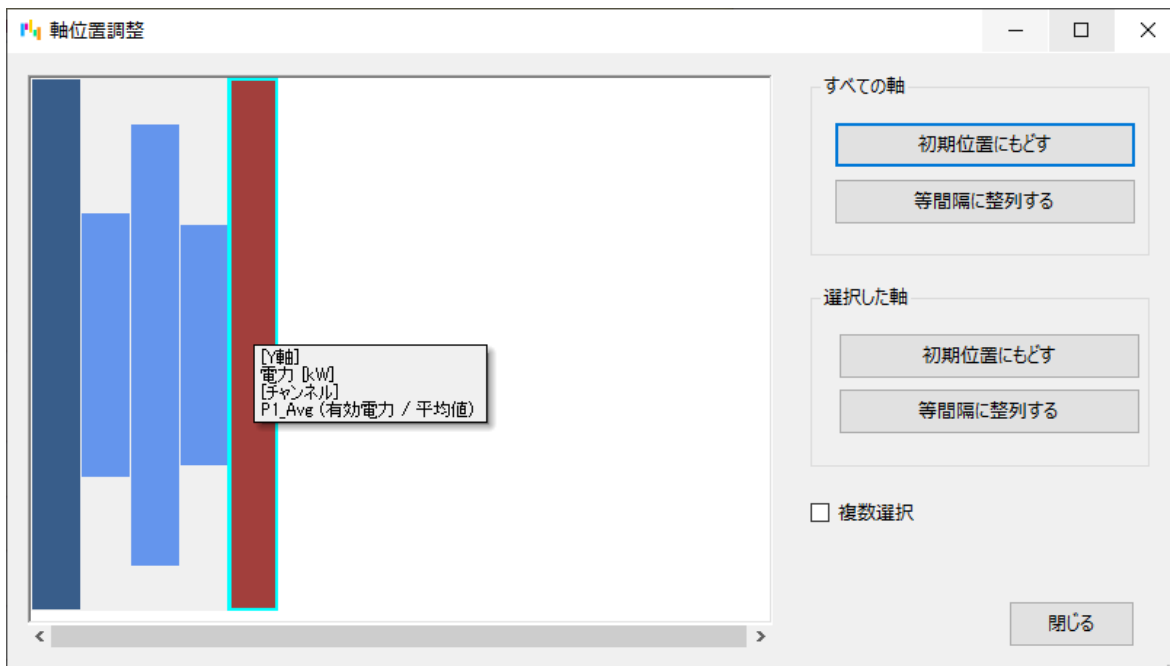
■ マウスのダブルクリック

波形表示画面のプロット領域内でマウスの左ボタンをダブルクリックします。
波形表示画面が全体表示されます。

波形の位置調整をする

波形ツールバーの[位置調整]ボタンから波形表示画面に表示されている波形の位置調整をします。





項目	説明	
軸位置調整領域	数値軸方向の表示範囲と表示位置を調整するためのスクロールバーが並んだ領域です。 <u>表示範囲の調整方法</u> ・スクロールバーをマウスの左ボタンでクリックして測定項目(チャンネル)を選択します。(選択したスクロールバーは淡青色でフォーカスされます。) ・選択されたスクロールバー上でマウスホイールを回転することで数値軸方向の表示範囲を調整します。 <u>表示位置の調整方法</u> ・スクロールバーをマウスの左ボタンでクリックして軸を選択します。(選択したスクロールバーは淡青色でフォーカスされます。) ・選択されたスクロールバー上でマウスの左ボタンをドラッグすることで数値軸方向の表示位置を調整します。	
すべての軸	初期位置に戻す	すべての数値軸について、数値軸方向の表示範囲と表示位置を全体表示状態にリセットします。
	等間隔に整列する	すべての数値軸について、数値軸方向の表示範囲と表示位置が等間隔に並ぶように自動調整します。
選択した軸	初期位置に戻す	選択した数値軸について、数値軸方向の表示範囲と表示位置を全体表示状態にリセットします。
	等間隔に整列する	選択した数値軸について、数値軸方向の表示範囲と表示位置が等間隔に並ぶように自動調整します。
[複数選択]チェックボックス	[オン] :数値軸を複数選択できるようにします。軸位置調整領域内で、複数の数値軸の位置を同時に調整できるようになります。 [オフ] :数値軸を1つずつ選択するようにします。	
[閉じる]ボタン	本画面を閉じます。	

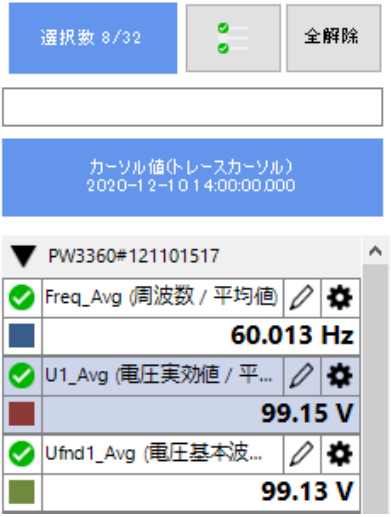

任意イベントマークを追加/編集/削除する


任意イベントマークを追加/編集/削除します。
 波形表示画面のプロット領域上、または任意イベントマーク上でマウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューで行います。

右クリックメニュー	説明
任意イベントを追加する	クリック位置に任意イベントマークを追加します。
任意イベントを編集する	指定した任意イベントマークのコメントを編集します。
任意イベントを削除する	指定した任意イベントマークを削除します。
任意イベントをすべて削除する	波形表示画面上の任意イベントマークをすべて削除します。

4 チャンネル情報パネル





測定項目 (チャンネル) の選択や測定値・各種設定の表示/編集を行うことができます。

項目	説明
	<p>■ 選択数 波形表示画面に表示する測定項目 (チャンネル) の選択数を表示します。測定項目 (チャンネル) は最大 32 項目まで選択できます。</p> <p>■ 選択済みのみ表示 選択済みの測定項目 (チャンネル) のみ表示します。</p> <p>■ 全解除 選択済みのすべての測定項目 (チャンネル) の選択状態を解除します。</p> <p>■ 絞り込み チャンネル情報パネルに表示する項目を測定項目表示名 (チャンネル表示名) で絞り込みます。</p> <p>■ カーソル値表示 トレースカーソル, A, B カーソルのカーソル値を表示します。</p> <p>■ 測定器パネル 測定項目 (チャンネル) を測定器毎にまとめるパネルです。クリックすると測定器に所属する測定項目のリストを折り畳み/展開することができます。</p>
	<p>■ チェックボックス オン: 波形表示画面の波形が表示状態になります。 オフ: 波形表示画面の波形が非表示状態になります。</p> <p>■ チャンネル表示名 測定項目 (チャンネル) の表示名を表示します。 Freq_Avg (周波数 / 平均値) (データロガーの各チャンネルにコメントが保存されている場合は、チャンネル表示名のあとに括弧でコメントが表示されます。)</p> <p>■ 測定値 カーソル位置の測定値と測定単位を表示します。 0.000 Hz (測定値に、最大値と最小値がある場合は 2 つの値が表示されます)</p> <p>■ チャンネル表示名の編集 測定項目 (チャンネル) の表示名を編集します。</p> <p>■ チャンネル設定 測定項目 (チャンネル) の設定をします。</p>

	
詳細は チャンネルの設定をする (p.65) を参照してください。	

チャンネルの設定をする

測定項目 (チャンネル) の設定をします。

	Freq_Avg (周波数 / 平均値)	 
		0.000 Hz

チャンネル設定 ×

測定値

単位

補助単位

表示形式

有効桁数 指数

最小分解能 Hz

小数点以下桁数

プレビュー

詳細情報

項目	値
チャンネルID	b90a02ed-1f8c-4a8b-b7e3-5f965e4afb55
表示名	Freq_Avg (周波数 / 平均値)
チャンネル表示色	#FF385D8A
型名	PW3360
製造番号	121101517
測定器表示名	PW3360#121101517
測定開始時刻	2020-12-10 09:15:00.000
測定終了時刻	2020-12-10 23:12:26.000
固定/可変インタバルの種類	False

項目	説明	
測定値	単位	測定値の単位を表示/設定します。
	補助単位	測定値の単位/補助単位を表示/設定します。
	最小分解能/ 小数点以下桁数	測定値の最小分解能を表示/設定します。 表示形式が[有効桁数]の場合 補助単位を考慮しない測定値の最小分解能を指定します。 1.0 × 10^x の x の値を指定します。 表示形式が[指数]の場合 指数表現の測定値の仮数部について小数点以下の桁数を指定します。 1.2345E+03 仮数部
	表示形式	測定値の表示形式を指定します。 有効桁数 : (例) 0.001 指数 : (例) 1.000E-03
	プレビュー	現在の測定値の設定で表示される測定値のプレビューが表示されます。 表示される測定値については ▶ 測定値の設定と表示される測定値について (p.66) を参照してください。
詳細情報	測定項目 (チャンネル) に関する詳細情報を表示します。	

測定値の設定と表示される測定値について

測定値の設定と表示される測定値の関係をいくつか例で示します。

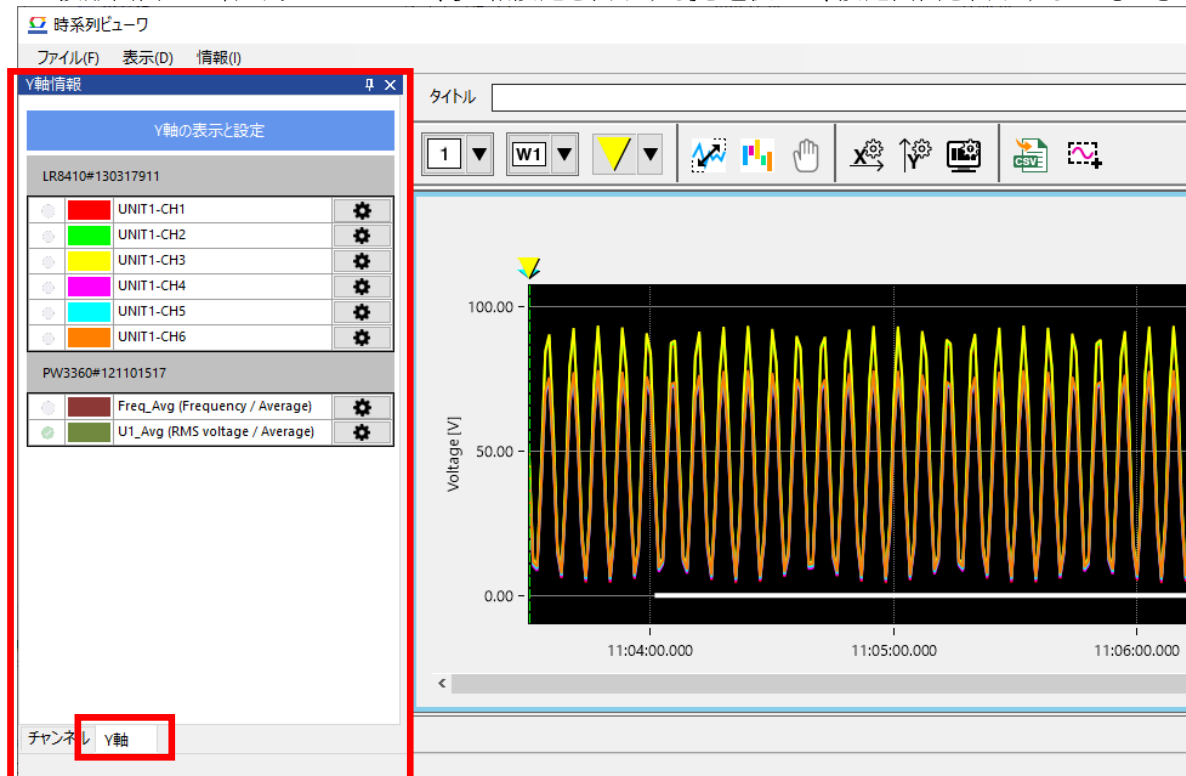
例	測定値(*1)	測定値設定		表示される測定値
例1	123.45 V	補助単位	なし	123.5 V
		表示形式	有効桁数	
		最小分解能	-1	
例2	1234.56 W	補助単位	なし	1234.6 W
		表示形式	有効桁数	
		最小分解能	-1	
例3	1234.56 W	補助単位	k	1.2346 kW
		表示形式	有効桁数	
		最小分解能	-1	
例4	0.123456 V	補助単位	なし	123.46E-03 V
		表示形式	指数	
		小数点以下桁数	2	
例5	0.123456 V	補助単位	m	123.46E+00 mV
		表示形式	指数	
		小数点以下桁数	2	

*1 補助単位を考慮しない測定値を表します。

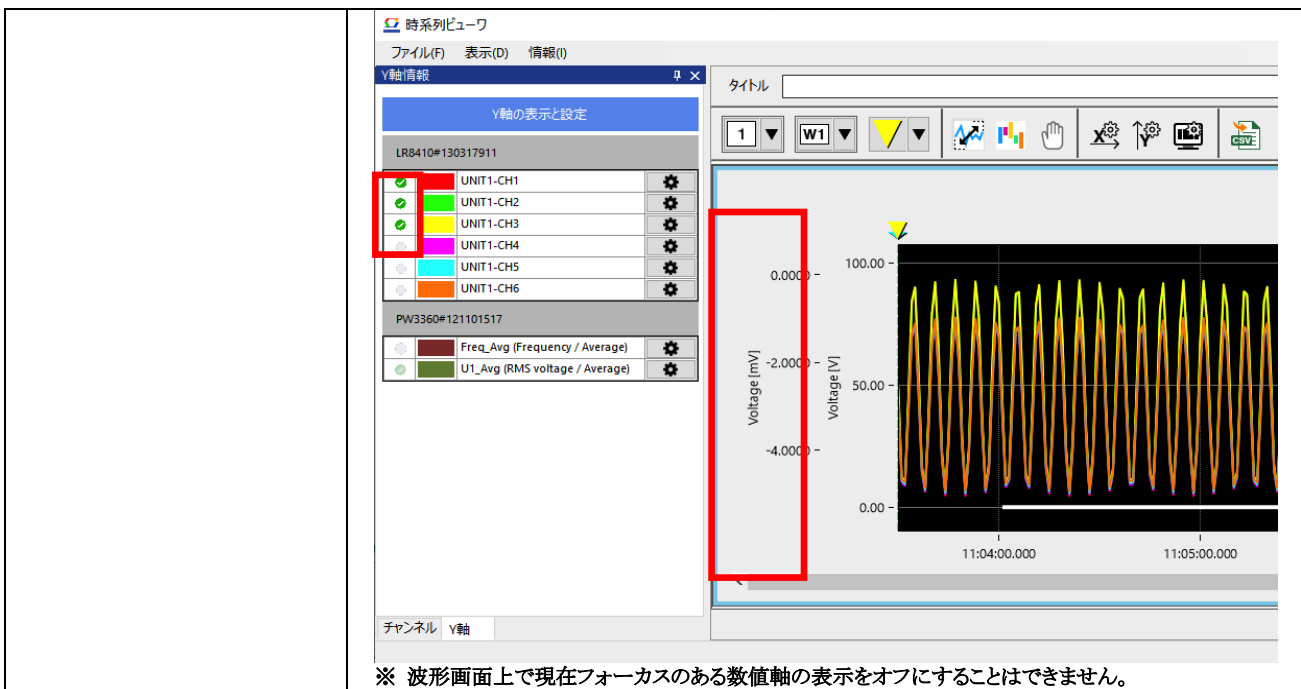
数値軸の表示を変更する

[チャンネル情報]画面の[Y 軸]タブをクリックして[Y 軸設定]の画面を表示します。

※ 波形画面上の右クリックメニューで、[Y 軸設定を表示する]を選択して、設定画面を表示することもできます。



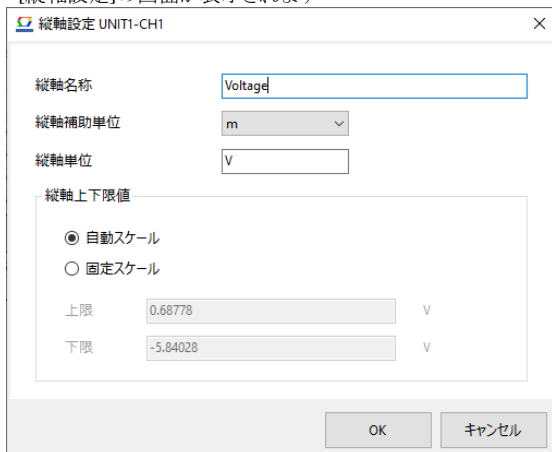
操作	説明
数値軸を複数表示する	<ul style="list-style-type: none"> 新たに数値軸を表示したいチャンネルのチェックをオンにします。 選択したチャンネルと同じ数値軸に所属するチャンネルのグループがすべて選択されます。 波形画面に数値軸が表示されます。



※ 波形画面上で現在フォーカスのある数値軸の表示をオフにすることはできません。

数値軸の表示設定を変更する

- ・設定ボタン () をクリックします。
- ・[縦軸設定]の画面が表示されます



- ・縦軸名称などを変更します。
- ・[OK]ボタンをクリックして縦軸表示の設定を変更します。

数値軸のグループについて

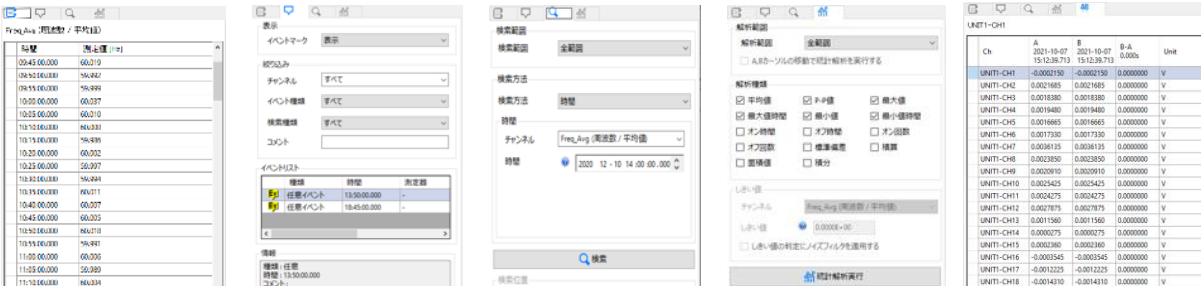
本ビューワーでは、各チャンネルの設定によって、数値軸をグループ化します。各チャンネルの設定と数値軸の関係については以下を参照してください。

自動スケールの場合			数値軸
チャンネルの設定		設定画面	
-1.	縦軸名称	縦軸設定 (p.66)	すべての設定が一致するチャンネルを同一の数値軸とみなす
-2.	補助単位	縦軸設定 (p.66) チャンネル設定 (p.65)	
-3.	単位	縦軸設定 (p.66) チャンネル設定 (p.65)	
-4.	表示形式 (有効桁数/指数)	チャンネル設定 (p.65)	
-5.	分解能	チャンネル設定 (p.65)	
-6.	小数点以下桁数	チャンネル設定 (p.65)	
固定スケールの場合			数値軸
チャンネルの設定		設定画面	
-1.	縦軸名称	縦軸設定 (p.66)	すべての設定が一致するチャンネルを

-2.	補助単位	縦軸設定 (p.66) チャンネル設定 (p.65)	同一の数値軸とみなす
-3.	単位	縦軸設定 (p.66) チャンネル設定 (p.65)	
-4.	表示形式 (有効桁数/指数)	チャンネル設定 (p.65)	
-5.	分解能	チャンネル設定 (p.65)	
-6.	小数点以下桁数	チャンネル設定 (p.65)	
-7.	上限値	縦軸設定 (p.66)	
-8.	下限値	縦軸設定 (p.66)	

5 データ解析パネル

測定データリスト・イベントリスト・波形検索・統計解析・ABカーソル値リストなど測定データの解析を行うことができます。



パネル名	説明
測定データリスト	測定項目(チャンネル)毎の測定データをリスト形式で表示します。 波形表示画面またはチャンネル情報画面上で現在フォーカスのある測定項目(チャンネル)の測定データが表示されます。
イベントリスト	時系列ビューワで追加したイベントの表示、編集、検索、削除します。 イベントリストについては ▶ イベントを表示、編集、検索、削除する (p.68) を参照してください。
検索	波形表示画面に表示されている測定項目(チャンネル)毎の波形を検索します。 検索については ▶ 波形を検索する (p.70) を参照してください。
解析	波形表示画面に表示されている測定項目(チャンネル)の統計解析を実行します。 解析については ▶ 統計解析をする (p.73) を参照してください。
ABカーソル値リスト	波形表示画面に表示されている測定項目(チャンネル)のABカーソル値を表示します。 チャンネル名、Aカーソル値、Bカーソル値、B-A値、単位を表示します。 ABカーソル値リストについては ▶ ABカーソル値リスト (p.75) を参照してください。

イベントを表示/編集/検索/削除する

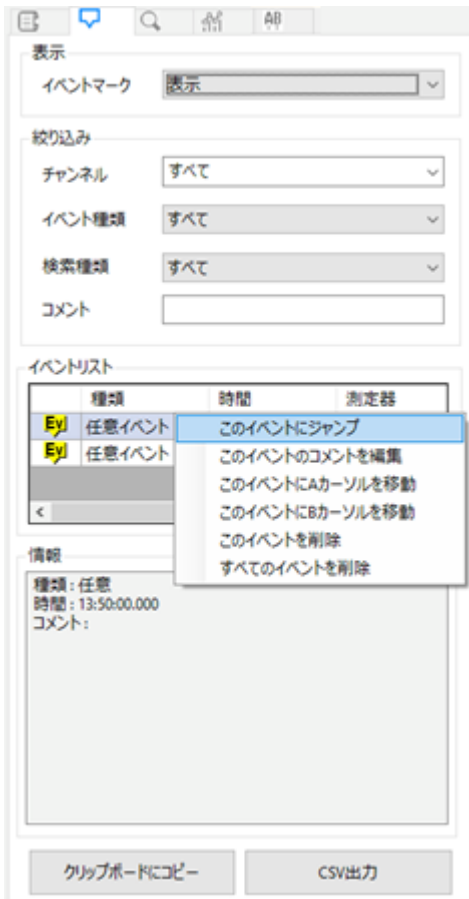
時系列ビューワで追加したイベントの表示、編集、検索、削除します。

時系列ビューワにイベントマークを追加する方法については

▶ 任意イベントマークを追加/編集/削除する (p.63)

▶ 波形を検索する (p.70)



を参照してください。



項目		説明
表示	イベントマーク	波形表示画面におけるイベントマークの表示/非表示を切り替えます。
絞り込み	チャンネル	イベントリストを測定項目(チャンネル)で絞り込みます。
	イベント種類	イベントリストをイベント種類で絞り込みます。 すべて 任意イベント 解析イベント
	解析種類	イベントリストを解析種類で絞り込みます。 すべて 時間 最大位置 最小位置 極大位置 極小位置 レベル ウィンドウ 変化量
	コメント	イベントリストをコメントで絞り込みます。
イベントリスト	イベントリスト	イベントをリスト形式で表示します。 各イベントの種類/時間/測定器名/チャンネル表示名/解析種類/コメントが表示されています。
	右クリックメニュー	イベントリスト上の右クリックメニューについて説明します。 <ul style="list-style-type: none"> ■このイベントにジャンプ 選択したイベント位置に波形表示画面上でジャンプします。 ■このイベントのコメントを編集 選択したイベントのコメントを編集します。 ■このイベントに A カーソルを移動 選択したイベント位置に A カーソルを移動します。 ■このイベントに B カーソルを移動 選択したイベント位置に B カーソルを移動します。 ■このイベントを削除 選択したイベントを削除します。 ■すべてのイベントを削除 イベントリストのすべてのイベントを削除します。
情報		選択したイベントの情報を表示します。
	[クリップボードにコピー]ボタン	選択したイベントの情報をクリップボードにコピーします。
	[CSV 出力]ボタン	選択したイベントの情報を CSV ファイルに保存します。

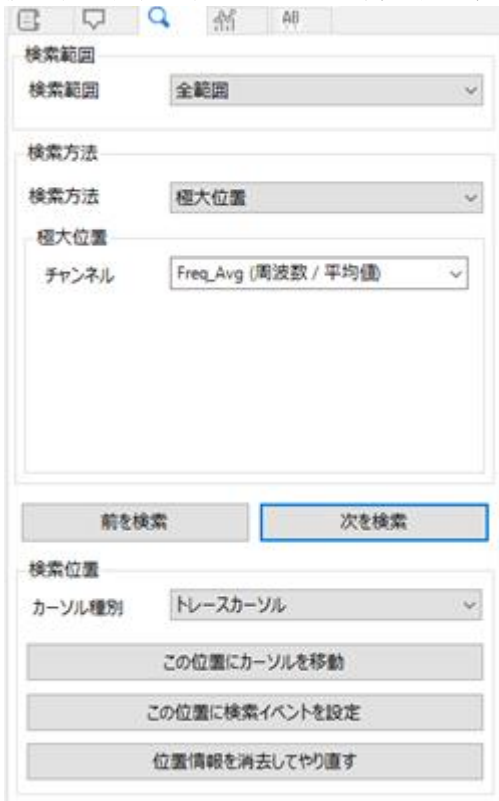
任意イベントマークと検索イベントマーク

任意イベントマークと検索イベントマークについて説明します。

項目		説明
	任意イベントマーク	波形表示画面上的の任意の位置に設定できるイベントマークです。 波形ウィンドウ (W1～W8) 毎に別々の任意イベントリストを保持します。 時間/コメントの情報を持ちます。 * [時間軸表示]設定の[相対時間]と[絶対時間]を切り替えると、そのウィンドウの任意イベントリストはすべて削除されます。 時系列ビューワに任意イベントマークを追加する方法については ▶ 任意イベントマークを追加/編集/削除する (p.63) を参照してください。
	検索イベントマーク	測定項目毎に設定できるイベントマークです。 時間/測定器/チャンネル/解析種別/コメントの情報を持ちます。 時系列ビューワに検索イベントマークを追加する方法については ▶ 波形を検索する (p.70) を参照してください。

波形を検索する


波形表示画面に表示されている測定項目 (チャンネル) 毎の波形を検索します。




項目		説明
検索範囲		検索範囲を指定します。 [全範囲] : 全体の時間範囲を対象にします。 [A,B カーソル間] : A,B カーソル間の時間範囲を対象にします。
検索方法		検索方法を指定します。 [時間], [最大位置], [最小位置], [極大位置], [極小位置], [レベル], [ウィンドウ], [変化量] を指定できます。 検索方法の詳細は ▶ 検索方法について (p.71) を参照してください。
検索位置	カーソル種別	カーソル種別を指定します。 [トレースカーソル], [Aカーソル], [Bカーソル]
	[この位置にカーソルを移動]ボタン	検索位置にカーソルを移動します。
	[この位置に検索イベントを設定]ボタン	検索位置に検索イベントを設定します。
	[位置情報を消去してやり直す]ボタン	検索位置の情報を消去して検索をやり直します。

検索方法について


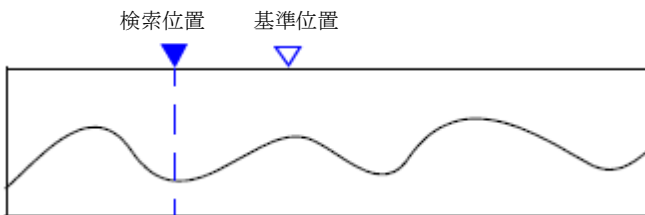

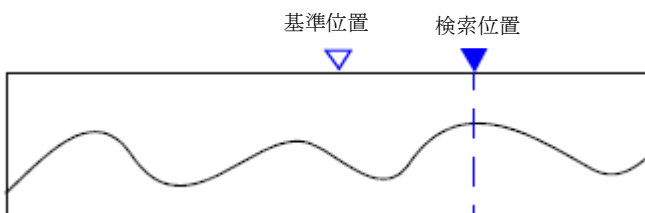
■ 時間

項目	説明
チャンネル	測定項目(チャンネル)を指定します。 波形表示画面に表示されている測定項目(チャンネル)から選択します。
時間	時間を指定します。
[検索]ボタン	検索を実行します。 指定した時間の位置に検索ポイント(旗マーク ) が設定されます。



■ 最大位置/最小位置

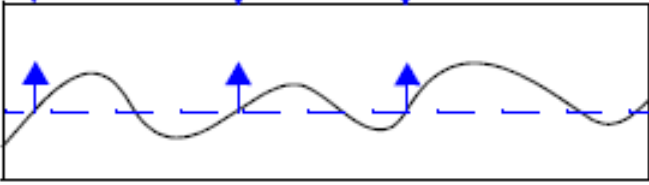
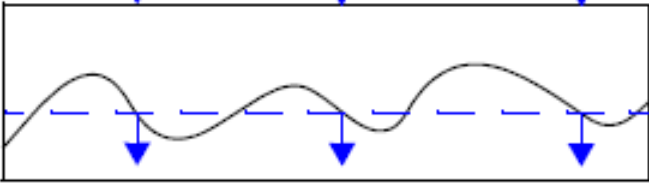
項目	説明
チャンネル	測定項目(チャンネル)を指定します。 波形表示画面に表示されている測定項目(チャンネル)から選択します。
[検索]ボタン	検索を実行します。 指定した測定項目(チャンネル)の最大位置/最小位置に検索ポイント(旗マーク ) が設定されます。

■ 極大位置/極小位置



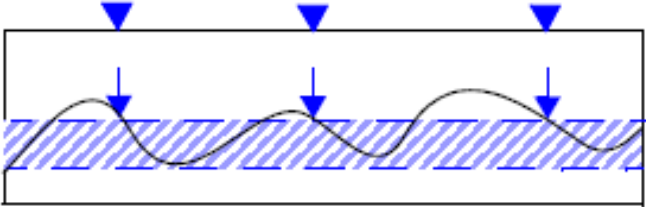
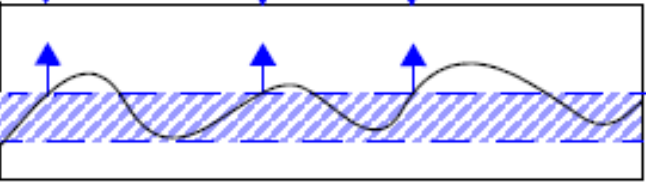
項目	説明
チャンネル	測定項目(チャンネル)を指定します。 波形表示画面に表示されている測定項目(チャンネル)から選択します。
[前を検索]ボタン	指定した測定項目(チャンネル)の極大位置/極小位置を検索します。 現在の検索位置(基準位置)の後方に存在する極大位置/極小位置に検索位置(旗マーク ) が設定されます。 
[次を検索]ボタン	指定した測定項目(チャンネル)の極大位置/極小位置を検索します。 現在の検索位置(基準位置)の前方に存在する極大位置/極小位置に検索位置(旗マーク ) が設定されます。 

■ レベル

項目	説明				
チャンネル	測定項目(チャンネル)を指定します。 波形表示画面に表示されている測定項目(チャンネル)から選択します。				
レベル	レベル(しきい値)を設定します。 波形表示画面で水平 A カーソル位置を移動してレベルを設定することもできます。				
スロープ	スロープを設定します。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>上</td> <td>: 下→上方向にレベルを横切る位置を検索します。</td> </tr> <tr> <td>下</td> <td>: 上→下方向にレベルを横切る位置を検索します。</td> </tr> </table>	上	: 下→上方向にレベルを横切る位置を検索します。	下	: 上→下方向にレベルを横切る位置を検索します。
上	: 下→上方向にレベルを横切る位置を検索します。				
下	: 上→下方向にレベルを横切る位置を検索します。				
[前を検索]ボタン	指定した測定項目(チャンネル)のレベルを横切る位置を検索します。 現在の検索位置(基準位置)の後方に存在するレベル位置に検索位置(旗マーク ) が設定されます。				
[次を検索]ボタン	指定した測定項目(チャンネル)の極大位置/極小位置を検索します。 現在の検索位置(基準位置)の前方に存在するレベル位置に検索位置(旗マーク ) が設定されます。				



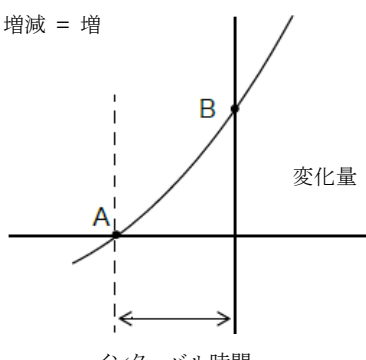
備考	スロープ	上	上	上
	レベル			
	スロープ	下	下	下
	レベル			

■ ウィンドウ

項目	説明
チャンネル	測定項目(チャンネル)を指定します。 波形表示画面に表示されている測定項目(チャンネル)から選択します。
上限値	上限値を設定します。 波形表示画面で水平 A カーソル位置を移動して設定することもできます。
下限値	下限値を設定します。 波形表示画面で水平 B カーソル位置を移動して設定することもできます。
IN/OUT	指定した測定項目(チャンネル)が上下限值で指定したウィンドウ領域に入る(出る)位置を検索します。 IN :ウィンドウ領域に入る位置を検索します。 OUT :ウィンドウ領域から出る位置を検索します。
[前を検索]ボタン	指定した測定項目(チャンネル)のレベルを横切る位置を検索します。 現在の検索位置(基準位置)の後方に存在するウィンドウ位置に検索位置(旗マーク ) が設定されます。
[次を検索]ボタン	指定した測定項目(チャンネル)の極大位置/極小位置を検索します。 現在の検索位置(基準位置)の前方に存在するウィンドウ位置に検索位置(旗マーク ) が設定されます。
備考	<p>IN</p>  <p>OUT</p> 

■ 変化量

項目	説明
チャンネル	測定項目(チャンネル)を指定します。 波形表示画面に表示されている測定項目(チャンネル)から選択します。
変化量	変化量を設定します。 1インターバル間に指定した変化量以上の変化をした位置を検索します。
インターバル	指定した測定項目(チャンネル)のインターバル時間を表示します。 本項目を編集することはできません。
増減	増加/減少の種別を指定します。

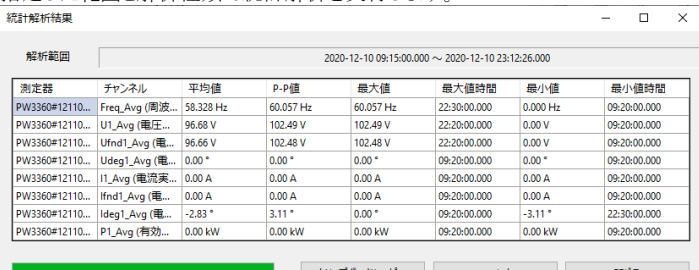
	増 :指定した変化量以上増加した位置を検索します。 減 :指定した変化量以上減少した位置を検索します。
[前を検索]ボタン	指定した測定項目(チャンネル)が変化量以上変化した位置を検索します。 現在の検索位置(基準位置)の後方に存在する変化位置に検索位置(旗マーク )が設定されます。
[次を検索]ボタン	指定した測定項目(チャンネル)の極大位置/極小位置を検索します。 現在の検索位置(基準位置)の前方に存在する変化位置に検索位置(旗マーク )が設定されます。
備考	

統計解析をする

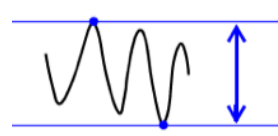
波形表示画面に表示されている測定項目(チャンネル)の統計解析を実行します。

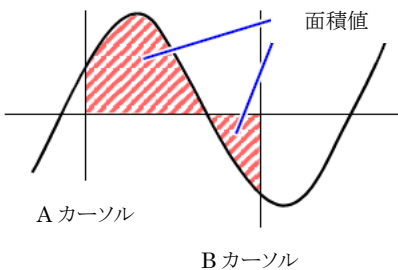


項目	説明
解析範囲	解析範囲を指定します。 全範囲 :全体の時間範囲を対象にします。 A,Bカーソル間 :A,Bカーソル間の時間範囲を対象にします。
A,Bカーソルの移動で統計解析を実行する	オン :A,Bカーソルを移動した時点で統計解析を実行します。 オフ :[統計解析実行]ボタンをクリックした時点で統計解析を実行します。

<p>解析種類</p>	<p>統計解析種類を指定します。 平均値, P-P 値, 最大値, 最大値時間, 最小値, 最小値時間, オン回数, オン時間, オフ回数, オフ時間, 標準偏差, 積算, 面積値, 積分を指定できます。 統計解析種類の詳細は ▶ 統計解析の種類について (p.74) を参照してください。</p>
<p>[統計解析実行]ボタン</p>	<p>指定した範囲と解析種類で統計解析を実行します。</p> 

統計解析の種類について

種類	説明
<p>平均値</p>	<p>波形データの平均値を算出します。</p> $AVE = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n di$ <p> AVE : 平均値 n : データ数 di : i 番目のデータ </p>
<p>P-P 値</p>	<p>波形データの最大値と最小値の間の値(ピーク-ピーク値)を算出します。</p> 
<p>最大値</p>	<p>波形データの最大値を算出します。</p>
<p>最大値時間</p>	<p>波形データが最大値となる時間を算出します。</p>
<p>最小値</p>	<p>波形データの最小値を算出します。</p>
<p>最小値時間</p>	<p>波形データが最小値となる時間を算出します。</p>
<p>オン回数</p>	<p>波形データの測定値がしきい値を上を横切った時間を算出します。 しきい値の設定については ■ しきい値の設定 (p.75) を参照してください。(1つの時間に、最大値と最小値があるデータではこの演算行えず、結果は0になります。)</p>
<p>オン時間</p>	<p>波形データの測定値がしきい値以上となった時間を算出します。 しきい値の設定については ■ しきい値の設定 (p.75) を参照してください。(1つの時間に、最大値と最小値があるデータではこの演算行えず、結果は0になります。)</p>
<p>オフ回数</p>	<p>波形データの測定値がしきい値を下を横切った時間を算出します。 しきい値の設定については ■ しきい値の設定 (p.75) を参照してください。(1つの時間に、最大値と最小値があるデータではこの演算行えず、結果は0になります。)</p>
<p>オフ時間</p>	<p>波形データの測定値がしきい値以下となった総時間を算出します。 しきい値の設定については ■ しきい値の設定 (p.75) を参照してください。(1つの時間に、最大値と最小値があるデータではこの演算行えず、結果は0になります。)</p>
<p>標準偏差</p>	<p>波形データの標準偏差を算出します。</p> $\sigma = \sqrt{\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (di - AVE)^2}$ <p> σ : 標準偏差 AVE : 平均値 n : データ数 di : i 番目のデータ </p>

積算	波形データの積算値を算出します。 $SUM = \sum_{i=1}^n di$ <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> SUM : 積算値 n : データ数 di : i 番目のデータ </div> </div>
面積値	波形データのゼロ位置と波形で囲まれた面積値を算出します。 A,B カーソルを指定している場合は、A,B カーソル間の面積値を算出します。 $S = \sum_{i=1}^n di \cdot h$ <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> S : 面積値 n : データ数 di : i 番目のデータ $h = \Delta t$: インターバル間隔 </div> </div> 
積分値	波形データの積分値を算出します。 $INT = \sum_{i=1}^n di \times \Delta t$ <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> INT : 積分値 n : データ数 di : i 番目のデータ Δt : インターバル間隔 </div> </div>

しきい値の設定

オン回数、オン時間、オフ回数、オフ時間を算出する場合は、各測定項目(チャンネル)にしきい値を設定する必要があります。

項目	説明
チャンネル	しきい値を設定するチャンネル(測定項目)を指定します。
しきい値	指定したチャンネルにしきい値を指定します。 波形表示画面で水平 A カーソル位置を移動して設定することもできます。
しきい値の判定にノイズフィルタを使用する	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> オン : 測定値がしきい値を横切ってから 10 インターバル分の測定値が再びしきい値を横切ることがなかったときに、オン/オフを判定する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> オフ : 測定値がしきい値を横切ったときに、オン/オフを判定する </div>

AB カーソル値リスト

波形表示画面に表示されている測定項目(チャンネル)の AB カーソル値を表示します。

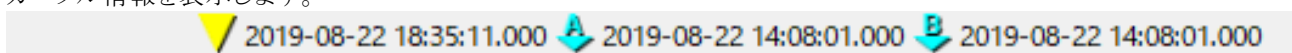
Ch	A 2021-10-07 15:12:39.713	B 2021-10-07 15:12:39.713	B-A 0.000000s	Unit
UNIT1-CH1	-0.0002150	-0.0002150	0.0000000	V
UNIT1-CH2	0.0021685	0.0021685	0.0000000	V
UNIT1-CH3	0.0018380	0.0018380	0.0000000	V
UNIT1-CH4	0.0019480	0.0019480	0.0000000	V
UNIT1-CH5	0.0016665	0.0016665	0.0000000	V
UNIT1-CH6	0.0017330	0.0017330	0.0000000	V
UNIT1-CH7	0.0036135	0.0036135	0.0000000	V
UNIT1-CH8	0.0023850	0.0023850	0.0000000	V
UNIT1-CH9	0.0020910	0.0020910	0.0000000	V
UNIT1-CH10	0.0025425	0.0025425	0.0000000	V
UNIT1-CH11	0.0024275	0.0024275	0.0000000	V
UNIT1-CH12	0.0027875	0.0027875	0.0000000	V
UNIT1-CH13	0.0011560	0.0011560	0.0000000	V
UNIT1-CH14	0.0000275	0.0000275	0.0000000	V
UNIT1-CH15	0.0002360	0.0002360	0.0000000	V
UNIT1-CH16	-0.0003545	-0.0003545	0.0000000	V
UNIT1-CH17	-0.0012225	-0.0012225	0.0000000	V
UNIT1-CH18	-0.0014310	-0.0014310	0.0000000	V
UNIT1-CH19	-0.0015185	-0.0015185	0.0000000	V

Clipboard Copy CSV Output

AB カーソル値リスト	チャンネル名、A カーソル値、B カーソル値、B-A 値、単位を表示します。 (測定値に、最大値と最小値がある場合は 2 つの値が 2 行で表示されます)
Clipboard にコピー	AB カーソル値リストの内容を Clipboard にコピーします。
CSV 出力	AB カーソル値リストの内容をファイルに出力します。

6 ステータスバー

カーソル情報を表示します。

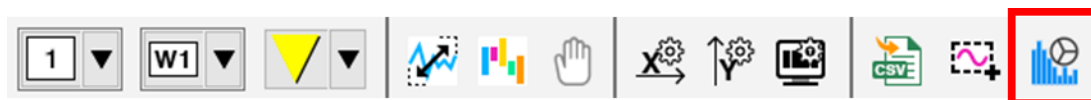


電力解析モードを表示する (PW8001 のみ)

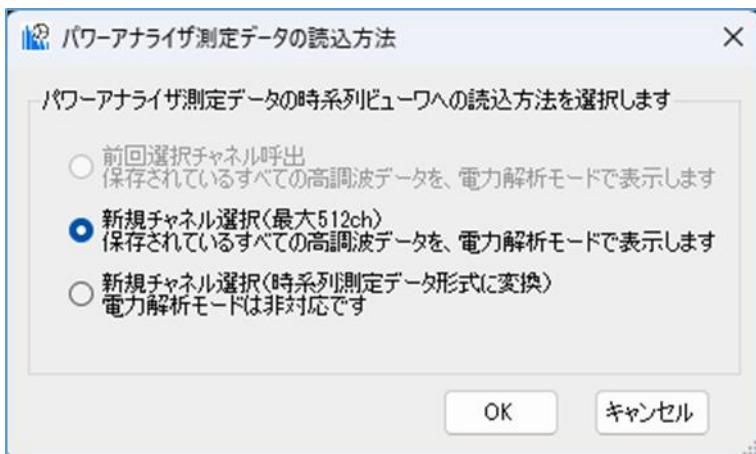
時系列ビューワで読み込んだ測定データに高調波測定データが含まれている場合、電力解析モードでデータを見ることができます。

電力解析モードを使用するためには、GENNECT One のバージョンを V5.20 以降にする必要があります。

1. 時系列ビューワのツールボタン[電力解析]をクリックします。



2. パワーアナライザ測定データを開く方法を選択します。



選択肢	説明
前回選択チャンネル呼出	前回電力解析モードを開いたときに選択した測定項目を時系列ビューワで表示します。 パワーアナライザ測定データに保存されているすべての高調波データが、電力解析モードでの表示対象です。
新規チャンネル選択 (最大 512ch)	時系列ビューワで表示する項目を最大 512ch まで新規に選択します。 パワーアナライザ測定データに保存されているすべての高調波データが、電力解析モードでの表示対象です。
新規チャンネル選択 (時系列測定データ形式に変換)	時系列ビューワで表示する項目を最大 512ch まで新規に選択します。 この選択は、電力解析モードに対応していません。

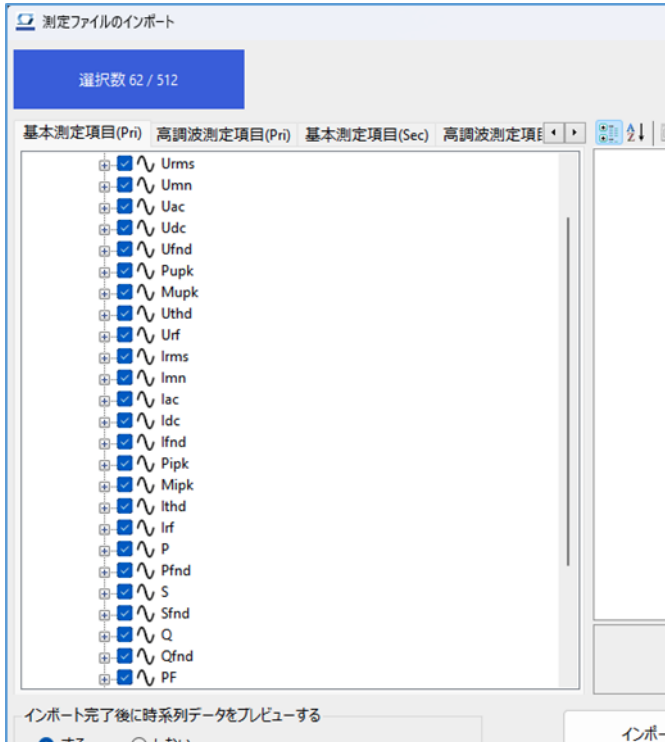
3. 時系列ビューワにインポートする測定項目を選択します。

ここでの選択にかかわらず、電力解析機能画面では保存されている高調波データを確認できます。

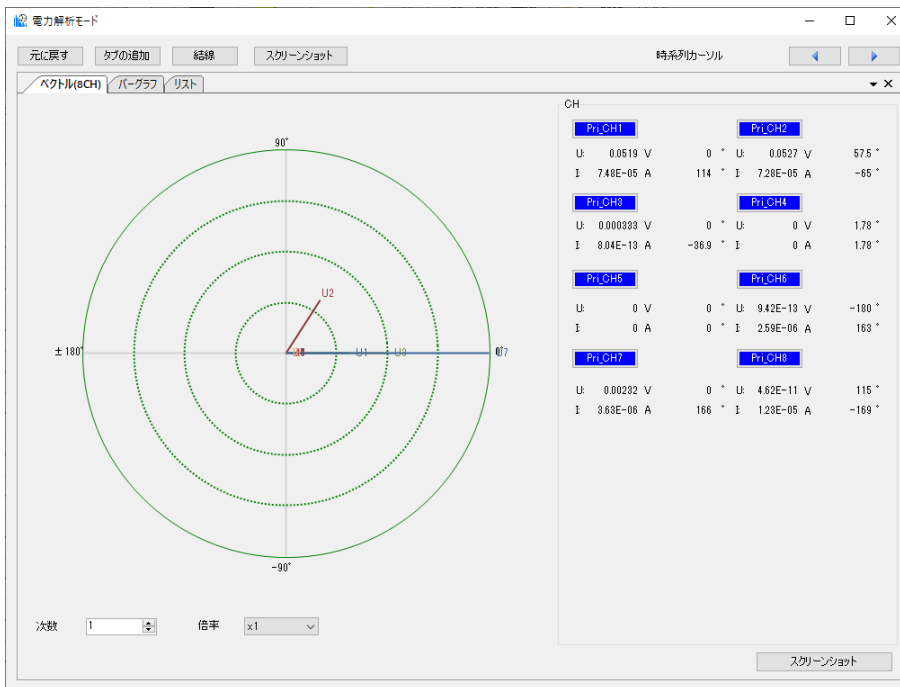
PW8001 の測定項目を「基本測定項目」タブ、「高調波測定項目」タブに分けて表示しています。

また、光同期データの場合、プライマリ側の測定項目を、「基本測定項目 (Pri)」タブ、「高調波測定項目 (Pri)」タブとし、セカンダリ側の測定項目を「基本測定項目 (Sec)」タブ、「高調波測定項目 (Sec)」タブに分類しています。

(PW8001 の光同期測定機能は V2.00 以降)



4. 電力解析モード画面が表示されます。



対応機種

パワーアナライザ PW8001

注記

・読み込んだPW8001のパワーアナライザ測定データのBINファイルに高調波データが保存されていない場合は、この機能のボタンは表示されません。

BINファイルに保存されていない高調波データは、Data Emptyとなり電力解析機能で表示しません。保存されている項目、次数のみ、表示します。

・データリストで複数のPW8001のパワーアナライザ測定データのBINファイルを選択したとき、この機能のボタンは表

示されません。

- GENNECT One で作成された時系列測定データを開いた場合は、この機能のボタンは表示されません。
- 結線設定が、パワーアナライザの結線設定と異なる場合、正確な表示ができません。PW8001 のファームウェアバージョン V1.53 以降で保存された BIN ファイルは、結線設定が自動で反映されます。
- データ容量の大きいファイルを開く場合、処理に時間がかかります。

画面構成

電力解析モードは次のような表示になります。
画面各部の名称と機能について説明します。

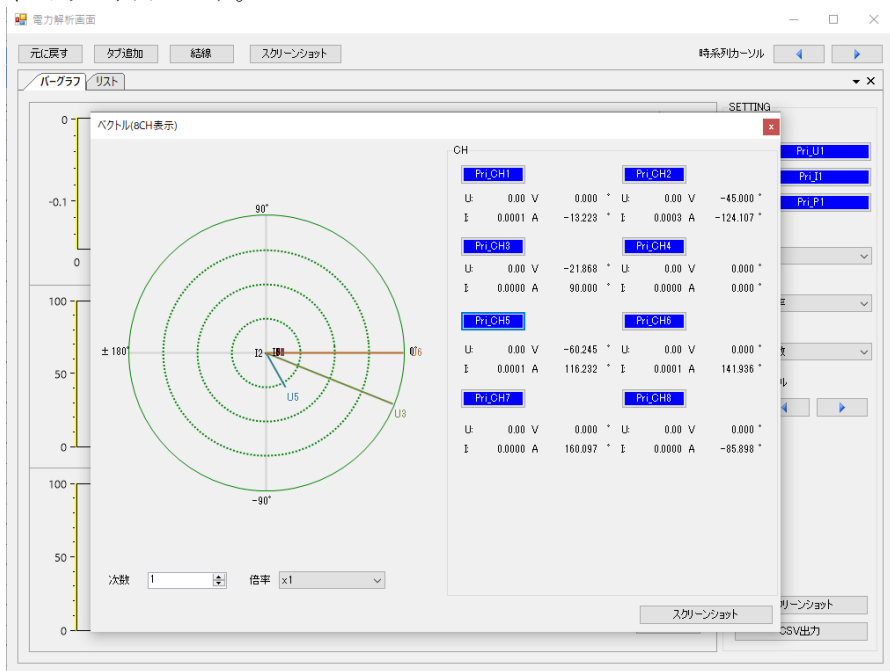


名称	機能
① 共通操作部	電力解析モード画面の共通操作の部分です。 結線設定、データ表示タブの追加、データ表示タブの配置を元に戻す、時系列ビューワのカーソル移動をおこないます。 詳細は以下を参照してください ➤ 結線を設定する
② データ表示部	読み込んだパワーアナライザ測定データの高調波データについて表示します。 高調波ベクトル、高調波バーグラフ、高調波リストの表示をします。高調波データ画面は任意に配置することが可能です。 詳細は以下を参照してください。 ➤ 高調波ベクトルを見る

データ表示タブをメインウィンドウから分離（フローティング）する

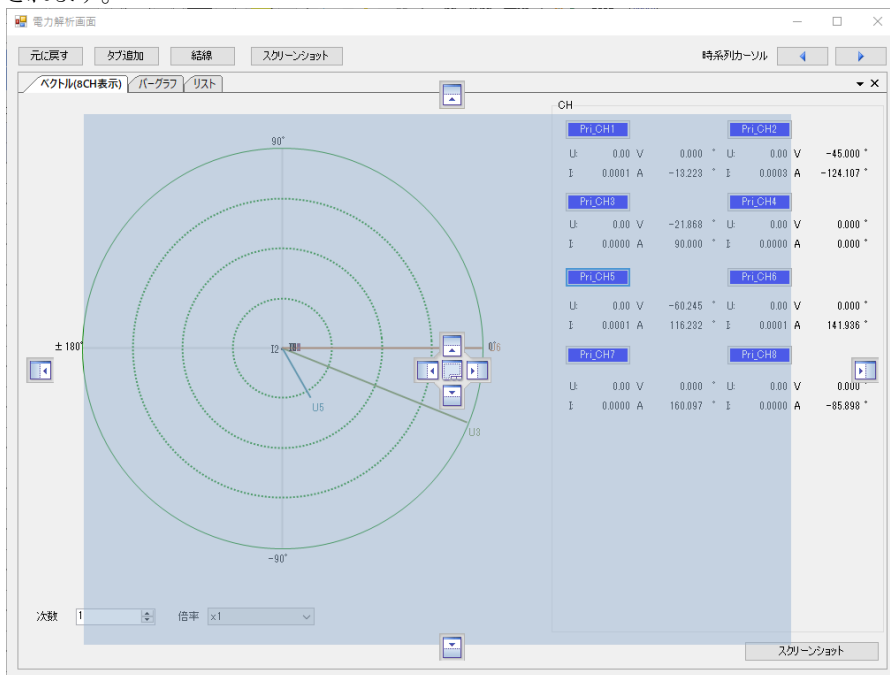
データ表示タブをメインウィンドウから分離（フローティング）して、別ウィンドウで表示することができます。
別ウィンドウにしたいデータ表示タブをクリックし、メイン画面上にドロップするとデータ表示タブがフローティングされ、別ウ

インドウで表示します。



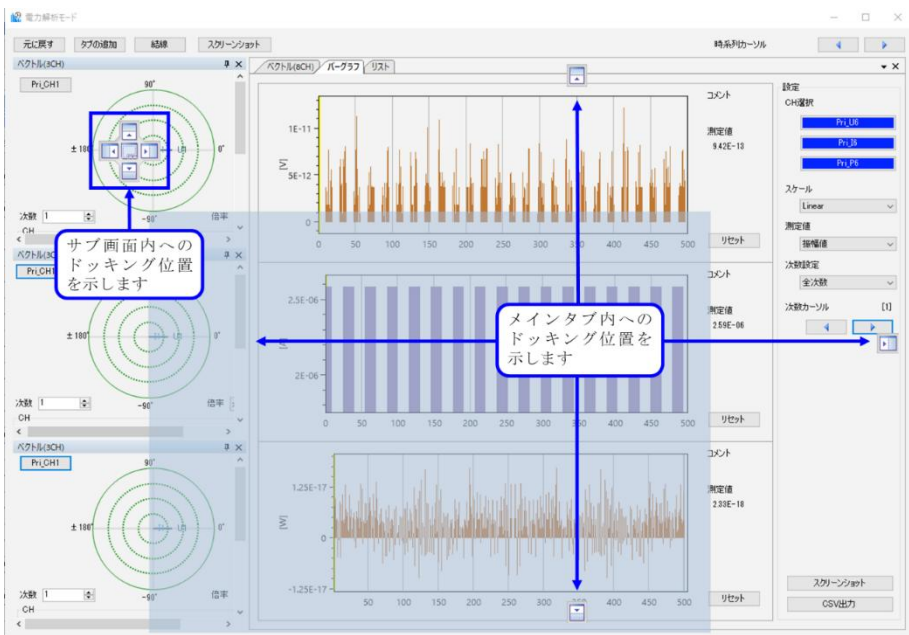
分離したデータ表示タブをメインウィンドウに組み込む（ドッキング）

分離（フローティング）したデータ表示タブをメインウィンドウ内に組み込む（ドッキング）ことができます。分離したデータ表示タブをドラッグし、メインウィンドウ中央部にドロップするとデータ表示部にデータ表示タブがドッキングされます。



データ表示タブを組み込む（ドッキング）位置を指定する

データ表示部のタブをメインウィンドウ内に組み込む（ドッキング）位置を指定することができます。データ表示タブ部分をドラッグし、メインウィンドウ内に表示されるカーソル上に合わせ、組み込む（ドッキング）位置を指定してドロップします。自由に配置して、ベクトル画面、バーグラフ画面、リスト画面を並べて表示することができます。



画面の配置を元に戻す

共通操作部[元に戻す]ボタンをクリックすると、ドッキングやフローティングが解除され、すべてのデータ表示がタブ表示に戻ります。

結線を設定する

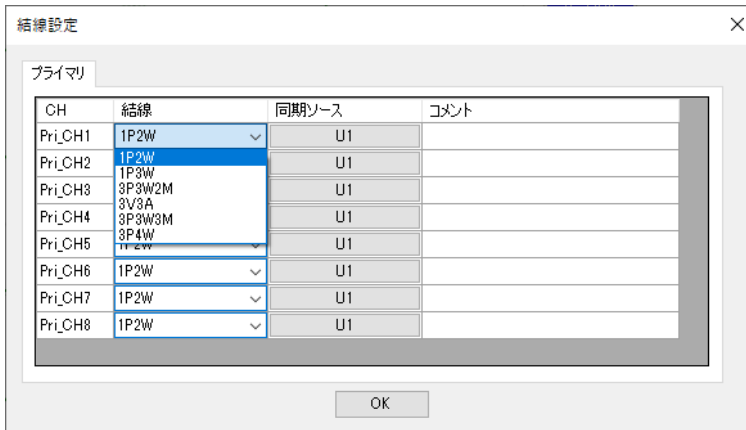
電力解析モードで表示しているデータが PW8001 のバージョン V1.53 未満で保存された時、結線設定をする必要があります。パワーアナライザの結線設定と異なる場合、正確な表示ができません。PW8001 V1.53 以降で保存されたデータは、自動で結線設定が反映されますので、結線設定の必要はありません。3.同期ソースの設定へお進みください。

1. [結線設定]ボタンをクリックし、パワーアナライザの結線設定をします。

名称	説明
Primary (略: Pri)	1 台の PW8001 で測定したときの CH 構成とそのデータ。
Secondary (略: Sec)	2 台の PW8001 で光同期測定をした時の Secondary 器側の CH 構成とそのデータ。(PW8001 の光同期測定機能は V2.00 以降)

2. 結線設定ウィンドウが開いたら、[Wiring]欄で PW8001 の各 CH に対する結線を選択します。読み込んだデータに対応する結線を指定してください。

指定できる結線は、PW8001 で設定できる結線のみ(1P2W/1P3W/3P3W2M/3V3A/3P3W3M/3P4W)です。



3. [Sync.Source]欄で、2.で選択した各結線に対する同期ソースを選択します。
 選択した同期ソースは、高調波データ表示部に表示されます。





4. [Comment]欄に選択した結線に対するコメントを入力することができます。
 入力されたコメントは、バーグラフ画面に表示されます。
 最大入力文字数: 全角 25 字以内、半角 50 字以内。
5. [OK]ボタンをクリックして、結線設定を閉じます。

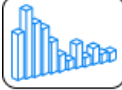

注記

読み込んだデータの結線と、設定された結線が異なる場合、正確な表示ができません。

データ表示タブ追加する

データ表示部の各画面の名称と機能について説明します。

名称とアイコン	機能
ベクトル 8 	8CH 分の電圧と電流の高調波データを、ベクトル図と測定値を表示します。 最大追加タブ数: 4
ベクトル 3 	3CH 分の電圧と電流の高調波データを、ベクトル図と測定値を表示します。 最大追加タブ数: 4
バーグラフ	高調波データを項目ごとにバーグラフで表示します。カーソル機能で、次数の

	測定値を確認することができます。 最大追加タブ数:3
リスト 	高調波データを項目ごとリスト表示します。 最大追加タブ数:3

1. [タブ追加]ボタンをクリックします。
2. 表示されたウィンドウから追加したい画面のボタンをクリックします。

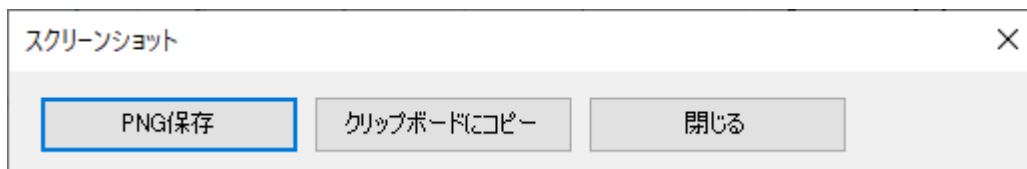


3. データ表示部に、選択した画面が追加されます。

表示している画面を保存する (スクリーンショット)

電力解析ウィンドウの表示内容を PNG 画像として保存、またはクリップボードにコピーします。

1. [スクリーンショット]ボタンをクリックします。
2. 表示している画面をコピーする方法を選択します。



時系列ビューワのカーソルを操作する

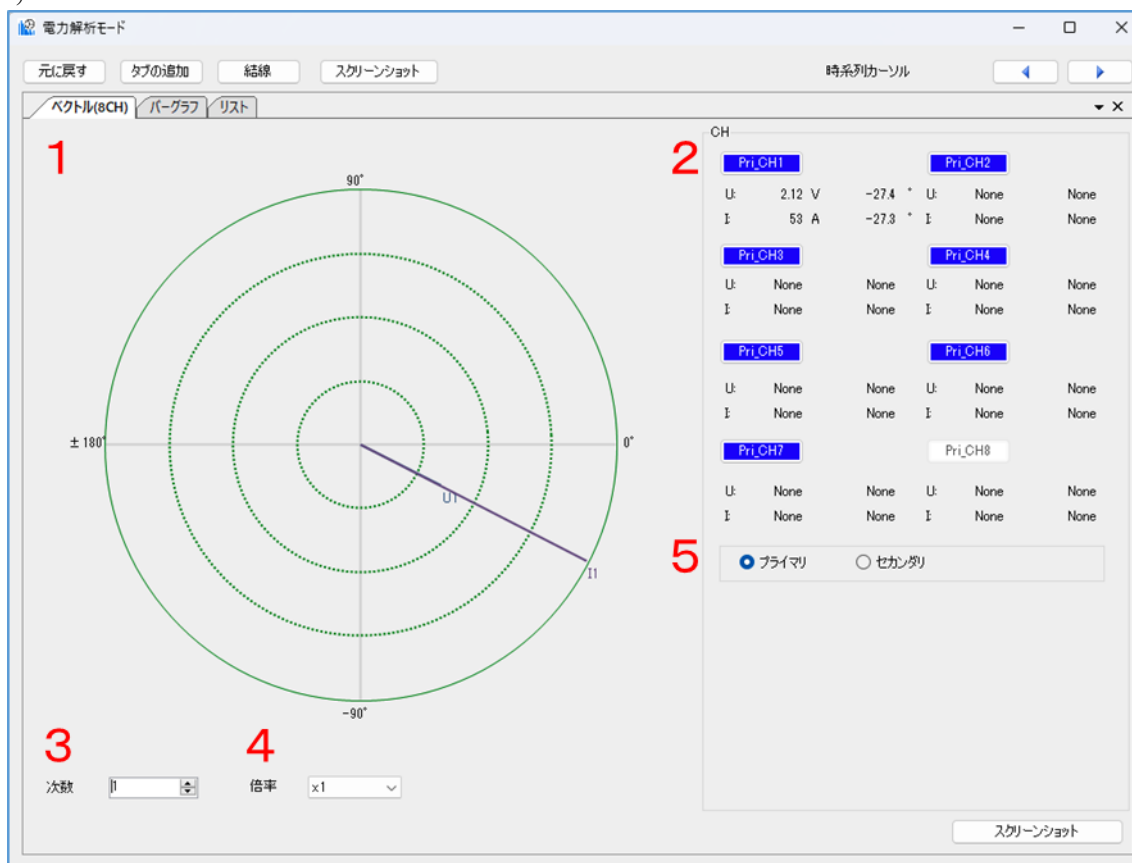
電力解析ウィンドウでは、時系列ビューワのカーソル位置の高調波データを表示します。
時系列ビューワのカーソルを、電力解析ウィンドウから操作できます。

1. 時系列カーソル[◀][▶]ボタンをクリックし、時系列ビューワのカーソルを移動します。
2. データ表示部のデータが時系列ビューワのカーソル位置のデータになるよう更新されます。

共通操作部の操作ボタンが選択されているとき、キーボードの左右矢印キーでも時系列ビューワのカーソル操作が可能です。

高調波ベクトルを見る

高調波ベクトル画面では、パワーアナライザで測定した高調波データをベクトル図表示します。電力解析モードウィンドウの[タブ追加]ボタンから[ベクトル]を選択すると、データ表示部に[ベクトル]タブが追加されます。



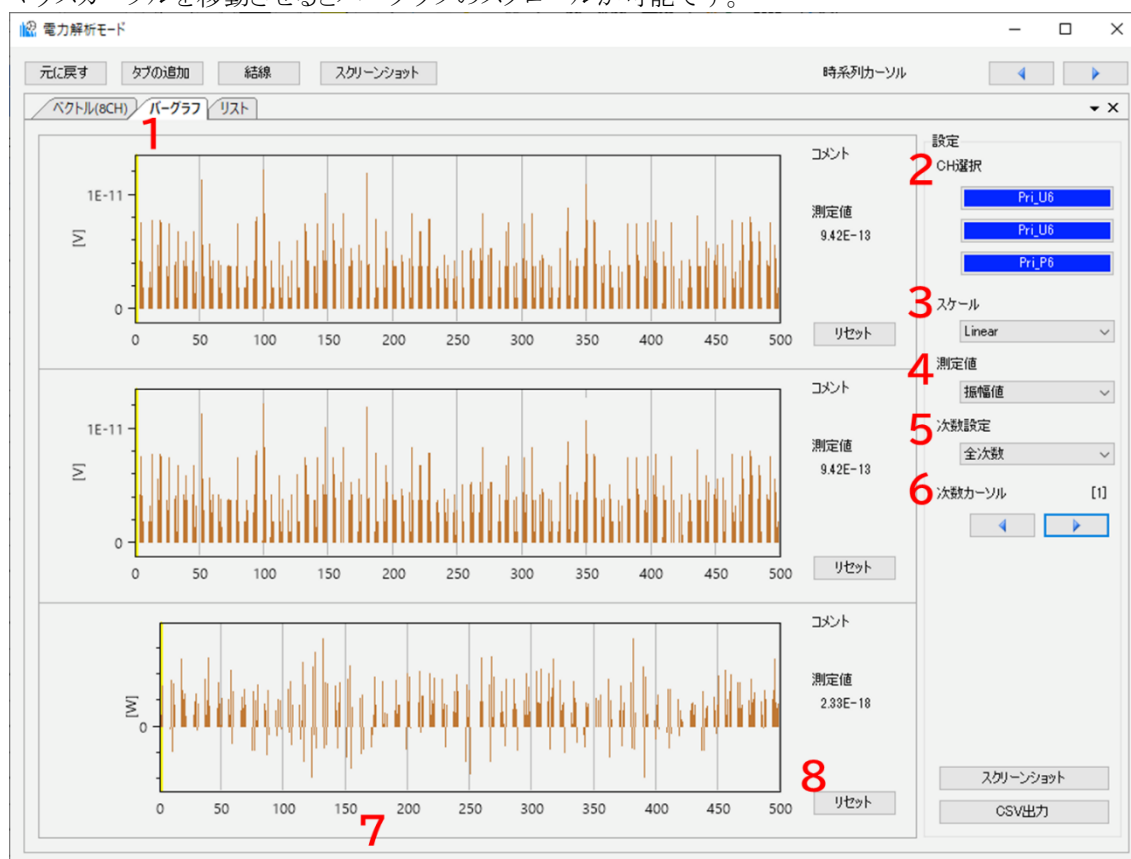
- 電力解析モードウィンドウの[ベクトル]タブを選択します。
[Vector8]は 8CH 分の電圧電流ベクトルと測定値を表示する画面、
[Vector3]は 3CH 分の電圧電流ベクトルおよび測定値を表示する画面です。
- [CH]ボタンをクリックして表示する CH を変更することができます。
・[ベクトル 8]タブのとき、
CH ボタンを OFF にすると、その CH のベクトルはされません。
・[ベクトル 3]タブのとき、
CH ボタンを OFF にすると、その CH のベクトルは表示されません。
- 次数指定すると、その次数における電圧電流ベクトル図と測定値を表示します。
読み込んだデータに存在しない次数については、データ表示はしません。(Data Empty.と表示します)
- [倍率]を選択すると、ベクトル図のベクトルの大きさを変更できます。

- 読み込んだデータが光同期データるとき、表示するデータをプライマリ側のデータかセカンダリ側のデータか選択することができます。(PW8001 V2.00 以降)

高調波バーグラフを見る

高調波バーグラフ画面では、パワーアナライザで測定した高調波データをバーグラフで表示します。電力解析モードウィンドウの[タブ追加]ボタンから[バーグラフ]を選択すると、データ表示部に[バーグラフ]タブが追加されます。

バーグラフ上でマウスをドラッグアンドドロップしてバーグラフの拡大、拡大されたバーグラフ上で右クリックしながら左右にマウスカーソルを移動させるとバーグラフのスクロールが可能です。



- 電力解析モードウィンドウの[バーグラフ]タブを選択します。
- [表示選択]ボタンをクリックすると CH 選択ウィンドウが表示されます。CH 選択ウィンドウから、バーグラフ表示する項目を選択します。



OFF を選択すると、バーグラフを非表示にします。

3 つのグラフを同時に OFF に設定することはできません。

PW8001 の本体に存在しない CH は選択できません。

3. [スケール]設定をします。

選択肢	内容
Linear	線形表示です。小さなレベルまで表示できます。 [測定値]が[位相角]を選択しているときは、縦軸表示は[Linear]に固定されます。
Log	対数表示です。

4. [測定値]を設定します。

選択肢	内容
振幅値	各次高調波のレベルを示します。
含有率	基本波成分を 100%とし、各次高調波を割合で示します。
位相角	高調波有効電力の位相角は、高調波電流電圧位相差を示します。

5. [次数設定]で表示する次数を選択します。

選択肢	内容
全次数	0～500 次の全次数を表示します。
奇数次	0～500 次のうち、0 次と 1～499 次の奇数次を表示します。
偶数次	0～500 次のうち、0 次と 2～500 次の偶数次を表示します。

6. [次数カーソル]で表示しているバーグラフの次数カーソルを移動します。

① [▶]ボタン

次数カーソルが右に移動します。

[▶]ボタンがアクティブ状態の時、キーボードの右カーソルキーで次数カーソルを右に移動することができます。

② [◀]ボタン

次数カーソルが左に移動します。

[◀]ボタンがアクティブ状態の時、キーボードの左カーソルキーで次数カーソルを左に移動することができます。

③ マウス操作

次数カーソルにマウスカーソルを合わせ、ドラッグアンドドロップ操作をおこなうと、次数カーソルを移動することができます。

7. コメントが表示されます。

結線設定で指定したコメントが、この欄に表示されます。

8. [Reset]

拡大・縮小したバーグラフを初期状態の拡縮に戻します。

➤ [中間高調波]について

IEC 規格モードで保存され、中間高調波データがあるとき、

バーグラフ画面に[中間高調波] (ON/OFF) ボタンを表示します。

[ON]を選択すると、電流、電圧の実効値、および含有率の中間高調波成分が水色のグラフで表示されます。

次数カーソルでは、0.5 次ずつカーソルが移動し、中間高調波の数値の確認ができます。

電力測定項目には中間高調波測定項目がないため、高調波成分のみ表示されます。

また、[測定値] を[位相角] に設定すると[中間高調波]が[OFF]になります。

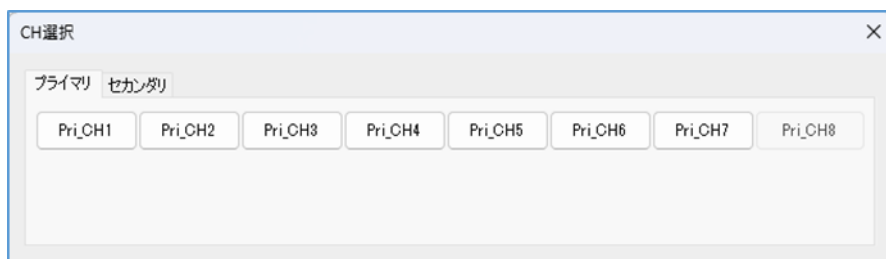
高調波リスト表示を見る

高調波リスト画面では、パワーアナライザで測定した高調波データをリスト形式で表示します。

電力解析モードウィンドウの[タブ追加]ボタンから[リスト]を選択すると、データ表示部に[リスト]タブが追加されます。読み込んだファイルに、表示するデータが存在しないとき表示、CSV 出力ともに **None** を出力します。

1 : 9.42E-13	11 : 3.3E-12	21 : 3.8E-12	31 : 4.16E-12	41 : 5.67E-12
2 : 3.77E-12	12 : 1.88E-12	22 : 3.88E-12	32 : 9.42E-13	42 : 7.6E-12
3 : 4.21E-12	13 : 7.77E-12	23 : 4.21E-12	33 : 6.79E-12	43 : 1.88E-12
4 : 7.6E-12	14 : 1.88E-12	24 : 3.77E-12	34 : 5.96E-12	44 : 4.21E-12
5 : 4.11E-12	15 : 1.41E-12	25 : 2.83E-12	35 : 7.6E-12	45 : 6.79E-12
6 : 1.88E-12	16 : 4.44E-12	26 : 7.54E-12	36 : 8.13E-12	46 : 1.41E-12
7 : 1.88E-12	17 : 5.65E-12	27 : 9.42E-13	37 : 4.21E-12	47 : 3.3E-12
8 : 2.66E-12	18 : 3.77E-12	28 : 5.96E-12	38 : 3.77E-12	48 : 1.88E-12
9 : 3.77E-12	19 : 7.77E-12	29 : 6.79E-12	39 : 5.96E-12	49 : 2.66E-12
10 : 1.88E-12	20 : 7.6E-12	30 : 3.88E-12	40 : 3.77E-12	50 : 7.77E-12

- 電力解析ウィンドウモードの[リスト]タブを選択します。
- [表示選択]ボタンをクリックすると CH 選択ウィンドウが表示されます。
CH 選択ウィンドウから、リスト表示する項目を選択します。



PW8001 の本体に存在しない CH は選択できません。

3. [U/I/P]設定をします。

選択肢: U/I/P

4. [測定項目]を設定します。

選択肢	内容
振幅値	各次高調波のレベルを示します。
含有率	基本波成分を 100%とし、各次高調波を割合で示します。
位相角	高調波有効電力の位相角は、高調波電流電圧位相差を示します。

5. [表示数]を設定します。

1 画面に表示する次数を選択します。横スクロールでデータを見ることができます。

選択肢: 50/100/200

6. [次数設定]で表示する次数を選択します。

選択肢	内容
全次数	0～500 次の全次数を表示します。
奇数次	0～500 次のうち、0 次と 1～499 次の奇数次を表示します。
偶数次	0～500 次のうち、0 次と 2～500 次の偶数次を表示します。

7. [CSV 出力]をします。

表示されている高調波項目について、CSV 形式で出力します。

➤ 中間高調波について

IEC 規格モードで保存され、中間高調波データがあるとき、

リスト画面に[中間高調波](ON/OFF)ボタンを表示します。

[ON]を選択すると、電流、電圧の実効値、および含有率の中間高調波成分が高調波測定値の隣に表示されます。

中間高調波リストを表示可能な項目は、電圧、電流の実効値と含有率です。

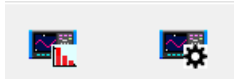
それ以外の項目を選択すると、[中間高調波]が[OFF]になります。

PW3360, PW3365 データの高調波グラフ・リスト、設定情報を表示する

V5.70 より時系列ビューワで読み込んだ測定データに PW3360, PW3365 データが含まれている場合は以下の画面を表示することができます。

- ・ 高調波グラフ・リスト (高調波データがある場合のみ)
- ・ 測定時本体設定情報

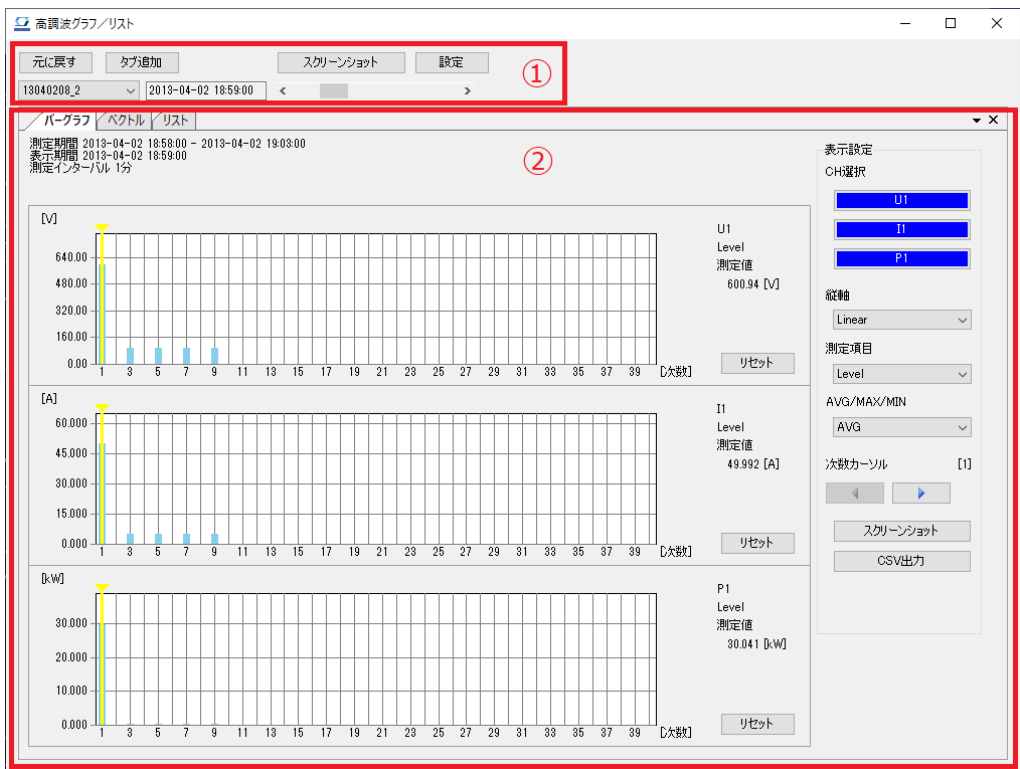
各画面が表示可能な場合はツールバーに以下のアイコンが表示されます。アイコンをクリックすると画面が表示されます。(左: 高調波グラフ・リストアイコン、右: 設定表示アイコン)



高調波グラフ・リスト画面

高調波グラフ・リスト画面は PW3360, PW3365 測定データの高調波バーグラフ/ベクトル図/リストの表示が可能です。画面各部の名称と機能について説明します。

※ PW3360 シリーズ(高調波機能付き)は 40 次まで、PW3365 シリーズは 13 次まで高調波を測定可能です。

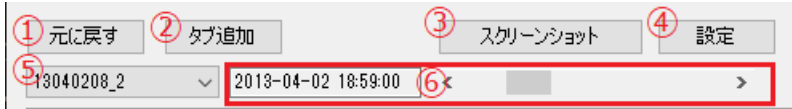


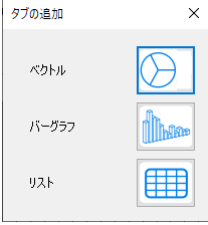
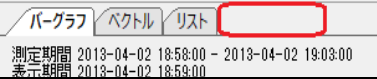
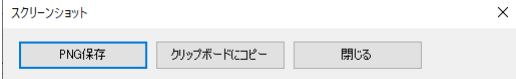
名称	機能
① 共通操作部	高調波グラフ・リスト画面の共通操作の部分です。 表示データおよび表示時間の選択の他にデータ表示タブの追加、データ表示タブの配置を元に戻す、データ表示部のスクリーンショットの取得および画面の設定が可能です。 詳細は以下を参照してください ➤ 共通設定部
② データ表示部	読み込んだ PW3360, PW3365 測定データの高調波データについて表示します。 バーグラフ、ベクトル図、リストの表示が可能で、画面は任意に配置することが可能です。 詳細は以下を参照してください。

▶ データ表示部

共通設定部

共通設定部では以下の操作ができます。



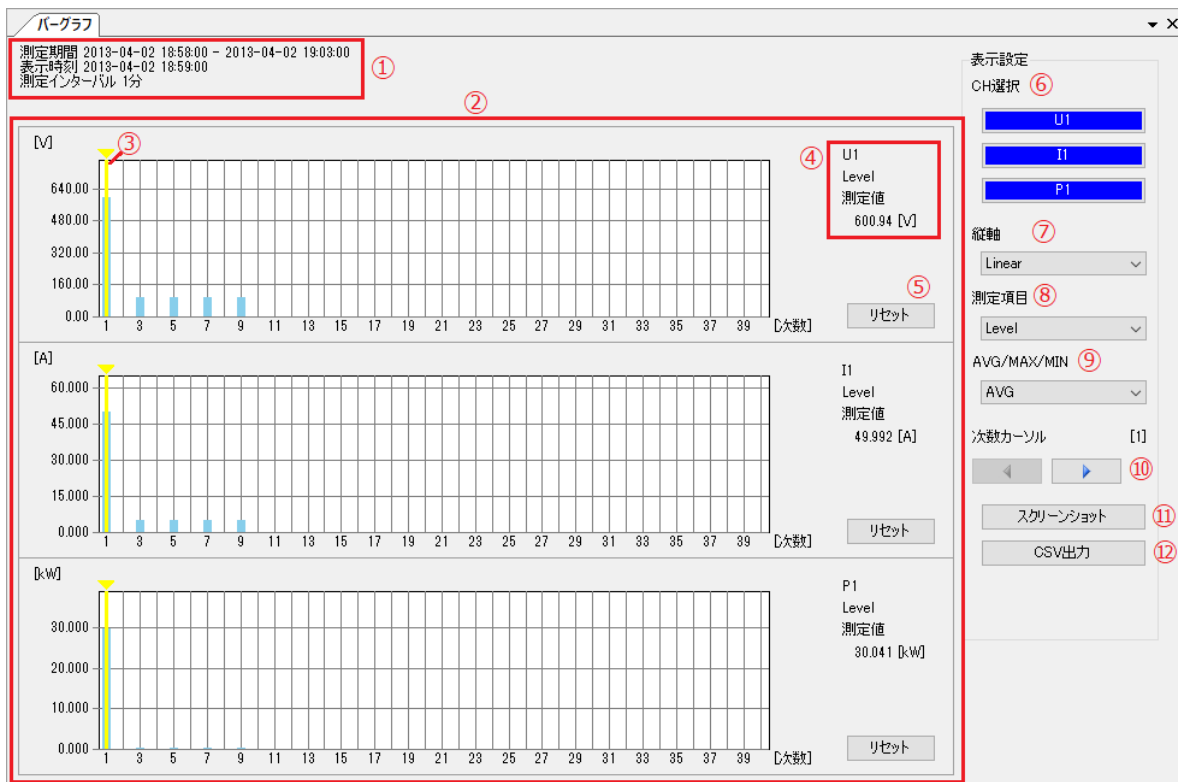
名称	機能
① [元に戻す] ボタン	[元に戻す]ボタンをクリックすると、データ表示タブのドッキングやフローティングが解除され、すべてのデータ表示がタブ表示に戻ります。 データ表示タブのドッキングやフローティング動作については以下を参照してください。 ▶ データ表示タブの分離(フローティング)や組み込み(ドッキング)を行う
② [タブ追加] ボタン	データ表示部にバーグラフ、ベクトル図、リストの各タブを追加できます。 ボタンを押下するとタブの追加画面が表示されるので、追加したい表示タブのボタンを押下するとデータ表示部に選択したタブが追加されます。  ※ タブは基本表示部の右端に追加されます 
③ [スクリーンショット] ボタン	現在表示されている高調波グラフ・リスト画面のタブ全体の内容を PNG 画像として保存、またはクリップボードにコピーします。(画面右の表示設定部分も含まれます。) ボタンを押下すると表示されるスクリーンショット方法の選択画面にて選択してください。 
④ [設定]ボタン	高調波グラフ・リスト画面の表示設定を開きます。 詳細は以下を参照してください。 ▶ 表示設定
⑤ 表示データの選択	高調波グラフ・リスト画面で表示するデータを選択します。 選択できるデータは以下の条件となります。 ・ 時系列測定データ作成時(新しく時系列ビューを開いたとき)にチェックをつけたデータ ・ PW3360 または PW3365 測定データ、かつ高調波測定データが保存されている
⑥ 表示時刻の設定	スクロールバーで高調波グラフ・リスト画面の表示時刻を設定します。 スクロールバーの範囲は選択しているデータから自動的に設定されます。 ※ 直接数値入力して表示時刻を設定することはできません。 ※ PW3360,PW3365 の仕様上、先頭時刻のデータが空白の場合があります。

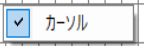
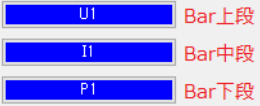
データ表示部

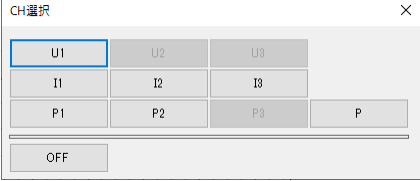

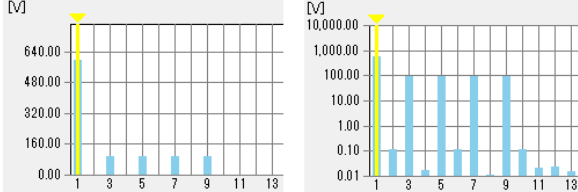

データ表示部では高調波バーグラフ、高調波ベクトル図および高調波リストを表示できます。
画面ごとに機能を説明します。

● **高調波バーグラフ**

表示時刻で設定された時刻の高調波データをバーグラフで表示します。
画面各部の名称と機能について説明します。



名称	機能
① データ情報	現在表示しているグラフの測定データ情報(測定期間、表示時刻、測定インターバル)を表示します。
② グラフ表示部	CH 選択で選ばれている測定項目の高調波グラフ(最大 3 グラフ)を表示します。 グラフはマウスによる拡大操作を行うことができます。(*1) グラフの縦軸範囲設定、色指定、表示補助単位や小数点以下の桁数などの設定は表示設定画面にて設定します。 ➤ 表示設定
③ 次数カーソル	グラフ上に表示され、選択された次数の測定値をカーソル値として表示します。 カーソルは次数カーソルボタンまたはグラフ上をクリックすることで移動できます。 カーソルはすべてのグラフで同じ次数に表示され、グラフ上で右クリックすると表示される[カーソル]メニューにてカーソルの表示/非表示を切り替えることができます。  ※ カーソルを非表示にしてもカーソル線が消えるだけで、カーソル値は表示されます。
④ カーソル値	次数カーソルで選択されている次数の測定値情報(選択チャンネル名、測定項目名、測定値)を表示します。
⑤ [リセット]ボタン	グラフを初期状態に戻します。 グラフごとに初期状態に戻すことができます。
⑥ CH 選択	グラフの表示/非表示と表示チャンネルを切り替えることができます。 CH 選択は 3 つあり、グラフ表示位置と連動しています。  CH 選択表示をクリックするとチャンネル選択画面が表示されるので、表示したいチャンネルを選択します。OFF を選択すると対応するグラフが非表示となります。

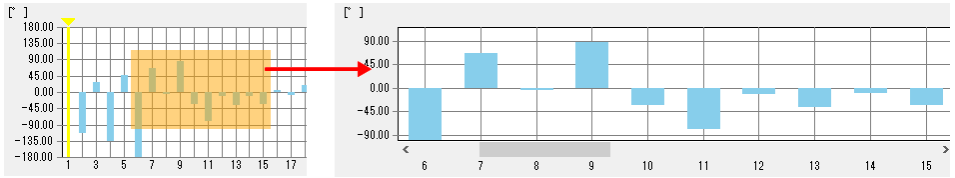
	 <p>グラフの表示／非表示は CH 選択の背景色(表示:青、非表示:白)で示します。</p>  <p>※ 測定時の結線設定によって選択できるチャンネルが変わります。</p>
<p>⑦ 縦軸</p>	<p>測定項目が[Level](レベル)または[% of Fnd](含有率)の場合はグラフの縦軸表示を設定できます。</p> <p>縦軸設定はすべてのグラフで共通です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Linear : リニア軸(線形表示)で表示します。 Log : 対数軸(対数表示)で表示します。  <p>※ 測定項目が[Phase](位相角)の場合は Linear(リニア軸)表示固定となります。</p>
<p>⑧ 測定項目</p>	<p>測定項目を設定できます。</p> <p>測定項目はすべてのグラフで共通です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Level : 高調波レベルを表示します。 % of Fnd : 高調波含有率を表示します。 Phase : 高調波位相角を表示します。
<p>⑨ AVG/MAX/MIN</p>	<p>表示するデータ種類(平均値(AVG)/最大値(MAX)/最小値(MIN))を選択できます。</p> <p>測定データの保存設定が[平均値のみ]のときは AVG 固定となります。</p>
<p>⑩ 次数カーソル ボタン</p>	 <p>ボタンを操作して、カーソルを移動させることができます。</p> <p>[] 内の数値は現在カーソルが示している次数値を表します。</p>
<p>⑪ [スクリーンショット] ボタン</p>	<p>現在表示されているバーグラフの内容を PNG 画像として保存、またはクリップボードにコピーします。</p> <p>画面上部の[スクリーンショット]ボタンと違い、グラフ表示部分のみ保存・コピーします。</p>
<p>⑫ [CSV 出力] ボタン</p>	<p>現在表示しているグラフの測定値を CSV に出力します。</p> <p>出力例:</p> <pre>#DataName,"13040208_2" #DateTime,"2013-04-02 18:59:00" #MeasuredItem,"level" #MeasuredValue,"AVG" Order,U1[V],I1[A],P1[kW] 1,600.94,49.992,30.041 2,0.12,0.004,0.000 3,100.15,5.008,0.494 4,0.02,0.002,-0.000 5,100.19,5.008,0.494</pre>

*1 バーグラフのマウスによる拡大方法について

グラフ上でマウスをドラッグするとグラフ表示領域を拡大できます。
レベル/含有率表示のときは 0 を基準とした領域選択のみ可能です。

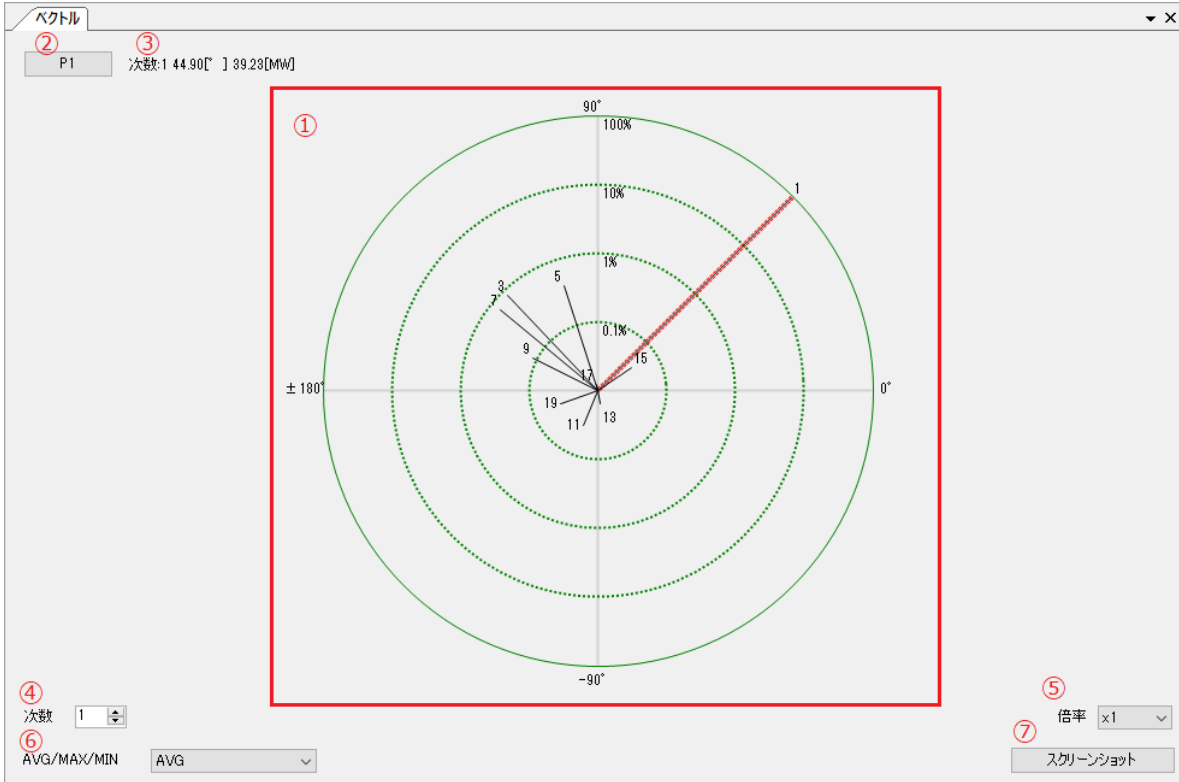


位相角表示の時は任意のグラフ表示領域を選択できます。

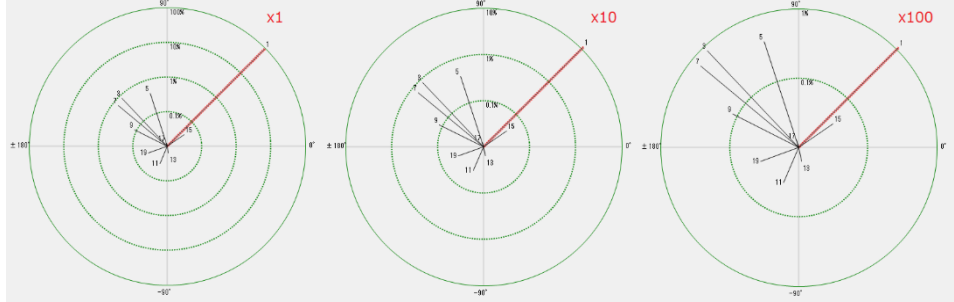


● 高調波ベクトル図

表示時刻で設定された時刻の高調波データをベクトル図表示します。
画面各部の名称と機能について説明します。

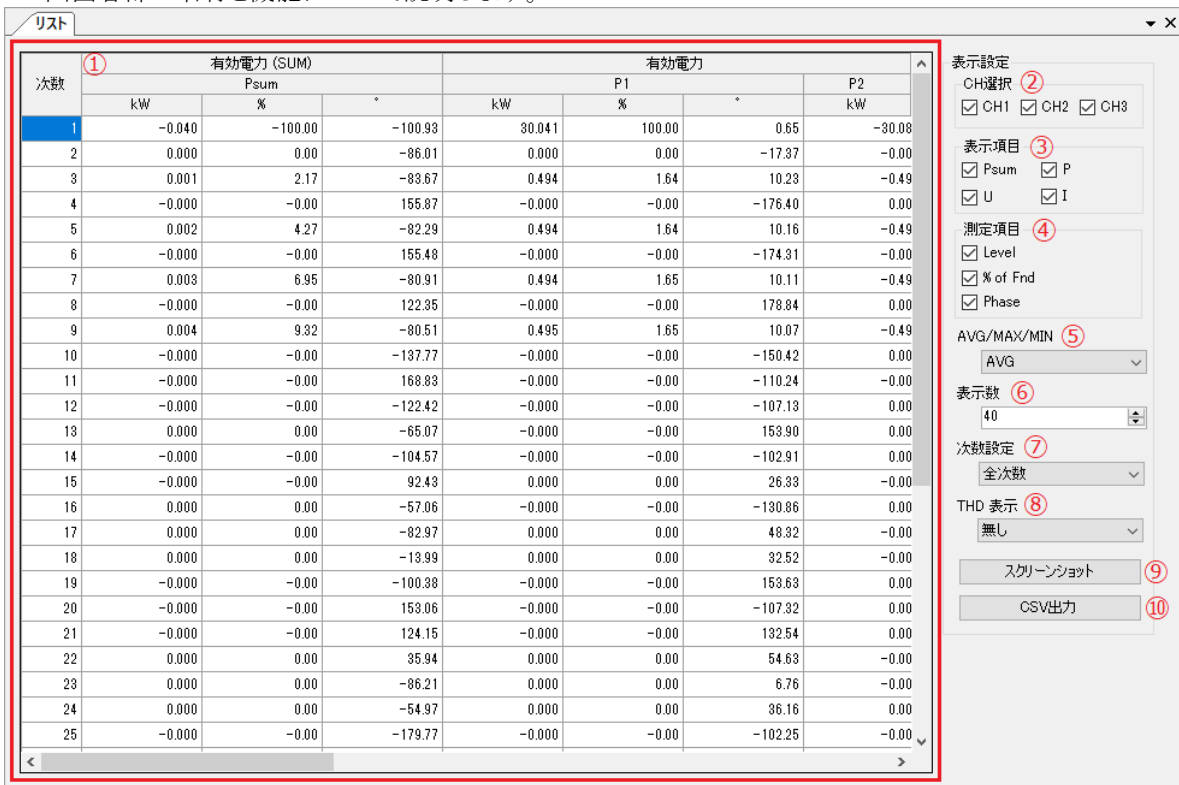


名称	機能
① ベクトル図表示部	<p>現在選択している表示時刻および CH 選択に従ってベクトル図を表示します。 表示軸は対数軸となり、線の先端に表示されている数値が次数を表します。 図の色指定やカーソル値の表示補助単位や小数点以下の桁数などの設定は表示設定画面にて設定します。</p> <p>➤ 表示設定</p>
② CH 選択	<p>グラフの表示チャンネルを切り替えることができます。 CH 選択表示をクリックするとチャンネル選択画面が表示されるので、表示したいチャンネルを選択します。</p> <div data-bbox="459 1624 885 1809" data-label="Image"> </div> <p>※ 測定時の結線設定によって選択できるチャンネルが変わります。 ※ 高調波グラフ・リスト画面と異なり OFF は選択できません。</p>
③ カーソル値	<p>次数カーソルで選択されている次数の測定値情報(選択チャンネル名、次数、位相角値、レベル値)を表示します。</p>
④ カーソル指定	<p>強調表示する次数を選択します。 選択した次数を表す線が強調表示され、カーソル値をして表示されます。 ※ 強調表示を非表示にすることはできません。</p>

<p>⑤ 倍率</p>	<p>ベクトル図のベクトルの大きさを変更できます。 “x1”, “x10”, “x100”が選択でき、一番外の円が各々”100%”, “10%”, “1%”になります。</p> 
<p>⑥ AVG/MAX/MIN</p>	<p>表示するデータ種類(平均値(AVG)/最大値(MAX)/最小値(MIN))を選択できます。 測定データの保存設定が[平均値のみ]のときは AVG 固定となります。</p>
<p>⑦ [スクリーンショット]ボタン</p>	<p>現在表示されているベクトル図の内容を PNG 画像として保存、またはクリップボードにコピーします。 画面上部の[スクリーンショット]ボタンと違い、ベクトル図表示部分のみ保存・コピーします。</p>

● 高調波リスト

表示時刻で設定された時刻の高調波データを数値で表示します。
 画面各部の名称と機能について説明します。



次数	有効電力 (SUM)			有効電力			P2 kW
	kW	%	*	kW	%	*	
1	-0.040	-100.00	-100.93	30.041	100.00	0.65	-30.08
2	0.000	0.00	-86.01	0.000	0.00	-17.37	-0.00
3	0.001	2.17	-83.67	0.494	1.64	10.23	-0.49
4	-0.000	-0.00	155.87	-0.000	-0.00	-176.40	0.00
5	0.002	4.27	-82.29	0.494	1.64	10.16	-0.49
6	-0.000	-0.00	155.48	-0.000	-0.00	-174.31	-0.00
7	0.003	6.95	-80.91	0.494	1.65	10.11	-0.49
8	-0.000	-0.00	122.35	-0.000	-0.00	178.84	0.00
9	0.004	9.32	-80.51	0.495	1.65	10.07	-0.49
10	-0.000	-0.00	-137.77	-0.000	-0.00	-150.42	0.00
11	-0.000	-0.00	168.83	-0.000	-0.00	-110.24	-0.00
12	-0.000	-0.00	-122.42	-0.000	-0.00	-107.13	0.00
13	0.000	0.00	-65.07	-0.000	-0.00	153.90	0.00
14	-0.000	-0.00	-104.57	-0.000	-0.00	-102.91	0.00
15	-0.000	-0.00	92.43	0.000	0.00	26.33	-0.00
16	0.000	0.00	-57.06	-0.000	-0.00	-130.86	0.00
17	0.000	0.00	-82.97	0.000	0.00	48.32	-0.00
18	0.000	0.00	-13.99	0.000	0.00	32.52	-0.00
19	-0.000	-0.00	-100.38	-0.000	-0.00	153.63	0.00
20	-0.000	-0.00	153.06	-0.000	-0.00	-107.32	0.00
21	-0.000	-0.00	124.15	-0.000	-0.00	132.54	0.00
22	0.000	0.00	35.94	0.000	0.00	54.63	-0.00
23	0.000	0.00	-86.21	0.000	0.00	6.76	-0.00
24	0.000	0.00	-54.97	0.000	0.00	36.16	0.00
25	-0.000	-0.00	-179.77	-0.000	-0.00	-102.25	-0.00

名称	機能
<p>① リスト表示部</p>	<p>現在選択している表示時刻および表示設定に従ってリストを表示します。 リストは以下の順に従って表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示項目は Psum/P/U/I の順で表示 チャンネルは表示項目内で CH1/CH2/CH3 の順で表示 測定項目は表示項目・チャンネル内で Level/% of Fnd/Phase の順で表示 <p>表示補助単位や小数点以下の桁数などの設定は表示設定画面にて設定します。 > 表示設定</p>
<p>② CH 選択</p>	<p>表示したいチャンネルを選択できます。 Psum(有効電力(sum))は CH 選択に影響を受けません。</p>

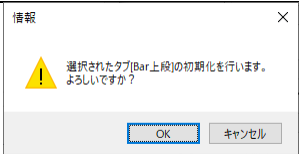
	<p>※ 測定時の結線設定によって選択できるチャンネルが変わります。</p> <p>※ チェックをすべて外すとリストは空白になります。</p>																																		
③ 表示項目	<p>表示したい表示項目を選択できます。</p> <p>項目は Psum (有効電力(sum))、P (有効電力)、U (電圧)、I (電流) を選択できます。</p> <p>※ 測定時の結線設定によって選択できる項目が変わります。</p> <p>※ チェックをすべて外すとリストは空白になります。</p>																																		
④ 測定項目	<p>表示したい測定項目を選択できます。</p> <p>項目は Level (高調波レベル)、% of Fnd (高調波含有率)、Phase (高調波位相角) を表示でき、項目の列名は単位で表します。</p> <p>※ チェックをすべて外すとリストは空白になります。</p>																																		
⑤ AVG/MAX/MIN	<p>表示するデータ種類 (平均値(AVG) / 最大値(MAX) / 最小値(MIN)) を選択できます。</p> <p>測定データの保存設定が [平均値のみ] のときは AVG 固定となります。</p>																																		
⑥ 表示数	<p>リストで表示する最大次数を選択できます。</p> <p>※ 読み込んだデータによって選択できる表示数の最大値が変わります。</p>																																		
⑦ 次数設定	<p>リストで表示する次数を選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全次数 : すべての次数を表示します。 奇数次 : 奇数次のみ表示します。 偶数次 : 偶数次のみ表示します。 																																		
⑧ THD 表示	<p>THD-F / THD-R 値をリストに表示するか選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無し : THD 値は表示しません。 上側 : THD 値をリストの最上段行に表示します。 下側 : THD 値をリストの最下段行に表示します。 <p>THD 値は U / I 項目の % of Fnd (含有率) 列に表示されます。</p> <table border="1" data-bbox="486 1014 1123 1133"> <thead> <tr> <th rowspan="2">次数</th> <th colspan="3">電圧 U1</th> <th colspan="3">電流 I1</th> </tr> <tr> <th>V</th> <th>%</th> <th>*</th> <th>A</th> <th>%</th> <th>*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>THD-F</td> <td></td> <td>33.35</td> <td></td> <td></td> <td>20.04</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>600.94</td> <td>100.00</td> <td>0.00</td> <td>49.992</td> <td>100.00</td> <td>0.65</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.12</td> <td>0.02</td> <td>-111.42</td> <td>0.004</td> <td>0.01</td> <td>89.84</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ THD-F / THD-R は測定時の設定に従って一方だけ表示します。</p>	次数	電圧 U1			電流 I1			V	%	*	A	%	*	THD-F		33.35			20.04		1	600.94	100.00	0.00	49.992	100.00	0.65	2	0.12	0.02	-111.42	0.004	0.01	89.84
次数	電圧 U1			電流 I1																															
	V	%	*	A	%	*																													
THD-F		33.35			20.04																														
1	600.94	100.00	0.00	49.992	100.00	0.65																													
2	0.12	0.02	-111.42	0.004	0.01	89.84																													
⑨ [スクリーンショット] ボタン	<p>現在表示されているリストの内容を PNG 画像として保存、またはクリップボードにコピーします。</p> <p>画面上部の [スクリーンショット] ボタンと違い、リスト表示部分のみ保存・コピーします。</p>																																		
⑩ [CSV 出力] ボタン	<p>現在表示しているリストの測定値を CSV に出力します。</p> <p>出力例</p> <pre>#DataName,"13040208_2" #DataTime,"2013-04-02 18:59:00" #MeasuredValue,"AVG" 次数,有効電力 (SUM),,有効電力,,電圧,,電流,, ,Psum,,P1,,U1,,I1,, ,kW,%, ,kW,%, ,V,%, ,A,%, 1,-0.040,-100.00,-100.93,30.041,100.00,0.65,600.94,100.00,0.00,49.992,100.00,0.65 2,0.000,0.00,-86.01,0.000,0.00,-17.37,0.12,0.02,-111.42,0.004,0.01,89.84 3,0.001,2.17,-83.67,0.494,1.64,10.23,100.15,16.67,29.31,5.008,10.02,39.54 4,0.000,0.00,155.87,0.000,0.00,-176.40,0.02,0.00,-122.10,0.002,0.00,52.67</pre>																																		

表示設定

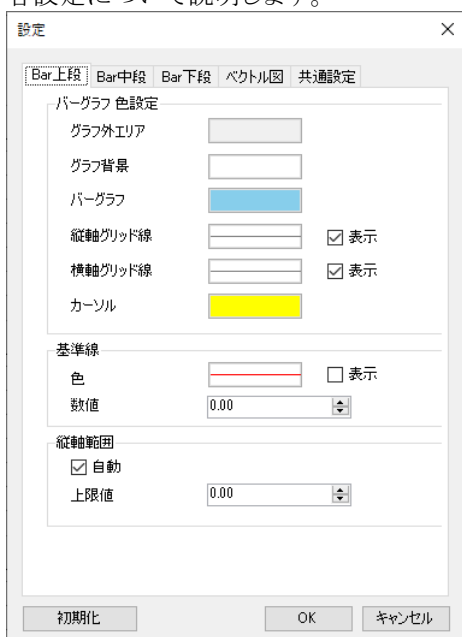
高調波グラフ・リスト画面の表示に関する各種設定を [設定] ボタンで表示されるダイアログで行うことができます。
 [Bar 上段]、[Bar 中段]、[Bar 下段] タブは高調波バーグラフのグラフごとの設定です。
 [ベクトル図] タブはベクトル図、[共通設定] タブは全表示共通の設定となります。
 画面ごとに設定項目を説明します。

- 全画面共通
 全タブ共通のボタン押下時動作を説明します。

ボタン名	動作内容
[初期化] ボタン	ボタンを押下すると表示されているタブの設定を初期化するか確認するメッセージが表示されます。

	 <p>メッセージ画面の[OK]ボタンを押下すると表示されているタブの設定を初期化します。 ※ 変更の確定は画面左下の[OK]ボタンを押下する必要があります。</p>
[OK]ボタン	ボタンを押下するとすべてのタブで変更された設定内容を反映して画面を閉じます。
[キャンセル]ボタン	ボタンを押下すると変更された設定内容を反映せずにグラフ設定画面を閉じます。

- [Bar 上段]、[Bar 中段]、[Bar 下段]タブ
 高調波バーグラフ表示のグラフごとに表示設定を変更することができます。
 [Bar 上段]、[Bar 中段]、[Bar 下段]の設定項目はすべて同じです。
 色(線色)表示エリアをクリックすると色の設定画面が表示されます。
 各設定について説明します。



設定	内容	
バーグラフ 色設定	グラフ外エリア	グラフ表示領域の周囲の色を設定します。
	グラフ背景	グラフの背景色を設定します。
	バーグラフ	バーグラフの色を設定します。
	縦軸グリッド線	縦軸グリッド線の色を設定します。 [表示]チェックをオンにするとグリッド線を表示します。
	横軸グリッド線	横軸グリッド線の色を設定します。 [表示]チェックをオンにするとグリッド線を表示します。
	カーソル	カーソルの色を設定します。
基準線	色	基準線の色を設定します。 [表示]チェックをオンにすると基準線を表示します。
	数値	基準線の位置を指定します。 単位および補助単位を除いた縦軸の数値を指定します。
縦軸範囲	自動	<input checked="" type="checkbox"/> : 縦軸表示範囲をデータから自動的に算出して決定します。

		<input type="checkbox"/> オフ: 縦軸表示範囲を上限値に指定された数値に固定します。
	上限値	<p>自動がオフの場合の縦軸表示範囲を指定します。</p> <p>単位および補助単位を除いた縦軸の数値を指定します。</p> <p>Level(高調波レベル)、% of Fnd(高調波含有率)表示時かつグラフがマイナス側に描画されている場合は上限値の指定をマイナスにした値を下限値として設定します。</p> <p>Phase(高調波位相角)表示時は上限値で指定した値をマイナスにした値を下限値として上下限値を設定します。</p>

● [ベクトル図]タブ

高調波ベクトル図の表示設定を変更することができます。
色表示エリアをクリックすると色の設定画面が表示されます。
各設定について説明します。



設定	内容
背景色	ベクトル図の背景色を設定します。
円の線色	ベクトル図の円線の色を設定します。
ベクトル色	ベクトル線の色を設定します。
ベクトル選択色	カーソル選択しているベクトル線の強調表示色を設定します。
目盛文字色	目盛の文字色を設定します。
次数文字色	次数の文字色を設定します。

● [共通設定]タブ

高調波グラフ・リスト画面のすべてに影響する数値表記の設定を変更することができます。
グラフの軸表示、カーソル値表示、リストの表示値、CSV 出力フォーマットなどが連動します。
各設定について説明します。



設定	内容	
自動	<input checked="" type="checkbox"/> : 小数点以下桁数および補助単位を自動的に決定します。 <input type="checkbox"/> : 小数点以下桁数および補助単位を指定したフォーマット表記で表示します。	
電力レベル (P Level)	小数点以下桁数	P Level を表示している数値の小数点以下桁数を指定します。
	補助単位	P Level を表示している数値の補助単位を指定します。
電圧レベル (U Level)	小数点以下桁数	U Level を表示している数値の小数点以下桁数を指定します。
	補助単位	U Level を表示している数値の補助単位を指定します。
電流レベル (I Level)	小数点以下桁数	I Level を表示している数値の小数点以下桁数を指定します。
	補助単位	I Level を表示している数値の補助単位を指定します。
含有率 (% of Fnd)	小数点以下桁数	% of Fnd を表示している数値の小数点以下桁数を指定します。 ※ % of Fnd は補助単位を指定できません。
位相角 (Phase)	小数点以下桁数	Phase を表示している数値の小数点以下桁数を指定します。 ※ Phase は補助単位を指定できません。

データ表示タブの分離(フローティング)や組み込み(ドッキング)を行う

高調波グラフ・リスト画面では PW8001 電力解析画面と同じようにデータ表示タブの分離(フローティング)や組み込み(ドッキング)ができます。

動作方法などは以下を参照ください。

- [データ表示タブをメインウィンドウから分離\(フローティング\)する](#)
- [分離したデータ表示タブをメインウィンドウに組み込む\(ドッキング\)](#)
- [データ表示タブを組み込む\(ドッキング\)位置を指定する](#)

パワーアナライザの CSV データを見る (PW Assistant)

- ・PW Assistant は、パワーアナライザ PW3390,PW6001,PW8001 の CSV データの専用ビューワです。
- ・PW Assistant では、パワーアナライザ PW3390,PW6001,PW8001 で保存した CSV データから、Microsoft Excel を使用してグラフを作成できます。Microsoft Excel を使用したグラフを表示するためには、お使いのコンピューターに Microsoft Excel がインストールされている必要があります。
- ・パワーアナライザの CSV データを「PW Assistant」で見るとするには、GENNECT One のバージョンを V4.30 以降にする必要があります。

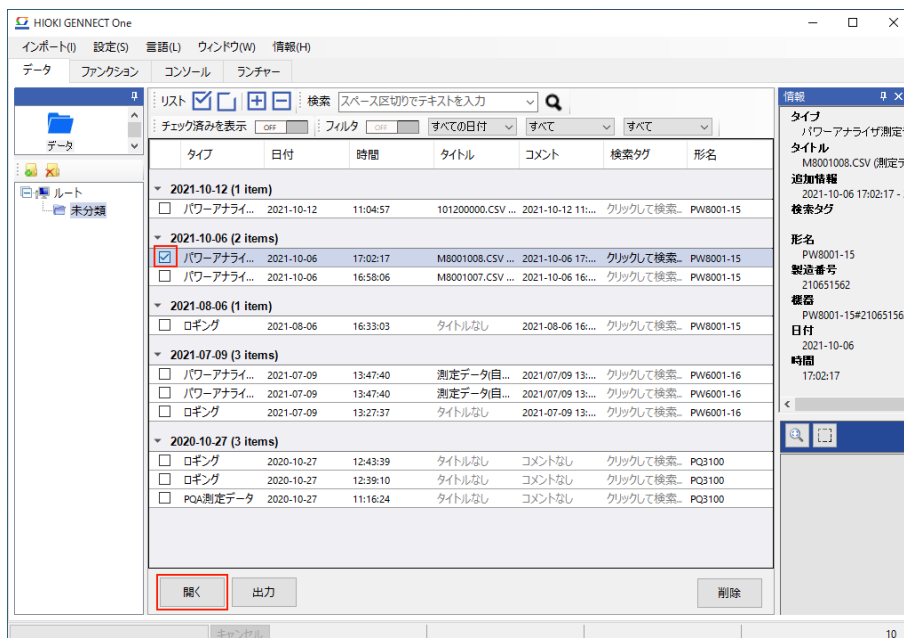
注記

- ・Microsoft Excel は米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・パワーアナライザ以外で保存された CSV データ、編集されたデータは PW Assistant で読み込むことができません。
- ・PW Assistant で開くことのできる CSV データ容量は 500MB までです。それ以上のデータは開くことができません。また、データ容量の大きいファイルを Microsoft Excel で開く場合、処理に時間がかかります。

測定データのファイルを開く

この機能は、パワーアナライザ(PW3390,PW6001,PW8001)で測定した測定データの CSV データを選択し、グラフ表示に必要な設定をすると、Microsoft Excel で測定データのグラフを表示します。

1. [データ]、[グループ]を選択して、データリストから[パワーアナライザ測定データ]をチェックして[開く]ボタンをクリックします。



2. PW Assistant の画面が表示されます。
グラフ表示内容を設定します。



① グラフの種類を設定します。

グラフの表示最大数は[折れ線グラフ]と[縦棒グラフ]合わせて 16 項目です。
16 項目以上の選択はできません。

② X 軸の設定をします。

[時間軸を等間隔に配置する]にチェックを入れると、パワーアナライザで保存した測定データがマニュアル保存データであった場合に、X 軸の設定が時間間隔を一定にしたグラフが表示されます。
選択しているグラフが折れ線グラフのみの場合、適用されます。

③ 出力区間を設定します。

ここで設定された区間は、グラフ表示範囲、CSV 出力範囲となります。
開始時間、停止時間ともに表示されているデータ区間外には、設定できません。

④ [Excel グラフ作成]ボタン

①～③を設定したあと、このボタンをクリックすると、Microsoft Excel が立ち上がり、新規 Excel ブックを作成しグラフが表示されます。

[Data]シートには、読み込んだ CSV ファイルのデータをコピーします。

[Graph]シートには、グラフの設定欄で設定した内容で、グラフを作成し表示します。

注記

・グラフ表示機能は、Microsoft Excel にてグラフを作成し、表示します。お使いのコンピューターに Microsoft Excel がインストールされていないと使用できません。

・出力したデータのうち、Status データなど一部コピーされない項目があります。

⑤ [CSV 出力]ボタン

①～③を設定したあと、このボタンをクリックすると、グラフの種類で選択した測定項目とグラフ表示区間で設定したデ

ータ範囲を CSV ファイルに出力します。

注記

- ・出力したデータのうち、*Status* データなど一部コピーされない項目があります。

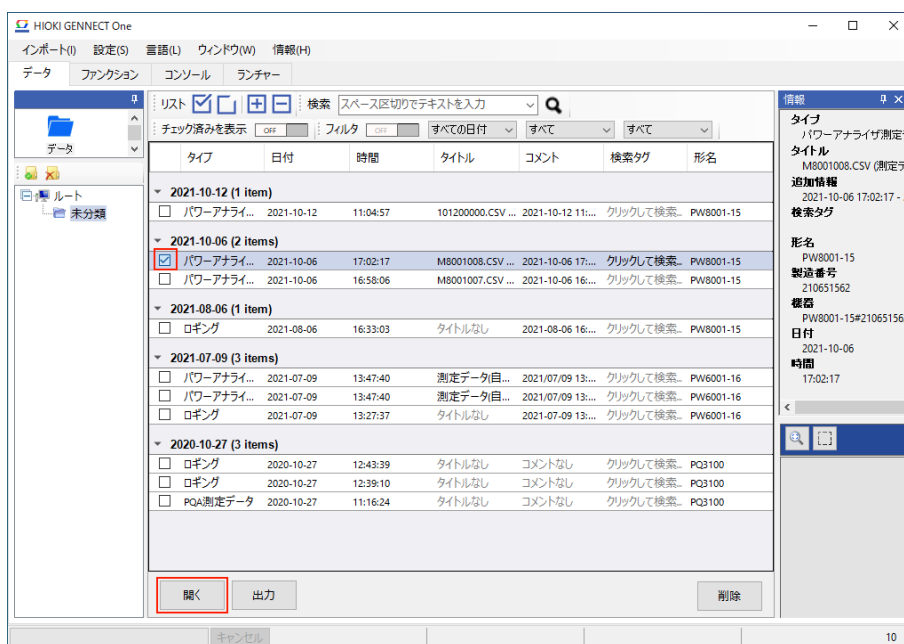
⑥ [CSV で開く]ボタン

PWA で選択している CSV データを指定した場所にコピーし、CSV ビューワで開きます。

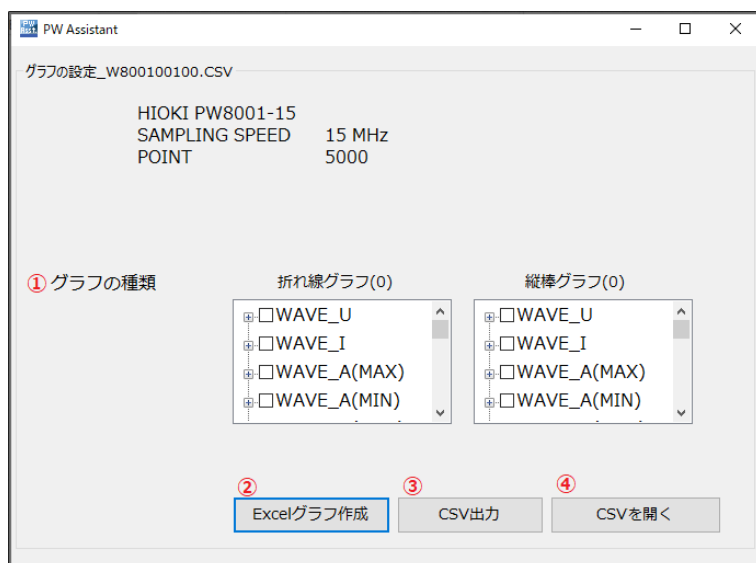
波形データのファイルを開く

この機能は、パワーアナライザ(PW3390,PW6001,PW8001)で測定した波形データ、FFT データ、ノイズデータの CSV データを選択し、グラフ表示に必要な項目を選択すると、Microsoft Excel で測定データのグラフを表示します。

1. [データ]、[グループ]を選択して、データリストから[パワーアナライザ波形データ]をチェックして[開く]ボタンをクリックします。



2. PW Assistant の画面が表示されます。
グラフ表示内容を設定します。



① グラフの種類を設定します。

グラフの表示最大数は[折れ線グラフ]と[縦棒グラフ]合わせて 16 項目です。
16 項目以上の選択はできません。

② [Excel グラフ作成]ボタン

①を設定したあと、このボタンをクリックすると、Microsoft Excel が立ち上がり、
新規 Excel ブックを作成しグラフが表示されます。

[Data]シートには、読み込んだ CSV ファイルのデータをコピーします。

[Graph]シートには、グラフの設定欄で設定した内容で、グラフを作成し表示します。

注記

・グラフ表示機能は、Microsoft Excel にてグラフを作成し、表示します。お使いのコンピューターに Microsoft Excel がインストールされていないと使用できません。

③ [CSV 出力]ボタン

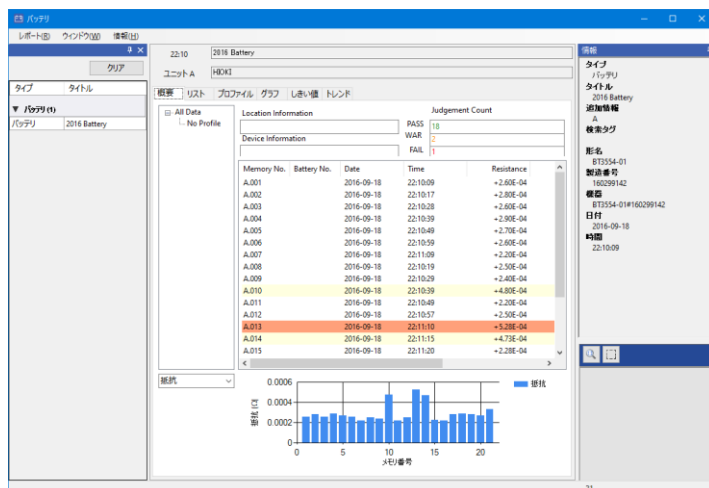
①を設定したあと、このボタンをクリックすると、グラフの種類で選択した測定項目のデータ範囲を CSV ファイルに出力します。

④ [CSV を開く]ボタン

PW Assistant で選択している CSV データを指定した場所にコピーし、CSV ビューワで開きます。

バッテリーの測定データを見る

1. データリストから[バッテリー]のデータを選択し、[開く]ボタンをクリックします。
2. [バッテリー]の画面が表示されます。



データを追加する

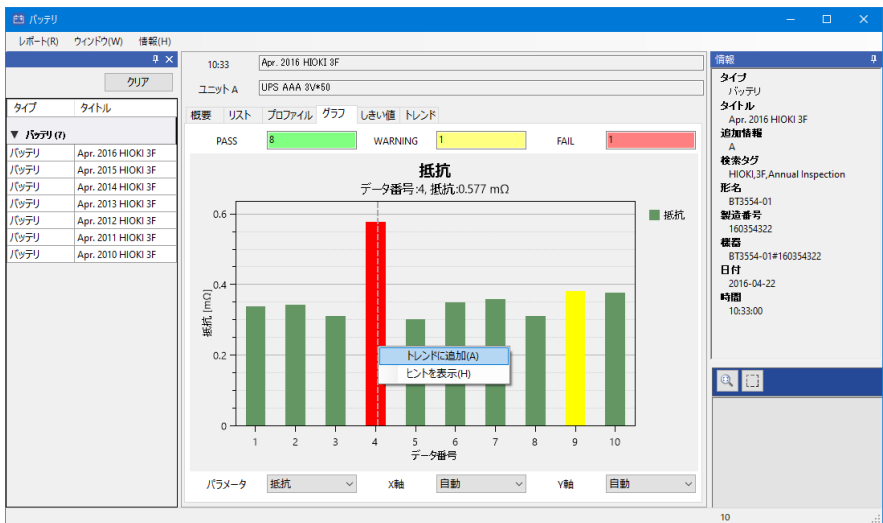
1. データリストから、[バッテリー]または画像形式のデータを選択し、[バッテリー]画面にドラッグ&ドロップでデータを移動します。
2. [バッテリー]画面のデータ管理リストにデータが追加されます。

タイプ	タイトル
▼ メモ画像 (1)	
メモ画像	Memo
▼ バッテリー (4)	
バッテリー	2015 Battery Nov...
バッテリー	2015 Battery Nov...
バッテリー	2016 Battery Aug...
バッテリー	2016 Battery Apilil

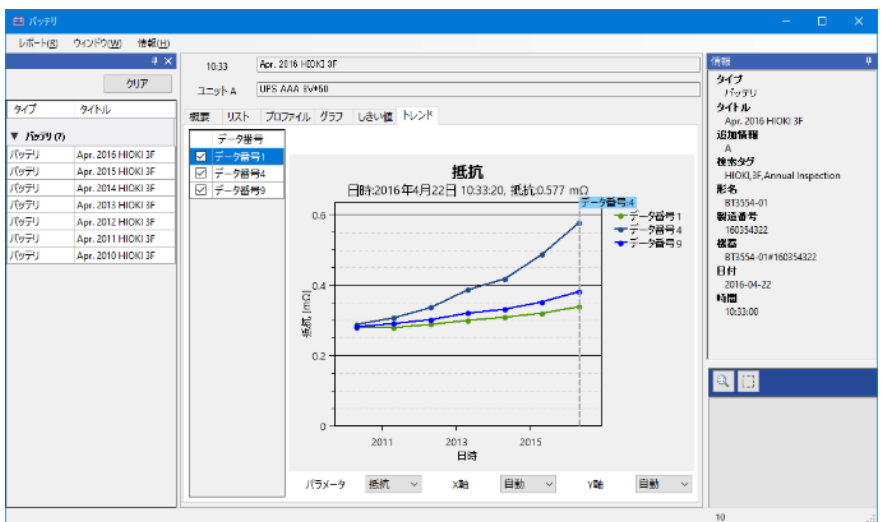
測定結果のトレンドを確認する

1. [グラフ]上で右クリックして表示されるメニューで、[トレンドに追加]を選択します。

2. [リスト]で、右クリックして表示されるメニューで、[トレンドに追加]を選択することもできます。



3. [トレンド]を選択します。選択したデータ番号の測定値の変化を時系列で確認することができます。



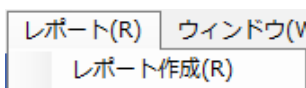
- ※ この例では、[データ番号=4]の抵抗値(図の一番上の系列)が時間の経過とともに、少しずつ増加していることがわかります。
- ※ 測定値のトレンドを確認するためには、[バッテリー]画面に2つ以上のバッテリーデータを読み込む必要があります。
- ※ 特定のバッテリーセルのトレンドを見るには、あらかじめ、同じバッテリーブロックの測定結果を異なる時期に測定しておく必要があります。

レポートを作成する

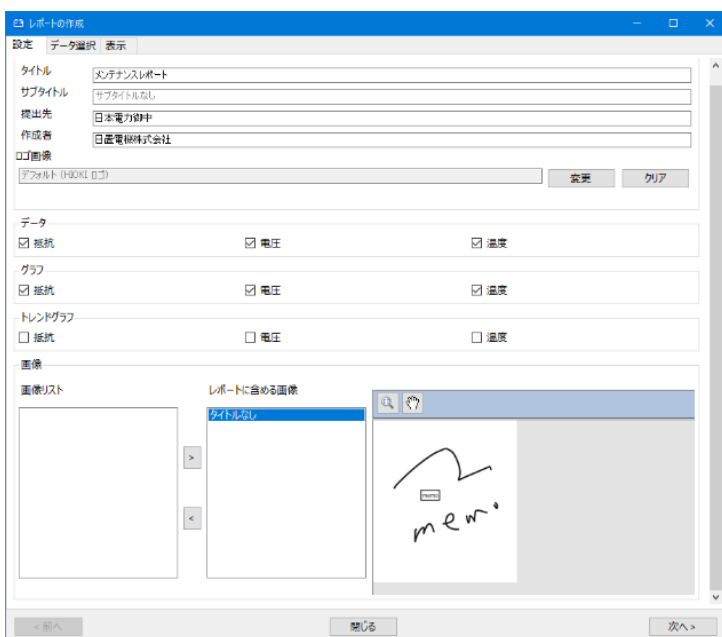
1. [バッテリー]画面のデータ管理リストで、レポートを作成するデータを1つ選択します。



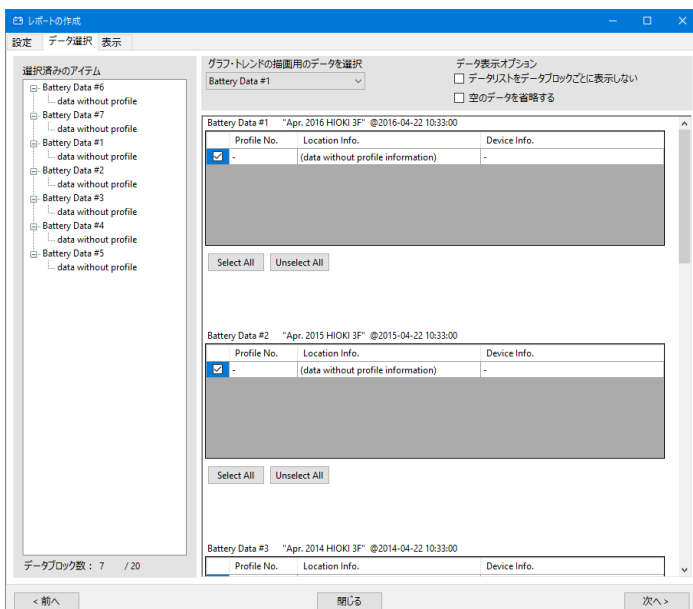
- [レポート]-[レポートの作成]メニューをクリックします。



- [レポートの作成]画面が表示されます。[表紙フォーマット]を設定します。
- [データ]、[グラフ]、[トレンドグラフ]で、レポートに出力する、リストとグラフの種類を設定します。
- [バッテリー]画面に読み込んだ画像をレポートに含めたい場合は、[画像リスト]の画像を[レポートに含める画像]に追加します。

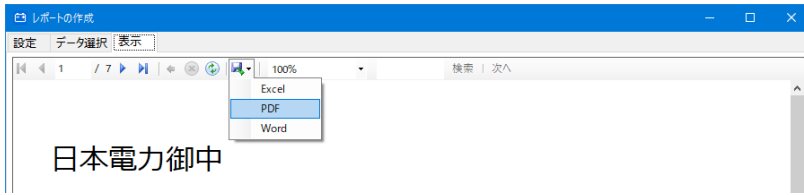


- [データ選択]タブにて、データを選択します。



- [表示]タブを選択します。しばらく待つと、レポートのプレビューが表示されます。

[保存]ボタンで、保存形式と保存先のファイル名を指定します。指定した形式とファイル名でレポートが保存されます。



GENNECT Cross で取得したデータを見る

HIOKI 製現場測定器用スマホアプリ GENNECT Cross で取得したデータを GENNECT One で閲覧したり、レポートを作成することができます。

※事前に GENNECT One にデータをインポートする必要があります。詳細は以下を参照してください。

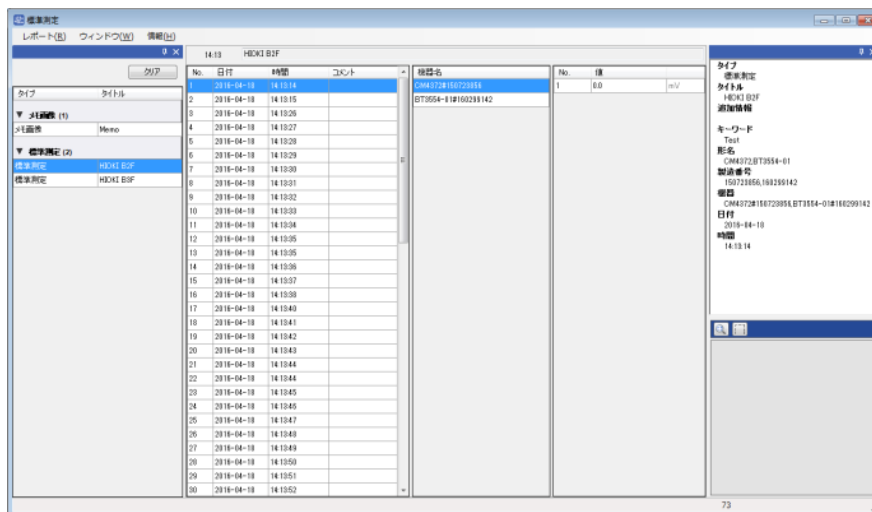
[データをインポートする](#)

ビューワ名称	対応データ形式(タイプ)	備考
HOK ビューワ	イベント記録、高調波解析、高調波解析ロギング、写真/写真図面測定、照度測定、盗電チェック、ベクトル、良否判定	(*1) PC のインターネット接続が必要
標準測定ビューワ	標準測定、画像データ	標準測定のデータを見る
バッテリービューワ	バッテリー、画像データ	バッテリーの測定データを見る
ロギングビューワ	ロギング(GENNECT Cross 形式)、画像データ	ロギング(GENNECT Cross 形式)のデータを見る

※表に記載されていない画像データ(写真図面測定画像など)を選択した場合、お使いの PC で既定のビューワが起動します。

標準測定のデータを見る

1. データリストから[標準測定]のデータを選択し、[開く]ボタンをクリックします。
2. [標準測定]の画面が表示されます。



データを追加する

1. データリストから[標準測定]または画像形式のデータを選択し、ビューワ画面にドラッグ & ドロップでデータを移動します。

2. [標準測定]画面のデータ管理リストにデータが追加されます。

タイプ	タイトル
▼ メモ画像 (1)	
メモ画像	Memo
▼ 標準測定 (3)	
標準測定	HIOKI B3F
標準測定	HIOKI B2F
標準測定	HIOKI B3F

レポートを作成する

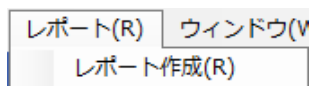
1. [標準測定]画面のデータ管理リストで、レポートを作成するデータを1つ選択します。

タイプ	タイトル
▼ メモ画像 (1)	
メモ画像	Memo
▼ 標準測定 (2)	
標準測定	HIOKI B2F
標準測定	HIOKI B3F

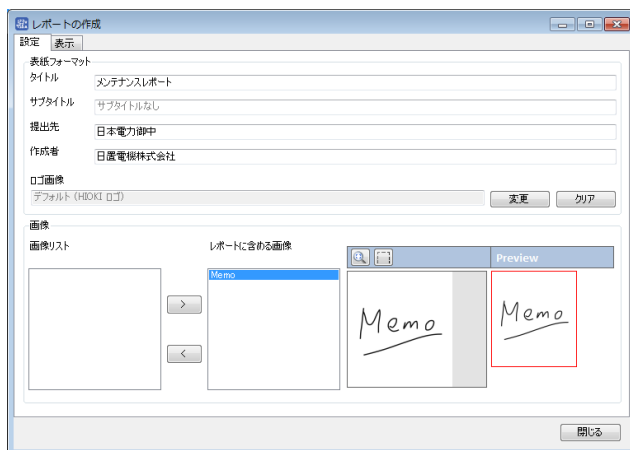
- ※ [標準測定]のデータを選択します。

データ管理リストに含まれる画像形式のデータは[レポートの作成]画面で選択できます。

2. [レポート]-[レポートの作成]メニューをクリックします。

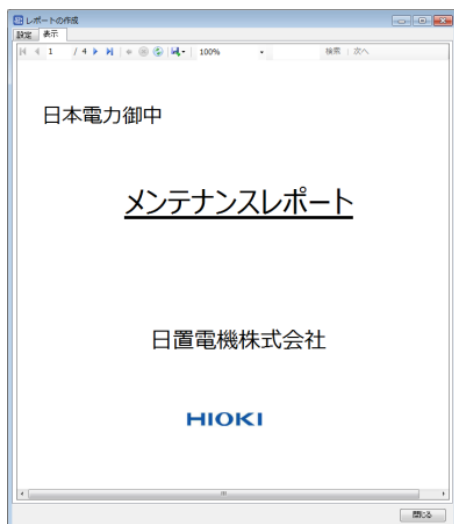


3. [レポートの作成]画面が表示されます。[表紙フォーマット]を設定します。

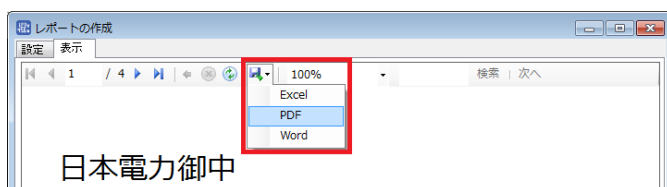


- ※ [標準測定]画面に読み込んだ画像をレポートに含めたい場合は、[画像リスト]の画像を[レポートに含める画像]に追加します。

4. [表示]タブを選択します。しばらく待つと、レポートのプレビューが表示されます。

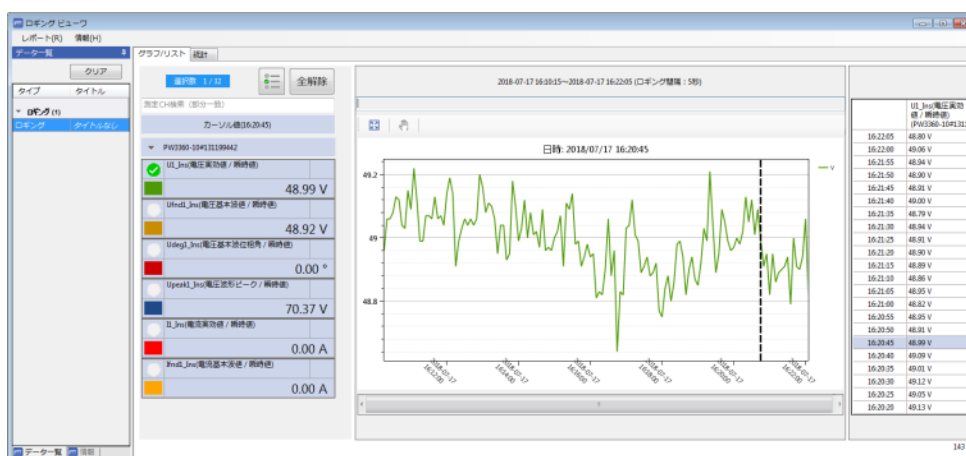


5. [保存]ボタンで、保存形式と保存先のファイル名を指定します。指定した形式とファイル名でレポートが保存されます。



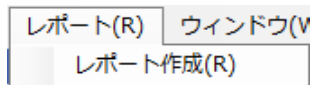
ロギング(GENNECT Cross 形式)のデータを見る

1. データリストから[ロギング(GENNECT Cross 形式)]のデータを選択し、[開く]ボタンをクリックします。[ロギングビューワ画面]が表示されます。

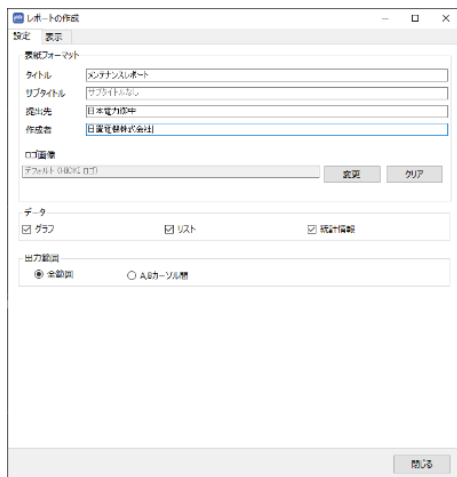


レポートを作成する

1. [レポート]-[レポートの作成]メニューをクリックします。

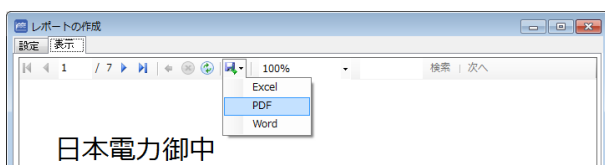


2. [レポートの作成]画面が表示されます。[表紙フォーマット]を設定します。



3. [表示]タブを選択します。しばらく待つと、レポートのプレビューが表示されます。

[保存]ボタンで、保存形式と保存先のファイル名を指定します。指定した形式とファイル名でレポートが保存されます。



データを整理する

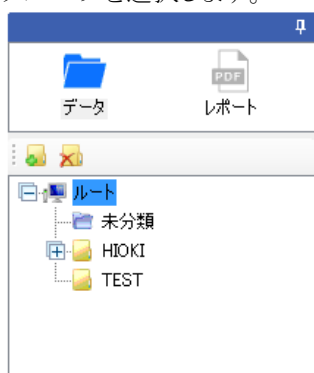
グループを操作する

- ・[データ切り替えウィンドウ]を使って、GENNECT One にインポートしたデータを、グループ単位で整理することができます。
- ・データを整理するには、新しいグループを作成して、データをドラッグ&ドロップで移動します。グループはツリー形式で管理することができます。

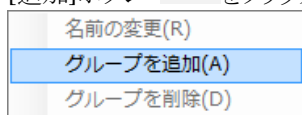
グループを追加する

[ルート]の下に新しいグループを追加する手順を記述します。

1. グループを選択します。

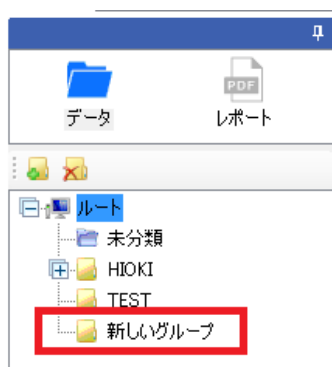


2. [追加]ボタン  をクリックします。



※ 右クリックで表示されるメニューの、[グループを追加]で追加することもできます。

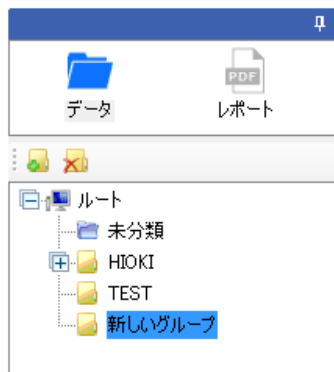
3. [ルート]の下に、新しいグループが追加されました。



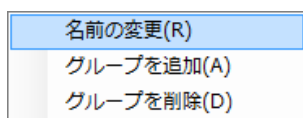
※ [未分類]のグループの下にグループを追加することはできません。

グループの名前を変更する

1. グループを選択します。



2. 右クリックで表示されるメニューで、[名前の変更]をクリックします。

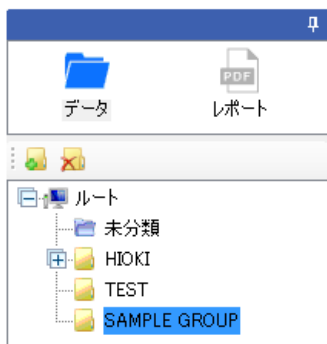


- ※ [ルート]グループの名前変更することはできません。
- ※ [未分類]グループの名前変更することはできません。

3. グループの名前を入力します。

- ※ 空の文字を設定することはできません。
- ※ 空白文字のみからなるテキストを設定することはできません。
- ※ 「¥ (バックスラッシュ)」、「¥ (円マーク)」、「. (ピリオド)」、「* (アスタリスク)」、「' (アポストロフィ)」などの、特殊な文字を含むテキストを設定することはできません。

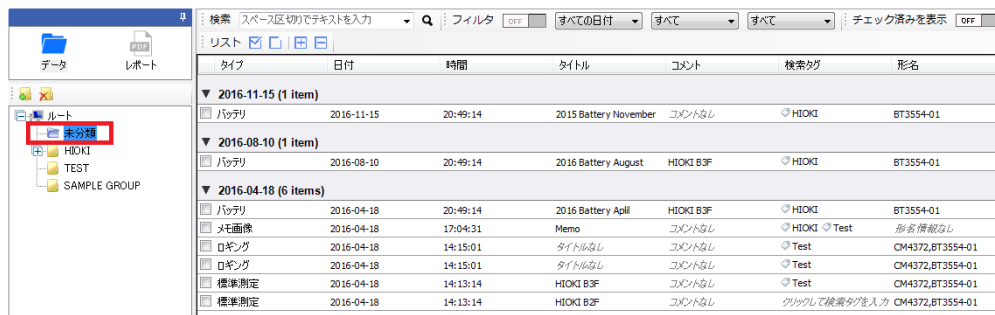
4. グループの名前が変更されました。



グループにデータを移動する

[未分類]グループのデータを、[SAMPLE GROUP]グループに移動する手順を示します。

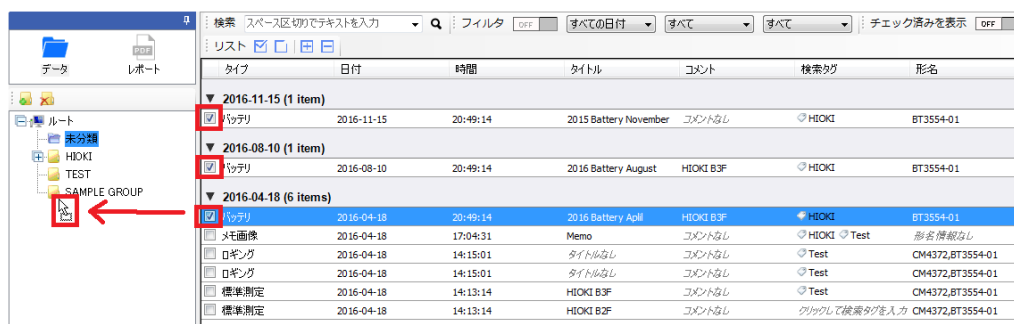
1. [未分類]のグループを選択します。



2. データリストで、移動するデータにチェックをつけます。
3. マウスの左ボタンを押したままの状態、[SAMPLE GROUP]グループに向かってマウスを移動させます。(ドラッグ操作)

4. [SAMPLE GROUP]グループに近づくと、矢印のカーソル  が表示されます。

カーソルを[SAMPLE GROUP]グループに合わせて、マウスの左ボタンを離します。(ドロップ操作)



※矢印のカーソルの先端を [SAMPLE GROUP] のフォルダアイコン、または、テキストに合わせて合わせるようにします。

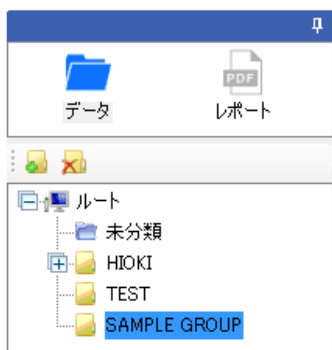
※[ルート]グループにはデータを移動することができません。

5. [SAMPLE GROUP]グループにデータが移動されました。

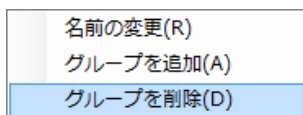


グループを削除する

1. グループを選択します。

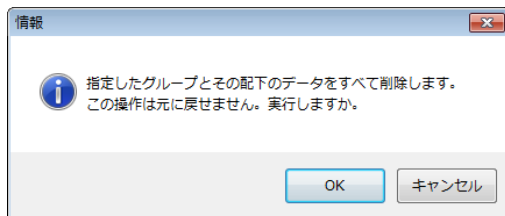


2. [削除]ボタン  をクリックします。



- ※ 右クリックで表示されるメニューで、[グループを削除]をクリックして削除することもできます。
- ※ [ルート]グループを削除することはできません。
- ※ [未分類]グループを削除することはできません。

3. 確認メッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックすると、グループが削除されます。



- ※ グループを削除すると、グループに含まれるデータがすべて削除されます。

データリストを操作する

データリストで、データに関する情報の閲覧、検索、絞り込み、コメント/タイトル/タグの編集ができます。
データリストの基本的な操作方法を説明します。

タイプ	日付	時間	タイトル	コメント	検索タグ	形名
▼ 2022-06-15 (23 items)						
<input checked="" type="checkbox"/> 写真	2022-06-15	13:20:44	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索...	形名情報なし
<input type="checkbox"/> メモ画像	2022-06-15	13:20:37	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索...	形名情報なし
<input type="checkbox"/> ベクトル画像	2022-06-15	13:20:18	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索...	PD3259-50
<input type="checkbox"/> ベクトル	2022-06-15	13:20:05	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索...	PD3259-50
<input type="checkbox"/> イベント記録	2022-06-15	13:16:30	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索...	CM4001
<input type="checkbox"/> 写真/図面測定画像	2022-06-15	13:15:28	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索...	CM3286-50
<input type="checkbox"/> 写真/図面測定	2022-06-15	13:15:28	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索...	CM3286-50
<input type="checkbox"/> 高調波解析ロギング	2022-06-15	13:14:29	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索...	CM3286-50
<input type="checkbox"/> 高調波解析画像	2022-06-15	13:13:57	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索...	CM3286-50

データのチェックをつける/チェックをはずす

データリストのデータにチェックつけることで、開く/削除/移動/出力など操作の対象にするデータを決めます。

ボタン	機能
<input type="checkbox"/>	データのチェック状態を変更します。
<input checked="" type="checkbox"/>	データリストに表示されている測定データをすべて選択状態にします。
<input type="checkbox"/>	データリストに表示されている測定データをすべて未選択の状態にします。
[チェック済みを表示] <input checked="" type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF	オン: データリスト上の測定データを、選択状態になっているものに絞り込んで表示します。 オフ: データリスト上の測定データを選択状態にかかわらずすべて表示します。






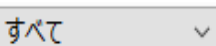
データリストを折りたたむ/展開する

データリストは日付の単位でグループ化して表示します。

ボタン	機能																																																															
	日付のグループを展開/折り畳みます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイプ</th> <th>日付</th> <th>時間</th> <th>タイトル</th> <th>コメント</th> <th>検索タグ</th> <th>形名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="7">▶ 2016-04-07 (2 items)</td> </tr> <tr> <td colspan="7">▼ 2016-04-08 (4 items)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 標準測定</td> <td>2016-04-08</td> <td>22:14:54</td> <td>タイトルなし</td> <td>コメントなし</td> <td>クリックして検索タグを入力</td> <td>CM4372</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> パッチ画像</td> <td>2016-04-08</td> <td>14:06:23</td> <td>タイトルなし</td> <td>コメントなし</td> <td>クリックして検索タグを入力</td> <td>BT3554-01</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> パッチ画像</td> <td>2016-04-08</td> <td>14:06:23</td> <td>タイトルなし</td> <td>コメントなし</td> <td>クリックして検索タグを入力</td> <td>BT3554-01</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ロギング</td> <td>2016-04-08</td> <td>09:10:52</td> <td>タイトルなし</td> <td>コメントなし</td> <td>クリックして検索タグを入力</td> <td>CM4372</td> </tr> </tbody> </table>	タイプ	日付	時間	タイトル	コメント	検索タグ	形名	▶ 2016-04-07 (2 items)							▼ 2016-04-08 (4 items)							<input type="checkbox"/> 標準測定	2016-04-08	22:14:54	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	CM4372	<input type="checkbox"/> パッチ画像	2016-04-08	14:06:23	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	BT3554-01	<input type="checkbox"/> パッチ画像	2016-04-08	14:06:23	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	BT3554-01	<input type="checkbox"/> ロギング	2016-04-08	09:10:52	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	CM4372														
タイプ	日付	時間	タイトル	コメント	検索タグ	形名																																																										
▶ 2016-04-07 (2 items)																																																																
▼ 2016-04-08 (4 items)																																																																
<input type="checkbox"/> 標準測定	2016-04-08	22:14:54	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	CM4372																																																										
<input type="checkbox"/> パッチ画像	2016-04-08	14:06:23	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	BT3554-01																																																										
<input type="checkbox"/> パッチ画像	2016-04-08	14:06:23	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	BT3554-01																																																										
<input type="checkbox"/> ロギング	2016-04-08	09:10:52	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	CM4372																																																										
<input checked="" type="checkbox"/>	日付のグループをすべて展開します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイプ</th> <th>日付</th> <th>時間</th> <th>タイトル</th> <th>コメント</th> <th>検索タグ</th> <th>形名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="7">▼ 2016-04-08 (4 items)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 標準測定</td> <td>2016-04-08</td> <td>22:14:54</td> <td>タイトルなし</td> <td>コメントなし</td> <td>クリックして検索タグを入力</td> <td>CM4372</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> パッチ画像</td> <td>2016-04-08</td> <td>14:06:23</td> <td>タイトルなし</td> <td>コメントなし</td> <td>クリックして検索タグを入力</td> <td>BT3554-01</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> パッチ画像</td> <td>2016-04-08</td> <td>14:06:23</td> <td>タイトルなし</td> <td>コメントなし</td> <td>クリックして検索タグを入力</td> <td>BT3554-01</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ロギング</td> <td>2016-04-08</td> <td>09:10:52</td> <td>タイトルなし</td> <td>コメントなし</td> <td>クリックして検索タグを入力</td> <td>CM4372</td> </tr> <tr> <td colspan="7">▼ 2016-04-07 (2 items)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> パッチ</td> <td>2016-04-07</td> <td>10:47:57</td> <td>タイトルなし</td> <td>コメントなし</td> <td>クリックして検索タグを入力</td> <td>BT3554-01</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> パッチ</td> <td>2016-04-07</td> <td>10:15:57</td> <td>タイトルなし</td> <td>コメントなし</td> <td>クリックして検索タグを入力</td> <td>BT3554-01</td> </tr> </tbody> </table>	タイプ	日付	時間	タイトル	コメント	検索タグ	形名	▼ 2016-04-08 (4 items)							<input type="checkbox"/> 標準測定	2016-04-08	22:14:54	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	CM4372	<input type="checkbox"/> パッチ画像	2016-04-08	14:06:23	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	BT3554-01	<input type="checkbox"/> パッチ画像	2016-04-08	14:06:23	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	BT3554-01	<input type="checkbox"/> ロギング	2016-04-08	09:10:52	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	CM4372	▼ 2016-04-07 (2 items)							<input type="checkbox"/> パッチ	2016-04-07	10:47:57	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	BT3554-01	<input type="checkbox"/> パッチ	2016-04-07	10:15:57	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	BT3554-01
タイプ	日付	時間	タイトル	コメント	検索タグ	形名																																																										
▼ 2016-04-08 (4 items)																																																																
<input type="checkbox"/> 標準測定	2016-04-08	22:14:54	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	CM4372																																																										
<input type="checkbox"/> パッチ画像	2016-04-08	14:06:23	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	BT3554-01																																																										
<input type="checkbox"/> パッチ画像	2016-04-08	14:06:23	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	BT3554-01																																																										
<input type="checkbox"/> ロギング	2016-04-08	09:10:52	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	CM4372																																																										
▼ 2016-04-07 (2 items)																																																																
<input type="checkbox"/> パッチ	2016-04-07	10:47:57	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	BT3554-01																																																										
<input type="checkbox"/> パッチ	2016-04-07	10:15:57	タイトルなし	コメントなし	クリックして検索タグを入力	BT3554-01																																																										
<input type="checkbox"/>	日付のグループをすべて折り畳みます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイプ</th> <th>日付</th> <th>時間</th> <th>タイトル</th> <th>コメント</th> <th>検索タグ</th> <th>形名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="7">▶ 2016-04-07 (2 items)</td> </tr> <tr> <td colspan="7">▶ 2016-04-05 (3 items)</td> </tr> <tr> <td colspan="7">▶ 2016-04-04 (3 items)</td> </tr> </tbody> </table>	タイプ	日付	時間	タイトル	コメント	検索タグ	形名	▶ 2016-04-07 (2 items)							▶ 2016-04-05 (3 items)							▶ 2016-04-04 (3 items)																																									
タイプ	日付	時間	タイトル	コメント	検索タグ	形名																																																										
▶ 2016-04-07 (2 items)																																																																
▶ 2016-04-05 (3 items)																																																																
▶ 2016-04-04 (3 items)																																																																

データをフィルタする


フィルタ条件を指定して、データリストに表示するデータを絞り込むことができます。

ボタン	機能
[フィルタ] 	オン: [検索]ボタンをクリック、または、[日付], [データ種類], [測定器形名] のドロップダウンを変更して測定データを絞り込んで表示すると本ボタンが“ON”の表示になります。 オフ: 上記の絞り込み条件をすべて解除して測定データを表示します。
[検索] 	テキスト検索: データリスト上で測定データの表示状態を絞り込むためのキーワードとなるテキストを入力します。複数の検索語を使用する場合、半角スペースでテキストを区切って入力してください。 タグ検索: 検索タグを使用してデータの表示を絞り込みます。
	データリスト上の測定データを、[検索] ボックスに入力されたテキストに部分一致するものに絞り込んで表示します。
[日付] 選択ドロップダウン 	すべての日付: 測定データを日付で絞り込まずに表示します。 今日: 測定データを更新日時が直近1日のものに絞り込んで表示します。 今週: 測定データを更新日時が直近1週間のものに絞り込んで表示します。 今月: 測定データを更新日時が直近1か月間のものに絞り込んで表示します。 日付指定: 任意の期間を指定して、測定データを期間内のものに絞り込んで表示します。 初期状態では [すべての日付] が選択されています。
[データ形式(タイプ)]選択ドロップダウン 	測定データを [データ形式(タイプ)] で絞り込んで表示します。 初期状態では[すべて]が選択されています。
[形名] 選択ドロップダウン 	測定データを[測定器の形名]で絞り込んで表示します。 初期状態では[すべて]が選択されています。

検索タグでデータをフィルタする

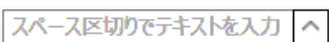
検索タグを選択して、データリストを検索することができます。

※事前に検索タグの設定/編集をする必要があります。

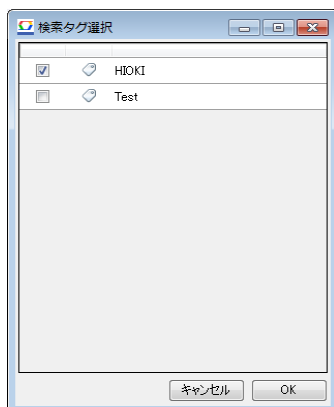
1. 検索ボックスの  をクリックします。

検索 

2. タグドロップダウンリストで[タグ検索]を選択します。


 テキスト検索
 タグ検索

3. [検索タグの選択]画面が表示されるので、検索タグにチェックをつけて[OK]ボタンをクリックします。



- ※ 複数のタグを選択すると、複合的な条件(AND 条件)で検索を実行することができます。

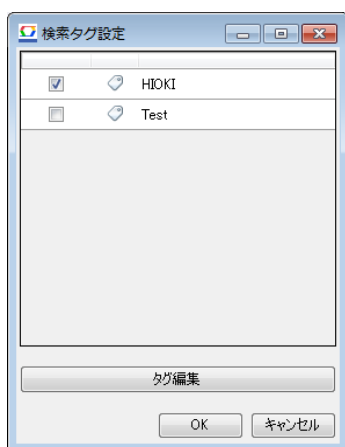
4. 検索結果がデータリストに表示されます。

タイプ	日付	時間	タイトル	コメント	検索タグ	形名
▼ 2016-11-15 (1 item)						
<input type="checkbox"/> バッテリ	2016-11-15	20:49:14	2015 Battery November	コメントなし	HIOKI	BT3554-01
▼ 2016-08-10 (1 item)						
<input type="checkbox"/> バッテリ	2016-08-10	20:49:14	2016 Battery August	HIOKI B3F	HIOKI	BT3554-01
▼ 2016-04-18 (1 item)						
<input type="checkbox"/> バッテリ	2016-04-18	20:49:14	2016 Battery April	HIOKI B3F	HIOKI	BT3554-01

検索タグを設定/編集する

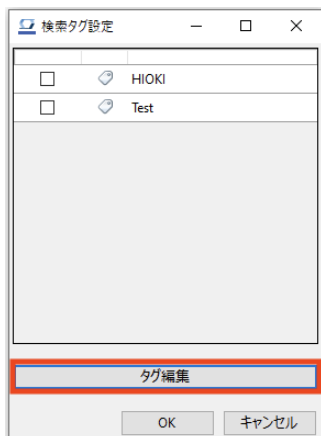
検索タグをデータリストのデータに設定することができます。

1. データリストでデータを選択します。
2. [検索タグ]列のセルをクリックします。
3. [検索タグ設定]画面が表示されます。設定したいタグにチェックをつけて、[OK]ボタンをクリックします。



4. データに検索タグが設定されます。

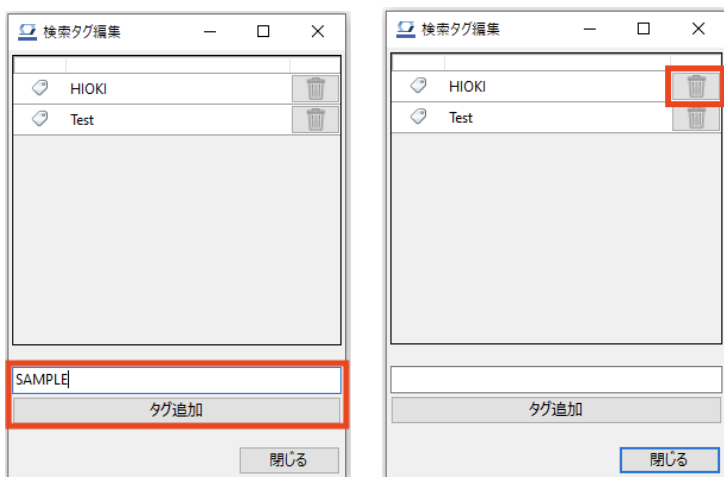
- ※ 検索タグを追加/削除する場合は、[タグ編集]のボタンをクリックします。



[検索タグ編集]画面が表示されます。

検索タグを追加するには、テキストボックスにテキストを入力して、[タグ追加]ボタンをクリックします。

検索タグを削除するには、ゴミ箱のアイコンをクリックします。



※ [タグの編集]画面でタグを削除した場合も、データリストのデータに設定されたタグは削除されません。

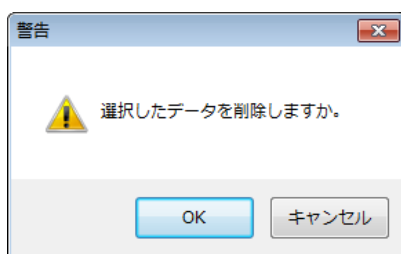
[タグの編集]画面で削除した検索タグは、データリストの検索に使えなくなります。

データを削除する

1. データリストで、削除するデータにチェックをつけます。

タイプ	日付	時間	タイトル	コメント	検索タグ	形名
▼ 2016-11-15 (1 item)						
<input type="checkbox"/> バッテリ	2016-11-15	20:49:14	2015 Battery November	コメントなし	HIOKI	BT3554-01
▼ 2016-08-10 (1 item)						
<input type="checkbox"/> バッテリ	2016-08-10	20:49:14	2016 Battery August	HIOKI B3F	HIOKI	BT3554-01
▼ 2016-04-18 (6 items)						
<input type="checkbox"/> バッテリ	2016-04-18	20:49:14	2016 Battery April	HIOKI B3F	HIOKI	BT3554-01
<input checked="" type="checkbox"/> メモ画像	2016-04-18	17:04:31	Memo	コメントなし	HIOKI Test	形名情報なし
<input checked="" type="checkbox"/> ログ	2016-04-18	14:15:01	タイトルなし	コメントなし	Test	CM4372,BT3554-01
<input checked="" type="checkbox"/> ログ	2016-04-18	14:15:01	タイトルなし	コメントなし	Test	CM4372,BT3554-01
<input type="checkbox"/> 標準測定	2016-04-18	14:13:14	HIOKI B3F	コメントなし	Test	CM4372,BT3554-01
<input type="checkbox"/> 標準測定	2016-04-18	14:13:14	HIOKI B2F	コメントなし	クリックして検索タグを入力	CM4372,BT3554-01

2. [削除]ボタンをクリックします。
3. 確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックしてデータを削除します。



データを出力する

GENNECT One から PC の任意のフォルダにデータを自動・手動で出力することができます。

自動で出力する

ロギング/ダッシュボード機能でリアルタイム表示している測定値を、1 日または 1 時間ごとに自動で出力します。対応出力形式は CSV、または Excel(.xlsx)形式です。詳細は以下を参照してください。

[自動出力\(日報・週報・月報\)の詳細設定をする](#)

[自動出力\(CSV\)の詳細設定をする](#)

[ロギング]機能で自動出力(日報・週報・月報, CSV)を有効にする手順については以下を参照してください。

▶ [ロギングの条件を設定する](#)

[ダッシュボード]機能で自動出力(日報・週報・月報, CSV)を有効にする手順については以下を参照してください。

▶ [測定値のモニターを開始/停止する](#)

手動で出力する

データリスト上のデータを任意のファイル形式で出力します。データ形式(タイプ)により、選択可能な出力ファイル形式が異なります。詳細は次項を参照してください。

対応出力形式

出力形式	説明
CSV / 画像形式	<ul style="list-style-type: none"> データを時系列形式の CSV ファイルに変換して出力します。(*1) ※測定器本体で保存される CSV ファイルとは形式が異なります。 ※512 チャンネルを超えるデータも CSV 出力可能です。 画像データを任意の画像形式(png/bmp/jpg/gif)で出力します。(*2)
HOK 形式	データを HIOKI GENNECT Format(.hok)形式で出力します。 別の PC の GENNECT One へのデータ共有やデータのバックアップの用途に利用できます。
ZIP 形式	データを ZIP 形式で出力します。
PDF 形式	データを PDF 形式で出力します。 ※データ形式(タイプ)が「レポート」かつ拡張子が PDF のデータのみ選択可能です。
帳票(日報・週報・月報)	データリストに保存されたロギング形式のデータを元に帳票を作成します。帳票(日報・週報・月報)を手動で出力する

(*1) CSV 出力対応データ形式

データ形式(タイプ)	種別	対応測定器	備考
パワーロガー測定データ	フォルダ	PW3360 PW3365	—
パワーアナライザ測定データ	ファイル(.bin)	PW8001	V1.00 以降
ロガーバイナリ波形	ファイル(.mem)	LR8400, LR8401, LR8402 LR8410, LR8416 LR8450, LR8450-01(*) LR8101, LR8102	(*) V1.50 以降
LR5000 シリーズ測定データ	ファイル(.hrp2)	LR5000 データミニシリーズ	—
標準測定	—	GENNECT Cross 対応測定器	—
バッテリー	—	BT3554, BT3554-01, BT3554-50	—
時系列測定データ	—	GENNECT One 対応測定器	—

(*2) 画像形式の出力対応データ形式

写真、メモ画像、標準測定画像、ロギング画像、バッテリー画像、波形画像

操作手順

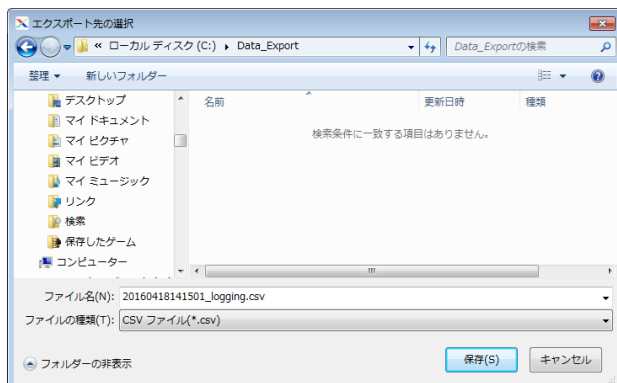
1. [データ]、[グループ]を選択して、出力したいデータを選択し、[出力]ボタンをクリックします。

タイプ	日付	時間	タイトル	コメント	検索タグ	形名
<input type="checkbox"/> データロガー波形	2017-12-07	00:00:00	ロガーバイナリ波形	2017/12/07 00:00:00 ~ 20...	クリックして検索タグを...	LR8416
▼ 2017-12-04 (1 item)						
<input type="checkbox"/> パワーロガー測定データ	2017-12-04	13:04:00	パワーロガーデータ...	2017/12/04 13:04:00 ~ 20...	クリックして検索タグを...	PW3365-10
▼ 2017-11-27 (1 item)						
<input type="checkbox"/> メモリハイコダ波形	2017-11-27	17:27:29	レコーダバイナリ波形	2017/11/27 17:27:29	クリックして検索タグを...	MR8875
▼ 2017-01-19 (6 items)						
<input type="checkbox"/> 写真	2017-01-19	11:34:12	タイトルなし	Android	hioki	形名情報なし
<input type="checkbox"/> メモ画像	2017-01-19	11:34:00	タイトルなし	Android	hioki 日置電機...	形名情報なし
<input type="checkbox"/> バッテリ	2017-01-19	11:23:16	bt	Android	クリックして検索タグを...	BT3554-01
<input type="checkbox"/> 波形画像	2017-01-19	11:22:05	cm	Android	クリックして検索タグを...	CM4374
<input checked="" type="checkbox"/> ログギン	2017-01-19	11:19:33	cm bt	Android	クリックして検索タグを...	CM4374, BT3554-01
<input type="checkbox"/> 標準測定	2017-01-19	11:18:33	cm bt ir	Android	クリックして検索タグを...	CM4374, BT3554-01, IR4055

2. 選択可能な出力形式一覧が表示されますので、出力したい形式を選択して、[OK]ボタンをクリックします。



3. [エクスポート先の選択]画面が表示されます。フォルダとファイル名を指定して、[保存]ボタンをクリックします。



- ※ 複数のデータを選択して出力することもできます。
- ※ 複数の画像データを選択して出力する場合は、画像データの拡張子はすべて PNG ファイルとして保存されます。

帳票（日報・週報・月報）を手動で出力する

ロギング/ダッシュボード機能で自動出力可能な帳票(日報・週報・月報)をロギングデータから生成できます。

- ・帳票出力例については以下を参照してください。

▶ 帳票基本仕様

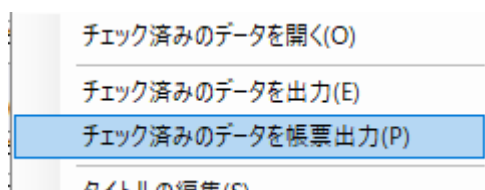
操作手順

1. [データ]、[グループ]を選択して、ロギングデータを選択し、ポップアップメニューを表示します。

	タイプ	日付	時間	タイトル	コメント	検索タグ	形名
<input type="checkbox"/>	ロギング	2023-10-23	10:50:10	タイトルなし	2023-10-23 10:50:10 - 2023-10-23 1...	クリックして検索...	PQ3198
<input checked="" type="checkbox"/>	ロギング	2023-10-23	10:49:21	タイトルなし	2023-10-23 10:49:21 - 2023-10-23 1...	クリックして検索...	PQ3198
<input type="checkbox"/>	ロギング	2023-10-23	10:48:29	タイトルなし	2023-10-23 10:48:29 - 2023-10-23 1...	クリックして検索...	PQ3198
▼ 2023-10-20 (4 items)							
<input type="checkbox"/>	ロギング	2023-10-20	14:05:20	タイトルなし	2023-10-20 14:05:20 - 2023-10-20 1...	クリックして検索...	PQ3198,PW3360-10
<input type="checkbox"/>	パワーロガー測...	2023-10-20	14:05:00	131199442_23102002 (パワーロガー...	2023-10-20 14:05:00 - 2023-10-20 1...	クリックして検索...	PW3360-10
<input type="checkbox"/>	ロギング	2023-10-20	10:33:33	タイトルなし	2023-10-20 10:33:33 - 2023-10-20 1...	クリックして検索...	PW3360-10
<input type="checkbox"/>	ロギング	2023-10-20	10:24:51	タイトルなし	2023-10-20 10:24:51 - 2023-10-20 1...	クリックして検索...	PW3360-10

- ※ 複数のデータを選択して出力することもできます。
- ※ ロギングデータ以外が選択されていると、帳票出力はできません。
- ※ 複数のロギングデータを選択した場合に、選択したデータすべてが以下の条件に当てはまらない場合は帳票出力できません。
 - ・ 測定器、製造番号が同じ
 - ・ ロギング測定項目がすべて同じ
 - ・ ロギングデータの測定期間に重複期間がない
 - ・ ロギング間隔が同じ

2. ポップアップメニューから【チェック済みのデータを帳票出力】を選択します。



3. 帳票出力設定画面が表示されるので、出力形式、出力フォルダなどを指定して、[帳票出力]ボタンをクリックします。出力ファイル名などは[⚙️]ボタンをクリックして表示される詳細設定画面で設定します。



- ※ 帳票出力の詳細設定内容は下記をご参照ください。

➤ [自動出力\(日報・週報・月報\)の詳細設定をする](#)

4. 選択した帳票形式のファイルが指定フォルダに出力されます。

- ※ 帳票(日報・週報・月報)出力機能は、自動/手動で同じ動作処理を行っています。このため、ファイルの命名規則、バックアップする/しないなどの動作は自動出力に準じた動作になります。

ファイル命名規約などの詳細については下記をご覧ください

➤ [自動出力の詳細設定をする\(\[全般\]設定をする\)](#)

測定器の設定をする（測定器の設定機能）

・測定器の現在の設定内容を測定器から取得します。

・測定器の設定内容を変更します。

・時計設定は、[測定器設定]起動時の設定内容取得時の時計時刻になり更新されません。

※測定器が記録中(自動保存中)等の状態により、設定変更できないものに関しては、設定できる状態にしてから変更を行います。

※バッテリーテストの設定機能については以下を参照してください。

[バッテリーテスト BT3554/BT3554-01/BT3554-50 の設定をする](#)

対応測定器 (LAN)

測定器の設定変更機能は次の測定器に対応しています。

形名	品名	対応バージョン
PW3360	クランプオンパワーロガー	V3.21 以降
PW3365	クランプオンパワーロガー	V2.10 以降
PW3335	パワーアナライザ	V1.11 以降
PW3336	パワーアナライザ	V1.23 以降
PW3337	パワーアナライザ	V1.23 以降
BT5525	絶縁抵抗試験器	V1.02 以降
BT6065 BT6075	バッテリーテスト	V1.01 以降
DM7275 DM7276	直流電圧計	V1.09 以降
LR8450 LR8450-01	メモリハイロガー	V2.21 以降
LR8101 LR8102	データロガー	V1.50 以降

制限

測定器の設定機能に関する制限

項目	制限値	備考
同時操作可能台数	1 台	
同時他機器設定可能台数	1 台	

通信に関する制限

項目	制限値	備考
インタフェース	LAN	
自動検索のネットワーク範囲	□.□.□.2 - □.□.□.254 ※コンピューターと同一のネットワーク範囲に限る	
DHCP	非対応	

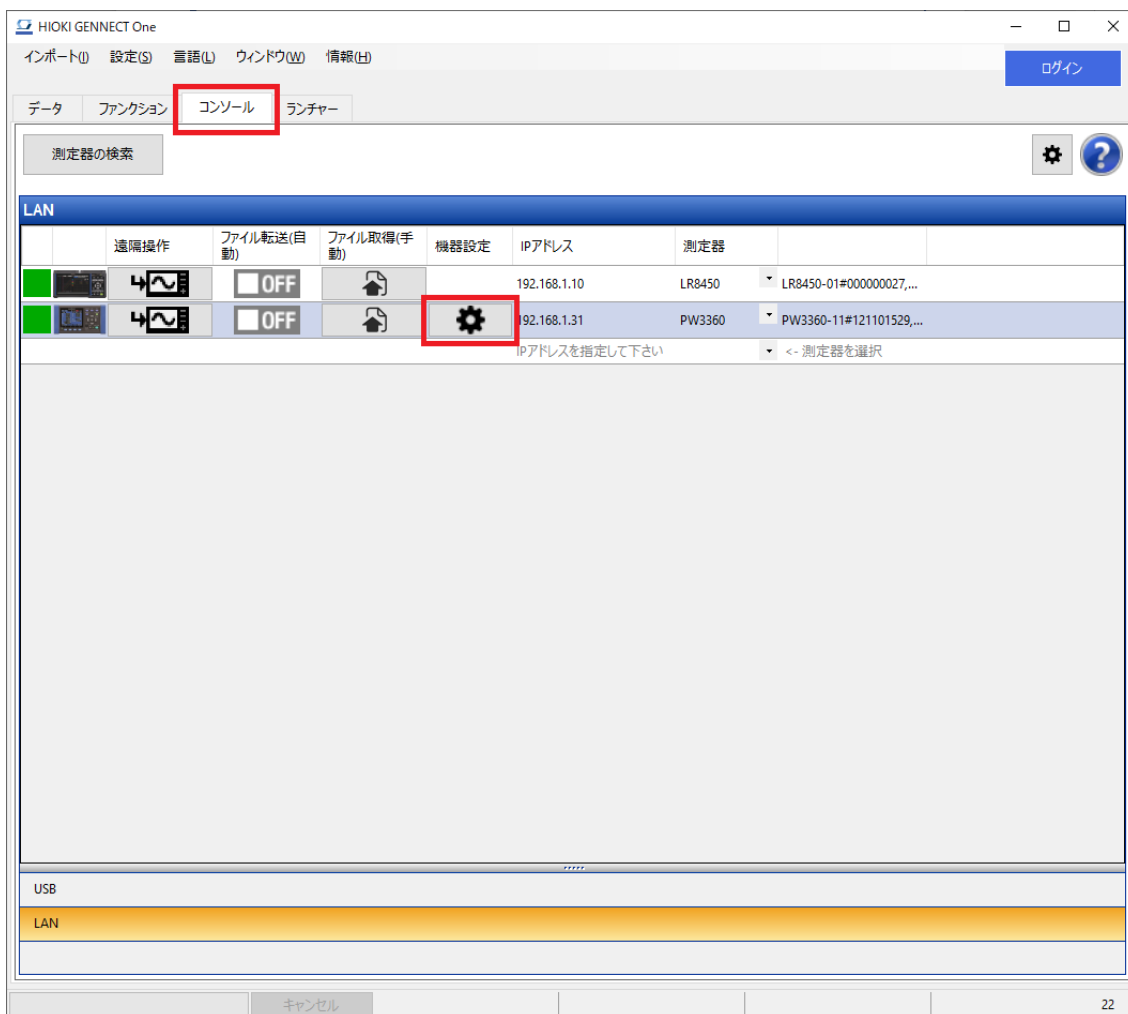
操作の流れ


コンピューターと測定器を接続する (LAN)

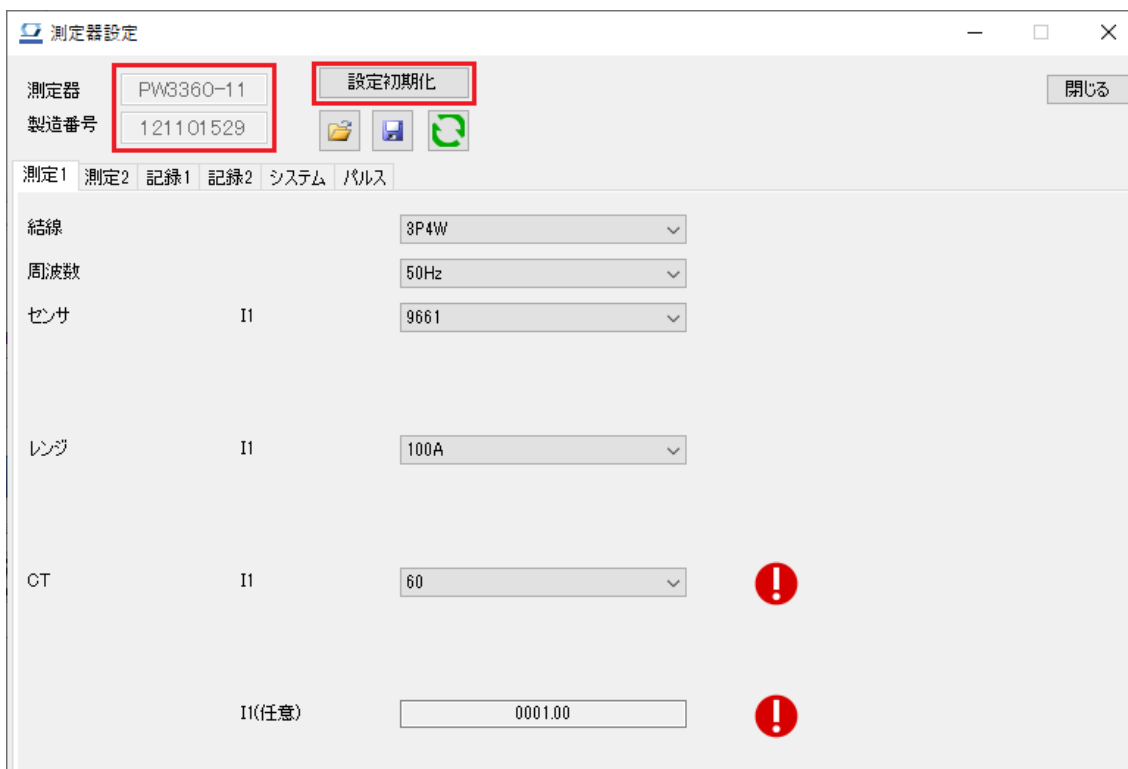
測定器の設定内容の変更を行う

測定器の設定内容の変更を行う(LAN)

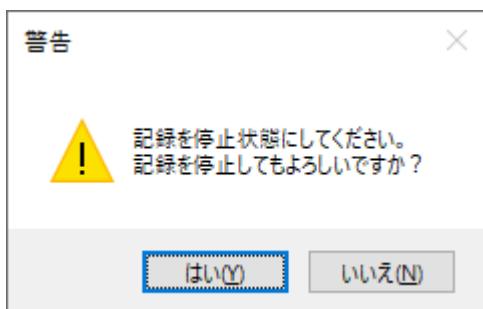
1. メイン画面の[コンソール]タブを選択します。



2. [LAN]のナビゲーションバーを選択します。
3. [機器設定]ボタン () をクリックします。
4. [測定器設定]画面が開きます。選択した測定器の形名と製造番号が表示されます。測定器から設定内容を取り出して、画面が開くと同時に測定器の設定内容を表示します。



ただし、メータが設定できない状態(記録中等)の場合は、警告メッセージが表示されます。



メータの設定を変更したい場合は、はい(はい(Y))を選択してメータの設定が変更できる状態にしてください。




- [設定初期化]ボタン(設定初期化)をクリックすると、メータを初期化することができます。
- メータの設定についての説明は、設定を変更するボックスにカーソルを当てると説明文が表示されます。設定ボックス

の右側に説明が記載されているものがあります。また、注意を促すマーク(警告マーク)が表示されているものについては、カーソルを当てると設定するにあたっての注意文が表示されます。


設定ページを切り替えたい場合は、タブ(例: 測定1 測定2 記録1 記録2 システム パルス)のいずれかをクリックすると切り替わります。

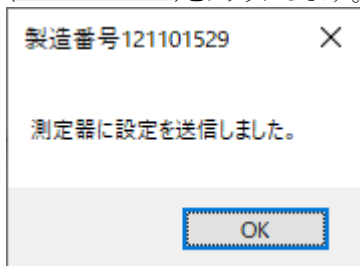
メータの設定には、選択肢から選ぶタイプ(例: 500A)と、文字入力するタイプ(例: 0001.00)があります。選択肢から選ぶタイプの設定は、クリックすると選択肢が表示されますので、その中から選択するとメータが選択内容で設定されます。文字入力するタイプの設定は、クリックすると入力ウインドウが開きますので、入力を行い確定ボタン(確定)をクリックするとメータが入力内容で設定されます。

メータに設定内容が反映されると、設定ボックスの右側に設定できました(設定しました。)と表示されます。

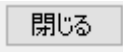
7. 現状の測定器の設定内容を保存したい場合は、設定ファイル保存ボタン()をクリックします。ファイル保存のウィンドウが開きますので、保存先のフォルダ、保存ファイル名を指定して保存します。
8. 以前に測定器の設定内容を保存した設定ファイルを読み出したい場合は、設定ファイル読み出しボタン()をクリックします。ファイル読み出しのウィンドウが開きますので、読み出し先のフォルダ、読み出すファイル名を指定して設定内容を読み出し、測定器に設定します。基本的には、同じ構成の測定器で使用してください。
ただし、PW3337のようなオプションにより機能に差異がある測定器で設定ファイルを読み出しする場合は、以下の事を注意してください。
・オプションがない測定器で保存した設定ファイルを、オプションがある測定器に読み込んだ場合、オプション部分の設定は変更されません。
9. 測定器を直接操作して[測定器設定]画面と設定内容が一致しなくなった場合は、全設定の再取得ボタン()をクリックしてください。測定器の設定と[測定器設定]画面の設定内容が一致します。
10. 接続先に同じ測定器が複数ある場合は、[測定器設定]画面に他機器設定が表示されます。



測定器の設定内容を他の同じ測定器へ設定したい場合は、設定したい他の測定器の製造番号を選択し送信ボタン()をクリックします。指定した測定器に設定内容が反映されると、メッセージボックスが表示されます。



ただし、PW3337 のようなオプションにより機能に差異がある測定器に設定する場合は、測定器設定で表示している測定器の設定部分しか設定できませんので注意してください。

11. 閉じるボタン()で[測定器設定]の画面が終了します。

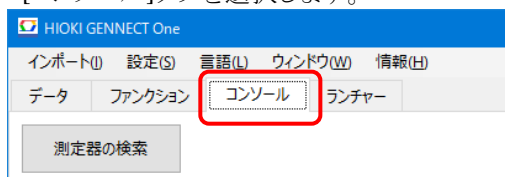
バッテリーテスタ BT3554/BT3554-01/BT3554-50 の設定をする(USB)

1. バッテリーテスタとコンピューターを接続します。
 - ※ バッテリーテスタと USB で通信するためには、コンピューターに、専用の USB ドライバーがインストールされている必要があります。
 - ※ BT3554 シリーズ用 USB ドライバーをインストールする方法については、以下を参照してください。
 - [USB ドライバーをインストールする](#)
 - ※ 旧製品の 3554 用 USB ドライバーをインストールする方法については、本体に付属の取扱説明書を参照してください。
また、旧製品の 3554 は、Windows 8.0 以降のコンピューター上では動作しませんのでご注意ください。

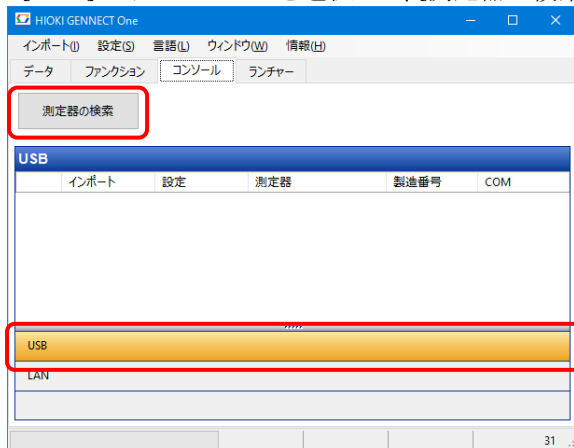
2. GENNECT One を起動します。




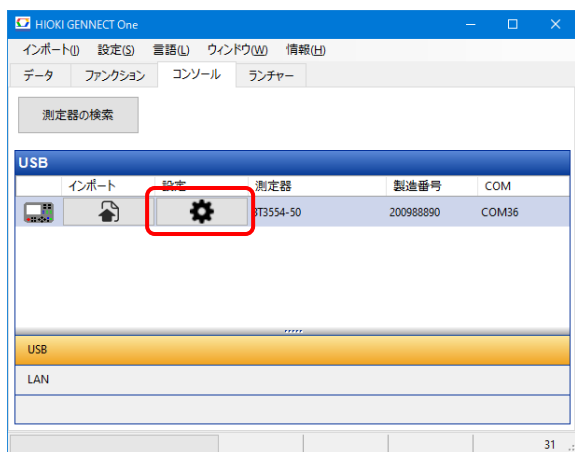
3. [コンソール]タブを選択します。



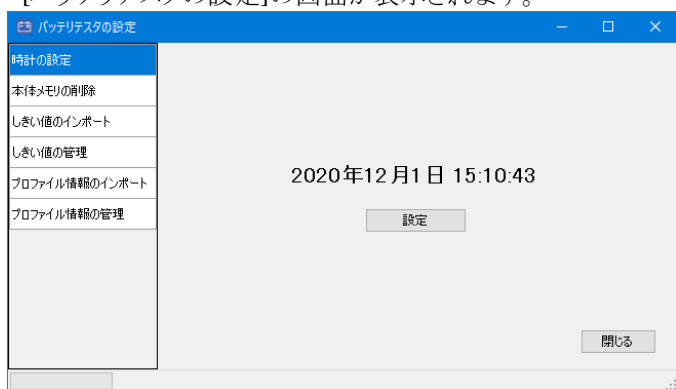
4. [USB]のインターフェースを選択して、[測定器の検索]ボタンをクリックします。



5. 接続されている測定器の、  ボタンをクリックして、測定器の設定を開始します。

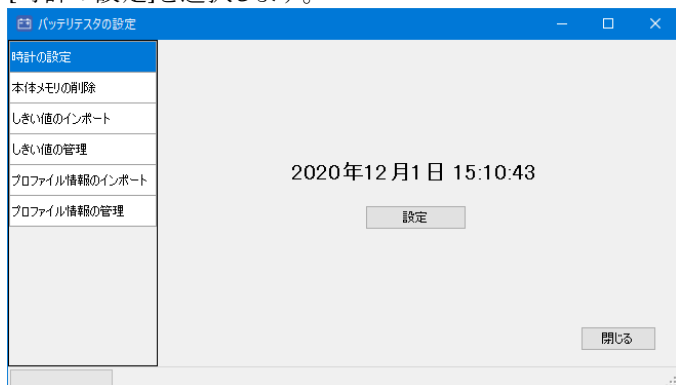


6. [バッテリーテスタの設定]の画面が表示されます。

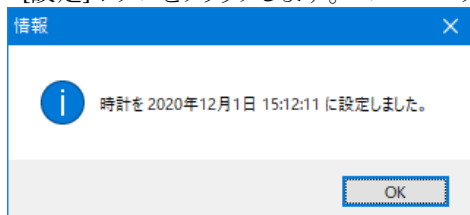


時計の設定をする

1. [時計の設定]を選択します。



2. [設定]ボタンをクリックします。コンピューターの日付と時刻がバッテリーテスタに設定されます。

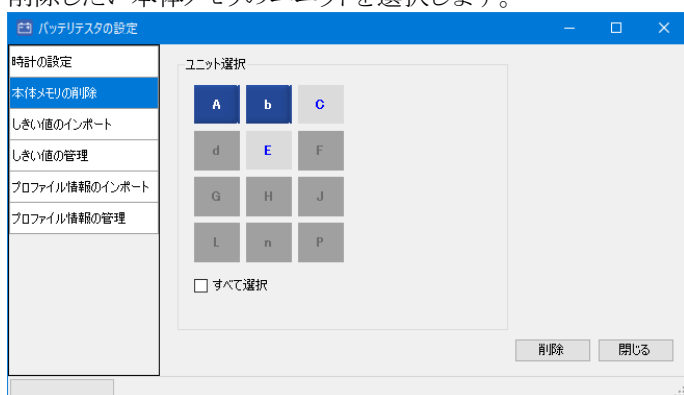


本体メモリを削除する

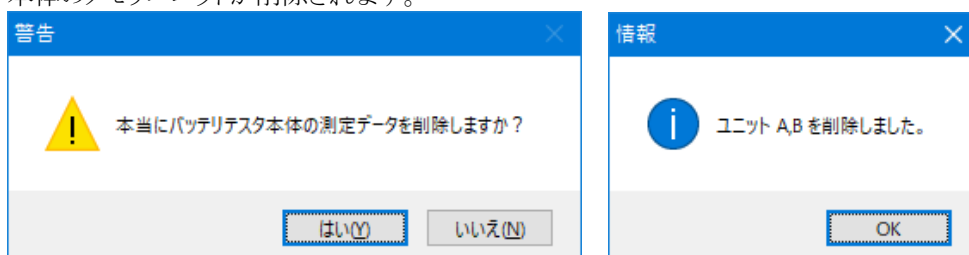
1. [本体メモリの削除]を選択します。



2. 削除したい本体メモリのユニットを選択します。

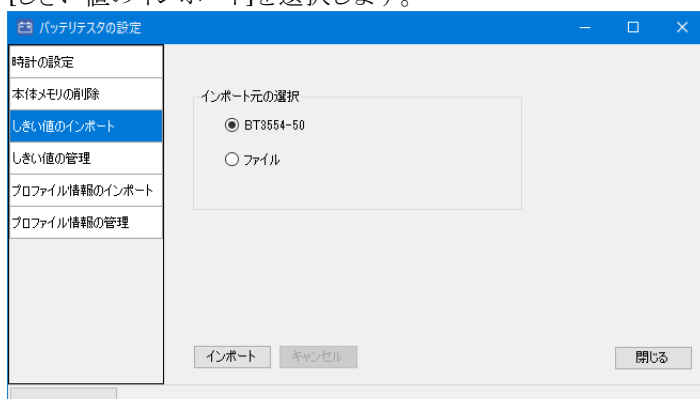


3. 本体のメモリユニットが削除されます。

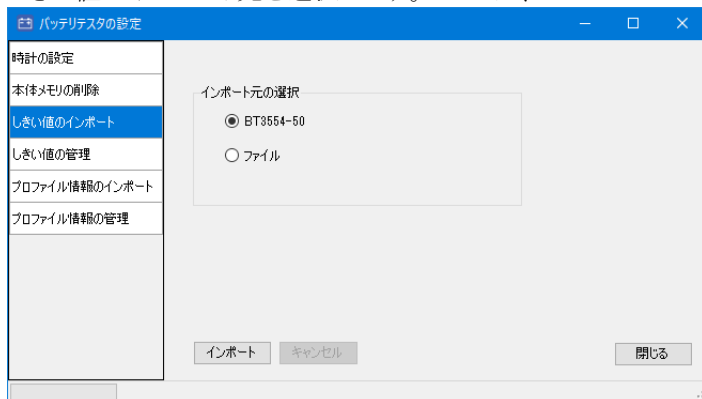


しきい値をインポートする

1. [しきい値のインポート]を選択します。

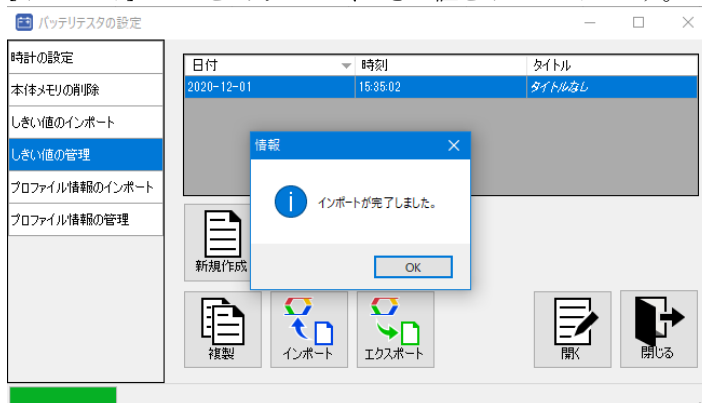


2. しきい値のインポート先を選択します。ここでは、BT3554-50 バッテリテスタからインポートします。



- ※ GENNECT Cross for iOS/Android のバッテリー機能で作成したしきい値をインポートする場合は、インポート先に[ファイル]を選択します。

3. [インポート]ボタンをクリックして、しきい値をインポートします。

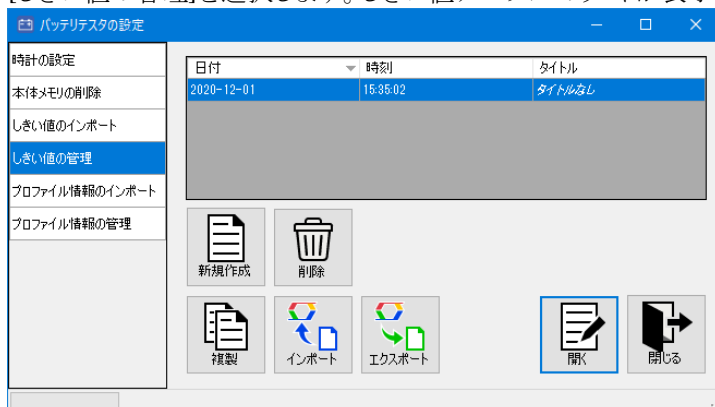


しきい値テーブルをクラウド上で共有・管理する方法 (GENNECT Cloud Standard/Pro にご契約のお客様は本機能をお使いいただけます。)については以下を参照してください。

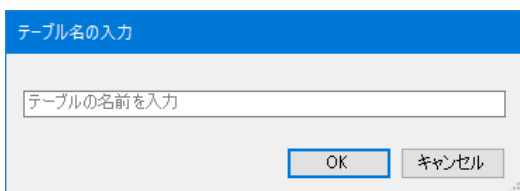
- バッテリテスタのしきい値をクラウド上で共有する
- バッテリテスタのしきい値をクラウド上で管理する

しきい値テーブルを新規作成する

1. [しきい値の管理]を選択します。しきい値テーブルのリストが表示されます。



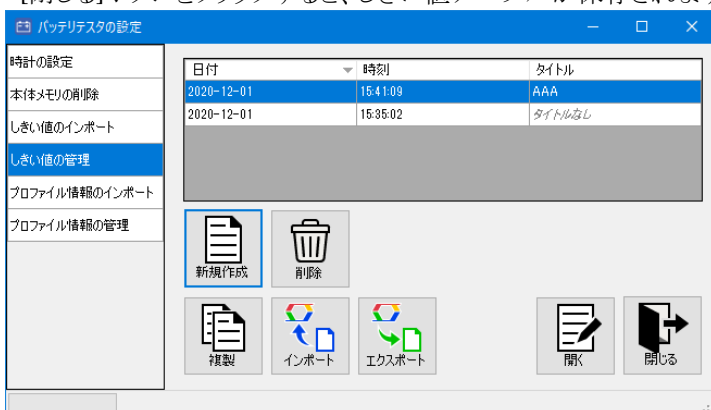
2. [新規作成]ボタンを押します。[テーブル名の入力]画面が表示されます。しきい値テーブルの名前を設定します。



3. [しきい値テーブルの編集]画面が表示されます。しきい値テーブルの編集を開始します。



4. [閉じる]ボタンをクリックすると、しきい値テーブルが保存されます。

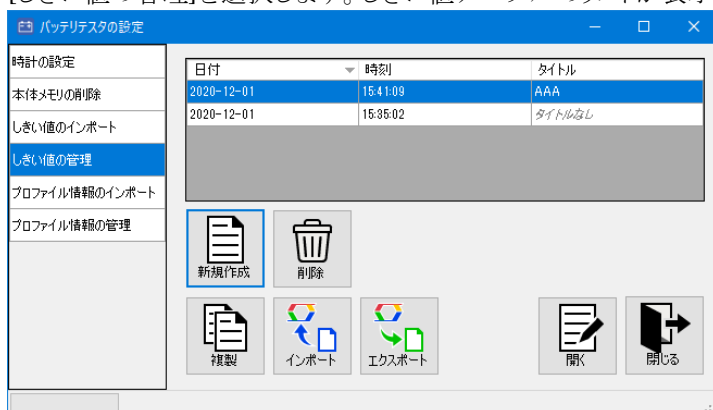


しきい値テーブルをクラウド上で共有・管理する方法 (GENNECT Cloud Standard/Pro にご契約のお客様は本機能をお使いいただけます。)については以下を参照してください。

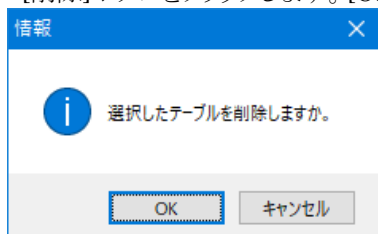
- バッテリーテストのしきい値をクラウド上で共有する
- バッテリーテストのしきい値をクラウド上で管理する

しきい値テーブルを削除する

1. [しきい値の管理]を選択します。しきい値テーブルのリストが表示されます。



2. [削除]ボタンをクリックします。[OK]ボタンをクリックして、選択したしきい値テーブルを削除します。

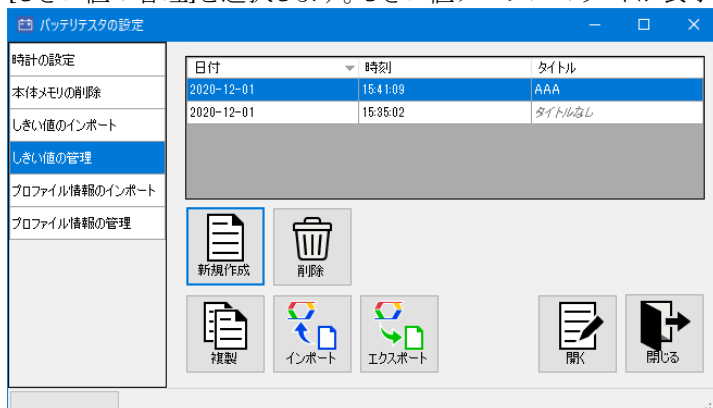


しきい値テーブルをクラウド上で共有・管理する方法 (GENNECT Cloud Standard/Pro にご契約のお客様は本機能をお使いいただけます。)については以下を参照してください。

- バッテリテストのしきい値をクラウド上で共有する
- バッテリテストのしきい値をクラウド上で管理する

しきい値テーブルをバッテリーテストに転送する

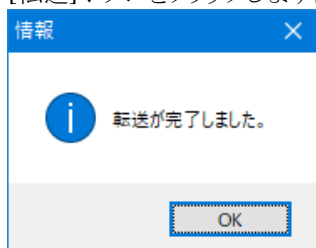
1. [しきい値の管理]を選択します。しきい値テーブルのリストが表示されます。



2. [開く]ボタンをクリックします。[しきい値テーブルの編集]画面が表示されます。

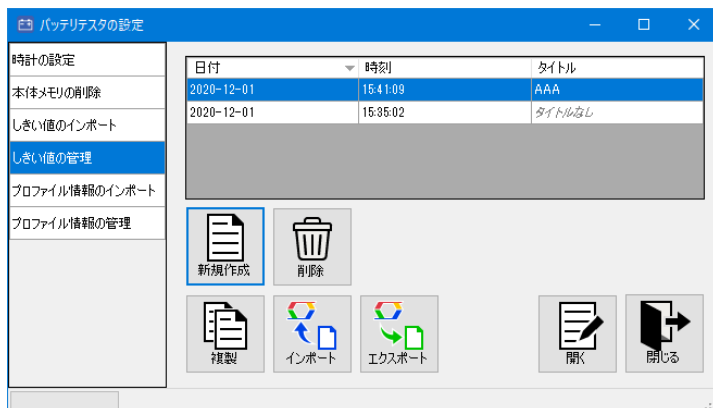


3. [転送]ボタンをクリックします。しきい値テーブル (No.1～No.200) のデータがバッテリーテストに転送されます。



しきい値テーブルを編集する

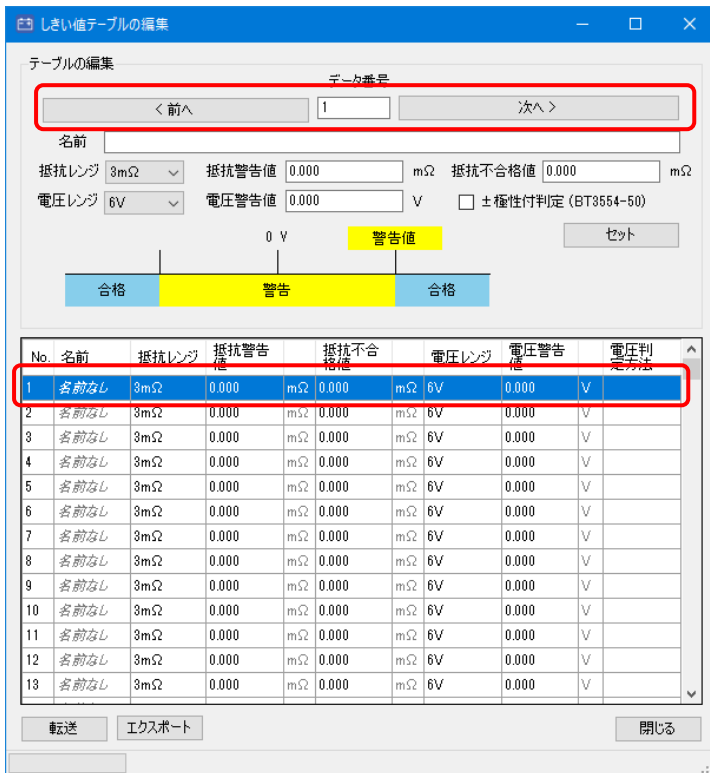
1. [しきい値の管理]を選択します。しきい値テーブルのリストが表示されます。



2. [複製]ボタンをクリックして、リストにあるテーブルを複製することができます。
3. [インポート]ボタンをクリックして、ファイル(hok形式)からインポートすることができます。
4. [エクスポート]ボタンをクリックして、ファイル(hok形式)にエクスポートすることができます。
5. [開く]ボタンをクリックします。[しきい値テーブルの編集]画面が表示されます。



6. リスト上で、編集したいデータ番号のしきい値をマウスで選択します。



※ [次へ]、または、[前へ]ボタンをクリックして、データを順番に選択することができます。

※ [データ番号]に番号を入力して、データを選択することができます。

7. 名前、抵抗レンジ、抵抗警告値、抵抗不合格値、電圧レンジ、電圧警告値、電圧判定方法 (BT3554-50)を入力して、[セット]ボタンをクリックします。

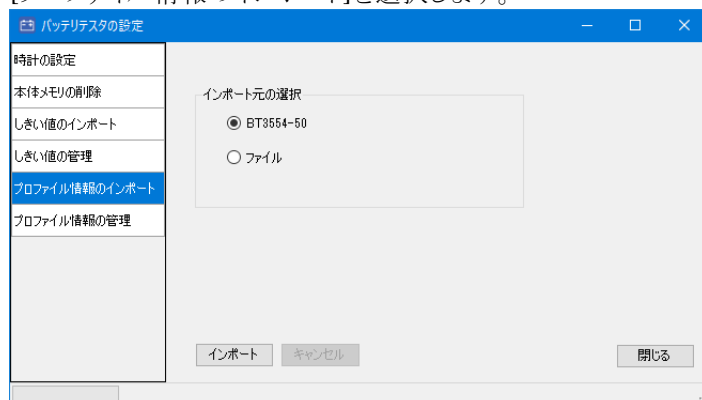


8. データ番号 2 に、しきい値が設定されました。

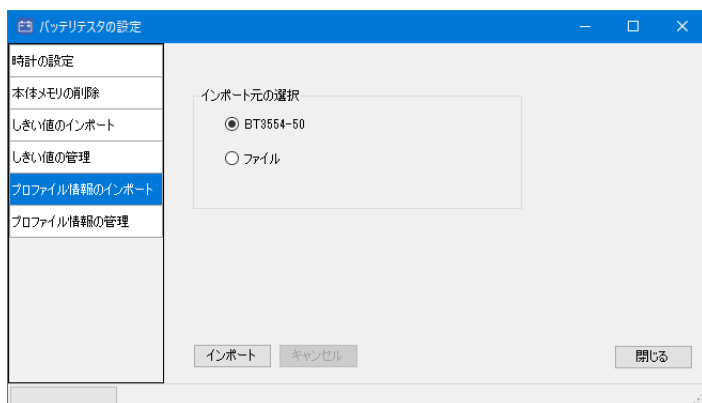


プロファイル情報をインポートする (BT3554-50)

1. [プロファイル情報のインポート]を選択します。

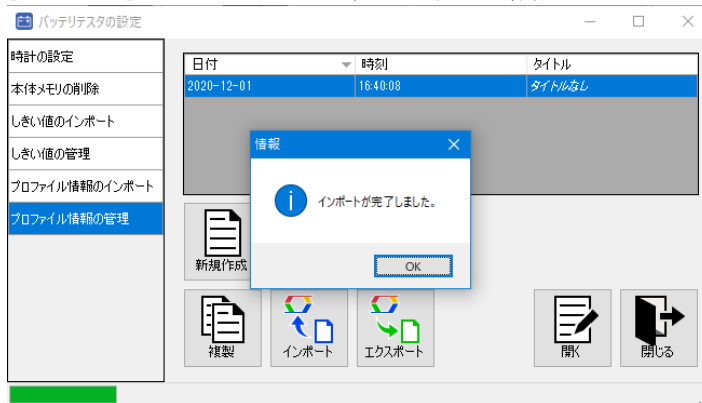


2. プロファイル情報のインポート先を選択します。ここでは、BT3554-50 バッテリーテスタからインポートします。



- ※ GENNECT Cross for iOS/Android のバッテリー機能で作成したプロフィール情報をインポートする場合は、インポート先に[ファイル]を選択します。

3. [インポート]ボタンをクリックして、プロフィール情報をインポートします。

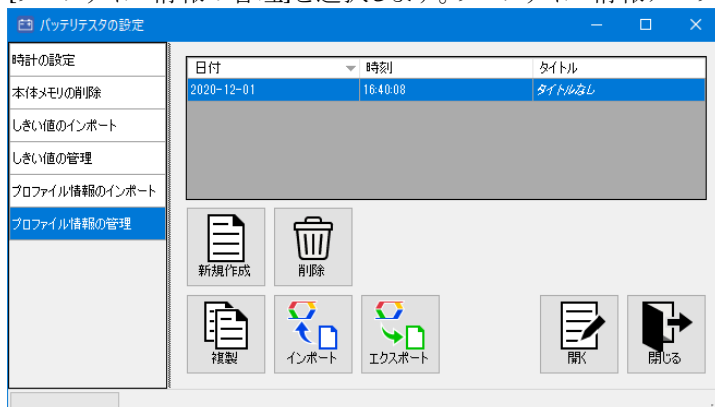


プロフィール値テーブルをクラウド上で共有・管理する方法 (GENNECT Cloud Standard/Pro にご契約のお客様は本機能をお使いいただけます。)については以下を参照してください。

- [バッテリーテストのプロフィール情報をクラウド上で共有する](#)
- [バッテリーテストのプロフィール情報をクラウド上で管理する \(BT3554-50 のみ\)](#)

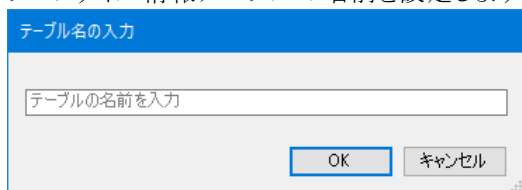
プロフィール情報テーブルを新規作成する (BT3554-50)

1. [プロフィール情報の管理]を選択します。プロフィール情報テーブルのリストが表示されます。

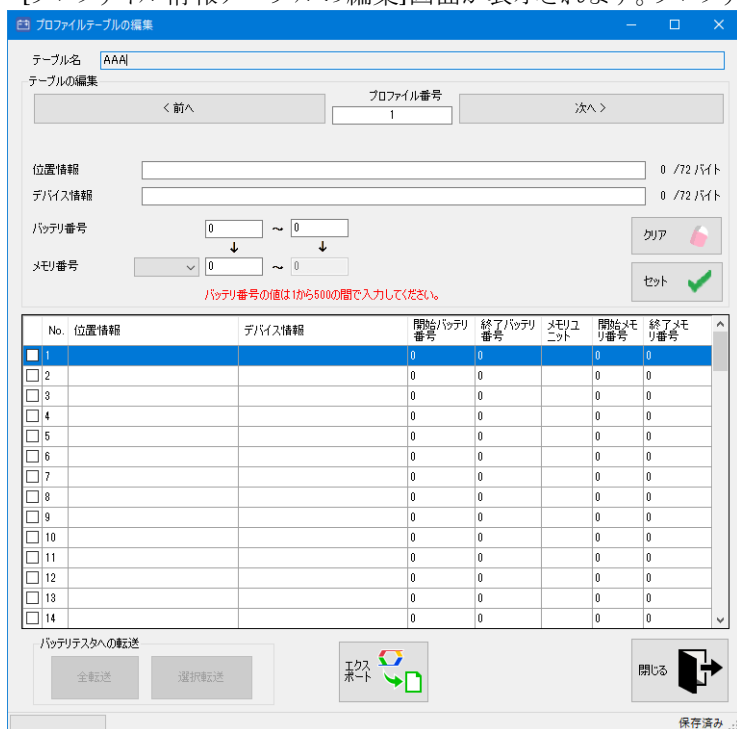


2. [新規作成]ボタンを押します。[テーブル名の入力]画面が表示されます。

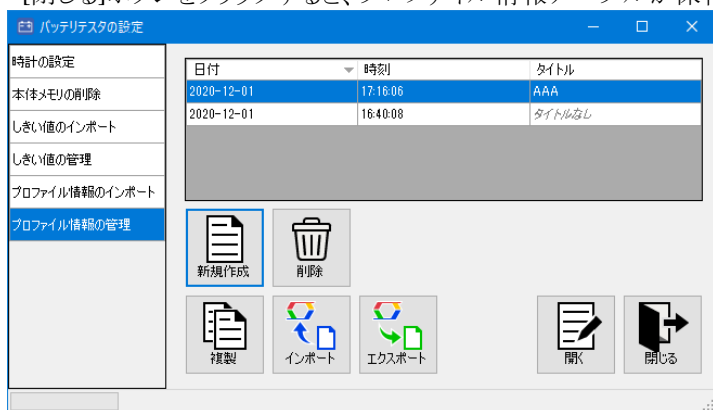
プロフィール情報テーブルの名前を設定します。



3. [プロフィール情報テーブルの編集]画面が表示されます。プロフィール情報テーブルの編集を開始します。



4. [閉じる]ボタンをクリックすると、プロフィール情報テーブルが保存されます。

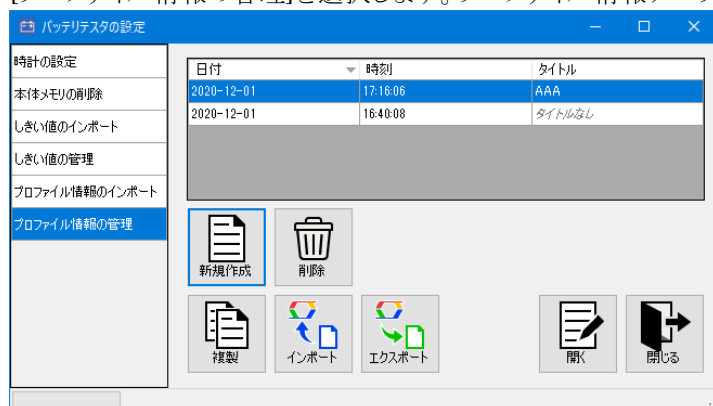


プロフィール値テーブルをクラウド上で共有・管理する方法 (GENNECT Cloud Standard/Pro にご契約のお客様は本機能をお使いいただけます。)については以下を参照してください。

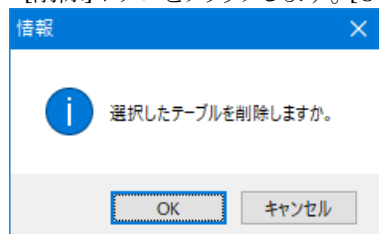
- [バッテリーテストのプロファイル情報をクラウド上で共有する](#)
- [バッテリーテストのプロファイル情報をクラウド上で管理する \(BT3554-50 のみ\)](#)

プロファイル情報テーブルを削除する (BT3554-50)

3. [プロファイル情報の管理]を選択します。プロファイル情報テーブルのリストが表示されます。



4. [削除]ボタンをクリックします。[OK]ボタンをクリックして、選択したプロファイル情報テーブルを削除します。

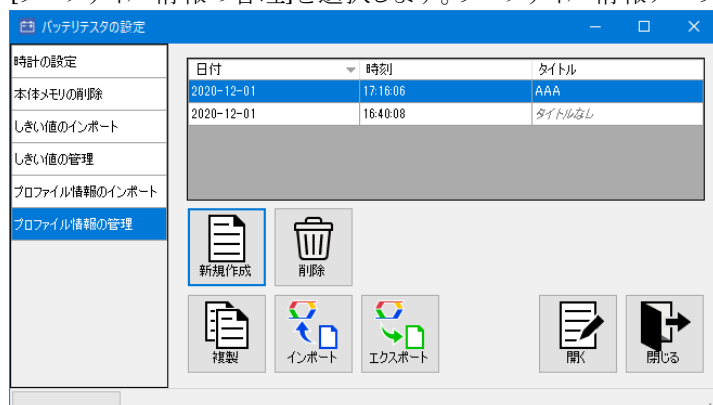


プロファイル値テーブルをクラウド上で共有・管理する方法 (GENNECT Cloud Standard/Pro にご契約のお客様は本機能をお使いいただけます。)については以下を参照してください。

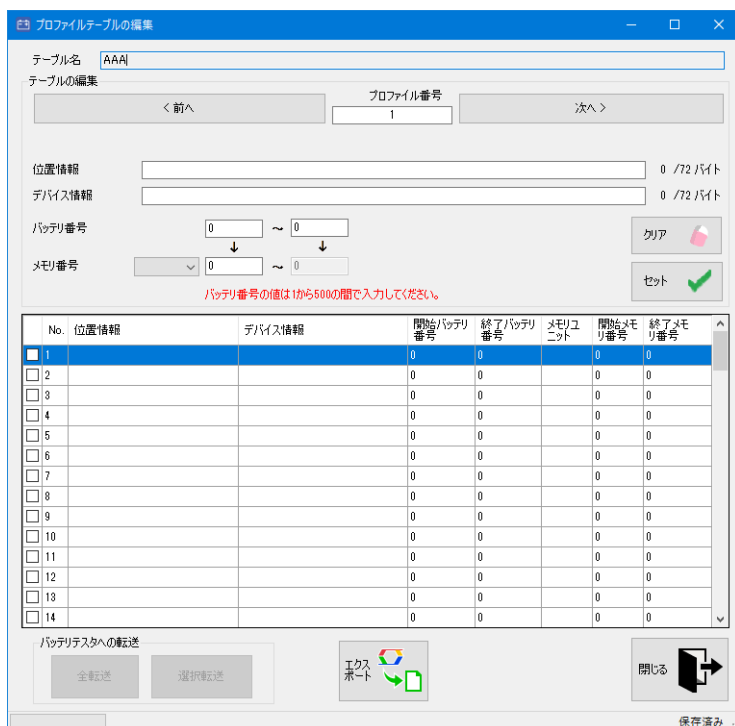
- [バッテリーテストのプロファイル情報をクラウド上で共有する](#)
- [バッテリーテストのプロファイル情報をクラウド上で管理する \(BT3554-50 のみ\)](#)

プロファイル情報テーブルをバッテリーテストに転送する (BT3554-50)

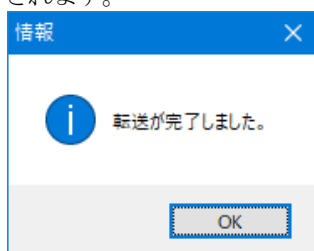
1. [プロファイル情報の管理]を選択します。プロファイル情報テーブルのリストが表示されます。



2. [開く]ボタンをクリックします。[プロファイル情報テーブルの編集]画面が表示されます。

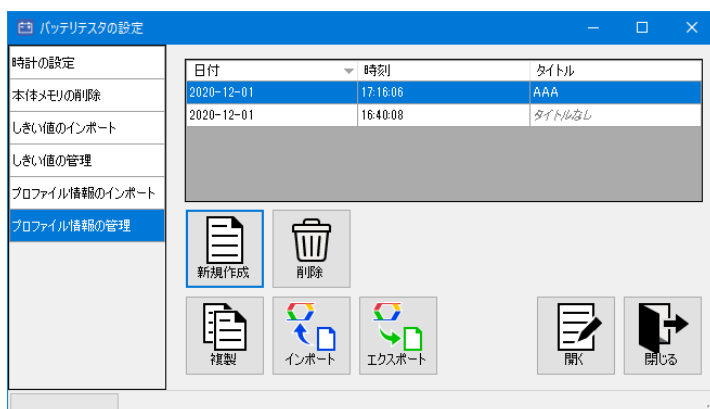


3. [全転送]ボタンまたは[選択転送]ボタンをクリックします。プロファイル情報テーブルのデータがバッテリーテストに転送されます。



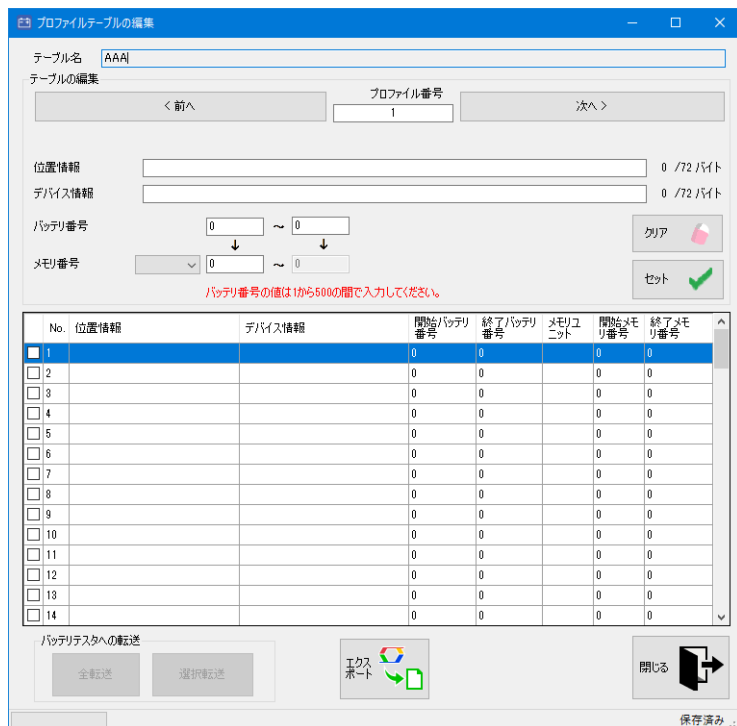
プロファイル情報テーブルを編集する (BT3554-50)

1. [プロファイル情報の管理]を選択します。プロファイル情報テーブルのリストが表示されます。

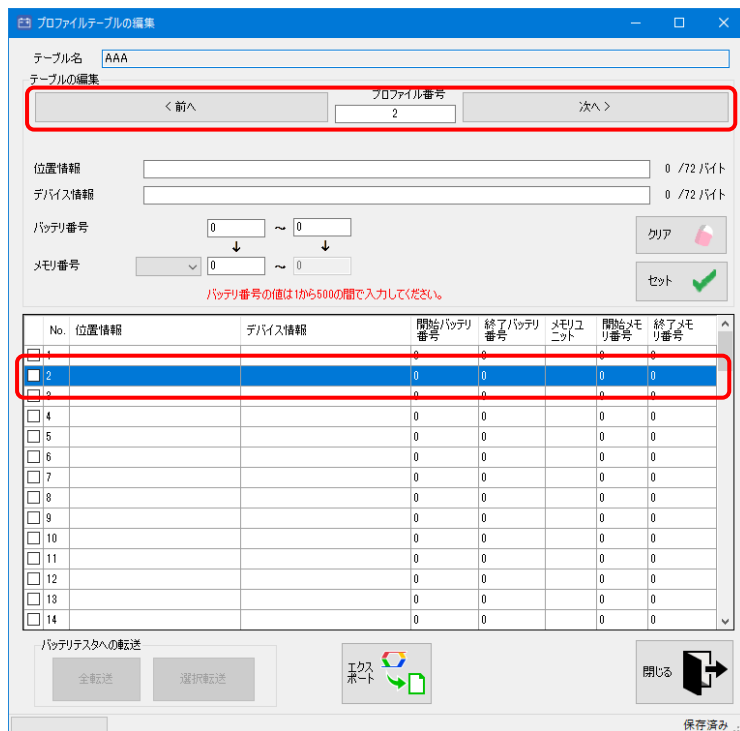


2. [複製]ボタンをクリックして、リストにあるテーブルを複製することができます。

3. [インポート]ボタンをクリックして、ファイル(hok形式)からインポートすることができます。
4. [エクスポート]ボタンをクリックして、ファイル(hok形式)にエクスポートすることができます。
5. [開く]ボタンをクリックします。[プロファイル情報テーブルの編集]画面が表示されます。



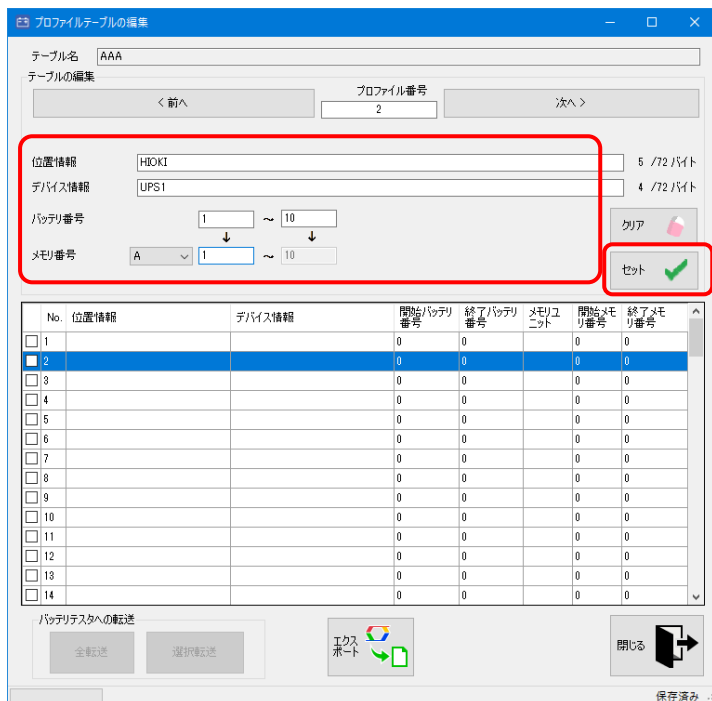
6. リスト上で、編集したいデータ番号のプロファイル情報をマウスで選択します。



※ [次へ]、または、[前へ]ボタンをクリックして、データを順番に選択することができます。

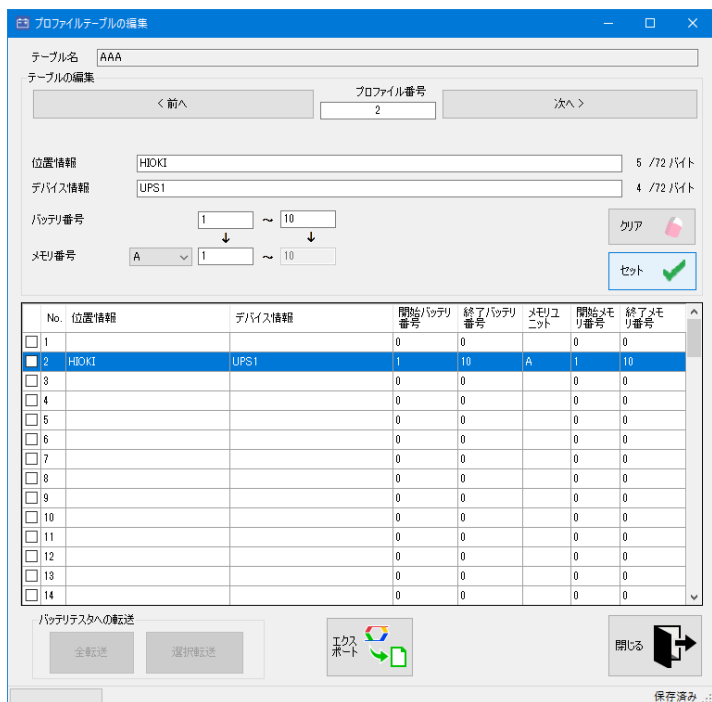
※ [データ番号]に番号を入力して、データを選択することができます。

- 位置情報、デバイス情報、バッテリー開始番号、バッテリー終了番号、メモリユニットおよび番号を入力して、[設定]ボタンをクリックします。



内容を消去する場合は[クリア]ボタンをクリックします。

- プロファイル番号 2 に、しきい値が設定されました。



LR8101,LR8102 データロガーの IP アドレスを割り当てる

GENNECT One から専用のツールを起動することで PC に LAN ケーブルで接続された LR8101, LR8102 データロガーを発見し、LR8101,LR8102 の[LAN1] インタフェースの IP アドレスとサブネットマスクを一括で設定することができます。

注記

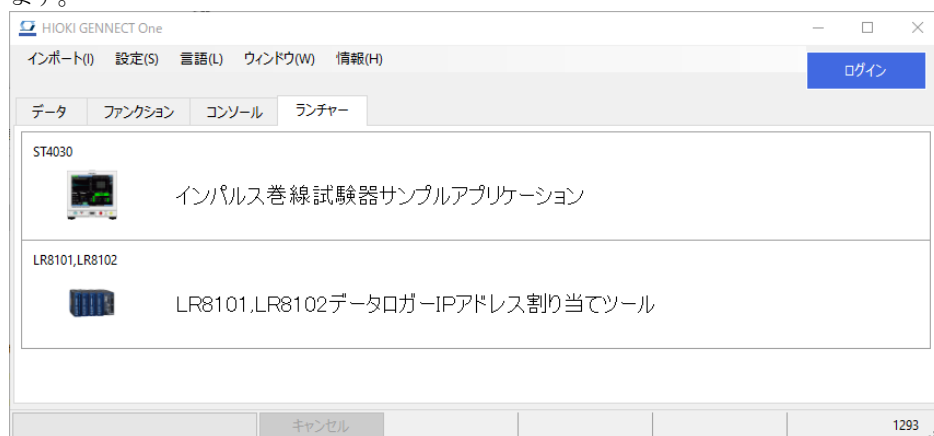
- 本ツールを使用する場合は、PC と LR8101,LR8102 の[LAN1]インタフェースを LAN ケーブルで接続して測定器の電源を入れてください。
- PC の IP アドレスと LR8101,LR8102 の IP アドレスが重複している場合は測定器を発見することができません。PC の IP アドレスを事前に LR8101,LR8102 の工場出荷時の IP アドレス(192.168.1.2)以外の IP アドレスに設定しておくことをお奨めします。

対応測定器

形名	品名	対応バージョン
LR8101, LR8102	データロガー	V1.00 以降

起動

GENNECT One の[ランチャー]タブを選択して[LR8101,LR8102 データロガー IP アドレス割り当てツール]をクリックします。



機能説明



(1) メニュー

項目	項目	説明
情報	バージョン情報	本ツールのバージョン情報を表示します。

(2) ネットワーク接続情報

項目	説明
ネットワーク接続情報(PC)	LR8101,LR8102 が見つかったネットワーク接続情報を表示します。

(3) 検索

項目	説明
検索タイムアウト(ms)	LR8101,LR8102 の検索結果待機時間をミリ秒単位で設定します。
[検索] ボタン	PC と LAN ケーブルで接続されている LR8101, LR8102 を検索して [IP アドレス設定(測定器)]のリストに表示します。リストには LR8101, LR8102 の通信ステータスも併せて表示します。


(4) IP アドレス設定 (リスト)

項目	編集	説明
ステータス	—	通信ステータスを表すアイコンを表示します。 ステータスの詳細は「 通信ステータス 」参照
形名	—	形名を表示します。
製造番号	—	製造番号を表示します。
IP アドレス	○	IP アドレスを表示・編集します。
サブネットマスク	○	サブネットマスクを表示・編集します。
MAC アドレス	—	MAC アドレスを表示します。



(5) IP アドレス設定 (設定送信)

項目	説明
[設定送信] ボタン	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレスとサブネットマスクの設定を LR8101, LR8102 に送信して適用します。 設定適用後に通信確認を実施して通信ステータス表示に反映します。

(6) 終了

項目	説明
[GENNECT One に登録する] チェックボックス	<p>オン: 通信ステータスが  の LR8101, LR8102 の接続情報を GENNECT One の[コンソール]タブの測定器リストに登録して本ツールを終了します</p> <p>オフ: LR8101, LR8102 の接続情報を GENNECT One に登録せずに本ツールを終了します</p>
[閉じる] ボタン	本ツールを終了します。

通信ステータス

アイコン	ステータス内容
	測定器と PC の通信を確認しました。
	<p>測定器と PC の通信を確認できませんでした。</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> アイコンをマウスオーバーするとメッセージが表示されます。測定器と PC の通信を確立する場合は、メッセージの内容に注意して、測定器の IP アドレスとサブネットマスクを設定してください。 [設定送信]ボタンによる IP アドレスの変更直後は、PC が保持しているキャッシュデータの影響で、PC と測定器の間の通信が確認できない場合があります。その場合、キャッシュデータが更新されるまで 30 秒程度待って、[検索]ボタンをクリックしてください。

測定値をリアルタイムで PC に表示・記録する

測定値をロギングする（ロギング機能（LAN））

- ロギング機能は、測定チャンネルとロギング間隔を指定して、測定値をモニター / ロギング(記録)する機能です。
- ロギングによりロギング形式の測定ファイルが作成されて、本アプリケーション内のデータベースに保存されます。

※ LAN 通信によるロギングに対応しています。

※ ロギング形式の測定ファイルの閲覧、CSV ファイル出力については以下を参照してください。

[データを見る](#)

[データを出力する](#)

※ 時系列ビューワの操作方法の詳細は以下を参照してください。

[時系列\(ロギング\)ビューワの操作方法](#)

※ V5.10 より、ロギングを同時に 8 つまで起動できます。

対応測定器

リアルタイム測定は次の測定器に対応しています。

形名	品名	対応バージョン	備考
PQ3100	電源品質アナライザ	V2.10 以降	*1
PQ3198	電源品質アナライザ	V1.10 以降	*1,*3
PW3335	パワーメータ	V1.11 以降	*2,*4,*6
PW3336	パワーメータ	V1.23 以降	*2,*4,*6
PW3337	パワーメータ	V1.23 以降	*2,*4,*6
PW3360	クランプオンパワーロガー	V3.10 以降	*1
PW3365	クランプオンパワーロガー	V2.00 以降	*1
PW3390	パワーアナライザ	V2.00 以降	*2
PW6001	パワーアナライザ	V3.02 以降	*2
PW8001	パワーアナライザ	V1.00 以降	*2,*4,*5,*7
LR8400 LR8401 LR8402	メモリハイロガー	V1.21 以降	*1
LR8410	ワイヤレスロギングステーション	V1.42 以降	*1
LR8416	ワイヤレス熱流ロガー	V1.42 以降	*1
LR8450, LR8450-01	メモリハイロガー	V1.20 以降	*1,*8
LR8101, LR8102	データロガー	V1.00 以降	*1
MR6000	メモリハイコーダ	V2.12 以降	*1
BT4560-50	バッテリーインピーダンスメータ	V1.00 以降	LAN インタフェース付きモデルのみ
BT5525	絶縁抵抗試験器	V1.00 以降	*1
BT6065 BT6075	バッテリーテスタ	V1.00 以降	*1
ST5680	DC 耐電圧絶縁抵抗試験器	V1.00 以降	*1
IM3523A	LCR メータ	V1.02 以降	*1、LAN インタフェース付きモデルのみ
RM3545A	抵抗計	V1.00 以降	*1,*9、LAN 通信ポートは初期値の 23 番のみ対応
DM7275, DM7276	直流電圧計	V1.09 以降	*1、LAN 通信ポートは初期値の 23 番のみ対応

*1 本機能による測定開始時に測定器本体の測定が停止状態の場合は開始状態に移行します。

*2 本機能による測定開始時に測定器本体の積算が停止状態の場合は開始状態に移行します。

*3 本機能による測定開始時に測定器本体に保持されている解析データはリセットされます。本機能を開始する場合は測定器本体で測定データの解析が完了した状態（データリセット状態）にしておくことをお勧めします。

*4 本機能による測定開始時にその時点までに測定器本体が保持している積算データはリセットされます。本機能を開始する場合は積算データの記録と解析が完了した状態（データリセット状態）にしておくことをお勧めします。

*5 本機能による測定開始時に測定器本体の結線別積算の設定が有効になっている場合は全結線積算の設定に変更されます。

*6 本アプリケーションのバージョンが V5.10 未満の場合、高調波項目の取得に対応していません。本アプリケーションを V5.10 以降にバージョンアップしてご利用ください。

*7 本体のユーザー定義演算(UDF)の設定の際、単位として","や;"の記号は使用しないでください。

*8 本体の波形演算やスケリング機能の設定の際、単位として","や;"の記号は使用しないでください。

*9 RM3545A の場合、測定時間が 1 分を超える場合には対応していませんので、1 分未満になるように測定 SPEED、AVERAGE、DELAY、OVC、

チャンネル数を少なくしてください。

制限

リアルタイム測定(ロギング/モニター)に関する制限

項目	制限値	備考
ロギング同時実行数	8	V5.10 より
最大チャンネル数	512CH+16CH(演算チャンネル)	グラフ表示可能な最大チャンネル数:32CH ※ 複数ロギング同時実行時は同時実行中のロギングチャンネル合計数が制限値を超えないこと
測定器の最大接続台数	30 台	※ 複数ロギング同時実行時は同時実行中のロギング接続測定器数が制限値を超えないこと ※ 複数ロギング同時実行時に同じ測定器を複数のロギングに指定することはできません。
通信インタフェース	LAN	
ロギング間隔	1/2/5/10/30 秒 1/2/5/10/30 分 1 時間	最小のロギング間隔はアプリケーションが測定値の取得にかかる時間を計測して決定します。
チャンネル間演算最大チャンネル数	16CH(Z1~Z16)	※ 複数ロギング同時実行時は同時実行中のチャンネル間演算チャンネル合計数が 16CH を超えないこと
データ分割	1 日/1 時間	
自動出力(日報)の保存間隔	1 日	ロギング実行時: → 毎日 23 時 59 分 59 秒に自動生成 ロギング停止時: → ロギング停止時に自動生成
自動出力(CSV)の保存間隔	1 日/1時間 ※データ分割の設定に従う	ロギング実行時: → 1 日:毎日 23 時 59 分 59 秒に自動生成 → 1時間:毎時 XX 時 59 分 59 秒に自動生成 ロギング停止時: → ロギング停止時に自動生成
自動出力(日報)の形式	Excel	

通信に関する制限

項目	制限値	備考
インタフェース	LAN	
自動検索のネットワーク範囲	□.□.□.2 - □.□.□.254 ※コンピューターと同一のネットワーク範囲に限る	
DHCP	非対応	

操作の流れ

次の手順でロギングを開始/停止します。

コンピューターと測定器を接続する (LAN)

ロギングを開始する (p.148)



測定器を選択する (p.148)



チャンネルを選択する (p.151)



ロギングの条件を設定する (p.153)

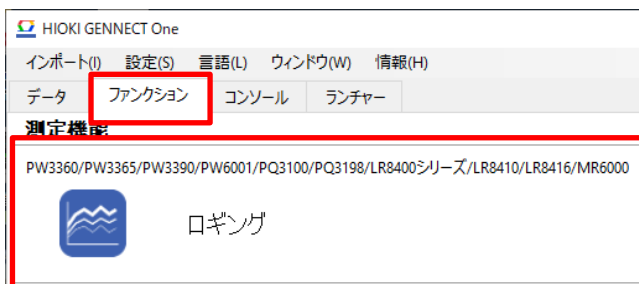


ロギングを停止する (p.156)

ロギングを開始する

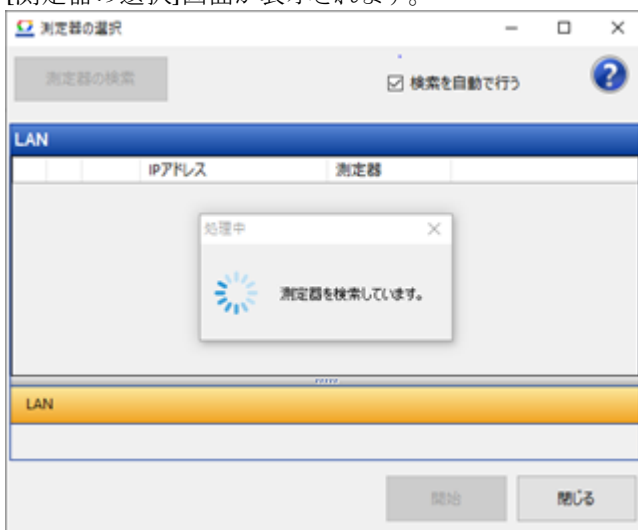
ロギングを開始する

1. [ファンクション]のタブをクリックして、[ロギング]をクリックします。

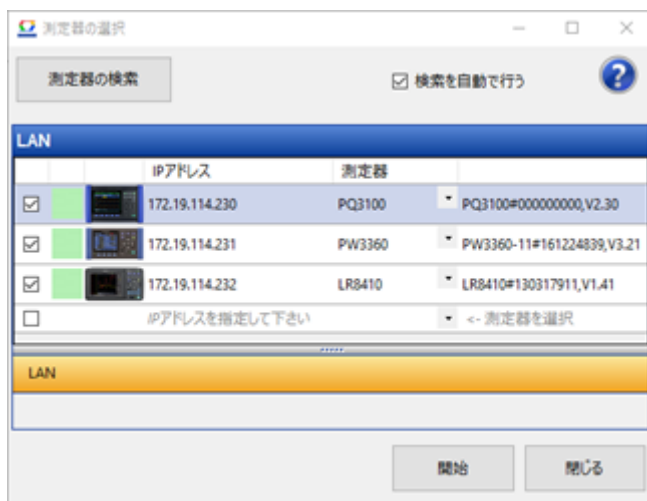


測定器を選択する

- ① [測定器の選択]画面が表示されます。



- ② 検索で見つかった測定器が一覧で表示されます。



※ **測定器の検索** ボタンをクリックして、測定器を再検索できます。

※ **検索を自動で行う** のチェックを **OFF** にすると、この画面を開いた時に測定器の自動検索を行いません。
検索を自動で行う のチェックを **ON** にすると、この画面を開いた時に測定器の自動検索を行います

※ 検索結果に本アプリケーションで一度も接続したことがない測定器が含まれる場合は、以下のような表示になります。

	IPアドレス	測定器
<input type="checkbox"/>	172.19.114.230	<- 測定器を選択

この測定器への接続を確認する場合は、**[測定器]**のコンボボックスで形名を選択します。

	IPアドレス	測定器
<input type="checkbox"/>	172.19.114.230	PQ3100 PQ3100#000000000,V2.30

※ 検索で見つからない測定器を手動で追加する場合は、**[IPアドレスを入力]**欄に直接 IP アドレスを指定してから、対象の測定器をコンボボックスから選択します。

<input type="checkbox"/>	IPアドレスを入力	<- 測定器を選択
--------------------------	-----------	-----------

※ 右クリックで表示されるメニューで、**[接続確認]**を選択して、接続の確認をすることができます。

	IPアドレス	測定器
<input type="checkbox"/>	172.19.114.230	PQ3100 PQ3100#000000000,V2.30
<input type="checkbox"/>	IPアドレスを指定	削除 (D) 接続確認 (C)

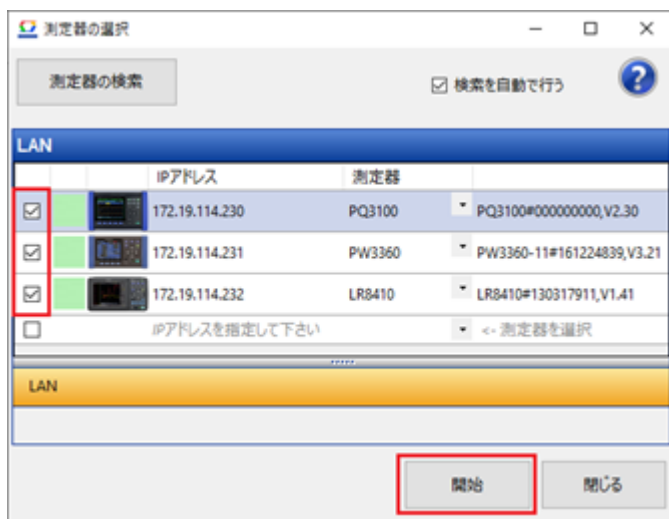
LAN ケーブルが抜けているなどの理由で、測定器との通信が確認できない場合は次のような表示になります。

	IPアドレス	測定器
<input type="checkbox"/>	172.19.114.230	<- 測定器を選択

※ 右クリックで表示されるメニューで、**[削除]**を選択して、測定器をリストから削除することができます

	IPアドレス	測定器
<input type="checkbox"/>	172.19.114.230	<- 測定器を選択
<input type="checkbox"/>	IPアドレスを指定	削除 (D) 接続確認 (C)

③ ロギングを行う測定器をチェックボックスで選択します。
[開始]ボタンをクリックして次に進みます。



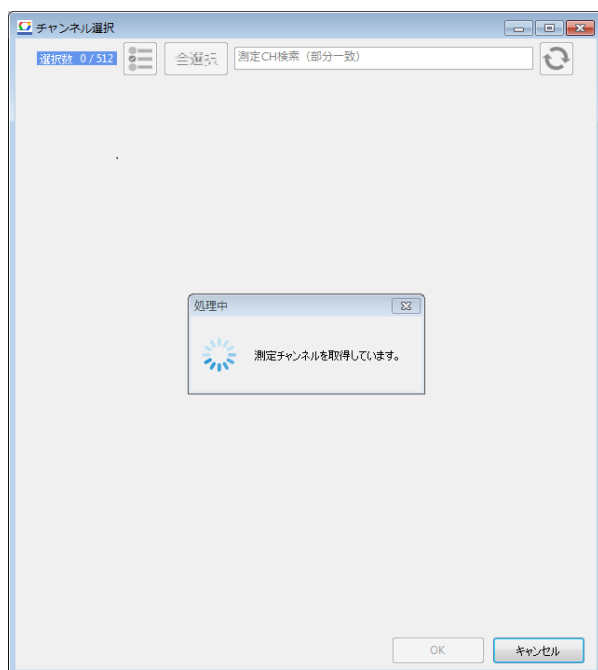
※ 薄緑色の接続ステータスは、測定器が発見されたが、未接続状態のステータスです。ステータスアイコンをダブルクリックするか、[開始]ボタンをクリックすると接続します。

LAN				
		IPアドレス	測定器	
<input checked="" type="checkbox"/>		172.19.114.230	PQ3100	PQ3100#000000000,V2.30
<input type="checkbox"/>		172.19.114.231		<- 測定器を選択
<input checked="" type="checkbox"/>		172.19.114.232	LR8410	LR8410#130317911,V1.41
<input type="checkbox"/>		IPアドレスを指定して下さい		<- 測定器を選択

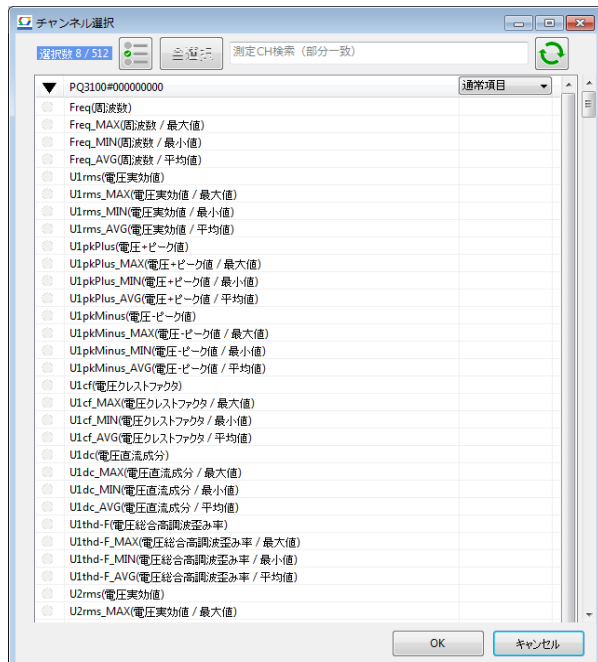
接続済: 緑 (■)
 発見済: 薄緑 (■)
 未発見: 赤 (■)


チャンネルを選択する（演算チャンネルの設定をする）

1. [チャンネル選択]画面が表示されます。
「測定チャンネルを取得しています。」のメッセージが表示されます。

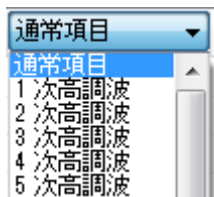


2. [測定器の選択]画面で選択した測定器の有効な測定チャンネルが一覧で表示されます。



- ※  ボタンをクリックして、測定チャンネルを再検索できます。
 - ※ PQ3100,PQ3198,PW3335(*),PW3336(*),PW3337(*),PW3360,PW3365,PW8001 (高調波対応モデル)では、測定項目のコンボボックスを選択して、リストに表示する測定チャンネルを高調波チャンネルに切り替えることができます。
- *本アプリケーションのバージョンが V5.10 未満の場合、PW3335,PW3336,PW3337 の高調波項目の取得に対応していま**

せん。本アプリケーションを V5.10 以降にバージョンアップしてご利用ください。



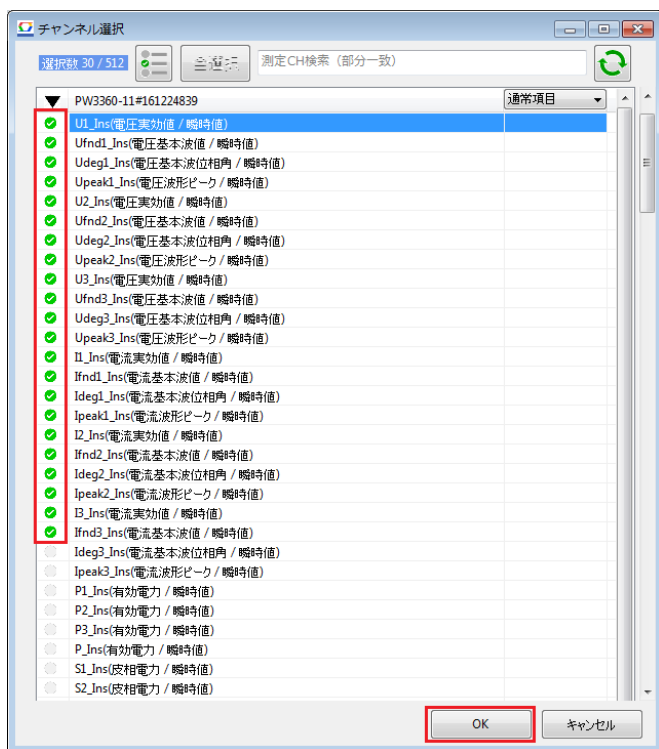
- ※ PW3336, PW8001, PQ3198 など一部の測定器に関する測定項目は識別名 (PWP, MU_{pk} など) で表示されます。識別名と測定項目名の対応関係は以下を参照してください。



▶ [ロギング・ダッシュボード機能の識別名と測定項目名](#)

- ※ 通常項目の測定チャンネル数が 1200 を超える場合、ページが複数に分かれます。その場合は、コンボボックスで表示するページを選択して、ページを切り替えてください。

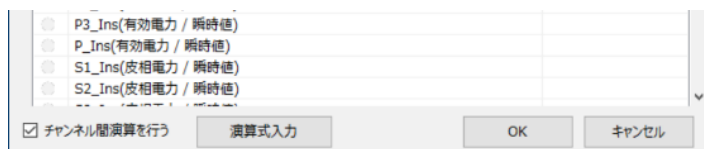


3. ロギングを行う測定チャンネルをチェックボックスで選択します。
[OK] ボタンをクリックして次に進みます。



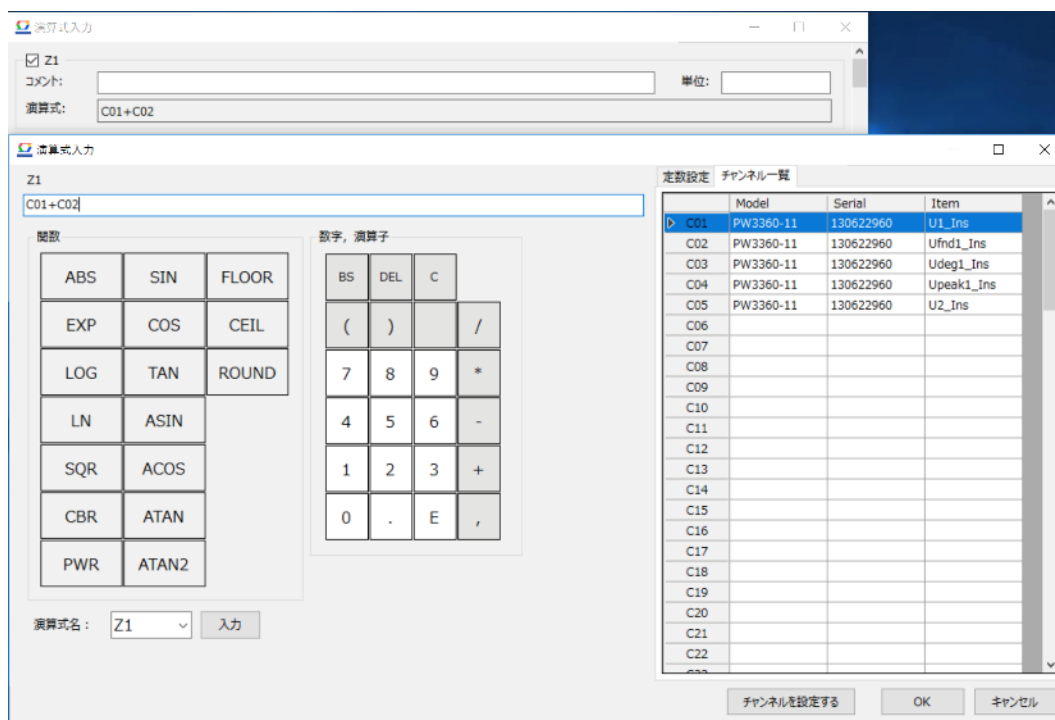
- ※ **最大で 512CH まで選択できます。**
- ※ [測定 CH 検索] の検索ボックスで、リストに表示する測定チャンネルを絞り込むことができます。
- ※  ボタンをクリックして、リストに表示する測定チャンネルを選択済みのチャンネルに限定することができます。
- ※  ボタンをクリックして、「すべて選択/すべて選択解除」を切り替えることができます。

4. 選択した測定チャンネルを使用してチャンネル間演算をする場合は、[チャンネル間演算をする] にチェックを入れて [演算式] ボタンをクリックします。



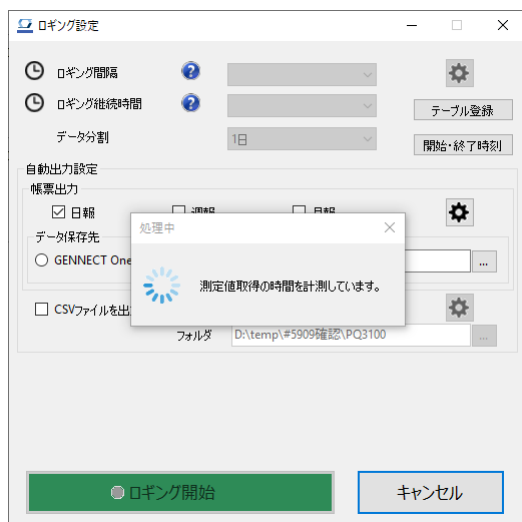
5. 選択した測定チャンネルを使用してチャンネル間演算をする場合は、[演算式設定]画面で演算式の設定をします。
[演算式設定]画面の詳細は次を参照してください。

▶ [チャンネル間演算の詳細設定をする](#)

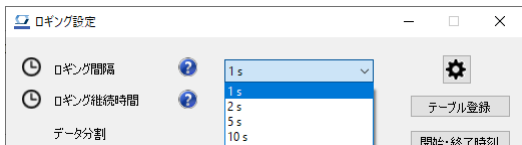


ロギングの条件を設定する

1. [ロギング設定]画面が表示されます。



2. [ロギング間隔]のコンボボックスからロギング間隔を選択します。



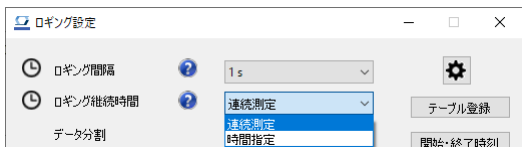
- ※ ロギング間隔は 1 秒/2 秒/5 秒/10 秒/30 秒/1 分/2 分/5 分/10 分/30 分/1 時間から選択します。
ただし、最小のロギング間隔はアプリケーションが測定値の取得にかかる時間を計測して決定します。
- ※ ロギング間隔を指定すると、[データ分割]の表示が更新されます。
ロギングのデータは、[データ分割]に表示される分割時間で分割して保存されます。
- ※ ロギングスケジュールでのロギング実行の場合、ロギング間隔は 1 分以下を指定してください。
1 分を超えるロギング間隔をテーブル登録できません。

3. [ロギング時間]のコンボボックスからロギング時間を選択します。

連続測定: 手でロギング停止するまで、[データ分割]間隔でファイル分割しながらロギングを継続します。

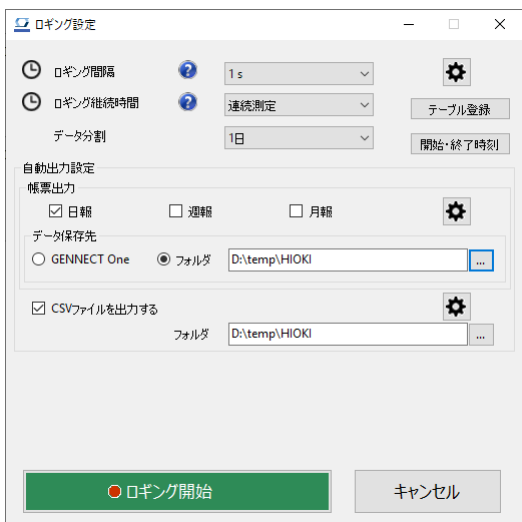
時間指定: 1 秒～30 日 23 時間 59 分 59 秒の範囲でロギングを継続する時間を指定します。

[データ分割]間隔のほうが指定時間よりも短い場合は、[データ分割]間隔でファイル分割を行います。







4. [データ分割]でロギングデータを分割して保存する間隔を選択します。

データ分割の間隔は 1 日/1 時間から選択します。



5. [自動出力設定]で帳票(日報・週報・月報),CSV の自動出力に関する設定をします。

項目	内容	
帳票出力	日報・週報・ 月報 (※1)	<input type="checkbox"/> : 選択されている帳票を自動出力します。 <input type="checkbox"/> : 選択されていない帳票は自動出力しません。
	データ保存先	帳票(日報・週報・月報)の保存先を指定します。

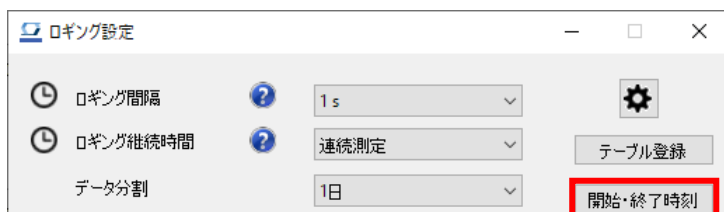
		<p>GENNECT One:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帳票(日報・週報・月報)を GENNECT One のデータリストに保存します。  <p>フォルダ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帳票を任意のディレクトリに保存します。[...]ボタンで帳票を保存するディレクトリを選択します。 
	<p>詳細設定</p> 	<p>帳票(日報・週報・月報)の自動出力に関する詳細設定をします。</p> <p>設定内容の詳細は、以下を参照してください。</p> <p>➤ エラー! 参照元が見つかりません。</p>
CSV ファイルを出力する	オン/オフ	<p>オン: ログギングのデータ分割時間(1日/1時間)で CSV を自動出力します。</p> <p>オフ: ログギングのデータ分割時間(1日/1時間)での CSV の自動出力はしません。</p>
	データ保存先	<p>CSV を任意のディレクトリに保存します。[...]ボタンで CSV を保存するディレクトリを選択します。</p>
	詳細設定 	<p>CSV の自動出力に関する詳細設定をします。</p> <p>設定内容の詳細は、以下を参照してください。</p> <p>➤ 自動出力(CSV)の詳細設定をする</p>

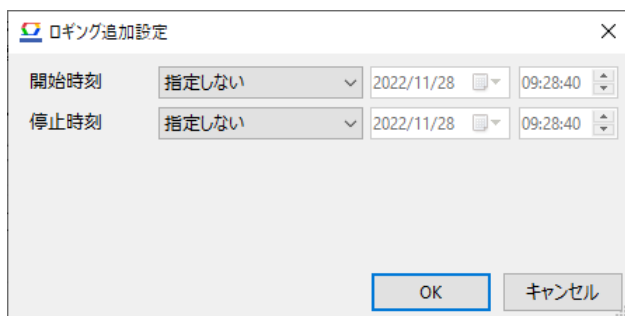
※1: 複数ログギングやログギングスケジュールの際に、同時に同じファイル名で帳票出力する設定になっている場合はファイル名を変更して保存することがあります。

6. ログギングの開始時刻・終了時刻を指定したい場合は[開始・終了時刻]ボタン押下にて表示されるログギング追加設定を設定します。

※ ログギング追加設定で設定できる項目は、ログギング実行時に都度設定する必要があります。

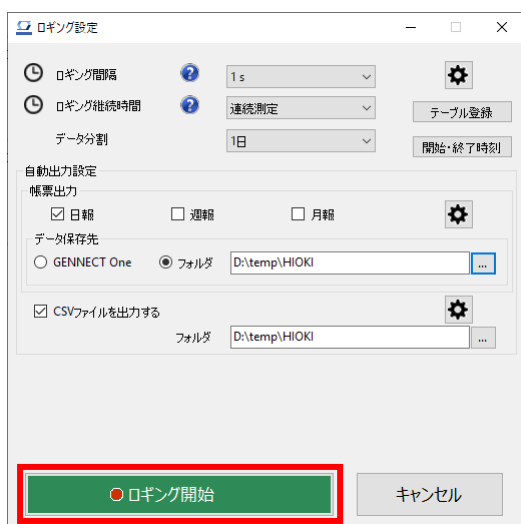
設定しない状態でログギングを開始した場合はデフォルト動作となります。





項目	内容
開始時刻	指定しない: [ロギング開始]ボタンを押下すると即時開始します。 指定する: [ロギング開始]ボタンを押下すると指定時刻にロギングを開始します。
停止時刻	指定しない: 自動ではロギングを停止しません。 指定する: 指定時刻にロギングを自動停止します。

7. [ロギング開始]をクリックして、ロギングを開始します。
[ロギング]の画面が表示されて、ロギングが開始されます。



ロギングを停止する

1. [ロギング停止]ボタンをクリックして、ロギングを停止します。
ロギングが停止されると、測定結果がロギング形式のデータとして本アプリケーションのデータリストに保存されます。

ロギングタスクを表示する

ロギングを開始、または[設定]－[ロギングタスク]メニューを選択するとロギングタスク画面が表示されます。

- ・ロギングタスク画面では現在実行中のロギングおよび終了したロギングの情報が表示されます。
- ・実行中のロギング情報表示部分をダブルクリックすると対応したロギング画面がアクティブになります。

画面構成について



① ログイン種類

通常のログイン開始の場合は“Manual”と表示されます。
 ログインテーブルからログインを開始した場合は、バッチ No.を”[1]:Batch1”のように表示します。

② バッチ名 (ログインテーブルからログインを開始した場合)

ログインテーブルに登録されているバッチ名を表示します。



③ 開始時刻

ログインを実際に開始した時刻を表示します。

④ 終了時刻

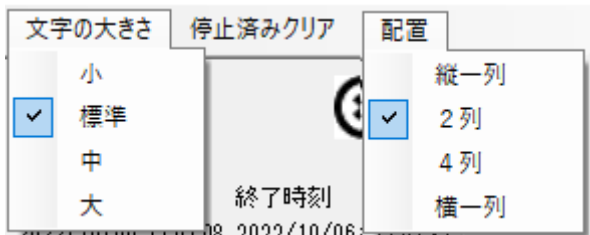
ログインを実際に終了した時刻を表示します。

⑤ ログイン状態アイコン

ログイン実行中は 、ログイン停止後は  アイコンを表示します。

メニュー構成について

ログインタスク画面では以下のメニューを使用できます。

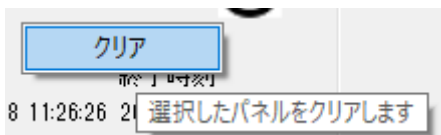


メニュー	説明
文字の大きさ	表示文字の大きさを4種類(小・標準・中・大)から選択できます。

	文字の大きさに合わせて画面サイズも変更されます。
停止済みクリア	ロギング停止後の表示部をすべてクリアします。
配置	表示部の配置を 4 種類(縦一列・2 列・4 列・横一列)から選択できます。

ロギング停止後の表示を右クリックすると[クリア]メニューが表示されます。

[クリア]メニューを選択すると指定した表示のみを表示クリアします。





画面構成について



- ① モニター表示
 チェックをつけたチャンネルの測定値が、②グラフと③リストに表示されます(最大 32 チャンネル)。
 鉛筆ボタン(✎)をクリックすると、チャンネル名を変更できます。

- ・チェック付絞込みボタン(☑): モニター表示のチェックの付いたチャンネルのみを表示/非表示します
- ・全解除ボタン(全解除): モニター表示のすべてのチェックを解除します
- ・測定 CH 検索(部分一致): モニター表示のチャンネル名で絞り込みができます

- ② グラフ表示
 最大 600 ポイントのグラフを表示します。600 ポイントを超えると、グラフの下にトラックバーが表示され、表示範囲を変更できます。

- ・全体表示ボタン(): 拡大状態とカーソルを解除し、現在値に追従します。
マウスダブルクリックや Esc キーの押下でも同様の操作ができます。
- ・移動モードボタン(): 拡大状態でグラフを移動できます。右クリックしながらでも同様の操作ができます。









③ リスト表示
グラフ上でカーソルを移動すると、リストの該当データ行がハイライトされます。

④ タイトル入力欄
保存されるファイルのタイトルを入力します

波形ツールボタン

波形の表示・操作に関するツールボタンです。

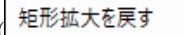







	名称	説明
	カーソル切り替え	有効なカーソルをトレースカーソル、A カーソル、B カーソルのいずれかに切り替えます。
	全体表示	波形表示画面に表示されている波形を全体表示します。
	位置調整	波形表示画面に表示されている波形の縦軸位置を調整します。
	移動	移動モードのオン/オフを切り替えます。 オン : マウス左ボタンのドラッグが波形の移動(スクロール)になります。 オフ : マウス左ボタンのドラッグが波形の矩形拡大になります。
	時間軸表示	時間軸の表示方法を切り替えます。 絶対時間 : 時間軸の表示方法が絶対時間に切り替わります。 絶対時間の表示形式: "HH:mm:ss" 相対時間(自動) : 時間軸の表示方法が各測定項目の波形における開始位置を起点とした経過時間に切り替わります。経過時間は、波形全体の時間幅から自動で決定した単位で表示されます。 相対時間(秒) : 時間軸の表示方法が各測定項目の波形における開始位置を起点とした経過時間に切り替わります。経過時間は秒で表示されます。 相対時間(ポイント) : 時間軸の表示方法が各測定項目の波形における開始位置を起点としたデータポイント数に切り替わります。
	数値軸表示	数値軸の表示方法を切り替えます。 チャンネル毎の軸 : 測定項目(チャンネル)毎に別々の数値軸を持つ表示になります。 全チャンネル共通の軸 : すべての表示されている測定項目(チャンネル)で共通の数値軸を持つ表示になります
	表示設定	波形表示画面に表示されている波形の表示設定をします。
	波形画像出力	波形表示画面に表示されている波形の画像をクリップボードにコピーします。 波形表示画面に表示されている波形の画像をファイルに出力します。

波形を操作する

波形を操作する方法について記述します。

操作	説明
拡大・縮小 (マウスホイール)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 両方向に拡大・縮小する ・ 波形画面上でマウスホイールを回転させて、波形全体を拡大・縮小します。 ■ 水平方向に拡大・縮小する

	<ul style="list-style-type: none"> ・波形画面の下側5%の領域上でマウスホイールを回転させて、波形全体を水平方向に拡大・縮小します。 ・時間軸(X)上でマウスホイールを回転させて、波形全体を水平方向に拡大・縮小します。 ■垂直方向に拡大・縮小する ・波形画面の左側5%の領域上でマウスホイールを回転させて、波形全体を垂直方向に拡大・縮小します。 ・数値軸(Y)上でマウスホイールを回転させて、数値軸(Y)に所属するチャンネルの波形全体を拡大・縮小します。
拡大 (矩形指定)	<ul style="list-style-type: none"> ■両方向に拡大する ・波形画面上でマウスの左ボタンをドラッグして、波形全体を拡大します。 ■水平方向に拡大する ・波形画面の下側5%の領域上でマウスの左ボタンをドラッグして、波形全体を水平方向に拡大します。 ・時間軸(X)上でマウスの左ボタンをドラッグして、波形全体を水平方向に拡大します。 ■垂直方向に拡大する ・波形画面の左側5%の領域上でマウスの左ボタンをドラッグして、波形全体を垂直方向に拡大します。 ・数値軸(Y)上でマウスの左ボタンをドラッグして、数値軸(Y)に所属するチャンネルの波形全体を拡大します。 ■矩形拡大を戻す ・波形画面上でマウスの右クリックをして、矩形拡大を戻す()をクリックすると直前に実行した矩形拡大を戻すことができます。
全体表示	<ul style="list-style-type: none"> ・全体表示()ボタンをクリックして表示波形を全体表示します。 ・波形画面上でマウスの左ボタンをダブルクリックして表示波形を全体表示します。 ・[ESC]キーを押下して表示波形を全体表示します。
拡大・縮小 (  ボタン)	<ul style="list-style-type: none"> ■水平方向に拡大・縮小する ・() ボタンクリックで水平方向(時間軸方向)に拡大します。 ・() ボタンクリックで水平方向(時間軸方向)に縮小します。
拡大・縮小 (リスト)	<ul style="list-style-type: none"> ■水平方向に拡大・縮小する ・波形画面上でマウスの右クリックをして、時間軸拡大をクリックすると水平方向(時間軸方向)に拡大します。 ・波形画面上でマウスの右クリックをして、時間軸縮小をクリックすると水平方向(時間軸方向)に縮小します。 ・時間軸をクリックして表示される時間値をクリックすると、その時間値の区間を波形表示します。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 時間軸拡大 時間軸縮小 時間軸 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> 全体 2s 1s 500ms 200ms 100ms </div> </div>
移動 (スクロールバー)	<ul style="list-style-type: none"> ■水平方向に移動する 波形画面の下側のスクロールバーを移動して、波形を水平方向に移動します。
移動 (キー入力)	<ul style="list-style-type: none"> キー入力により波形全体を移動します。 ■水平方向に移動する ・[Shit]+[→]キー: 波形全体を右方向に移動します。 ・[Shift]+[Ctrl]+[→]キー: 波形全体を右方向に細かく移動します。 ・[Shit]+[←]キー: 波形全体を左方向に移動します。 ・[Shift]+[Ctrl]+[←]キー: 波形全体を左方向に細かく移動します。 ■垂直方向に移動する ・[Shit]+[↑]キー: 波形全体を上方向に移動します。 ・[Shift]+[Ctrl]+[↑]キー: 波形全体を上方向に細かく移動します。 ・[Shit]+[↓]キー: 波形全体を下方向に移動します。 ・[Shift]+[Ctrl]+[↓]キー: 波形全体を下方向に細かく移動します。

ロギングスケジュール機能を使う

ロギングスケジュール機能を使用することにより、ロギングを前もって開始・終了時間を設定して自動起動することができます。

- ・スケジュールに登録するロギング情報をロギングテーブルで管理します。
- ・ロギングテーブルに登録したロギング情報をスケジュールに指定して、ロギングを最大8つまで自動起動させることができます。
- ・ロギングテーブルに登録されているロギング情報を使って、通常のロギングを起動させることができます。
- ・ロギングテーブルおよびスケジュールにて起動されるロギングの条件は通常のロギング動作と同じとなります。

条件については以下を参照してください。

➤ [ロギングの制限](#)

操作の流れ

次の手順でロギングスケジュール機能を使用します。

ロギング設定をロギングテーブルに設定する(p.161)



ロギングテーブルに設定したロギング設定をロギングスケジュールとして登録する(p.168)



ロギングスケジュールを開始する (p.164)



指定した時刻にロギングが自動開始/停止する



ロギングスケジュールを停止する (p.164)

ロギングテーブル

[設定]－[ロギングテーブル]メニューを選択するとロギングテーブル画面が表示されます。

ロギングテーブル画面ではスケジュールに登録するロギング情報を管理します。

- ・ロギングテーブルには以下のロギング設定は保存されません。また、ロギングテーブルからのロギング実行でも指定できません。
 - ロギング開始時刻（ ”指定しない” に固定）
 - ロギング停止時刻（ ”指定しない” に固定）
 - ロギング継続時間（ ”連続計測” に固定）
- ・ロギングスケジュールにて実行できるロギングは1分以下のロギング間隔にする必要があります。
このため、ロギングテーブルには1分を超えるロギング間隔の設定は登録できません。

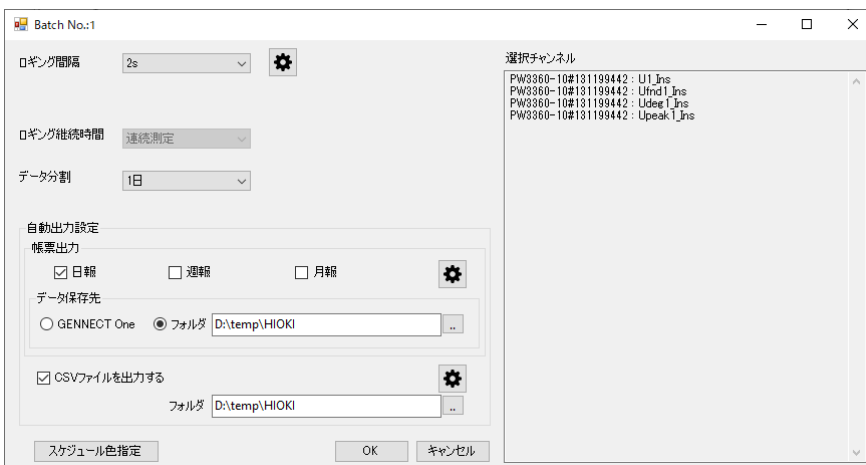
画面構成について

No.	バッチ名	インターバル	機種	チャンネル数	備考	設定	ロギング
1	CSV出力確認_1	5 秒	PW3360-10:2008999	11		設定	開始
2	CSV出力確認_2	5 秒	PW3360-10:131199442	11		設定	開始
3	CSV出力確認_3	5 秒	PQ3100:160699454	91		設定	開始
4	スケジュール連続試験用_1	10 秒	PW3360-10:200899918	56		設定	開始
5	スケジュール連続試験用_2	10 秒	PW3360-10:131199442	53		設定	開始
6	スケジュール連続試験用_3	10 秒	PQ3100:160699454	223		設定	開始
7	チャンネル間演算7つ	1 秒	PW3360-10:200899918	6		設定	開始
8	チャンネル間演算9つ	1 分	PW3360-10:131199442	3		設定	開始
9	チャンネル間演算1つ	1 分	PQ3100:160699454	1		設定	開始
10	チャンネル数多め	10 秒	PQ3100:160699454	424		設定	開始
11						設定	開始
12						設定	開始
13						設定	開始
14						設定	開始
15						設定	開始
16						設定	開始
17						設定	開始
18						設定	開始
19						設定	開始
20						設定	開始
21						設定	開始

- ① バッチ No.
テーブル管理用番号です。
- ② バッチ名
ロギングテーブルに登録したロギング設定に任意の名称をつけることができます。
バッチ名はテーブル上で編集できます。
- ③ インターバル
ロギングテーブルに登録したロギング設定のうち、ロギング間隔を表示します。
- ④ 機種
ロギングテーブルに登録したロギング設定にて使用される機種を “機種名：管理番号” 形式で表示します。
複数機種を使用する場合はコンマ区切りで表示します。
- ⑤ チャンネル数
ロギングテーブルに登録したロギング設定で指定されている項目数(チャンネル間演算数を除く)を表示します。
- ⑥ 備考
バッチ情報として必要な文字列を設定することができます。
備考欄はテーブル上で編集できます。
- ⑦ [設定]ボタン
[設定]ボタンを押下するとロギングテーブルに登録したロギング設定の一部を変更することができます。
ロギング設定の詳細内容は下記をご参照ください。

➤ [ロギングの条件を設定する](#)

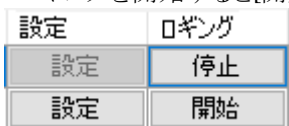
➤ [自動出力\(日報・週報・月報\)の詳細設定をする](#)



※ 1分を超えるロギング間隔は設定できません。

⑧ [開始]ボタン

[開始]ボタンを押下するとロギングテーブルに登録したロギング設定にて通常のロギングを開始します。
 ・ロギングを開始すると[開始]ボタンが[停止]ボタンに切り替わり、[設定]ボタンが無効になります。



・[停止]ボタンにてロギングを停止した場合、測定器の測定を停止するかどうかは、アプリケーション共通設定のロギング/ダッシュボードタブにある“ロギング停止時に測定器を停止する”設定に従います。
 “ロギング停止時に測定器を停止する”設定については下記をご参照ください。

➤ [ロギング/ダッシュボードの設定をする](#)

・ロギングを開始すると、ロギングタスクにロギング情報が表示されます。
 ロギング設定の詳細内容は下記をご参照ください。

➤ [ロギングタスクを表示する](#)

⑨ ツールバー

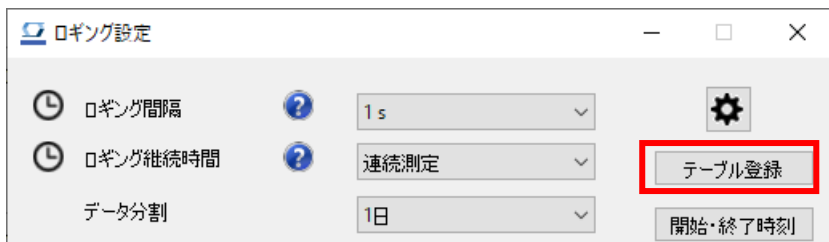
ツールバーから以下の操作ができます。ツールバーで可能な操作はポップアップメニューでも選択することができます。

メニュー	説明
コピー	選択行の設定内容をコピーします。
貼り付け	コピーされた行の設定内容を選択行にコピーします。
行クリア	選択行の設定内容をクリアします。
全クリア	ロギングテーブル内容をすべてクリアします。

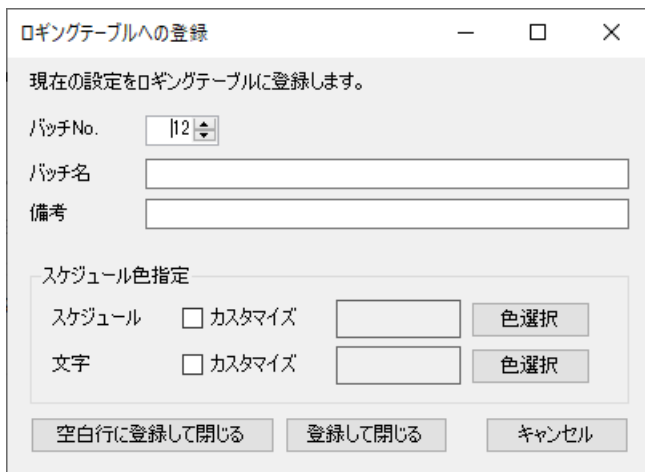
テーブル登録方法について

ロギングテーブルへの登録はロギング設定画面から行います。

ロギング設定画面の[テーブル登録]ボタンを押下すると、ロギングテーブル登録画面が表示されます。



ログインテーブル登録画面にて項目を設定して[空白行に登録して閉じる]または[登録して閉じる]ボタンを押下すると、ログイン設定内容がログインテーブルに登録されます。



項目名	内容	
バッチ No.	登録するバッチ No.を指定します。 初期表示時はテーブル未登録 No.のうち、一番数値が小さい番号になります。	
バッチ名	登録するログイン情報に名称を付けます。	
備考	登録するログイン情報の補足情報などを入力できます。	
スケジュールカラー設定	ログインスケジュール画面に表示されるログインスケジュール情報の表示色を個別に指定することができます。 個別指定しない場合は全体色にて表示されます。 ・カスタマイズチェックが ON の場合に、左枠に表示されている色で表示されます。 ・表示色は[色選択]ボタンを押下すると開く色選択画面にて変更できます。	
	スケジュール	開始前／実行中ログインスケジュール情報の表示色を設定します。
	文字	ログインスケジュール情報の文字色を設定します。

ログインスケジュール

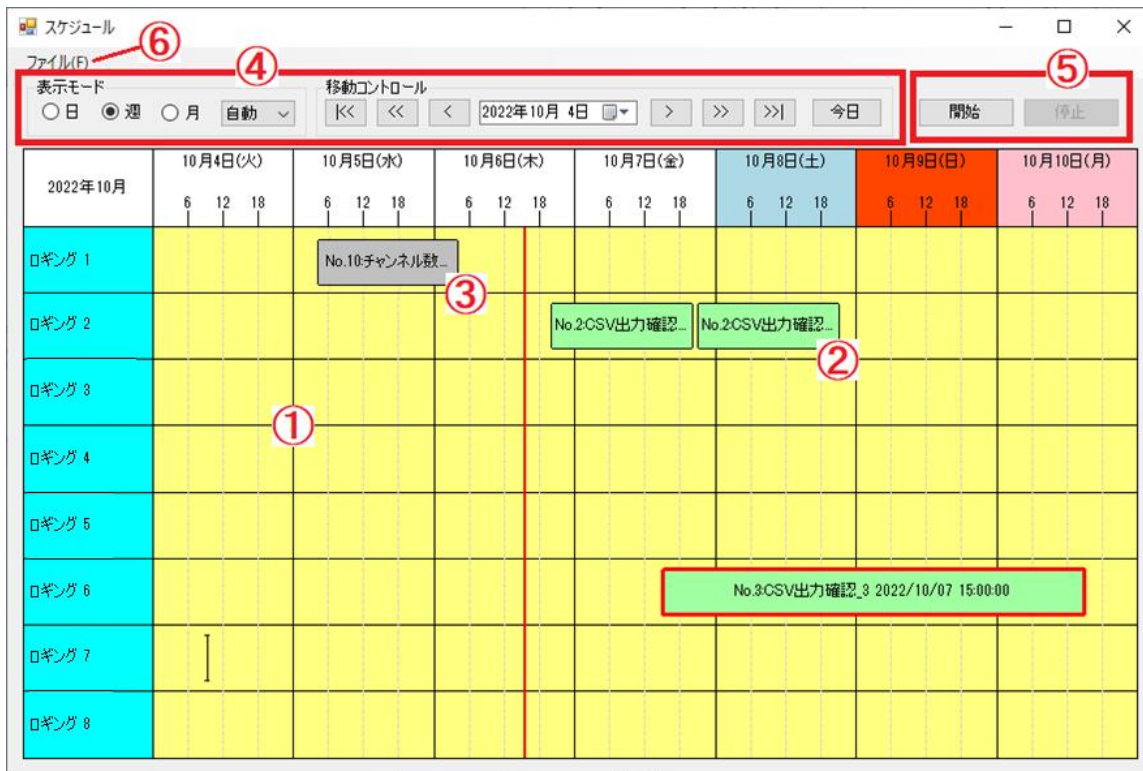
[設定]－[ログインスケジュール]メニューを選択するとログインスケジュール画面が表示されます。

ログインスケジュール画面ではログインテーブルで管理しているログイン情報をスケジュール上に登録することにより、ログインを最大8つまで自動起動させることができます。

※ ログインスケジュール実行時は、ログイン・ダッシュボード・遠隔操作モードは実行できません。
同様にログイン・ダッシュボード・遠隔操作モードを実行中はログインスケジュールを開始できません。

※ スケジュール登録後に登録テーブル内容を変更・上書きできます。
 スケジュールに登録しているロギングテーブル内容を変更する場合はご注意ください。

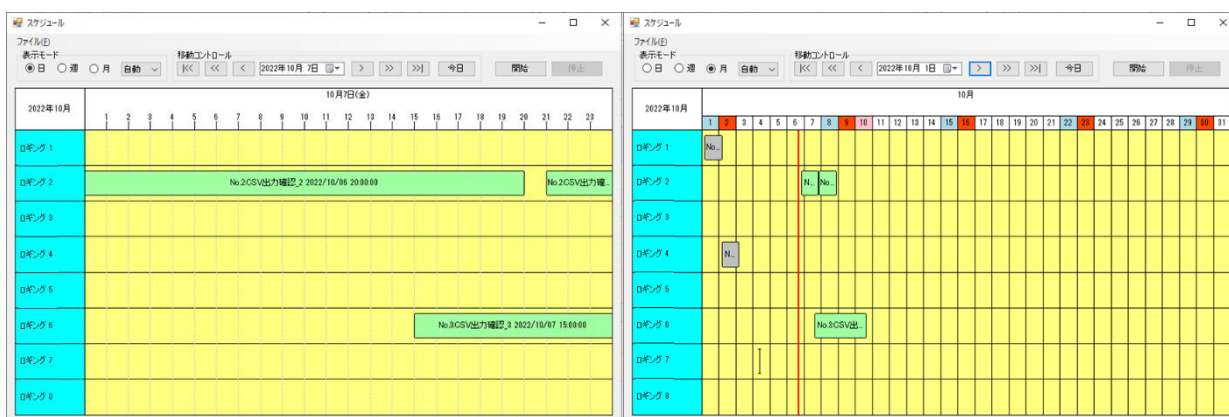
画面構成について



① スケジュール登録エリア

現在登録されているスケジュール状況を表示します。

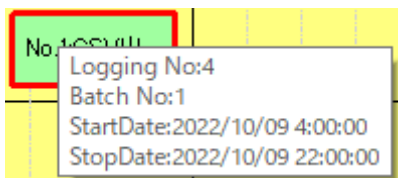
- ロギング 1～8 は各ロギングスケジュールを示し、各ロギングスケジュールが並列に処理されます。
- 表示モードを変更することにより、エリア表示範囲を1日、1週間、1か月に切り替えることができます。
- 日表示・週表示の場合は列ヘッダに日付と時間が表示されます。
- エリア上の赤縦線は現在時刻を示しています。



② 開始前／実行中ロギングスケジュール情報

これから実行されるスケジュール情報または現在実行中のロギングスケジュール情報を表します。

- 表示文字列が途中までしか表示されていない場合はマウスカーソルを当てるとツールチップで情報が表示されます。



③ 停止後ロギングスケジュール情報

停止後のロギングスケジュール情報を表します。

実行されずに現在時刻がロギング開始時刻を過ぎてしまったロギングスケジュール情報もこの表示になります。

・表示文字列が途中までしか表示されていない場合はマウスカーソルを当てるとツールチップで情報が表示されます。

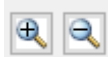
④ 操作コントロール

ロギングスケジュール表示の切り替えや、表示範囲を操作します。

グループ	内容	
表示モード	表示切り替え ○日 ●週 ○月	スケジュール表示を1日/1週間/1か月表示にします。 1か月表示の表示期間は、右側の1か月表示期間指定コンボボックス設定に従います。 日表示モードの時は表示期間の拡大/縮小ができます。(*1)
	1か月表示期間指定 自動	1か月表示の表示期間を設定できます。 自動：表示先頭日の月日数分表示します。 表示範囲が変更されると表示期間が先頭日に連動します。 28日/29日/30日/31日： 表示範囲が指定日数に固定されます
移動コントロール	基準日設定 2022年10月 4日	基準日を設定します。 日表示：基準日が表示日となります。 週/月表示：基準日が表示先頭日となります。
	< ボタン	基準日を1日前に変更します。
	<< ボタン	基準日を1週間前に変更します。
	<<< ボタン	基準日を1か月前に変更します。 変更量は1か月表示期間指定に従います
	> ボタン	基準日を1日後に変更します。
	>> ボタン	基準日を1週間後に変更します。
	>>> ボタン	基準日を1か月後に変更します。 変更量は1か月表示期間指定に従います
今日 ボタン	基準日を今日の日付にします。 今日の日付はPC時計に従います。	

(*1) 日表示モード時の拡大/縮小表示

日表示モードのときは表示を拡大/縮小できます。日表示モードにすると画面右上に拡大/縮小アイコンが表示されるので、アイコンを押下すると表示時間幅が変わります。



(左:拡大、右:縮小)

⑤ [開始]/[停止]ボタン

[開始]ボタンを押下するとロギングスケジュールが開始されます。

[停止]ボタンを押下するとロギングスケジュールが停止され、その時点で実行中のロギングをすべて停止します。

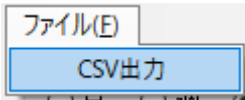
・ロギングを停止した場合、測定器の測定を停止するかどうかは、アプリケーション共通設定のロギング/ダッシュボードタブにある“ロギング停止時に測定器を停止する”設定に従います。

“ロギング停止時に測定器を停止する”設定については下記をご参照ください。

➤ [ロギング/ダッシュボードの設定をする](#)

⑥ [ファイル]メニュー

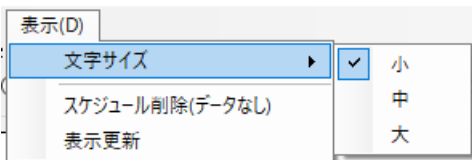
[ファイル]メニューから以下の操作ができます。



メニュー	説明
CSV 出力	<p>スケジュール内容を CSV 形式で出力することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出力ファイルを読み込み、スケジュールを再現することはできません。 ロギングスケジュール No., バッチ No., 開始時刻, 終了時刻の並びで出力されます。 <p>出力例: ScheduleNo.,BatchNo.,StartTime,StopTime 3,3,2022-09-29 19:11:00,2022-09-30 20:00:00 5,5,2022-09-29 19:43:00,2022-09-29 20:00:00 6,1,2022-09-29 20:05:00,2022-09-29 20:06:00 5,2,2022-09-29 20:03:00,2022-09-29 21:00:00</p>

⑦ [表示]メニュー

[表示]メニューから以下の操作ができます。



メニュー	説明
文字サイズ	表示文字サイズを3サイズから選択できます。
スケジュール削除(データなし)	<p>スケジュール内のロギングデータが存在しないスケジュール、または未実行のスケジュールを削除します。</p> <p>スケジュールの削除については以下の説明を参照してください。</p> <p>➤ スケジュール削除について</p>
表示更新	<p>スケジュール表示を最新の情報に更新します。</p> <p>データリストにてロギングデータを削除したあとなどに表示更新をお勧めします。</p>

スケジュールに休日を指定する

土曜日・日曜日以外の休日をスケジュール表示に指定できます。



※ 左から平日、土曜日、日曜日、休日指定日

指定方法

実行ファイル(GENNECTX.exe)があるフォルダに”holidays.csv”ファイルを作成し、休日表示にしたい日付を入力して保存します。

フォーマットは 一行に“YYYY-MM-DD,(必要に応じてコメント)”と記載し、必要に応じた日数分を追加します。

表記例)

2022-11-23,	2022-11-23, 勤労感謝の日
2022-11-24,	2022-11-24, 休日
2022-11-25,	2022-11-25, 休日
2022-11-26,	2022-11-26, 休日 (土曜日)
2022-11-27,	2022-11-27, 休日 (日曜日)

または と表記できます

スケジュール登録について

スケジュール登録エリアのうち、ロギングスケジュール情報がない箇所を左クリックするとスケジュール登録画面が表示されます。

ポップアップメニューの[新規追加]メニューを選択した場合もスケジュール登録画面を表示できます。

- ・必要な項目を設定して[OK]ボタンを押下すると、ロギングスケジュール情報としてスケジュール画面に表示されます
- ・開始時刻を現在時刻より前に設定した場合はスケジュール登録できません。
- ・同一測定器を複数スケジュールで同時に使用することはできません。途中で停止したロギングスケジュール期間でも同時使用と判定されますので、使用する場合は途中停止したロギングスケジュールを削除してから登録してください。
- ・その他のロギング条件は通常のロギング動作と同じとなります。

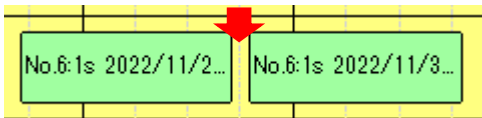
条件については以下を参照してください。

➤ [ロギングの制限](#)

項目名	内容	
ロギング No.	クリックした位置からロギングスケジュール No.を自動設定します。	
期間	バッチ No.	使用するバッチ No.を指定します。 ・現在ロギングテーブルに登録されているロギング情報が“バッチ No.：バッチ名”としてコンボボックス項目として表示されます。
	開始時刻 (※1)	ロギングを開始する時刻を設定します。 ・通常、開始時刻の 2 分前にロギング準備状態に入り、開始時刻より測定開始となります。 ・開始時刻の 2 分前より後にスケジュールを開始した場合は、即時ロギング準備に入り、ロギング開始時刻より後に測定開始可能になった場合はその時点より測定開始します。 ・開始時刻後にスケジュールを開始した場合は、ロギングを実施しません。
	終了時刻	ロギングを自動停止する時刻を設定します。 ・ロギングを停止した場合に測定器の測定を停止するかどうかは、

	アプリケーション共通設定のロギング/ダッシュボードタブにある“ロギング停止時に測定器を停止する”設定に従います。
--	--

※1：同一ロギングスケジュール内の登録は前回終了時刻より次の開始時刻を3分以上後にする必要があります。



スケジュール変更/コピーについて

スケジュール登録エリアのうち、ロギングスケジュール情報を左クリックするとスケジュール変更画面が表示されます。

ポップアップメニューの[編集]メニューを選択した場合もスケジュール変更画面を表示できます。

スケジュール変更画面ではロギングスケジュールのコピーを行うことができます。

- 必要な項目を設定して[OK]ボタンを押下すると、指定ロギングスケジュール情報の変更/コピーができます。
- 開始時刻を現在時刻より前に設定した場合はスケジュール登録できません。
- 実行済みのスケジュールは編集・コピーできません。

スケジュール設定 ×

ロギングNo. 変更

期間

バッチNo.

開始時刻

停止時刻

コピー

毎日

毎日(土・日を除く)

毎週

期間 -

スケジュール変更を行う場合は画面左ラジオボタンの上側を選択します。

項目名	内容	
ロギング No.	クリックした位置からロギングスケジュール No.を自動設定します。	
期間	バッチ No.	使用するバッチ No.を指定します。 ・現在ロギングテーブルに登録されているロギング情報が“バッチ No.：バッチ名”としてコンボボックス項目として表示されます。
	開始時刻	ロギングを開始する時刻を設定します。 ・スケジュール登録と同じ条件となります
	終了時刻	ロギングを自動停止する時刻を設定します。 ・ロギングを停止した場合に測定器の測定を停止するかどうかは、アプリケーション共通設定のロギング/ダッシュボードタブにある“ロギング停止時に測定器を停止する”設定に従います。

スケジュールコピーを行う場合は画面左ラジオボタンの下側を選択します。

項目名	内容	
コピー (※1)	毎日 毎日(土、日を除く) 毎週	コピー方法を選択します。 ・毎日：指定期間のすべての日にコピーします。 ・毎日(土日を除く)：指定期間のうち土曜日、日曜日を除いた日にコピーします。 ・毎週：指定期間のうち曜日コンボボックスで指定した曜日にコピーします。 複数日のスケジュールは毎週のみ選択できます。
	曜日コンボボックス 日曜日	毎週を指定した場合にコピーする曜日を指定します。 複数日のスケジュールをコピーする場合は開始時間が指定曜日になります。
	期間	コピー期間を設定します。 コピー期間が現在時刻より前の場合はコピーできません。

- ※1：コピー動作には以下の条件があります。
- ・コピー期間はコピー元の時刻以降のみ指定できます。
 - ・コピー期間は現在の時刻以降のみ指定できます。
 - ・実行済みのスケジュールはコピーできません。

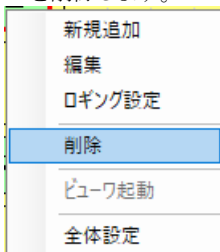
スケジュール削除について

ロギングスケジュール情報の削除は ”個別に削除”、”ロギングスケジュール一括削除”、”全削除”の 3 種類があります。

- ※ V5.70 よりロギングデータが存在するスケジュールを意図せず削除しないように、ロギングデータが存在するスケジュールをメニューから削除できないように(又は確認メッセージを出すように)変更しました。
対象のロギングデータをデータリストで削除した後にスケジュールを削除することをお勧めします。

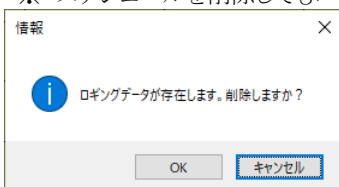
① スケジュール個別削除

- ・ロギングスケジュール情報を選択して表示されるポップアップメニューから[削除]メニューを選択すると、選択ロギングスケジュール情報を削除します。



ロギングデータが存在するスケジュールを削除する場合は確認メッセージが出ます。

- ※ スケジュールを削除してもロギングデータは削除されません。



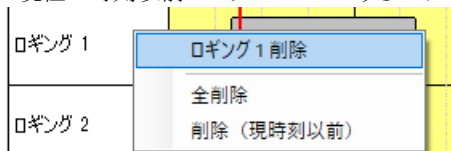
- ② ロギングスケジュール一括削除・スケジュール登録エリアの行ヘッダにて右クリックして表示されるポップアップメニューから[ロギング X 削除](X:1~8)メニューを選択すると、メニューに表示されたスケジュール欄のロギングスケジュール情報のうち未実行のスケジュールを削除します。

③ 全削除

- ・スケジュール登録エリアの行ヘッダにて右クリックして表示されるポップアップメニューから[全削除]メニューを選択すると、スケジュールに登録されたロギングスケジュール情報のうち未実行のスケジュールを削除します。

④ 削除(現時刻以前)

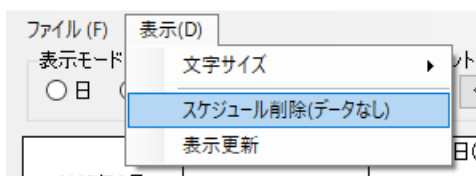
- 現在の時刻以前のスケジュールのうちロギングデータが存在しないスケジュールを一括削除します。



⑤ スケジュール削除(データなし)

- 【表示】-【スケジュール削除(データなし)】を選択するとスケジュール内のロギングデータが存在しないスケジュール、または未実行のスケジュールを削除します。

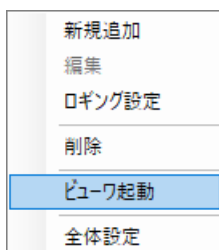
ロギングスケジュール



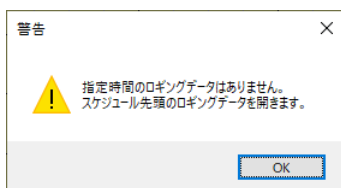
ビューワ起動について

実行済みのロギングスケジュール結果をロギングビューワで閲覧できます。

閲覧したいロギングスケジュール情報を選択して表示されるポップアップメニューから【ビューワ起動】メニューを選択するとロギングビューワが起動します。



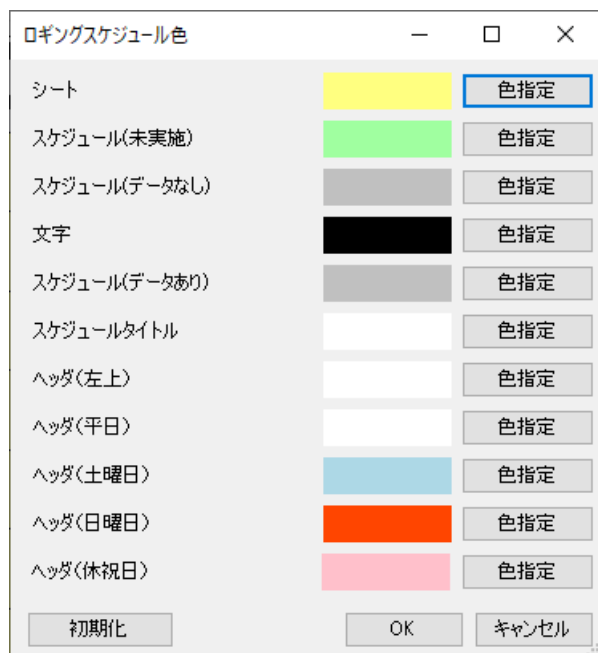
右クリックした位置より算出された時刻を含むロギングデータがある場合はそのデータを開き、ない場合はメッセージが表示された後に最初に保存されたロギングデータが表示されます。



スケジュール表示色設定について

ロギングスケジュール表示の表示色を変更することができます。

- ポップアップメニューから【全体設定】メニューを選択するとスケジュール表示色画面が表示されます。
- 変更後に【OK】ボタンを押下すると表示色変更が反映されます。
- 表示色は【色選択】ボタンを押下すると開く色選択画面にて変更できます。



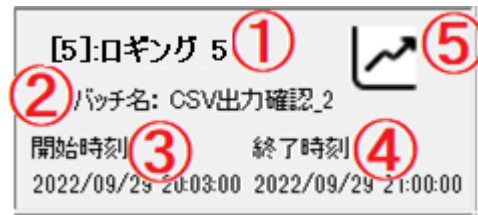
項目名	内容
シート	スケジュール登録エリアの背景色を設定します。
スケジュール(未実施)	開始前／実行中ロギングスケジュール情報の表示色を設定します。 ・この色はバッチごとに指定でき、設定されている場合はバッチ設定を優先します。
スケジュール(データなし)	現時刻以前のロギングスケジュール情報ののうちロギングデータが存在しないスケジュールの表示色を設定します。
文字	ロギングスケジュール情報の文字色を設定します。 ・この色はバッチごとに指定でき、設定されている場合はバッチ設定を優先します。
スケジュール(データあり)	現時刻以前のロギングスケジュール情報ののうちロギングデータが存在するスケジュールの表示色を設定します。
スケジュールタイトル	画面左の "ロギングx" 表示エリアの表示色を設定します。
ヘッダ(左上)	ヘッダ左上(年月表示部)表示エリアの表示色を設定します。
ヘッダ(平日)	ヘッダ表示エリアのうち平日の表示色を設定します。
ヘッダ(土曜日)	ヘッダ表示エリアのうち土曜日の表示色を設定します。
ヘッダ(日曜日)	ヘッダ表示エリアのうち日曜日の表示色を設定します。
ヘッダ(休祝日)	ヘッダ表示エリアのうち休祝日の表示色を設定します。

スケジュールタスクを表示する

ロギングスケジュールを開始、または[設定]－[スケジュールタスク]メニューを選択するとスケジュールタスク画面が表示されます。

- ・スケジュールタスク画面ではロギングスケジュールの状況が表示されます。
- ・ロギング実行中のロギング情報表示部分をダブルクリックすると実行中のロギング画面がアクティブになります。
- ・ロギング停止後のロギング情報表示部分をダブルクリックすると対応したロギングデータをロギングビューワで開きます。
ロギングデータが分割保存されている場合は最初のロギングデータが開きます。

画面構成について



① ログスケジュール No.
 ログスケジュール No.を”[1]:ロギング 1”のように表示します。

② バッチ名
 ログスケジュールに指定されているバッチのバッチ名を表示します。
 スケジュール未指定時は空白表示になります。

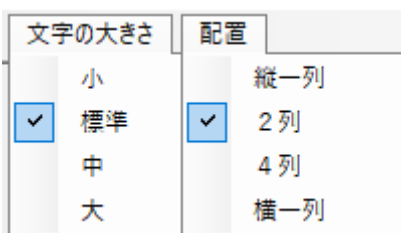
③ 開始時刻
 ログを実際に開始した時刻を表示します。
 スケジュール未指定時は空白表示になります。

④ 終了時刻
 ログ中はログ終了予定時刻を表示します。
 ログ終了後は実際に終了した時刻を表示します。

⑤ ログ状態アイコン
 ログ実行中は 、ログ停止後は 、ログ未指定時は  アイコンを表示します。

メニュー構成について

スケジュールタスク画面では以下のメニューを使用できます



メニュー	説明
文字の大きさ	表示文字の大きさを 4 種類(小・標準・中・大)から選択できます。 文字の大きさに合わせて画面サイズも変更されます。
配置	表示部の配置を 4 種類(縦一列・2 列・4 列・横一列)から選択できます。

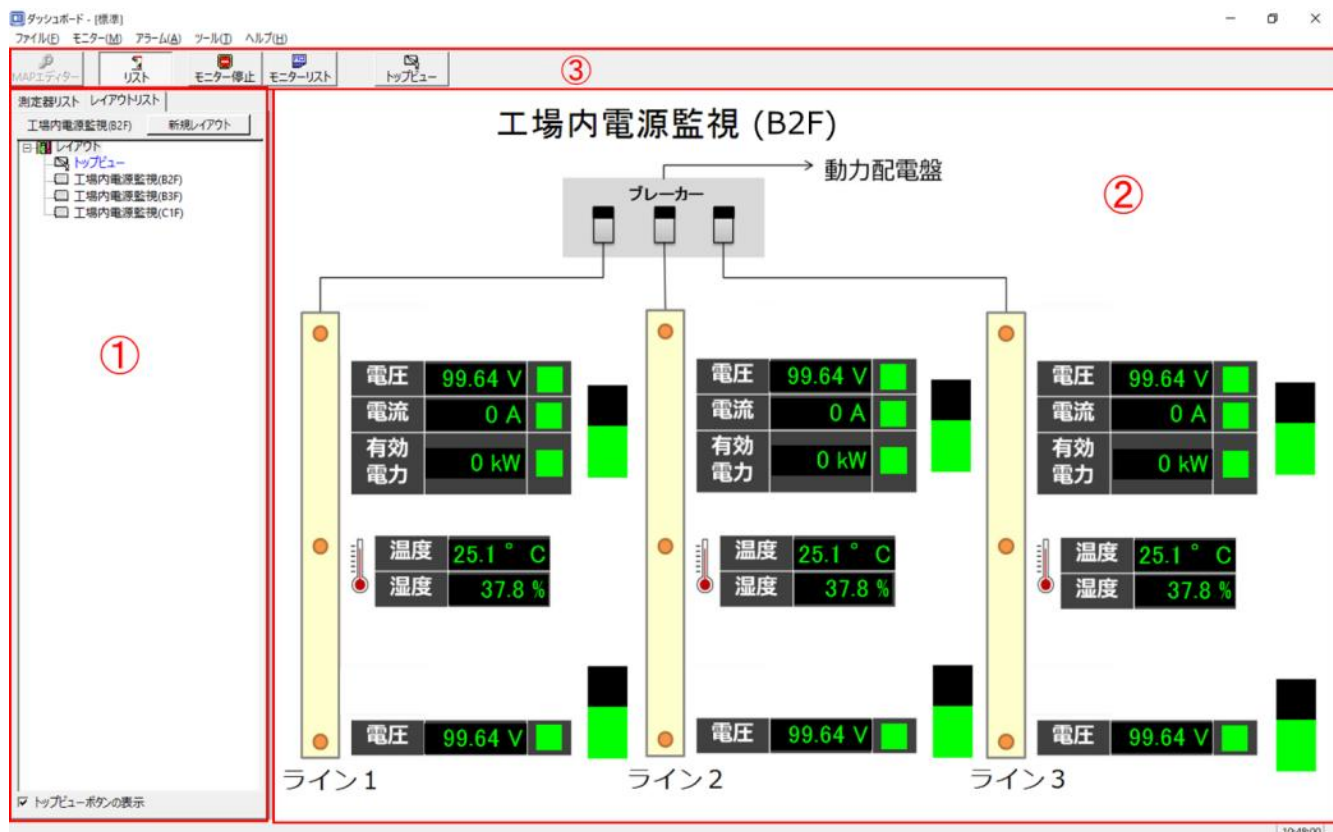
測定値をモニターする（ダッシュボード機能（LAN））

概要

・ダッシュボード機能は、任意の背景画像の上に測定値を配置し、測定状況を視覚的にわかりやすくモニターする機能です。

・測定項目にしきい値を設定して、測定値がしきい値範囲を超えたときにアラーム情報を PC に保存することができます。

※ LAN 通信による測定値のモニターに対応しています。



① 測定器リスト / レイアウトリスト

- ・ 測定器リスト: MAP エディターで登録した測定器をツリー形式で表示します。
- ・ レイアウトリスト: 名前を付けて保存したレイアウトをツリー形式で表示します。

② レイアウト領域

背景画像とレイアウトパーツを使って監視システムの外観を作成します。

③ ツールバー

- ・ MAP エディター: 測定器の検索、チャンネル(測定項目)の選択、測定器の詳細設定を行います。
- ・ リスト: 測定器リスト / レイアウトリストの表示・非表示を切り替えます。
- ・ モニター開始・停止: 測定値のモニターを開始・停止します。
- ・ モニターリスト: モニターの対象となっているチャンネル(測定項目)の測定値をリスト形式で表示します。
- ・ トップビュー: レイアウトを[トップビュー]に切り替えます。

対応測定器

リアルタイム測定は次の測定器に対応しています。

形名	品名	対応バージョン	備考
PQ3100	電源品質アナライザ	V2.10 以降	*1
PQ3198	電源品質アナライザ	V1.10 以降	*1,*3
PW3335	パワーメータ	V1.11 以降	*2,*4,*6
PW3336	パワーメータ	V1.23 以降	*2,*4,*6
PW3337	パワーメータ	V1.23 以降	*2,*4,*6
PW3360	クランプオンパワーロガー	V3.10 以降	*1
PW3365	クランプオンパワーロガー	V2.00 以降	*1
PW3390	パワーアナライザ	V2.00 以降	*2
PW6001	パワーアナライザ	V3.02 以降	*2
PW8001	パワーアナライザ	V1.00 以降	*2,*4,*5,*7
LR8400 LR8401 LR8402	メモリハイロガー	V1.21 以降	*1
LR8410	ワイヤレスロギングステーション	V1.42 以降	*1
LR8416	ワイヤレス熱流ロガー	V1.42 以降	*1
LR8450, LR8450-01	メモリハイロガー	V1.20 以降	*1,*8
LR8101, LR8102	データロガー	V1.00 以降	*1
MR6000	メモリハイコーダ	V2.12 以降	*1
BT4560-50	バッテリーインピーダンスメータ	V1.00 以降	LAN インタフェース付きモデルのみ
BT5525	絶縁抵抗試験器	V1.00 以降	*1
BT6065 BT6075	バッテリーテスタ	V1.00 以降	*1
ST5680	DC 耐電圧絶縁抵抗試験器	V1.00 以降	*1
IM3523A	LCR メータ	V1.02 以降	*1、LAN インタフェース付きモデルのみ
RM3545A	抵抗計	V1.00 以降	*1,*9、LAN 通信ポートは初期値の 23 番のみ対応
DM7275, DM7276	直流電圧計	V1.09 以降	*1、LAN 通信ポートは初期値の 23 番のみ対応

- *1 本機能による測定開始時に測定器本体の測定が停止状態の場合は開始状態に移行します。
- *2 本機能による測定開始時に測定器本体の積算が停止状態の場合は開始状態に移行します。
- *3 本機能による測定開始時に測定器本体に保持されている解析データはリセットされます。本機能を開始する場合は測定器本体で測定データの解析が完了した状態(データリセット状態)にしておくことをお勧めします。
- *4 本機能による測定開始時にその時点までに測定器本体が保持している積算データはリセットされます。本機能を開始する場合は積算データの記録と解析が完了した状態(データリセット状態)にしておくことをお勧めします。
- *5 本機能による測定開始時に測定器本体の結線別積算の設定が有効になっている場合は全結線積算の設定に変更されます。
- *6 本アプリケーションのバージョンが V5.10 未満の場合、高調波項目の取得に対応していません。本アプリケーションを V5.10 以降にバージョンアップしてご利用ください。
- *7 本体のユーザー定義演算(UDF)の設定の際、単位として","や";"の記号は使用しないでください。
- *8 本体の波形演算やスケール機能の設定の際、単位として","や";"の記号は使用しないでください。
- *9 RM3545A の場合、測定時間が 1 分を超える場合には対応していませんので、1 分未満になるように測定 SPEED、AVERAGE、DELAY、OVC、チャンネル数を少なくしてください。

制限

リアルタイム測定(ロギング/モニター)に関する制限

項目	制限値	備考
最大チャンネル数	512CH+16CH(演算チャンネル)	
測定器の最大接続台数	30 台	
通信インタフェース	LAN	
モニター間隔	1/2/5/10/30 秒 1/2/5/10/30 分	最小のロギング間隔はアプリケーションが測定値の取得にかかる時間を計測して決定します。

	1 時間	
ロギング間隔	1/2/5/10/30 秒 1/2/5/10/30 分 1 時間	※モニター値の記録(ロギング)がオンの場合のみ ※ロギング間隔はモニター間隔と連動します。
チャンネル間演算最大チャンネル数	16CH (Z1~Z16)	
データ分割	1 日/1 時間	※モニター値の記録(ロギング)がオンの場合のみ
自動出力(日報)の保存間隔	1 日	※モニター値の記録(ロギング)がオンの場合のみ ロギング実行時: → 毎日 23 時 59 分 59 秒に自動生成 ロギング停止時: → ロギング停止時に自動生成
自動出力(CSV)の保存間隔	1 日/1 時間 ※データ分割の設定に従う	※モニター値の記録(ロギング)がオンの場合のみ ロギング実行時: → 1 日:毎日 23 時 59 分 59 秒に自動生成 → 1時間:毎時 XX 時 59 分 59 秒に自動生成 ロギング停止時: → ロギング停止時に自動生成
自動出力(日報)の形式	Excel	※モニター値の記録(ロギング)がオンの場合のみ

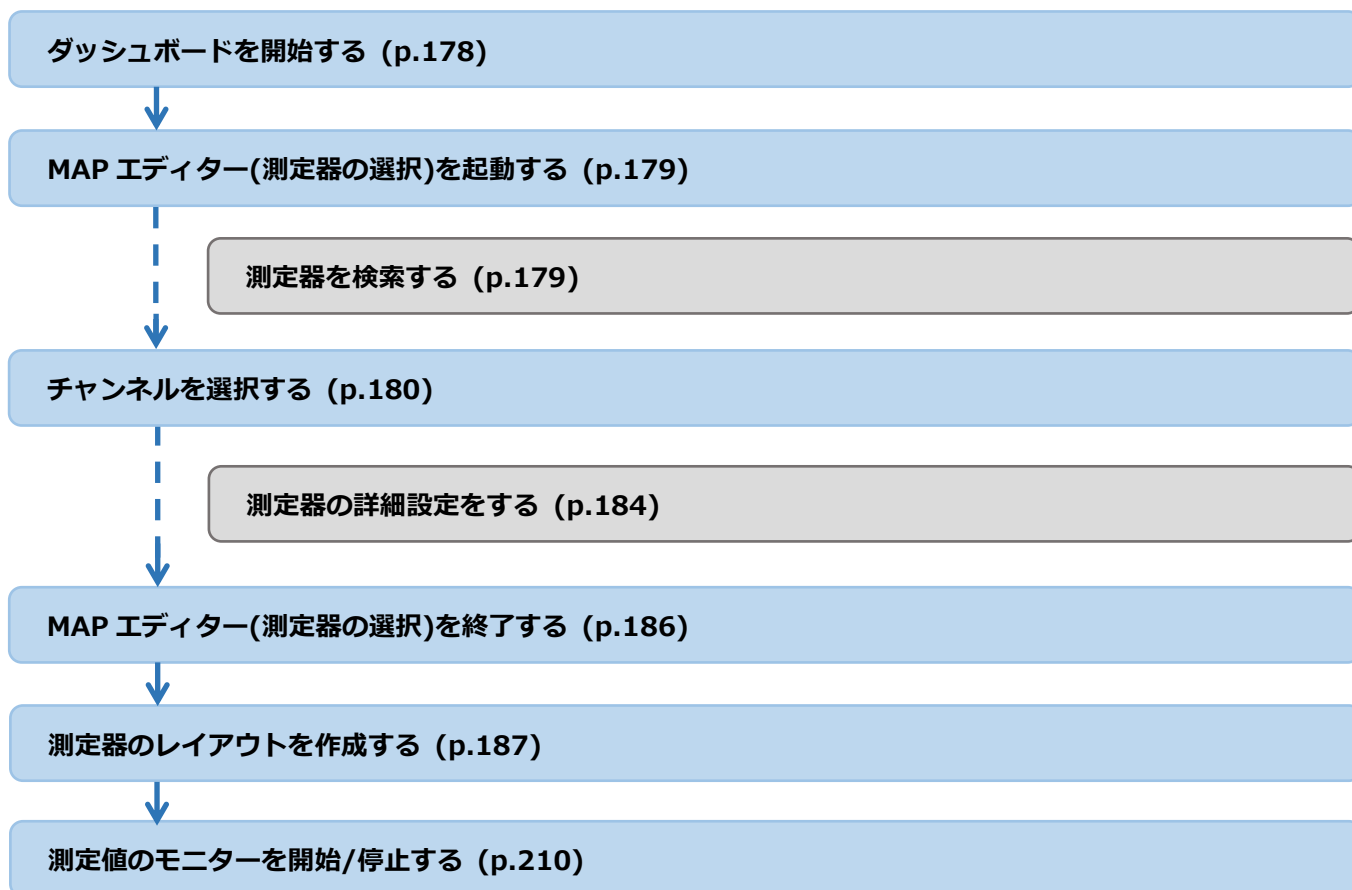
通信に関する制限

項目	制限値	備考
インタフェース	LAN	
自動検索のネットワーク範囲	□.□.□.2 - □.□.□.254 ※コンピューターと同一のネットワーク範囲に限る	
DHCP	非対応	

操作の流れ

次の手順で測定値のモニターを開始・停止します。

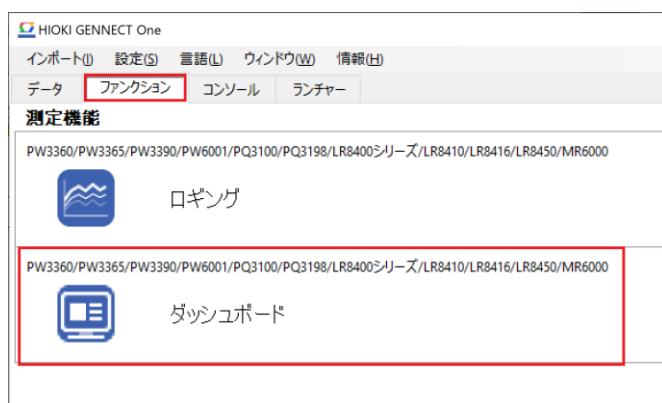
コンピューターと測定器を接続する (LAN)



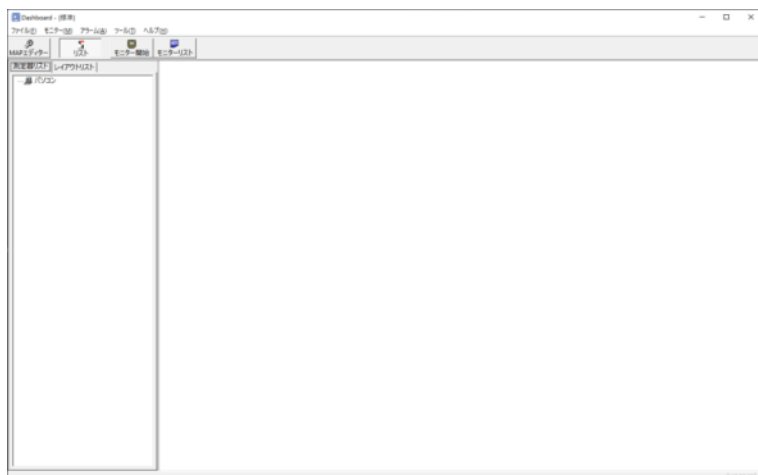
ダッシュボードを開始する

ダッシュボードを開始する

1. [ファンクション]のタブをクリックして、[ダッシュボード]をクリックします。



2. [ダッシュボード]画面が表示されます。



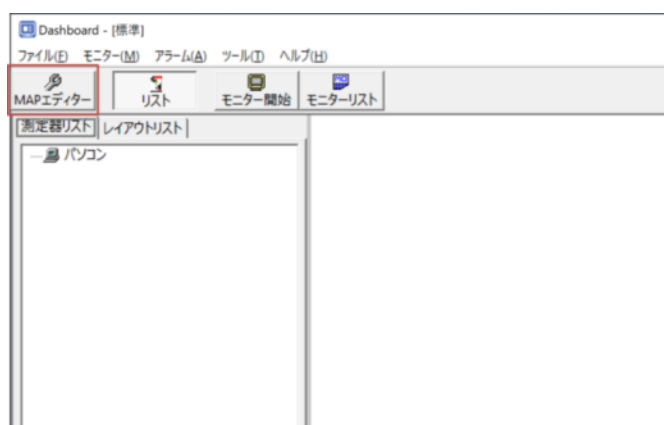
MAP エディター（測定器の選択）を起動する

測定値をモニターするためには、対象の測定器と測定項目を選択する必要があります。これは、[ダッシュボード機能]の[MAP エディター(測定器の選択)]を起動して行います。MAP エディター(測定器の選択)では、次のことを行うことができます。

- ・測定器を検索する (p.179)
- ・チャンネルを選択する (p.180)
- ・測定器の詳細設定をする (p.184)
- ・測定器を置き換える

MAP エディター（測定器の選択）を起動する

1. [MAP エディター]ボタンをクリックします。



2. [MAP エディター(測定器の選択)]画面が表示されます。

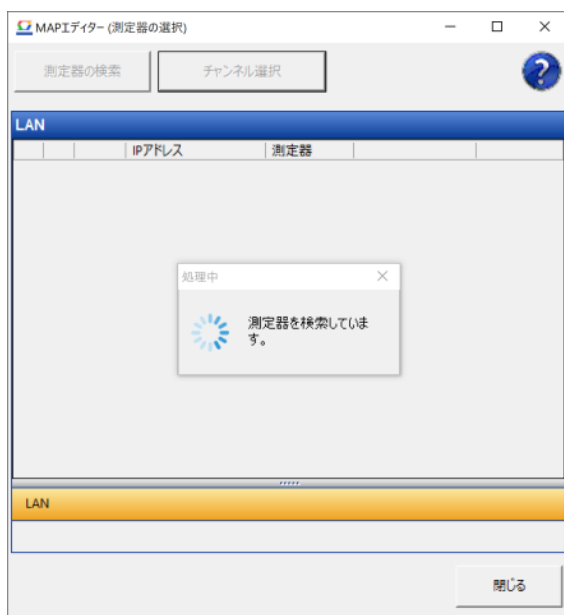
測定器を検索する

測定値をモニターする測定器を検索します。

本機能を利用するには、PCと測定器をLANケーブルで接続しておく必要があります。

[コンピューターと測定器を接続する \(LAN\)](#)

1. [MAP エディター(測定器の選択)]画面を起動します。
[測定器の選択]ボタンをクリックして測定器を検索します。



2. 検索で見つかった測定器が一覧で表示されます。



チャンネルを選択する (演算チャンネルの設定をする)

測定値をモニターする測定項目 (測定チャンネル) を選択します。

本機能を利用するには、PC と測定器を LAN ケーブルで接続しておく必要があります。

PC と測定器を LAN ケーブルで接続する方法については、[LAN ケーブルで測定器とコンピュータをつなげる (p.エラー! ブックマークが定義されていません。)]を参照してください。

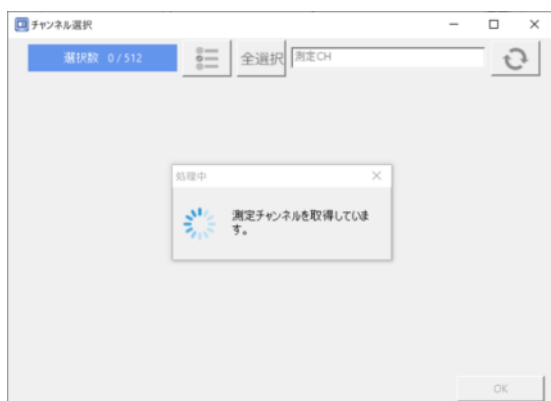
1. 測定器の一覧から測定項目（測定チャンネル）を選択したい測定器を選択します。



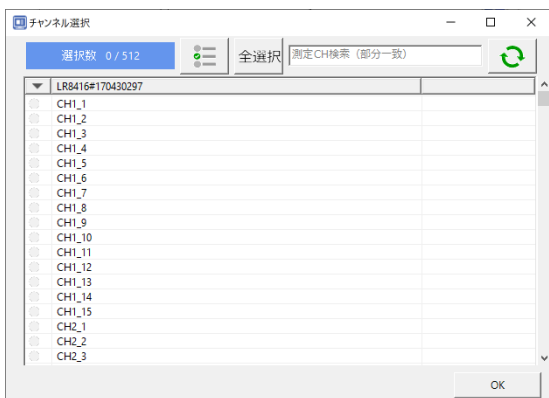
2. [チャンネル選択]ボタンをクリックします。




3. [チャンネル選択]画面が表示されます。
「測定チャンネルを取得しています。」のメッセージが表示されます。



4. [MAP エディター(測定器の選択)]画面で選択した測定器の有効な測定チャンネルが一覧表示されます。



※  ボタンをクリックして、測定チャンネルを再検索できます。

※ PQ3100,PQ3198,PW3335(*),PW3336(*),PW3337(*),PW3360,PW3365,PW8001 (高調波対応モデル)では、測定項目のコンボボックスを選択して、リストに表示する測定チャンネルを高調波チャンネルに切り替えることができます。

*本アプリケーションのバージョンが V5.10 未満の場合、PW3335,PW3336,PW3337 の高調波項目の取得に対応していません。本アプリケーションを V5.10 以降にバージョンアップしてご利用ください。



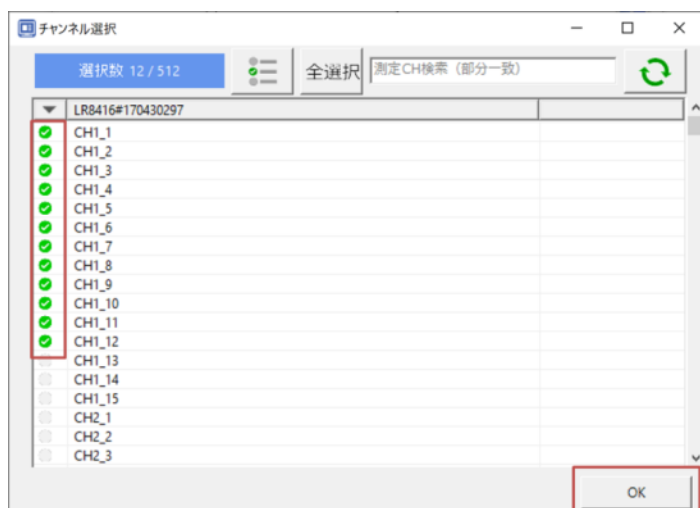
※ PW3336,PW8001,PQ3198 など一部の測定器に関する測定項目は識別名(PWP,MUpk など)で表示されます。識別名と測定項目名の対応関係は以下を参照してください。



➤ [ロギング・ダッシュボード機能の識別名と測定項目名](#)

※ 通常項目の測定チャンネル数が 1200 を超える場合、ページが複数に分かれます。その場合は、コンボボックスで表示するページを選択して、ページを切り替えてください。

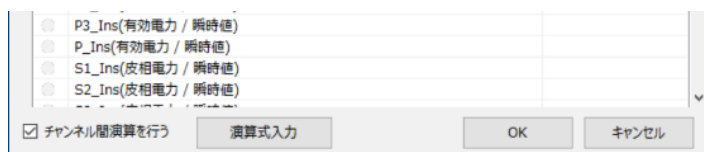


5. モニターを行う測定チャンネルをチェックボックスで選択します。
[OK]ボタンをクリックしてチャンネル選択を終了します。



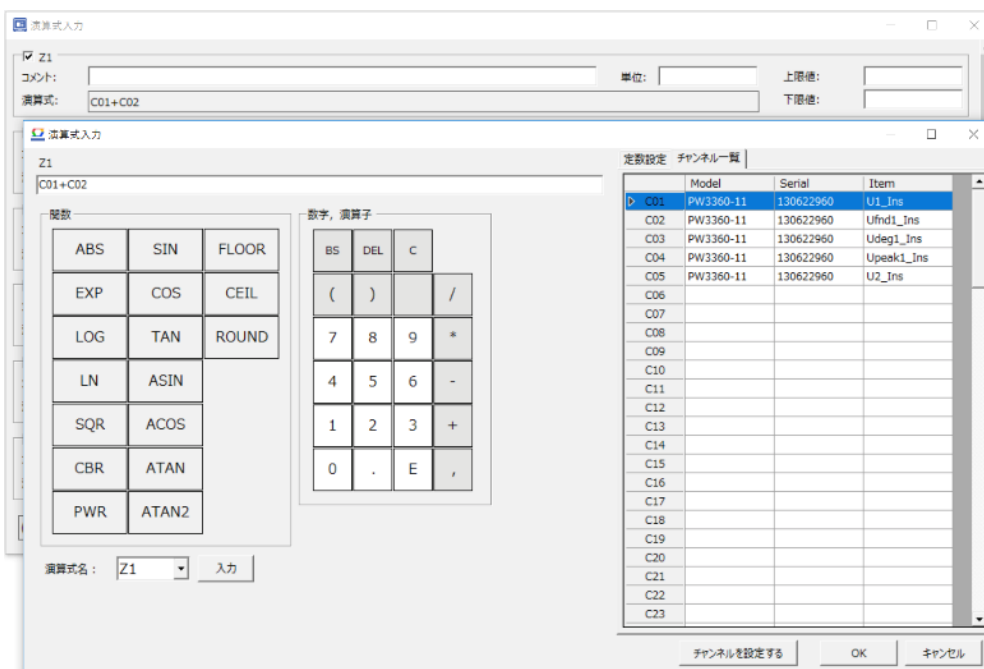
- ※ 最大で 512CH まで選択できます。
- ※ [測定 CH 検索]の検索ボックスで、リストに表示する測定チャンネルを絞り込むことができます。
- ※  ボタンをクリックして、リストに表示する測定チャンネルを選択済みのチャンネルに限定することができます。
- ※  ボタンをクリックして、「すべて選択/すべて選択解除」を切り替えることができます。

6. 選択した測定チャンネルを使用してチャンネル間演算をする場合は、[チャンネル間演算をする]にチェックを入れて[演算式入力]ボタンをクリックします。



7. 選択した測定チャンネルを使用してチャンネル間演算をする場合は、[演算式設定]画面で演算式の設定をします。
[演算式設定]画面の詳細は次を参照してください。

▶ [チャンネル間演算の詳細設定をする](#)



測定器の詳細設定をする

測定器の詳細設定を行う画面では次の設定を行うことができます。

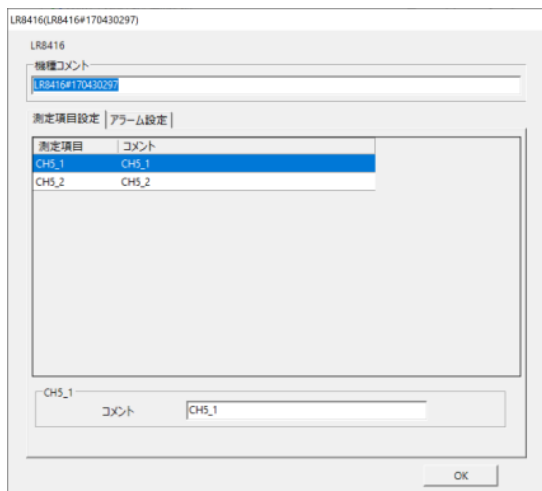
- 測定器のコメントを編集する
- 測定チャンネルのコメントを編集する
- 測定チャンネルにしきい値を設定する

本機能を使用する前に、測定器の検索と測定チャンネルの選択を完了しておく必要があります。

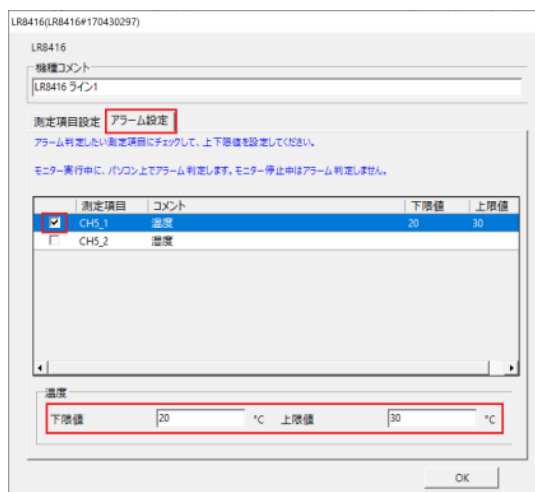
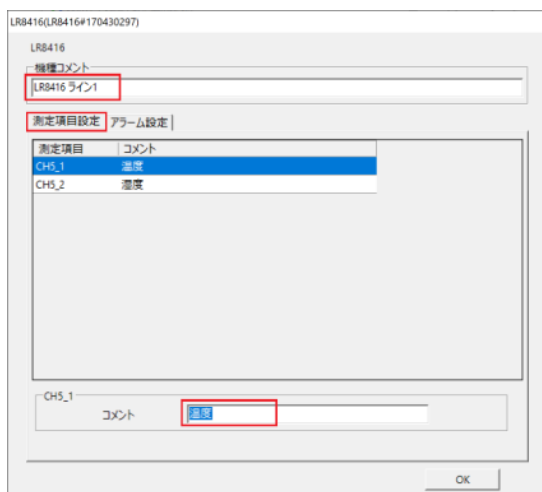
1. [詳細]ボタンをクリックします。



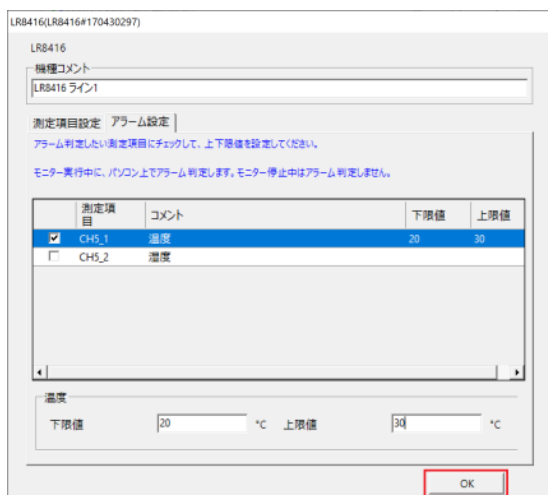
2. 測定器の詳細設定を行う画面が表示されます。



3. 測定器の機種コメントの編集、測定項目コメントの編集、測定項目へのしきい値設定を行います。



4. [OK]ボタンで測定器の詳細設定を終了します。



機種コメント	測定器を区別するための名称です。分かりやすいコメントを設定してください。
測定項目コメント	測定項目を区別するための名称です。分かりやすいコメントを設定してください。

MAP エディター（測定器の選択）を終了する

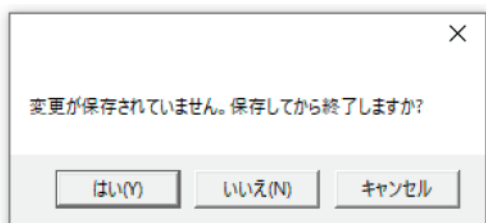
1. [MAP エディター(測定器の選択)]画面の[閉じる]ボタンをクリックします。



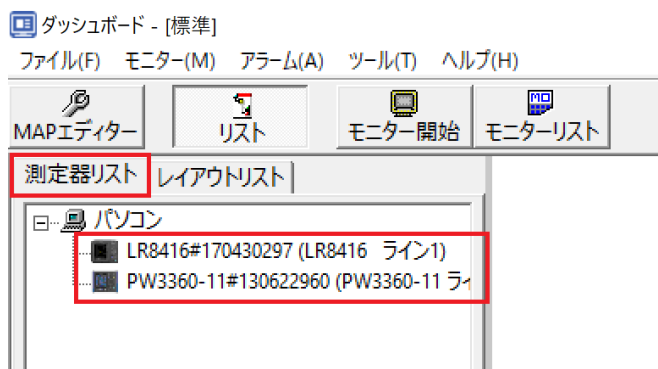
2. 「変更が保存されていません。保存してから終了しますか？」のメッセージが表示されます。

MAP エディターへの変更を保存して終了する場合は「はい」を選択します。

MAP エディターへの変更を破棄して終了する場合は「いいえ」を選択します。



3. [MAP エディター(測定器の選択)]画面が終了し、MAP エディターに登録されている測定器が[測定器リスト]のツリーに表示されます。

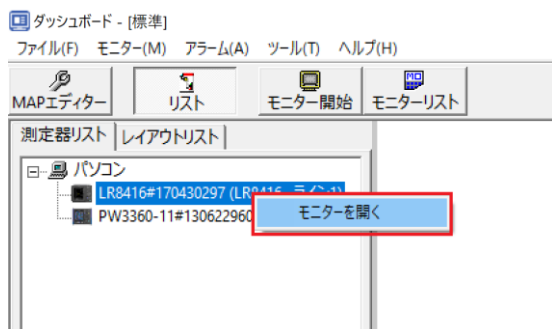


測定器のレイアウトを作成する（基本編）

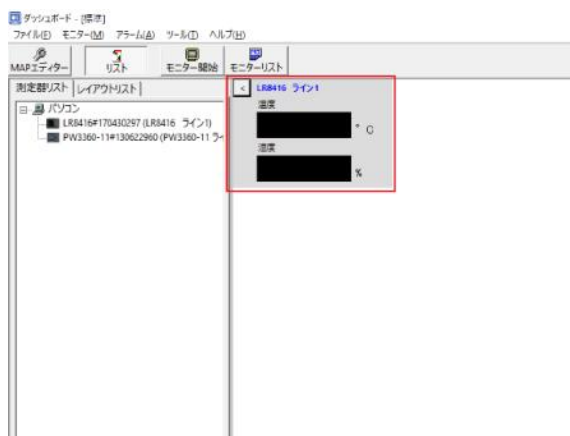
測定状況を視覚的にわかりやすく表示するためのレイアウトを作成します。

「基本編」では、「モニターウィンドウ」を使用して簡単に測定値をモニターするためのレイアウトの作成方法を説明します。測定値のレイアウトを作成するには、「MAP エディター(測定器の選択)を起動する(p.179～)」で、測定器と測定チャンネルを選択しておく必要があります。

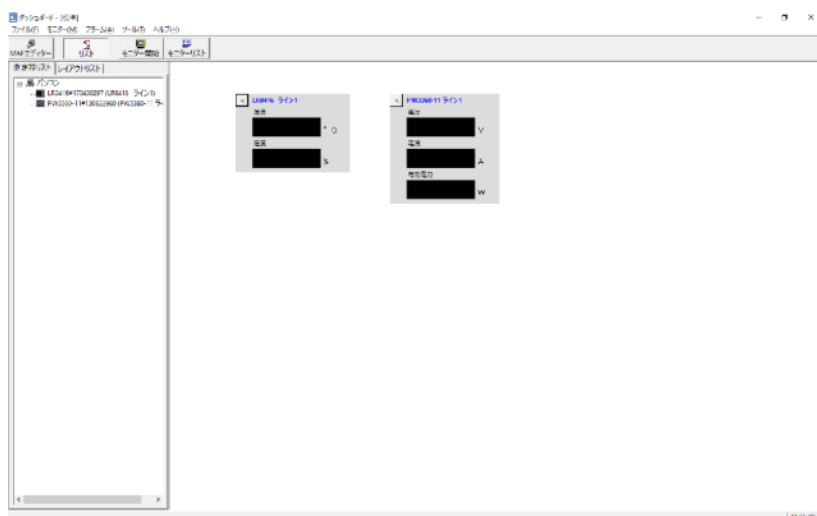
1. [測定器リスト]で測定値をモニターしたい測定器を選択します。
2. 右クリックで表示されるメニューから、[モニターを開く]を選択します。



3. [モニターウィンドウ]が右側のレイアウト領域に表示されます。



4. [モニターウィンドウ]をマウスの左ボタンをドラッグして、希望の位置に配置します。
5. 1～4をモニターしたいすべての測定器について行います。



測定器のレイアウトを作成する（応用編）

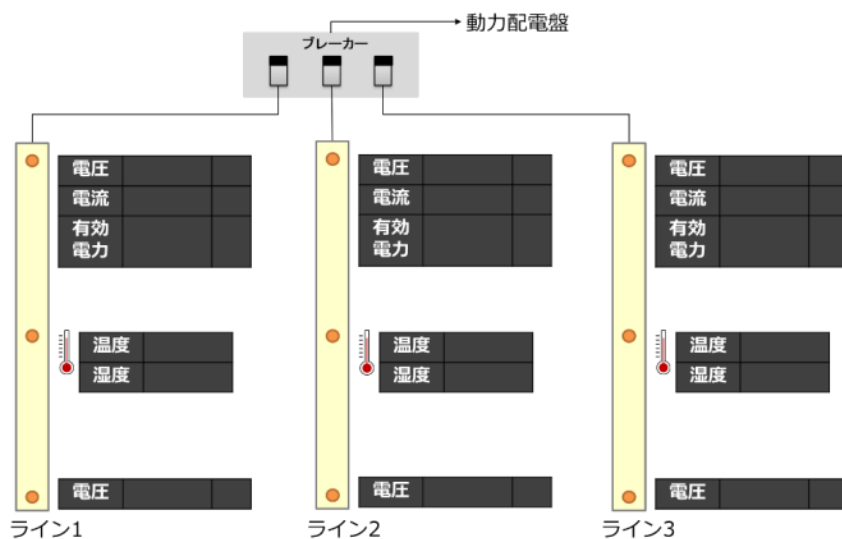
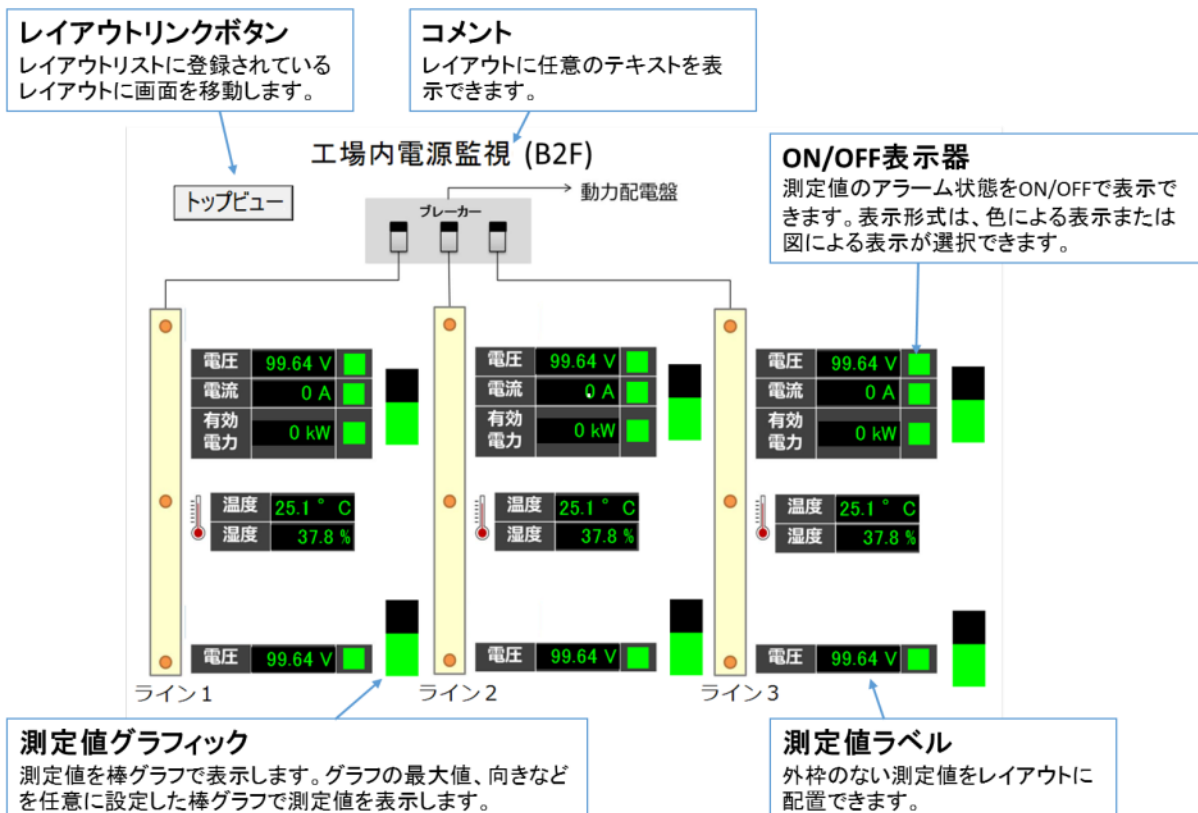
測定状況を視覚的にわかりやすく表示するためのレイアウトを作成します。

「応用編」では、更に見栄えのよいレイアウトを作成するための方法を説明します。

測定値のレイアウトを作成するには、「MAP エディター(測定器の選択)を起動する(p.179)」で、測定器と測定チャンネルを選択しておく必要があります。

レイアウトの概要

レイアウトパーツを用いて、下図のような監視システムのレイアウト画面を作成することができます。



操作の流れ

1. 画面サイズを決める (p.189)



2. 背景画像を貼り付ける (p.190)



3. レイアウトパーツを配置する (p.191)



4. レイアウトを固定する (p.198)



5. レイアウトを保存する (p.198)

レイアウトを削除する (p.199)

レイアウトを移動する (p.200)

レイアウトの右クリックメニュー (p.200)

レイアウトパーツの右クリックメニュー (p.201)

画面サイズを決める (フルスクリーンで表示する)

レイアウトの画面サイズを決めます。

レイアウト画面を全体表示して運用する場合は、全体表示をして、画面サイズを表示してください。

1. レイアウトを全体表示 (フルスクリーン) で表示する

1-1. レイアウトを右クリックして、[画面全体表示] を選択します。



1-2. レイアウトが画面全体に表示されます。

注記 元の大きさに戻す場合は、再度 [画面全体表示] を選択するか、ESC キーを押してください。

2. 画面サイズを表示する

2-1. レイアウトを右クリックして、[ツールウィンドウの表示]を選択します。



2-2. [ツールウィンドウ]画面が表示されます。[画面表示]のタブを選択します。

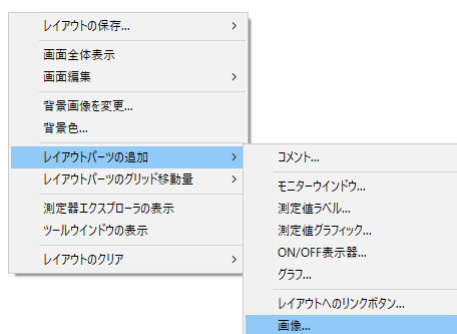


2-3. [レイアウト画面幅]、[レイアウト画面高さ]がレイアウトの画面サイズ(単位:px)になります。

背景画像を貼り付ける

作成した画像の位置およびサイズを設定して背景画像として登録することができます。

1. レイアウトを右クリックして、[レイアウトパーツの追加]-[画像]を選択します。



2. 貼り付ける画像ファイルを選択して、[開く]をクリックします。

3. マウスを使い、画像の位置およびサイズを変更します。

画像の角をマウスで掴んでドラッグすると縦横比が一定でサイズが変更されます。

4. 配置が決まったら、画像を右クリックします。

[背景画像として登録]を選択すると、画像が背景画像として登録されます。



※ 画像の右クリックメニューについては、(p.210) をご覧ください。

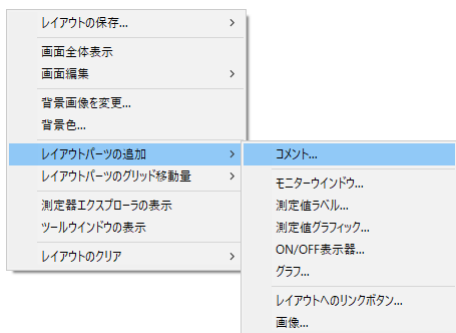
レイアウトパーツを配置する

背景画像の上にレイアウトパーツを配置することができます。

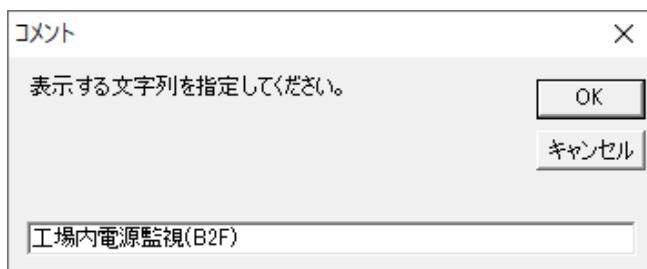
レイアウトパーツ (コメント) を配置する

レイアウトに任意のコメントを表示させることができます。

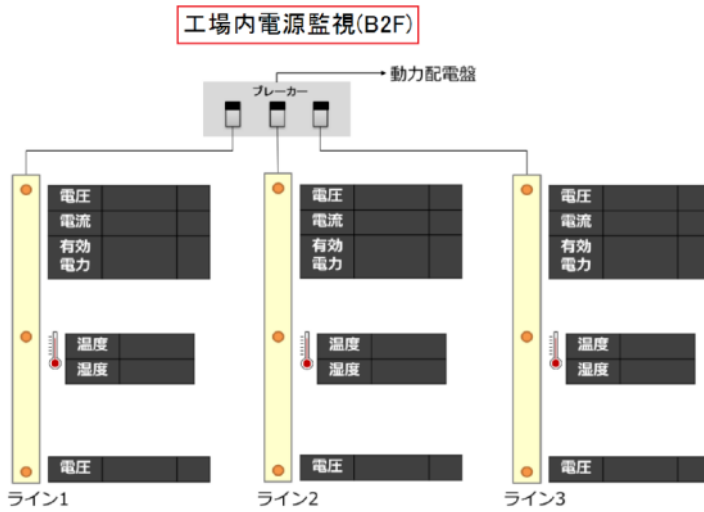
1. レイアウトを右クリックし、[レイアウトパーツの追加]-[コメント]を選択します。



2. コメントを入力し、[OK]をクリックします。



3. マウスを使い、コメントを配置します。



※ コメントの右クリックメニューについては、(p.201) をご覧ください。

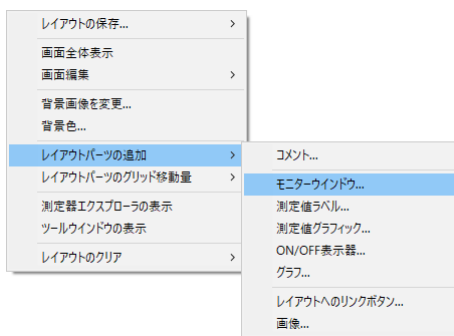
レイアウトパーツ (モニターウィンドウ) を配置する

「モニターウィンドウ」をレイアウトに配置することができます。

注記 モニターウィンドウと測定値ラベルについて。

パーツ種類	外枠	表示単位	表示項目
モニターウィンドウ	あり	測定器	[チャンネル選択]で選択された測定項目
測定値ラベル	なし	測定項目	[チャンネル選択]で選択された測定項目

1. レイアウトを右クリックし、[レイアウトパーツの追加]-[モニターウィンドウ] を選択します。



2. モニターウィンドウの追加ウィンドウが表示されます。測定器リストに含まれる測定器はすべて選択できます。

3. マウスを使って、モニターウィンドウを配置します。(ウィンドウのサイズは変更できません)



※ モニターウィンドウの右クリックメニューについては、(p.201) をご覧ください。

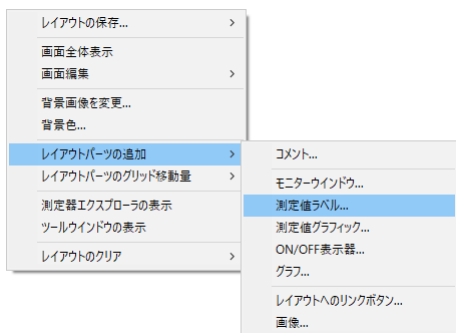
レイアウトパーツ (測定値ラベル) を配置する

外枠のない「測定値ラベル」をレイアウトに配置することができます。

注記 モニターウィンドウと測定値ラベルについて。

パーツ種類	外枠	表示単位	表示項目
モニターウィンドウ	あり	測定器	[チャンネル選択]で選択された測定項目
測定値ラベル	なし	測定項目	[チャンネル選択]で選択された測定項目

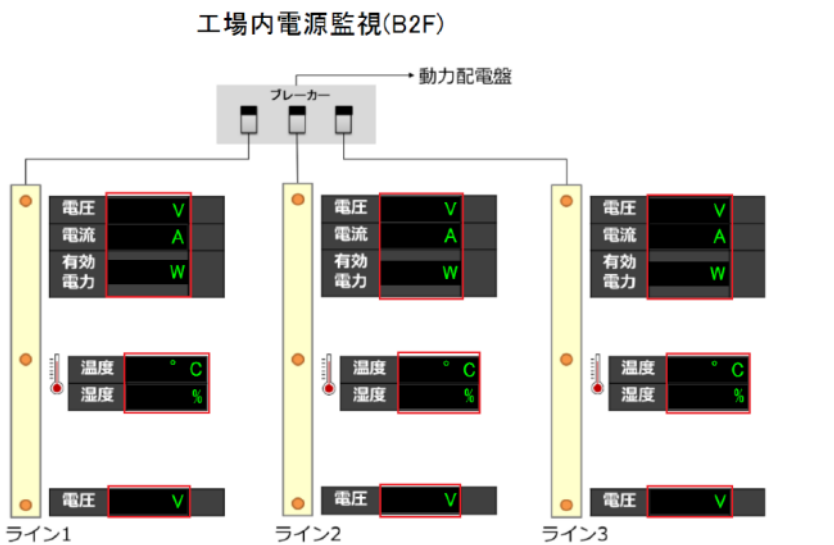
1. レイアウトを右クリックし、[レイアウトパーツの追加]-[測定値ラベル]を選択します。



2. 測定値ラベルの追加ウィンドウが表示されます。測定器リストに含まれる測定器の測定項目のうち、[チャンネル選択]で選択した測定項目はすべて選択することができます。表示する測定項目を指定して、[設定]をクリックします。



3. マウスを使い、測定値ラベルを配置します。

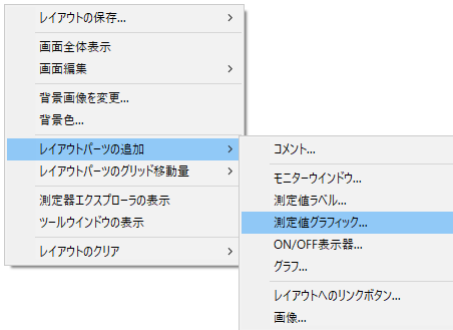


※ 測定値ラベルの右クリックメニューについては、(p.202) をご覧ください。

レイアウトパーツ（測定値グラフィック）を配置する

「測定値グラフィック」をレイアウトに配置することができます。

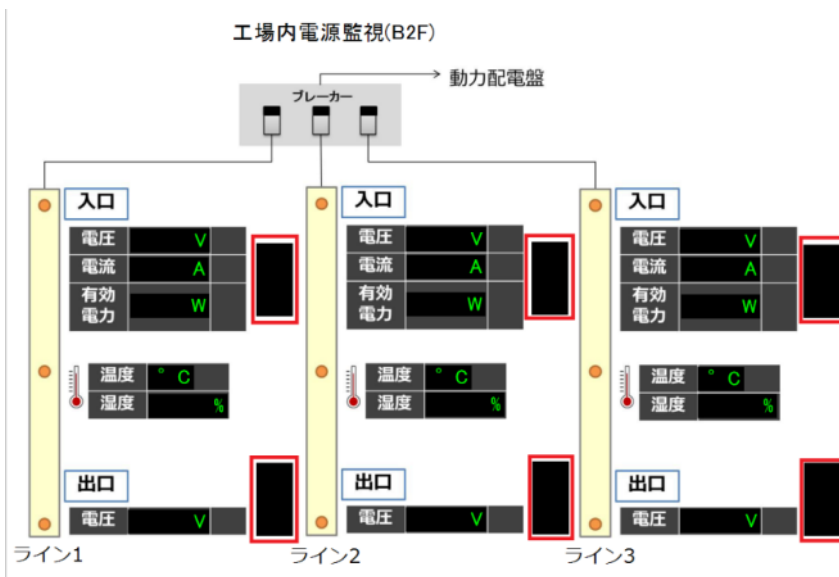
1. レイアウトを右クリックして、[レイアウトパーツの追加]-[測定値グラフィック]を選択します。



2. 測定値グラフィックの追加ウィンドウが表示されます。測定器リストに含まれる測定項目のうち、[チャンネル選択]で選択した測定項目はすべて選択することができます。表示する測定項目を指定して、[設定]をクリックします。



3. マウスを使い、測定値グラフィックの位置とサイズを変更します。

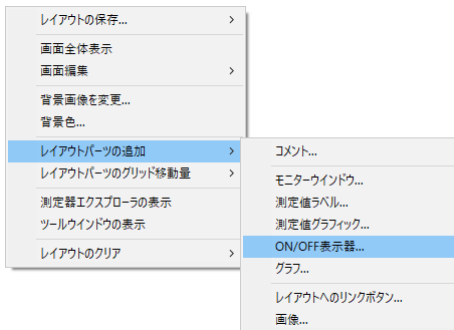


※ 測定値グラフィックの右クリックメニューについては、(p.202) をご覧ください。

レイアウトパーツ (ON/OFF 表示器) を配置する

「ON/OFF 表示器」をレイアウトに配置することができます。

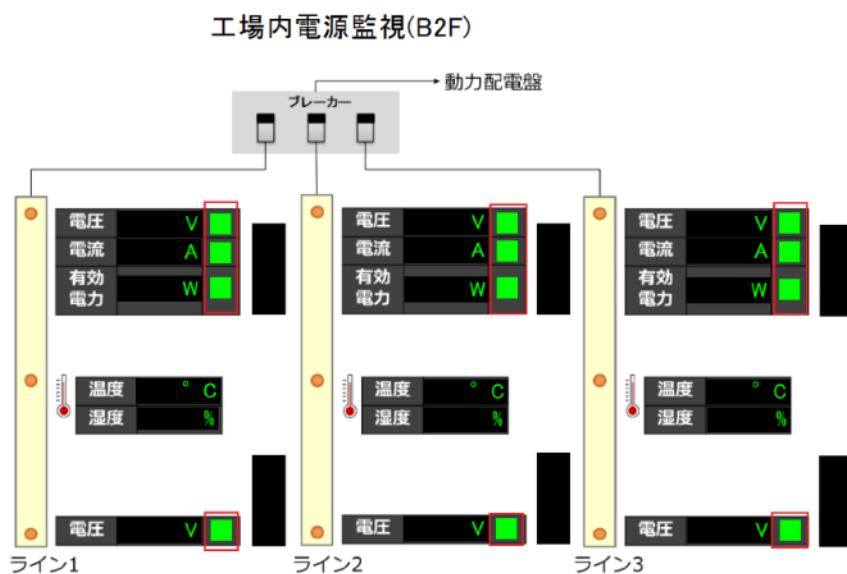
1. レイアウトを右クリックして、[レイアウトパーツの追加]-[ON/OFF 表示器]を選択します。



2. ON/OFF 表示器の追加ウィンドウが表示されます。測定器リストに含まれる測定器の測定項目のうち、[チャンネル選択]で選択した測定項目はすべて選択することができます。表示する測定項目を指定して、[設定]をクリックします。



- マウスを使い、ON/OFF 表示器を配置します。



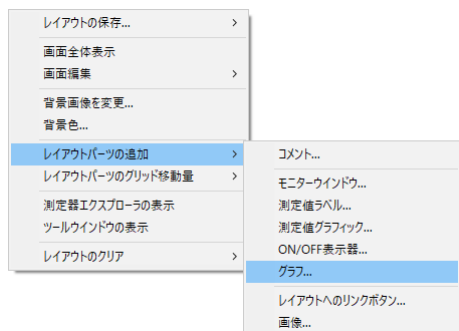
- ※ ON/OFF 表示器の右クリックメニューについては、(p.203) をご覧ください。

レイアウトパーツ (グラフ) を配置する

「グラフ」をレイアウトに配置することができます。

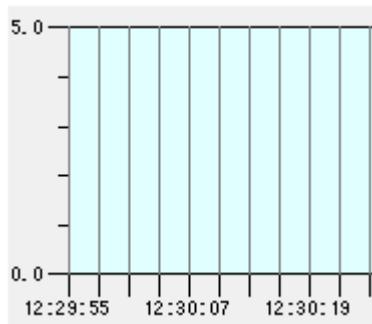
- ※ グラフ表示は右から左に自動スクロールされ、表示から消えたグラフの値を後で確認することができません。

- レイアウトを右クリックし、[レイアウトパーツの追加]-[グラフ] を選択します。



- グラフの追加ウィンドウが表示されます。

- マウスを使って、グラフウィンドウを配置します。(下図はグラフ項目割り当て後の例です。)

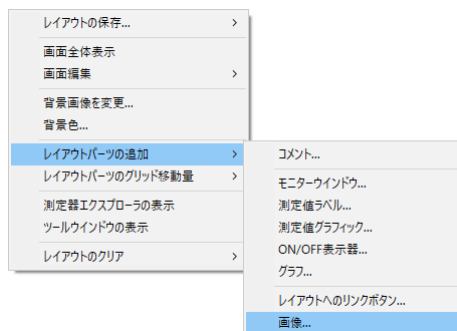


- ※ グラフウィンドウの右クリックメニューについては、(p.205) をご覧ください。

レイアウトパーツ（画像）を配置する

「画像」をレイアウトに配置することができます。

1. レイアウトを右クリックして、[レイアウトパーツの追加]-[画像]を選択します。



2. 貼り付ける画像ファイルをクリックして、[開く]をクリックします。
3. マウスを使い、画像の位置及びサイズを変更します。

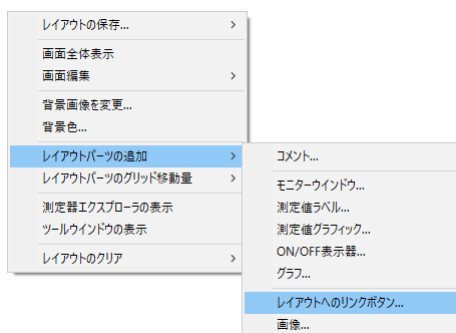
※ 画像の右クリックメニューについては、(p.210) をご覧ください。

レイアウトパーツ（レイアウトリンクボタン）を配置する

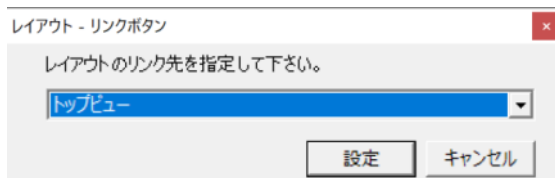
複数のレイアウトを切り替えて監視を行うには、「レイアウトリンクボタン」をレイアウトに配置し、複数の画面を行き来できるようにします。

注記 レイアウトを 1 画面で運用する場合には、レイアウトリンクボタンは必要ありません。

1. レイアウトを右クリックして、[レイアウトパーツの追加]-[レイアウトへのリンクボタン]を選択します。

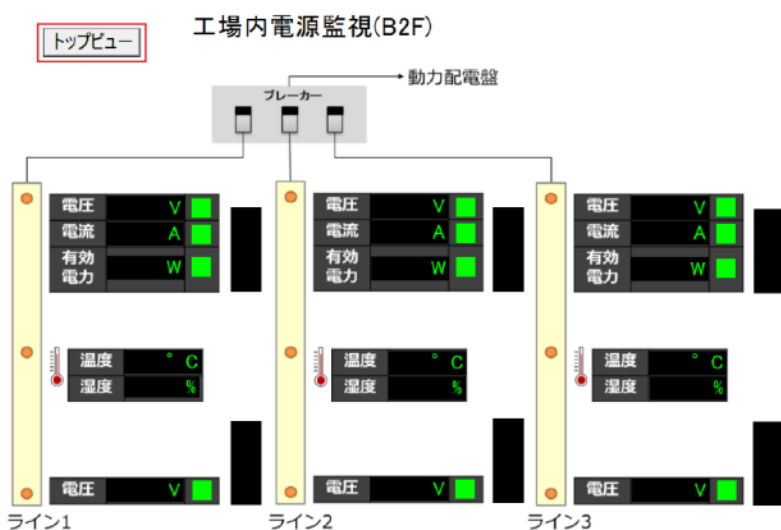


2. レイアウトリンクボタンの追加ウィンドウが表示されます。レイアウトのリンク先を指定して、[設定]をクリックします。



3. マウスを使い、レイアウトリンクボタンを配置します。

レイアウトリンクボタンのクリックにより、リンク先のレイアウトに移動することができます。

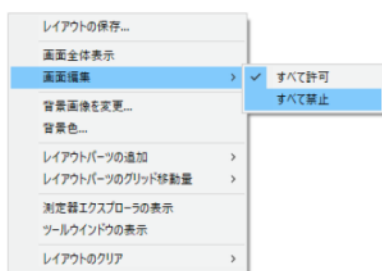


※ レイアウトリンクボタンの右クリックメニューについては、(p.210) をご覧ください。

レイアウトを固定する

すべてのレイアウトパーツの画面編集を禁止して、レイアウト画面を固定します。

1. レイアウトを右クリックして、[画面編集]-[すべて禁止]を選択します。



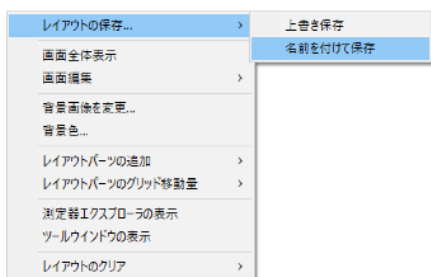
2. レイアウトのすべてのレイアウトパーツの画面編集が禁止されます。

レイアウトを保存する

レイアウトパーツを配置し終わったら、レイアウトの保存を行います。

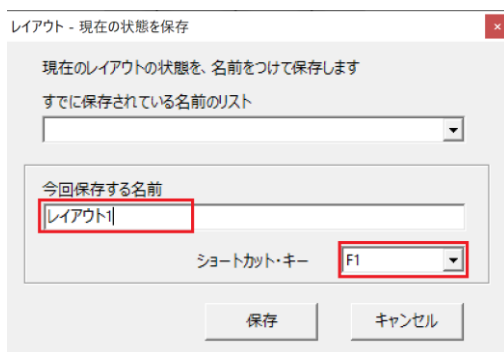
注記 レイアウトの変更を行った場合には必ずレイアウトの保存を行ってください。

- レイアウトを右クリックし、[レイアウトの保存]-[名前を付けて保存]を選択します。



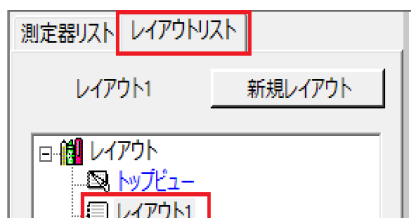
- 保存画面が表示されますので、「今回保存する名前」を入力します。

レイアウト間の移動にショートカット・キーを使う場合にはショートカット・キー(F1～F7)を設定します。



- [保存]ボタンをクリックします。

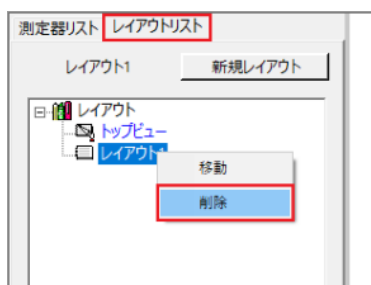
レイアウトを保存すると[レイアウトリスト]に保存したレイアウトが表示されます。



レイアウトを削除する

作成したレイアウトを削除する手順を説明します。

- レイアウトリストで、削除したいレイアウトを右クリックし、[削除]を選択します。



2. レイアウトとレイアウトに含まれるレイアウトパーツが削除されます。

レイアウトを移動する

レイアウト間の移動は、以下のいずれかの方法で行います。

- 方法1** レイアウトリストで、移動したいレイアウトをダブルクリックする
- 方法2** レイアウトリストで、移動したいレイアウトを右クリックして、[移動]を選択する
- 方法3** 各レイアウトに配置した[レイアウトリンクボタン]をクリックする(※1)
- 方法4** 各レイアウトに対して設定したショートカット・キー(F1～F7)を押す(※2)

※1. トップビューへの移動について

レイアウトリストの[トップビュー]は特別なレイアウトです。トップビュー移動用の専用のボタンをツールバーに表示させることもできます。トップビューボタンのクリックにより、トップビュー画面に移動することができます。

トップビューボタンの表示方法

レイアウトリストの下にある「トップビューボタンの表示」にチェックを入れます。



※2 ショートカット・キーの設定方法については、(p198)をご覧ください。

レイアウトの右クリックメニュー

レイアウトの右クリックメニューには以下のものがあります。

右クリックメニュー		説明
レイアウトの保存	上書き保存	現在のレイアウトの状態を上書き保存します。
	名前を付けて保存	現在のレイアウトの状態を、名前を付けて保存します。(p.198)
画面全体表示		レイアウトを画面全体(フルスクリーン)に表示します。(p.189)

画面編集	すべてのモニターウィンドウの画面移動およびすべてのレイアウトパーツの画面編集の許可・禁止を設定します。	
背景画像を変更	レイアウトに背景画像を貼り付けます。(p.190)	
背景色	背景色を設定します。	
レイアウトパーツの追加	レイアウトパーツを追加します。(p.191)	
レイアウトパーツのグリッド移動量	<ul style="list-style-type: none"> レイアウトを構成する部品の移動量を設定します。 グリッド移動量を設定するとレイアウトパーツを整列させることができます。 	
測定器エクスペローラの表示	測定器エクスペローラを表示します。(p.223)	
ツールウィンドウの表示	<ul style="list-style-type: none"> 画面サイズを表示します。(p.189) ON/OFF 表示器の動作設定を行います。(p.231) 	
レイアウトのクリア	背景画像をクリア	レイアウトの背景画像をクリアします。
	モニター・レイアウトパーツをクリア	モニターウィンドウおよびレイアウトパーツをすべてクリアします。
	全てをクリア	レイアウトをクリアします。
	レイアウトパーツの表示測定項目の設定を全てクリア	レイアウトパーツのうち、[測定値ラベル], [測定値グラフィック], [ON/OFF 表示器]パーツの表示測定項目の設定をすべてクリアします。

レイアウトパーツの右クリックメニュー

レイアウトパーツ (コメント) の右クリックメニュー

レイアウトパーツ(コメント)の右クリックメニューには以下のものがあります。

右クリックメニュー	説明
コメントの変更	コメントの内容を変更することができます。
画面編集	コメントの画面編集の許可・禁止を設定します。
テキスト表示位置	テキスト表示位置を設定します。
サイズ自動調整	サイズを自動調整します。
フォント	コメントのフォントを変更します。
文字色	コメントの文字色を変更します。
背景色	コメントの背景色を変更します。
レイアウトパーツのコピー	<p>コメントのコピーを作成します。</p> <p>※コメントの属性(コメントの内容、テキスト表示位置、サイズ、フォント、文字色、背景色)はコピー後のコメントにも引き継がれます。</p>
最背面に移動	パーツを最背面に移動します。
閉じる	コメントを閉じます。

レイアウトパーツ (モニターウィンドウ) の右クリックメニュー

レイアウトパーツ(モニターウィンドウ)の右クリックメニューには以下のものがあります。

右クリックメニュー	説明
表示測定項目の変更	モニターウィンドウに表示する測定項目を変更します。
画面サイズ	画面サイズを選択します。
画面編集	モニターウィンドウの画面編集の許可・禁止を設定します。
測定値色	モニター値の文字色を変更します。
背景色	モニターウィンドウの背景色を変更します。
表示桁数の設定	モニターウィンドウの測定値の補助単位と表示桁数(自動, カスタム)を設定します。
モニターのコピー	モニターウィンドウのコピーを作成します。 ※モニターウィンドウの属性(表示項目、画面サイズ、測定値色、背景色)はコピー後のモニターウィンドウにも引き継がれます。
最背面に移動	パーツを最背面に移動します。
閉じる	モニターウィンドウを閉じます。

レイアウトパーツ (測定値ラベル) の右クリックメニュー

レイアウトパーツ(測定値ラベル)の右クリックメニューには以下のものがあります。

右クリックメニュー	説明
単位表示	測定単位の表示有無を設定します。
表示測定項目の変更	表示する測定項目を変更します。
画面編集	測定値ラベルの画面編集の許可・禁止を設定します。
テキスト表示位置	テキスト表示位置を設定します。
サイズ自動調整	サイズを自動調整します。
フォント	測定値ラベルのフォントを変更します。
測定値色	測定値ラベルの文字色を変更します。
背景色	測定値ラベルの背景色を変更します。
表示桁数の設定	測定値の補助単位と表示桁数(自動, カスタム)を設定します。
レイアウトパーツのコピー	測定値ラベルのコピーを作成します。 ※測定値ラベルの属性(単位表示の有無、表示項目、測定器の設定、テキスト表示位置、サイズ、フォント、測定値色、背景色)はコピー後の測定値ラベルにも引き継がれます。
最背面に移動	パーツを最背面に移動します。
閉じる	測定値ラベルを閉じます。

レイアウトパーツ (測定値グラフィック) の右クリックメニュー

レイアウトパーツ(測定値グラフィック)の右クリックメニューには以下のものがあります。

右クリックメニュー	説明
グラフィック設定 (*1)	表示範囲、上下限値の表示およびゲージ表示を設定します。
表示測定項目の変更	表示する測定項目を変更します。
画面編集	測定値グラフィックの画面編集の許可・禁止を設定します。

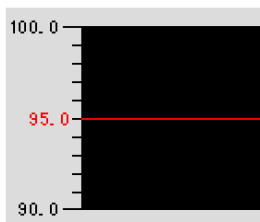
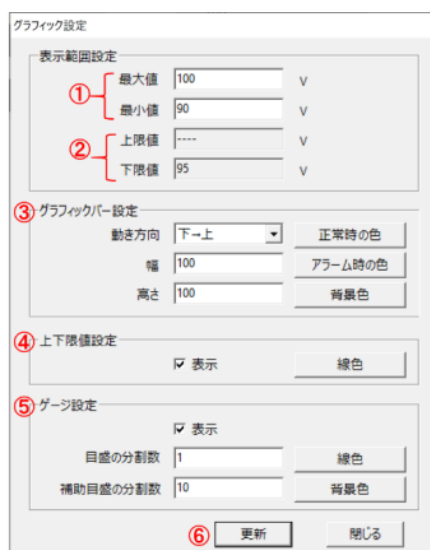
表示桁数の設定	測定値の補助単位と表示桁数(自動, カスタム)を設定します。
レイアウトパーツのコピー	測定値グラフィックのコピーを作成します。 ※測定値グラフィックの属性(グラフィック設定、表示項目、測定器の設定)はコピー後の測定値グラフィックにも引き継がれます。
最背面に移動	パーツを最背面に移動します。
閉じる	測定値グラフィックを閉じます。

*1: グラフィック設定について

1. 測定値グラフィックを右クリックし、[グラフィック設定]を選択します。



2. [グラフィック設定]画面が表示されます。



- ① 表示範囲の最大値および最小値を設定することができます。
- ② 上下限値の設定が表示されます(上下限値の設定の変更は測定器の詳細設定画面(p184)で行ってください)。
- ③ グラフィックバーの向きや色、サイズを設定することができます。
- ④ 上下限値の表示有無を設定することができます。
- ⑤ ゲージ表示を設定することができます。
- ⑥ [更新]ボタンを押すと、測定値グラフィックの表示が更新されます。

レイアウトパーツ (ON/OFF 表示器) の右クリックメニュー

レイアウトパーツ (ON/OFF 表示器) の右クリックメニューには以下のものがあります。

右クリックメニュー	説明
ON/ OFF 表示器の設定 (*1)	ON/OFF の定義、ON/OFF 時の画像・色などを設定します。
表示測定項目の変更	表示する測定項目を変更します。
画面編集	ON/OFF 表示器の画面編集の許可・禁止を設定します。
サイズ自動調整	サイズを自動調整します。
表示桁数の設定	測定値の補助単位と表示桁数(自動, カスタム)を設定します。
レイアウトパーツのコピー	ON/ OFF 表示器のコピーを作成します。 ※ ON/ OFF 表示器の属性(画像設定、表示項目、測定器の設定)はコピー後の ON/ OFF 表示器にも引き継がれます。
最背面に移動	パーツを最背面に移動します。
閉じる	ON/OFF 表示器を閉じます。

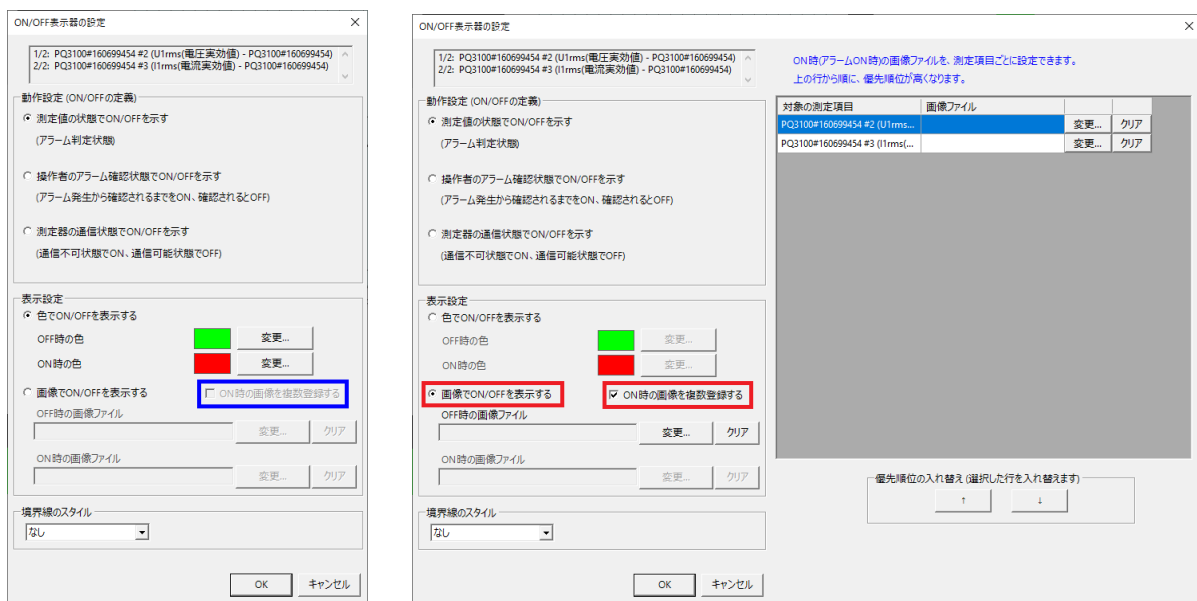
*1:ON/ OFF 表示器の設定について

- ON/ OFF 表示器を右クリックし、[ON/ OFF 表示器の設定]を選択します。



- [ON/ OFF 表示器の設定]画面が表示されます。

ON/OFF の定義、ON/ OFF 時の色や画像、および境界線のスタイルを設定することができます。



※「ON 時の画像を複数登録する」(青枠部)のチェックボックスは、ON/OFF 表示器に複数の測定項目を設定した場合にのみ表示されます。ON/OFF 表示器に複数の測定項目を設定するには、測定器エクスプローラを参照してください(p223)。

※「ON 時の画像を複数登録する」にチェックを付けるとウィンドウが拡張され、ON 時の画像ファイルを測定項目ごとに設定できます。

※動作設定(ON/OFF の定義)については以下を参照してください。

➤ [ON/OFF 表示器の動作設定をする](#)

レイアウトパーツ (グラフ) の右クリックメニュー

レイアウトパーツ(グラフ)の右クリックメニューには以下のものがあります。

右クリックメニュー	説明
グラフ設定 (*1)	グラフの各種設定を行います。
縦軸設定	表示しているグラフ項目のうち、縦軸の基準となる項目を選択します。
画面編集	グラフの画面編集の許可・禁止を設定します。
レイアウトパーツのコピー	グラフのコピーを作成します。 ※モニター実行中にはグラフパーツのコピーを作成できません。 ※ グラフの設定はコピー後のグラフにも引き継がれます。
最背面に移動	パーツを最背面に移動します。
閉じる	グラフを閉じます。

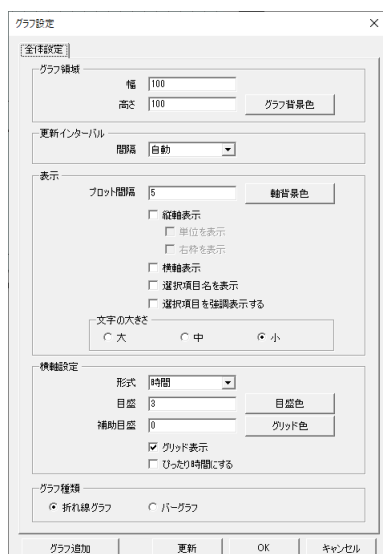
*1:グラフ設定について

1. グラフパーツを右クリックし、[グラフ設定]を選択します。

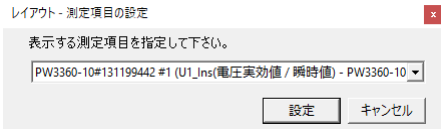


2. [グラフ設定]画面が表示されます。

[全体設定]タブではグラフパーツ全体の表示設定を行います。



設定		内容
グラフ領域	幅	<p>グラフ表示領域の幅を設定します。</p> <p>縦軸を表示している場合は、グラフ領域の幅は指定値より大きくなります。</p> <p>マウス操作にて直接グラフ領域の幅を変更することもできます。</p>
	高さ	<p>グラフ表示領域の高さを設定します。</p> <p>横軸を表示している場合は、グラフ領域の高さは指定値より大きくなります。</p> <p>マウス操作にて直接グラフ領域の高さを変更することもできます。</p>
	[グラフ背景色]ボタン	<p>グラフ背景色を設定します。</p> <p>ボタン押下で[色の設定]ダイアログが表示されます。</p>
更新インターバル	間隔 (*1)	<p>グラフの更新間隔を指定できます。</p> <p><input type="checkbox"/>自動の場合にはモニター間隔と同じ間隔でグラフ表示を更新します。</p> <p><input type="text"/>1分～<input type="text"/>1時間を指定すると更新間隔の代表値をグラフ表示値とします。</p> <p>代表値は[グラフ 1]～[グラフ 8]タブの "グラフ設定"-“表示値”で設定します。</p>
表示	プロット間隔	<p>グラフのプロット間隔をピクセル単位で設定します。</p> <p>数値が大きいほどプロット間隔が広くなります。</p> <p>※ <input type="text"/>1は間隔を開けずプロットします。<input type="text"/>2は1ピクセル開けてプロットします。</p>
	縦軸表示	<p><input type="checkbox"/>オン: 縦軸をグラフ表示エリアの左側に表示します。</p> <p><input type="checkbox"/>オフ: 縦軸を表示しないようにします。</p>
	単位を表示	<p><input type="checkbox"/>オン: 縦軸表示上部に選択項目の単位を表示します。</p> <p><input type="checkbox"/>オフ: 単位を表示しないようにします。</p> <p>縦軸表示がオンのときに有効です。</p>
	右枠を表示	<p><input type="checkbox"/>オン: グラフ右枠を表示します。</p> <p><input type="checkbox"/>オフ: グラフ右枠を表示しないようにします。</p> <p>縦軸表示がオンのときに有効です。</p>
	横軸表示	<p><input type="checkbox"/>オン: 横軸をグラフ表示エリアの下側に表示します。</p> <p><input type="checkbox"/>オフ: 横軸を表示しないようにします。</p>
	選択項目名を表示	<p><input type="checkbox"/>オン: グラフ上部に選択項目名を表示します。</p> <p><input type="checkbox"/>オフ: 選択項目名を表示しないようにします。</p>
	選択項目を強調表示する	<p><input type="checkbox"/>オン: 縦軸の基準となっている項目のグラフ線を指定より2ピクセル分太く表示します。</p> <p><input type="checkbox"/>オフ: 縦軸の基準となっている項目のグラフ線を強調表示しません。</p>
	[軸背景色]ボタン	<p>縦軸、横軸およびグラフ表示エリア周囲の背景色を設定します。</p> <p>ボタン押下で[色の設定]ダイアログが表示されます。</p>
	文字の大きさ	<p>グラフに表示される文字の大きさを3段階で指定できます。</p>
横軸設定	形式	<p>横軸の目盛ラベルを選択できます。</p> <p>ラベルの表示間隔は自動で決定されます。</p> <p><input type="checkbox"/>時刻: ラベルを時刻表記(hh:mm:ss)で表示します。</p> <p><input type="checkbox"/>日付: ラベルを日時表記(yyyy/MM/dd hh:mm:ss)で表示します。</p> <p><input type="checkbox"/>ポイント: ラベルを測定データ順(1～)表記で表示します。</p> <p><input type="checkbox"/>目盛のみ: ラベル表記をなしにし、目盛のみとします。</p>

	目盛	目盛間隔を数値指定します。
	補助目盛	補助目盛間隔を数値指定します。
	グリッド表示	<input type="checkbox"/> オン: グラフ表示エリアに目盛に沿って垂直グリッド線を表示します。 <input type="checkbox"/> オフ: グラフ表示エリアに垂直グリッド線を表示しません。
	[目盛色]ボタン	横軸目盛ラベルの色を設定します。 ボタン押下で[色の設定]ダイアログが表示されます。
	[グリッド色]ボタン	垂直グリッド線の色を設定します。 ボタン押下で[色の設定]ダイアログが表示されます。
	ぴったり時間にする (*1)	<input type="checkbox"/> オン: 区切りの良い時間からグラフをプロットします。(*2) <input type="checkbox"/> オフ: モニター開始時間からグラフをプロットします。
グラフの種類	折れ線グラフ	グラフをすべて折れ線グラフで表示します。
	バーグラフ	グラフ1の項目をバーグラフで表示し、グラフ1以外の項目は折れ線グラフで表示します。
[グラフ追加]ボタン (*1)		グラフ項目を追加します。 ボタンを押下すると、[レイアウト・測定項目の設定]ダイアログが表示されます。  表示したい測定項目を選択して[設定]ボタンを押下すると、グラフ設定画面に[グラフ x](x:1~8)タブが追加されます。
[更新]ボタン		ボタンを押下すると変更された設定内容がグラフ表示に反映されます。 全てのタブの変更内容がグラフ表示に反映されます。
[OK]ボタン		ボタンを押下すると変更された設定内容をグラフ表示に反映して、グラフ設定画面を閉じます。
[キャンセル]ボタン		ボタンを押下するとグラフ設定画面を閉じます。 [更新]ボタン押下後に変更した内容はグラフ表示に反映されません。

*1: モニター実行時は操作できません。

*2: ぴったり時間について

ダッシュボードのモニター開始時刻は下記条件に従います。

- ・モニター間隔が 1 分未満の場合: 秒単位 00 秒が測定されるタイミングで開始される。

例) モニター間隔 5 秒の場合、00 秒、05 秒、10 秒、…、50 秒、55 秒のタイミングでモニター開始

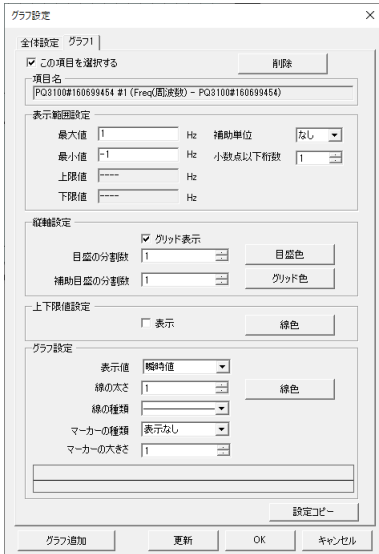
- ・モニター間隔が 1 分以上の場合: 秒単位 00 秒のタイミングで開始される。

このため、モニター間隔 2 分以上の場合に仕様上分単位 00 分のタイミングで測定できない可能性があるため、**モニター間隔 2 分以上に指定されてモニターが開始された場合は「ぴったり時間あり」の設定は無視されます。**

例) モニター間隔 2 分設定にて 08:00:30 にモニター開始した場合は 08:01:00, 08:03:00, …, 08:59:00,

09:01:00, …のようにモニター値が取得されるため、9:00:00 を基準としたグラフ描画ができない。

[グラフ x] (x:1~8)タブでは各グラフ項目の表示設定を行います。



設定		内容
この項目を選択する		縦軸の基準とする項目を設定します。必ず 1 項目選択されます。 右クリックメニューの【縦軸設定】メニューでも設定できます。 <input type="checkbox"/> オン: この項目を縦軸の基準とします。オンにすると、縦軸の基準となっていた別の項目はオフになります。 <input type="checkbox"/> オフ: 縦軸の基準ではないことを示します。オフにしたい場合は他の項目をオンにしてください。
[削除]ボタン (*1)		表示されているタブの項目をグラフ表示から削除します。 削除された項目が縦軸の基準となっていた場合はグラフ1が基準に指定されます。 全ての項目が削除された場合は初期表示に戻ります。
項目名		選択された測定項目を表示します。 この画面では測定項目を変更できません。
表示範囲設定	最大値	縦軸表示範囲の最大値を設定します。
	最小値	縦軸表示範囲の最小値を設定します。
	上限値	上限値の設定が表示されます。 上限値の設定の変更は測定器の詳細設定画面(p184)で行ってください。
	下限値	下限値の設定が表示されます。 下限値の設定の変更は測定器の詳細設定画面(p184)で行ってください。
	補助単位	グラフ表示で使用される補助単位を指定します。
	小数点以下桁数	グラフ表示で使用される数値の小数点以下桁数を指定します。
縦軸設定 (*2)	グリッド表示	<input type="checkbox"/> オン: グラフ表示エリアに目盛に沿って水平グリッド線を表示します。 <input type="checkbox"/> オフ: グラフ表示エリアに水平グリッド線を表示しません。
	目盛の分割数	縦軸の目盛分割数を数値指定します。(範囲: 1~99) ※ 1 を指定すると最大/最小値間に目盛を設けません。
	補助目盛の分割数	縦軸の補助目盛分割数を数値指定します。(範囲: 1~99) ※ 1 を指定すると目盛間に補助目盛を設けません。

	[目盛色]ボタン	縦軸目盛ラベルの色を設定します。 ボタン押下で[色の設定]ダイアログが表示されます。
	[グリッド色]ボタン	水平グリッド線の色を設定します。 ボタン押下で[色の設定]ダイアログが表示されます。
上下限值設定	表示	<input type="checkbox"/> オン: グラフ表示エリアに上限値線および下限値線を表示します。 <input type="checkbox"/> オフ: グラフ表示エリアに上限値線および下限値線を表示しません。
	[線色]ボタン	上限値線および下限値線の色を設定します。 ボタン押下で[色の設定]ダイアログが表示されます。
グラフ設定	表示値 (*1)(*3)	グラフ代表値を指定します。 瞬時値 : 更新インターバル時に取得した瞬時値をグラフ値とします。 平均値 : 更新インターバル間に取得された瞬時値の平均値をグラフ値とします。 最大値 : 更新インターバル間に取得された瞬時値の最大値をグラフ値とします。 最小値 : 更新インターバル間に取得された瞬時値の最小値をグラフ値とします。 ※ 更新インターバルが自動、または更新インターバルがモニター間隔と同じ(または短い)場合は、グラフ代表値は瞬時値になります。
	線の太さ	グラフ線の太さを数値指定します。(範囲:1~99) 折れ線グラフ、バーグラフ共通設定となります。
	線の種類	グラフの線の種類を下記より選択できます。 実線 、 破線 、 点線 、 一点鎖線 、 二点鎖線
	マーカーの種類	折れ線グラフのマーカーの種類を下記より選択できます。 表示なし 、 円 、 四角 、 三角 、 クロス
	マーカーの大きさ	折れ線グラフのマーカーの大きさを数値指定します。(範囲:1~99) 線の太さと同じ(または小さい)場合は、マーカーは表示されません。
	[線色]ボタン	グラフ線およびマーカーの色を設定します。 ボタン押下で[色の設定]ダイアログが表示されます。
[設定コピー]ボタン (*1)	表示しているタブ(コピー先)に他のタブの設定をコピーします。 [設定コピー]ボタンを押下すると表示されるダイアログにて、コピー元のタブ名とコピーしたい設定グループを指定します。  [OK]ボタンを押下すると表示されているタブにコピー元の設定内容がコピーされます。	

※ [グラフ追加]、[更新]、[OK]、[キャンセル]の各ボタン動作については[全体設定]タブ説明をご覧ください。

*1: モニター実行時は操作できません。

- *2: グラフパーツの縦軸表示に用いられる単位および小数点以下桁数は、モニタウインドウなどの表示桁数の設定とは連動しません。
- *3: モニター実行後に表示値設定を変更してもグラフはモニター実行時のデータをそのまま表示します。
グラフのクリアは次回モニター開始時に行われます。

レイアウトパーツ（画像）の右クリックメニュー

レイアウトパーツ（画像）の右クリックメニューには以下のものがあります。

右クリックメニュー	説明
画像の変更	画像を読み込みます。
背景画像として登録	画像を背景画像として登録します。
画面編集	画像の画面編集の許可・禁止を設定します。
サイズ自動調整	画像を読み込み時のサイズに戻します。
レイアウトパーツのコピー	画像のコピーを作成します。 ※画像の属性(画像、サイズ)はコピー後の画像にも引き継がれます。
最背面に移動	パーツを最背面に移動します。
閉じる	画像を閉じます。

レイアウトパーツ（レイアウトリンクボタン）の右クリックメニュー

レイアウトパーツ（レイアウトリンクボタン）の右クリックメニューには以下のものがあります。

右クリックメニュー	説明
リンク先の変更	レイアウトリンクボタンのリンク先を変更します。
テキストの変更	レイアウトリンクボタンのテキストを変更します。
画面編集	レイアウトリンクボタンの画面編集の許可・禁止を設定します。
テキスト表示位置	テキストの表示位置を設定します。
サイズ自動調整	サイズを自動調整します。
フォント	レイアウトリンクボタンの文字のフォントを変更します。
文字色	レイアウトリンクボタンの文字色を変更します。
背景色	レイアウトリンクボタンの背景色を変更します。
レイアウトパーツのコピー	レイアウトリンクボタンをコピーします。 ※レイアウトリンクボタンの属性(リンク先、テキスト表示位置、サイズ、フォント、文字色、背景色)はコピー後のレイアウトリンクボタンにも引き継がれます。
最背面に移動	パーツを最背面に移動します。
閉じる	レイアウトリンクボタンを閉じます。

測定値のモニターを開始/停止する

測定値のモニターを開始/停止する方法を説明します。

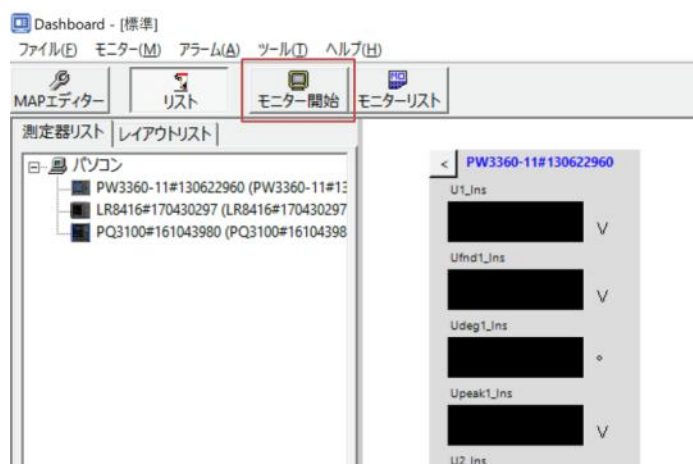
測定値のモニターを開始する

測定値のモニターを開始する前に、以下の操作が完了していることを確認してください。

以下の操作が完了していない場合は、「操作の流れ(p.177)」に従って操作を完了してください。

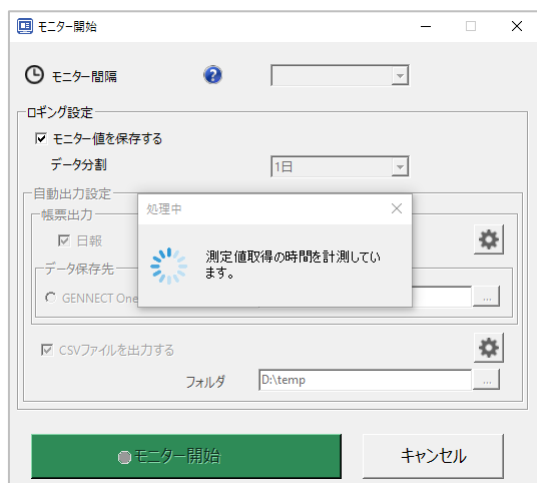
- ・ 測定器と PC が LAN ケーブルで接続されている
- ・ [MAP エディター(測定器の選択)]画面で測定器が一覧画面に表示されている
- ・ 測定器の接続ステータスが「接続済み(緑色表示)」または「発見済み(薄緑色表示)」になっている
- ・ [MAP エディター(測定器の選択)]画面で[チャンネル選択]により、測定チャンネルが選択されている
- ・ レイアウトにレイアウトパーツ(モニターウィンドウ、測定値ラベルなど)が配置されている

1. ツールバーの[モニター開始]ボタンをクリックします。

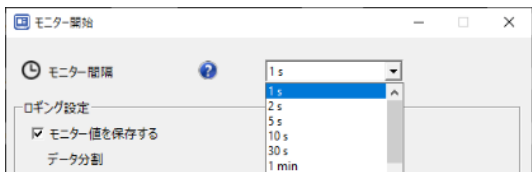


2. [モニター開始]画面が表示されます。

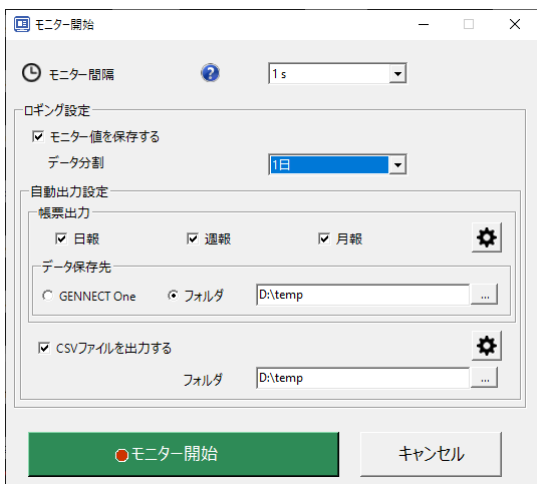
[モニター開始]画面が表示された後、「測定値取得の時間を計測しています。」のメッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されている間、最小のモニター間隔をアプリケーションが自動で計算します。

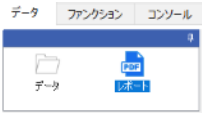
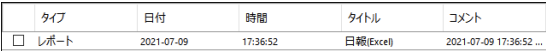


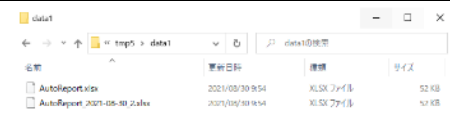

3. [モニター開始]画面の[モニター間隔]のドロップダウンリストから希望のモニター間隔を選択します。



4. [ロギング設定]でモニター値の記録(ロギング),データ分割と帳票,CSVの自動出力に関する設定をします。



設定		内容
ロギング設定	モニター値を記録する (オン/オフ)	オン: モニター値を記録します(ロギング)。記録した測定データはロギング形式でデータリストに保存されます。 オフ: モニター値の記録は行いません。レイアウトパーツ上の測定値の更新とアラーム情報の更新のみ行います。
	データ分割	1日: ロギングデータを1日単位で分割して保存します。 1時間: ロギングデータを1時間単位で分割して保存します。
自動出力設定	帳票出力	日報・週報・月報 オン: 選択されている帳票を自動出力します。 オフ: 選択されていない帳票は自動出力しません。
	データ保存先	帳票の保存先を指定します。 GENNECT One: ・帳票を GENNECT One のデータリストに保存します。  フォルダ: ・帳票を任意のディレクトリに保存します。[...]ボタンで保存するディレクトリを選択します。 

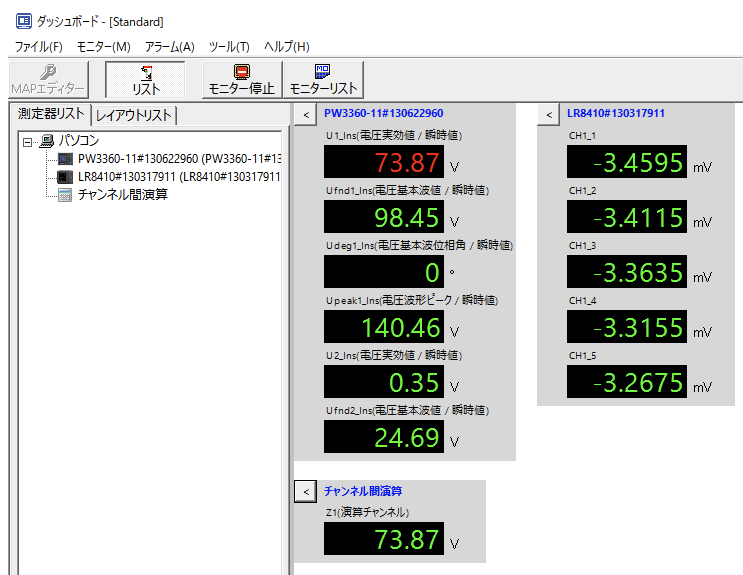
		
	詳細設定 	帳票(日報・週報・月報)の自動出力に関する詳細設定をします。 設定内容の詳細は、以下を参照してください。 > エラー! 参照元が見つかりません。
CSV ファイルを出力する	オン/オフ	<input type="checkbox"/> オン: ログイングのデータ分割時間(1日/1時間)で CSV を自動出力します。 <input type="checkbox"/> オフ: ログイングのデータ分割時間(1日/1時間)での CSV の自動出力はしません。
	データ保存先	CSV を任意のディレクトリに保存します。[...]ボタンで CSV を保存するディレクトリを選択します。
	詳細設定	CSV の自動出力に関する詳細設定をします。 設定内容の詳細は、以下を参照してください。 > 自動出力(CSV)の詳細設定をする

5. [モニター開始]画面の[モニター開始]ボタンをクリックします。



6. 測定値のモニターが開始されます。

- モニターが開始されると、レイアウトパーツ(モニターウィンドウ、測定値ラベルなど)が更新されます。
- ツールバーの[モニターリスト]をクリックすると[モニターリスト]画面が表示されます。[モニターリスト]画面には、測定項目とモニター値が一覧で表示されます。



測定値のモニターを停止する

1. ツールバーの[モニター停止]ボタンをクリックします。



2. 測定値のモニターが停止します。

測定器リストを管理する

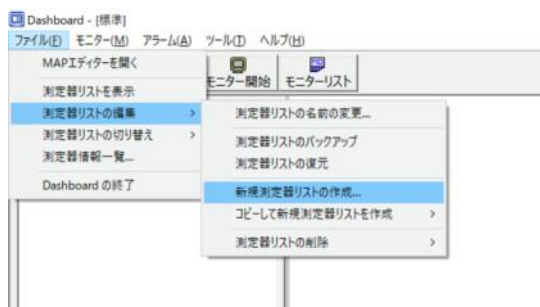
測定器リストには、測定器、測定項目、レイアウト、アラーム設定に関する情報がまとめられています。

測定器リストは複数個作成することができますが、初期状態では、「標準」という名前の測定器リストが1つ作成されています。測定器リストに対する操作として、新規作成、コピーして新規作成、削除、切り替え、バックアップ、復元があり、ここではそれぞれの操作方法について説明します。

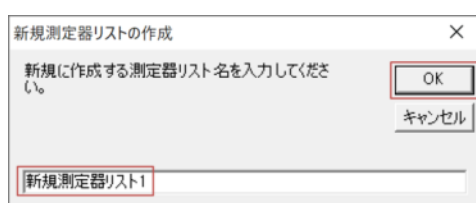
測定器リストを新規作成する

測定器リストを新規作成する方法について説明します。

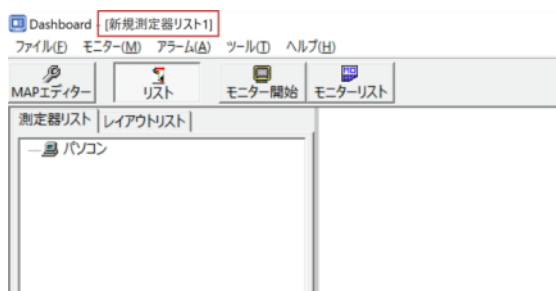
1. [ファイル]-[測定器リストの編集]-[新規測定器リストの作成]のメニューを選択します。



2. [新規測定器リストの作成]画面が表示されますので、測定器リスト名を入力して、[OK]ボタンをクリックします。



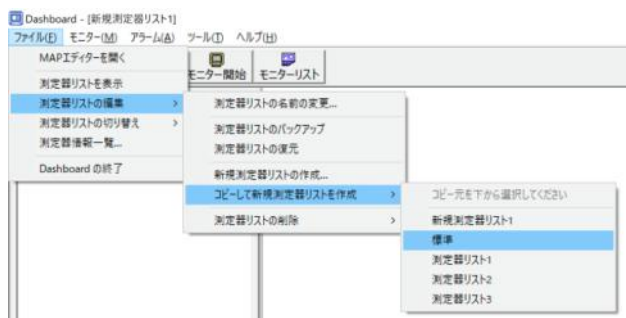
3. 測定器リストが新規作成されます。



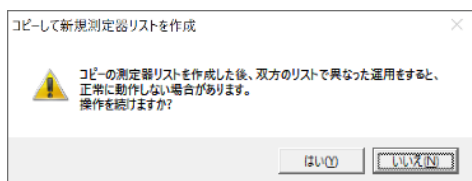
測定器リストをコピーして新規作成する

作成済みの測定器リストをコピーして、新しい測定器リストを作成する方法について説明します。

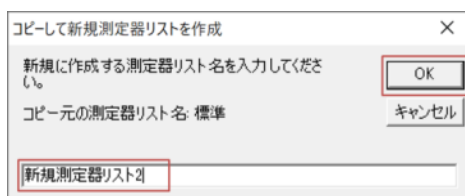
1. [ファイル]-[測定器リストの編集]-[コピーして新規測定器リストを作成]のメニューを選択して、コピー元の測定器リスト名を選択します。



2. [コピーして新規測定器リストを作成]画面が表示されます。[はい]をクリックします。



3. [コピーして新規測定器リストを作成]画面が表示されますので、測定器リスト名を入力して、[OK]ボタンをクリックします。



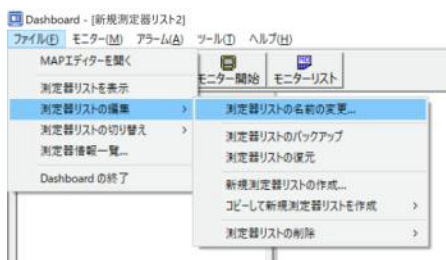
4. 測定器リストが新規作成されます。



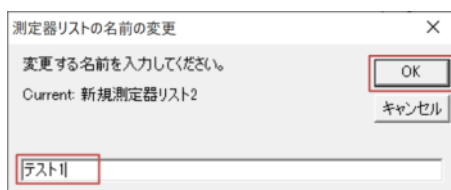
測定器リストの名前を変更する

現在選択している測定器リストの名前を変更する方法について説明します。

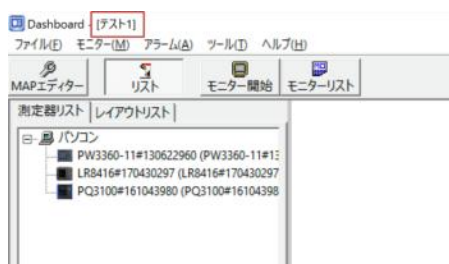
1. [ファイル]-[測定器リストの編集]-[測定器リストの名前の変更]のメニューを選択します。



2. [測定器リストの名前の変更]画面が表示されますので、測定器リスト名を入力して、[OK]ボタンをクリックします。



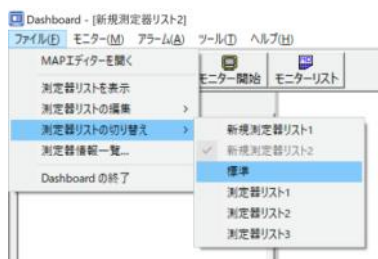
- 測定器リストの名前が変更されます。



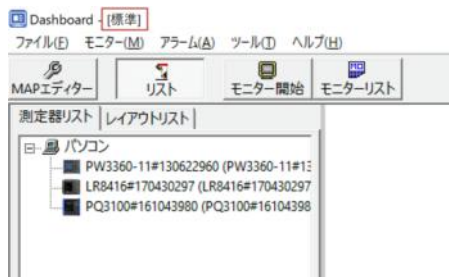
測定器リストを切り替える

測定器リストを切り替える方法について説明します。

- [ファイル]-[測定器リストの切り替え]のメニューを選択して、切り替え先の測定器リストを選択します。



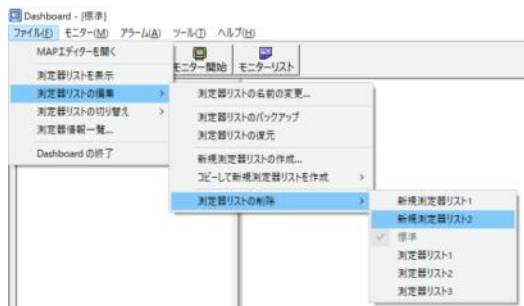
- 選択した測定器リストに切り替わります。



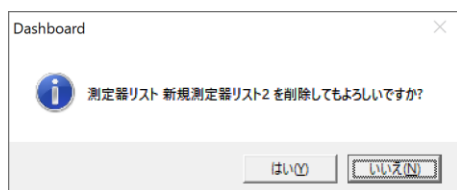
測定器リストを削除する

測定器リストを削除する方法について説明します。

- [ファイル]-[測定器リストの編集]-[測定器リストの削除]のメニューを選択して、削除する測定器リストを選択します。
 ※現在選択されている測定器リストは選択することができません。現在選択している測定器リストを削除したい場合は、一度、別の測定器リストに切り替えてから、対象の測定器リストを削除してください。



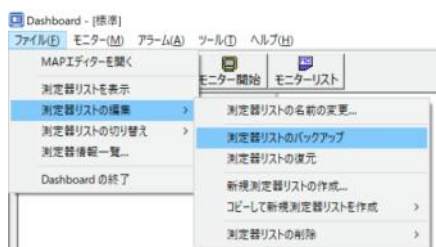
2. 「測定器リスト<測定器リスト名>を削除してよろしいですか。」のメッセージが表示されます。削除する場合は[はい]をクリックします。



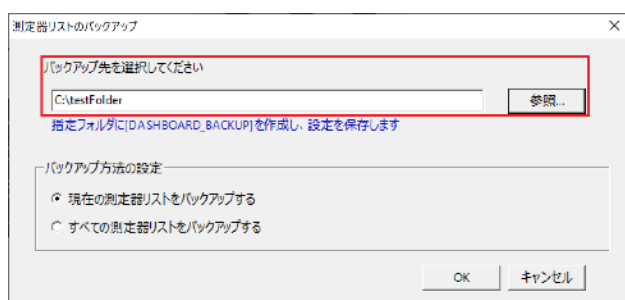
測定器リストをバックアップする

測定器リストをファイルにバックアップする方法について説明します。

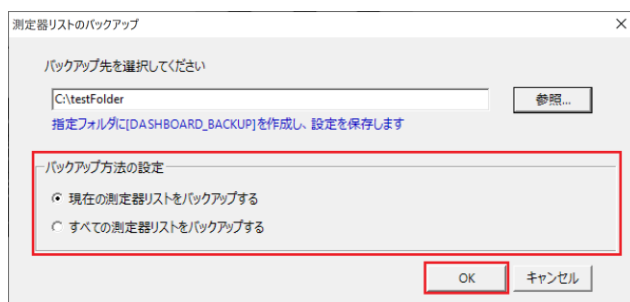
1. [ファイル]-[測定器リストの編集]-[測定器リストのバックアップ]のメニューを選択します。



2. [測定器リストのバックアップ]画面が表示されますので、保存先フォルダを指定します。



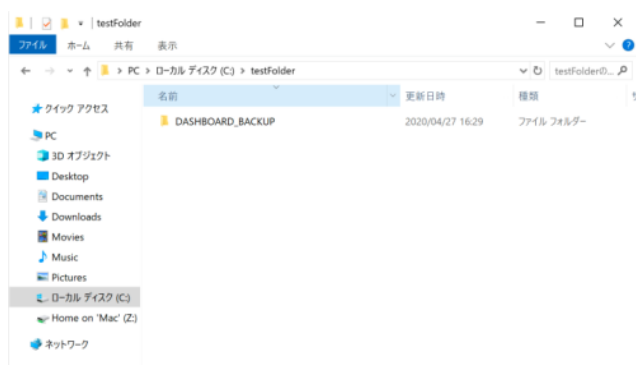
3. [バックアップ方法の設定]でバックアップの対象とする測定器リストを選択して、[OK]ボタンをクリックします。



4. 測定器リストがファイルにバックアップされます。

※ 指定した保存先フォルダの配下に「DASHBOARD_BACKUP」という名前のバックアップフォルダが作成されま

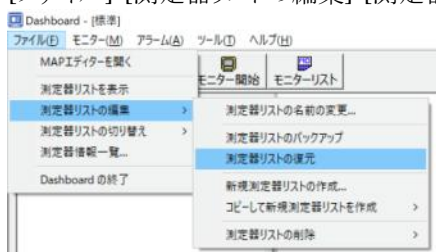
す。



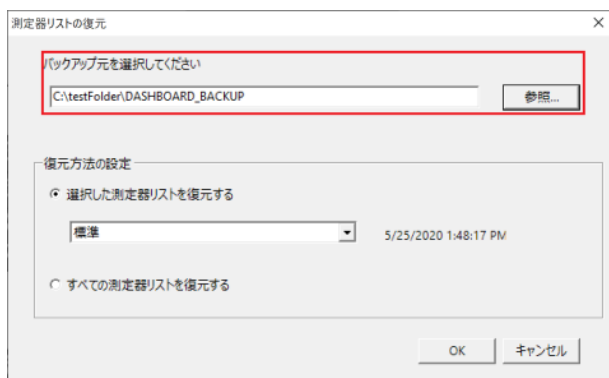
測定器リストを復元する

測定器リストをファイルから復元する方法について説明します。

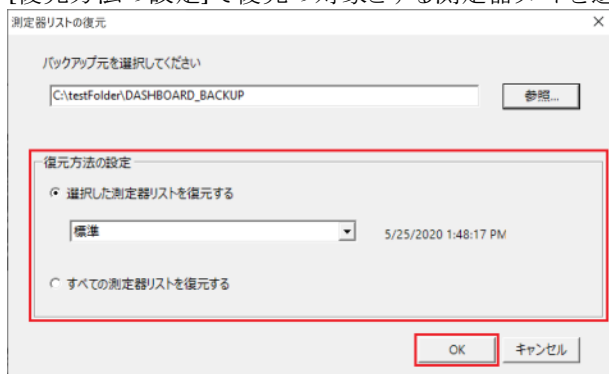
1. [ファイル]-[測定器リストの編集]-[測定器リストの復元]のメニューを選択します。



2. [測定器リストの復元]画面が表示されますので、バックアップの保存先フォルダを指定します。
※ 「DASHBOARD_BACKUP」という名前のバックアップフォルダを指定してください。



3. [復元方法の設定]で復元の対象とする測定器リストを選択して、[OK]ボタンをクリックします。



4. 測定器リストがファイルから復元されます。

アラーム機能

概要

アラーム機能は、測定値のモニター実行中に、測定値がしきい値範囲を超えた場合にアラーム情報を保存する機能です。しきい値は、測定器の詳細設定画面で、測定項目ごとに設定することができます。アラーム判定は PC が行います。

注記 PC-測定器間で通信エラーが起きている間は、測定データをアラーム判定することはできません。

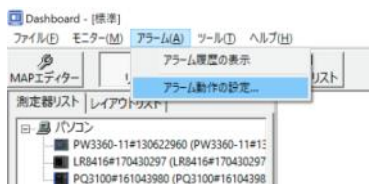
注記 アラーム判定するには、測定器の詳細設定画面でアラーム設定を予め行っておく必要があります。

アラーム設定についての説明は、「測定器の詳細設定をする (p.184)」を参照してください。

アラーム動作を設定する

アラーム発生時の動作の設定を行います。

1. [アラーム]-[アラーム動作の設定]のメニューを選択します。



2. [アラーム動作の設定]画面が表示されます。

[アラーム動作の設定] - [測定データ]タブ



項目	説明
1	アラームが解除されたときに、自動的に確認済みにする場合にチェックを入れます。
2	アラームが発生したときに、アラーム履歴をポップアップ表示する場合にチェックを入れます。
3	アラーム発生時に音を鳴らす場合にチェックを入れ、アラーム音としてサウンドファイルを設定します。

4	<ul style="list-style-type: none"> ・アラームを確認した後、設定した時間が経過してもアラームが解除されない場合にアラームを発生させる場合にチェックを入れます。 ・上記の場合に、再びアラームを発生させるまでの時間を設定します。
---	---

[アラーム動作の設定] - [マスク時間帯]タブ



項目	説明
1	アラームを発生させない時間帯を設定します。

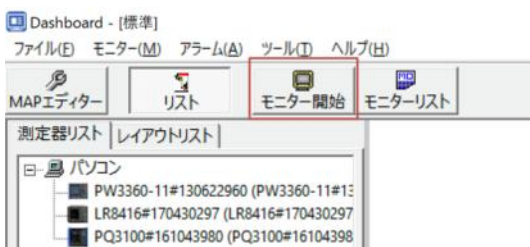
注記

- ・ 入力可能な時間範囲は 00:00 から 23:59 です。
- ・ 入力可能な最小単位は 1 分です。

アラーム機能を使用する

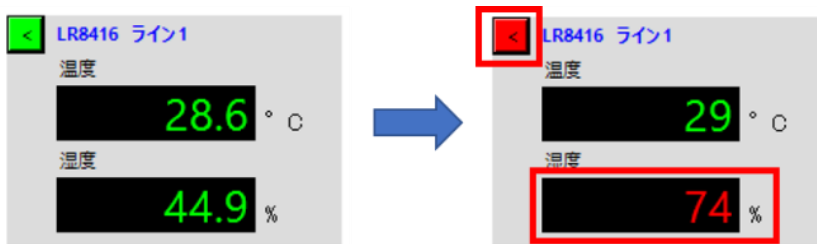
アラーム機能の使用開始方法を説明します。

1. ツールバーの[モニター開始]ボタンをクリックします。



2. 測定値のモニターが開始されます。
測定項目に対してアラーム設定が行われている場合は、しきい値範囲を超えた場合にアラーム判定がされます。アラームが発生すると、アラームが発生した測定値のモニター表示が変化します。

例)



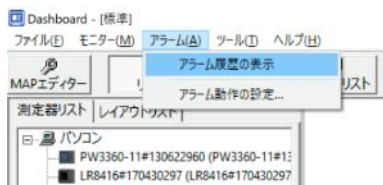
注記

- ・ PC-測定器間で通信エラーが起きている間は、測定データをアラーム判定することはできません。
- ・ アラーム音の設定が行われている場合は、アラームが発生すると、PC からアラーム音が鳴ります。アラーム音を消したい場合は、[アラーム履歴]画面に表示されている該当アラームをクリックしてください。すべてのアラームが「確認済み」になると、アラーム音が解除されます。

アラーム履歴を表示する

アラーム発生情報を表示します。

1. [アラーム]-[アラーム履歴の表示]のメニューを選択します。



2. [アラーム履歴]画面が表示されます。

② 発生時刻	③ 解除時刻	④ ID	⑤ 機種コメント	⑥ 測定項目	⑦ 情報	⑧ 区分	⑨ 確認時刻
04-21 13:26:43		LR8416#170430297	ライン1	湿度	39.9 % (下限:40.0 % 上限:60.0 %)	測定値アラーム	
04-21 13:14:45	04-21 13:15:53	LR8416#170430297	ライン1	湿度	--	測定値アラーム	-
04-21 13:20:37	04-21 13:20:53	LR8416#170430297	ライン1	湿度	60.7 % (下限:40.0 % 上限:60.0 %)	測定値アラーム	-
04-21 13:11:29	-	PW3360-11#130622960	ライン1 入口	電圧	97.51 V (下限:100.00 V 上限:---)	測定値アラーム	04-21 13:12:40
04-21 13:14:45	04-21 13:14:49	LR8416#170430297	ライン1	湿度	--	測定値アラーム	04-21 13:16:06
04-21 13:16:20	04-21 13:16:33	LR8416#170430297	ライン1	湿度	62.9 % (下限:40.0 % 上限:60.0 %)	測定値アラーム	04-21 13:16:39
04-21 13:14:45		PW3360-11#130622960	ライン1 入口	電圧	97.69 V (下限:100.00 V 上限:---)	測定値アラーム	04-21 13:20:25
04-21 13:16:23		LR8416#170430297	ライン1	湿度	27.1 °C (下限:26.0 °C 上限:27.0 °C)	測定値アラーム	04-21 13:20:25
04-21 13:16:51	04-21 13:20:34	LR8416#170430297	ライン1	湿度	39.8 % (下限:40.0 % 上限:60.0 %)	測定値アラーム	04-21 13:20:25

注記

- ・ 未確認のアラームは黄色で表示されます。
- ・ アラームをクリックするとアラームが解除され、確認時刻に日時が入力されます。
- ・ アラーム発生時に[アラーム履歴]画面をポップアップ表示することもできます。設定方法については、「アラーム動作を設定する(p.220)」を参照してください。

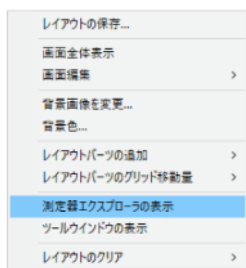
項目		説明
1	日付	アラームが発生した日付を選択します。
2	発生時刻	アラームが発生した時間が表示されます。
3	解除時刻	アラームが解除された時間が表示されます。
4	ID	測定器の形名と製造番号が表示されます。
5	機種コメント	測定器に設定した機種コメントが表示されます。(p184)
6	測定項目	測定項目に設定したチャンネルコメントが表示されます。(p184)
7	情報	アラーム発生時のモニター値(測定値)とアラーム設定値(上限値、下限値)が表示されま
8	区分	アラームの区分として「測定値アラーム」が表示されます。
9	確認時刻	アラームの該当行を確認してクリックすると、確認時間が記録されます。
10	全て確認	クリックすると、その日のすべてのアラームが確認済みになります。

その他の機能

測定器エクスプローラを使用してレイアウトパーツに設定を反映する

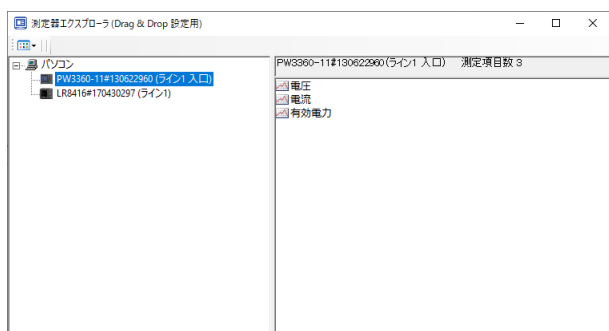
登録済みの測定器設定を使って、簡単にレイアウトパーツに測定項目を設定することができます。

- レイアウトを右クリックし、[測定器エクスプローラの表示]を選択します。



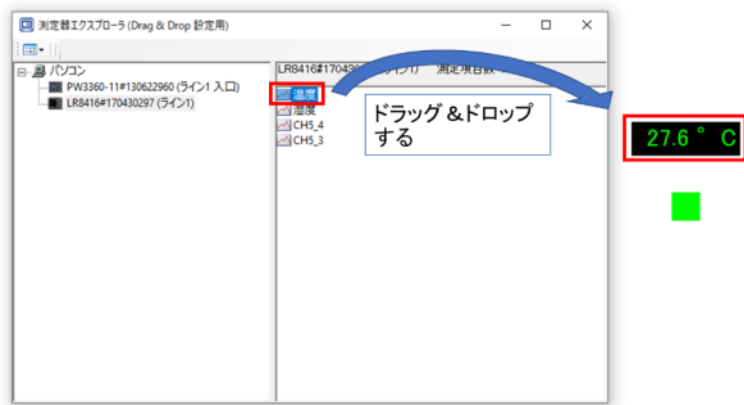
- [測定器エクスプローラ]が表示されます。

登録済みの測定器リスト、および[チャンネル選択]で選択した測定項目が表示されます。

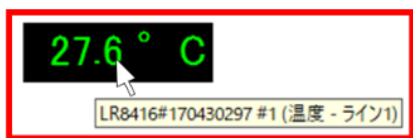


- レイアウトパーツに測定項目をドラッグ&ドロップします。

測定項目、および測定器の詳細設定画面で設定したしきい値設定などがレイアウトパーツに反映されます。



※レイアウトがフォーカスされている状態でレイアウトパーツにカーソルを合わせると、現在の表示測定項目の情報を確認することができます。



注記 測定器エクスプローラによる表示測定項目の設定について

パーツ種類	測定器エクスプローラによる表示測定項目の設定	設定可能な測定項目数(1 パーツごと)
モニターウィンドウ	できない	
測定値ラベル	できる	1つのみ
測定値グラフィック	できる	1つのみ
ON/OFF 表示器	できる	複数可能(※1)
グラフ	できる	複数可能(※2)

※1 ON/OFF 表示器に複数の測定項目を設定した場合、「ON」の判定条件は OR 判定となります。

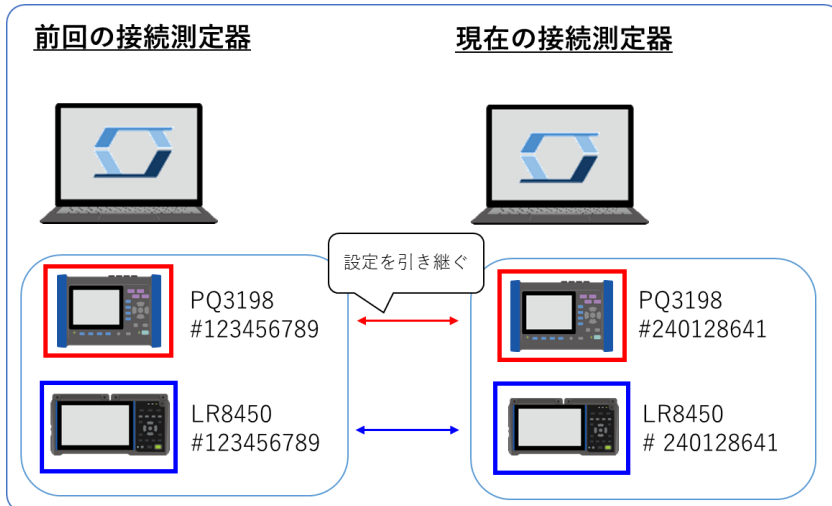
※2 V5.70 より測定器エクスプローラによるグラフパーツへの項目追加も可能になりました。

測定器を置き換える

前回使用した測定器と別の製造番号の測定器を使用する場合に、レイアウトなどの設定を引き継いで使用します。通常、前回と別の測定器を使用する際はレイアウト、選択チャンネル、機種/測定項目のコメント、アラーム上下限值などの設定を引き継ぐことはできませんが、本機能の利用により、形名が同じ測定器であれば設定を引き継ぐことが可能です。

以下のような場合に利用すると便利です。

- 既に作成したレイアウトを使用して、測定器のみを置き換えたいとき
- 作成したレイアウトを別の PC に共有し、別の PC で同機種の測定器を接続して運用したいとき

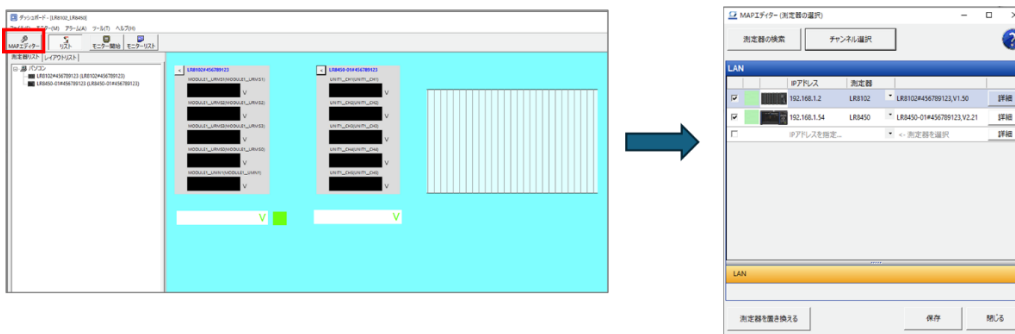


置き換え可能な測定器について

- ・測定器の形名(PQ3100、LR8450 など)が同じであり、かつ測定器本体の設定・モジュールの構成内容が同じ測定器である場合、測定器の置き換えが可能です。
- ・ファームウェアバージョンの異なる測定器間でも置き換えが可能ですが、最新のファームウェアバージョンをご利用いただくことを推奨します。

操作手順

1. ダッシュボードを起動し、置き換えたい測定器リスト(レイアウト)を表示します。
2. [MAP エディター]をクリックします。前回の接続測定器の一覧が表示されます。

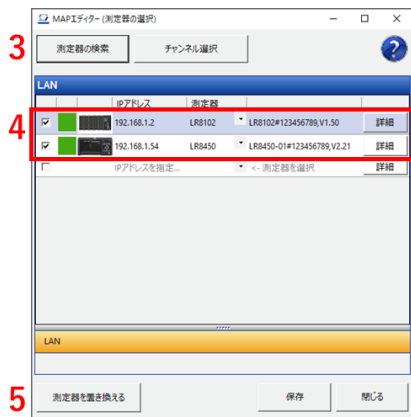


3. 新しい測定器を LAN ケーブルで PC に接続します。[MAP エディター]画面で、[測定器の検索]を行い、測定器を接続済みの状態にします。

※下の画像では、同じ形名の測定器に同じ IP アドレスを使用していますが、異なる IP アドレスでも問題ありません。

4. 接続した測定器のうち、置き換えたい測定器を選択し、チェックをつけます。複数選択も可能です。

5. [測定器を置き換える]ボタンをクリックします。



6. 前回の接続測定器に対し、置き換え可能な測定器が1台以上選択されている場合、[測定器の置き換え設定]画面が表示されます。



[前回の接続測定器]内の任意の測定器をクリックすると、[現在の接続測定器]欄に置き換え可能な測定器が表示されます。

※[詳細]をクリックすると、対象の測定器の選択チャンネル、機種コメント、アラーム上下限值などの設定情報を確認することができます。

7. 置き換える測定器の[設定を引き継ぐ]欄にチェックをつけます。

置き換えたいすべての測定器について同様にチェックを付けた後、[OK]をクリックします。



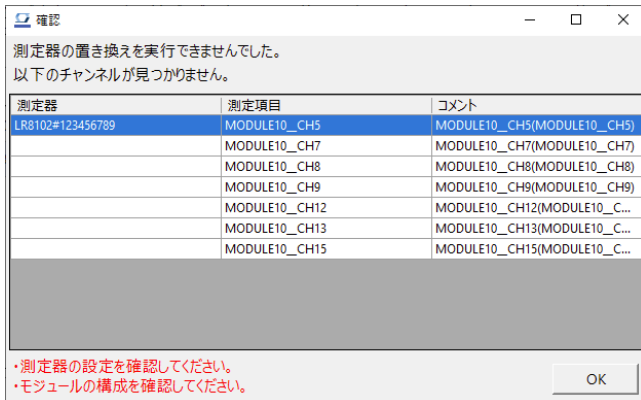
8. 確認メッセージが表示されます。内容に問題がなければ、[はい]をクリックします。



※置き換え設定がされなかった測定器の測定項目(チャンネル)が割り当てられていたレイアウトパーツは、置き換えを実行すると以下の動作になりますので、ご注意ください。

モニターウインドウ	レイアウト上から削除されます。
上記以外	測定項目が未割り当ての状態となり、レイアウト上に残ります。 測定値ラベルの場合の表示例： <input type="text" value="??"/>

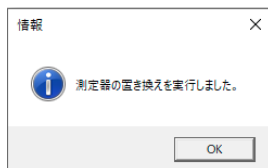
※前回は選択されていたが、現在接続されている測定器では見つからなかった測定項目が1つ以上ある場合は、測定器の置き換えを実行することはできず、以下の画面が表示されます。



測定器の置き換えを実行するためには、以下の項目を確認した後、再度[測定器の置き換え設定]画面にて[OK]をクリックしてください。

- ・測定器の置き換え前後で、測定器の設定が同じであること
- ・測定器の置き換え前後で、モジュールの構成が同じであること
- ・測定器と PC の LAN 接続に問題がないこと

9. 置き換えに成功すると、「測定器の置き換えを実行しました。」のメッセージが表示されます。



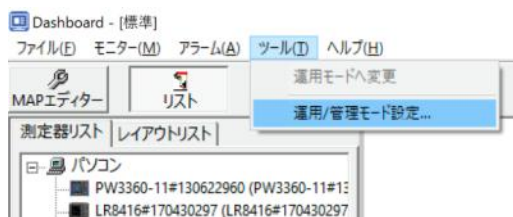
10. 測定器が置き換えられ、レイアウトなどの設定が引き継がれます。



管理者モードを設定する

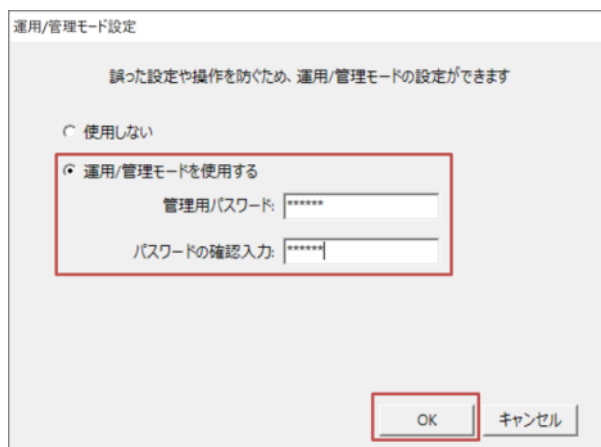
本機能は、パスワードを知っている特定の人だけが各種設定変更を行えるようにする機能です。パスワードを知らない人は「測定値のモニター」のみ行うことができます。

1. [ツール]-[運用/管理モード設定]のメニューを選択します。



2. [運用/管理モード設定]画面が表示されます。

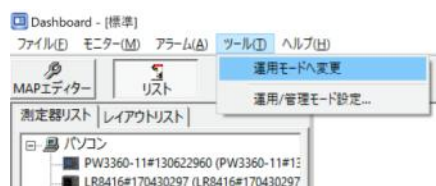
[運用/管理モードを使用する]を選択して、パスワードを2箇所に入力した後、[OK]ボタンをクリックします。



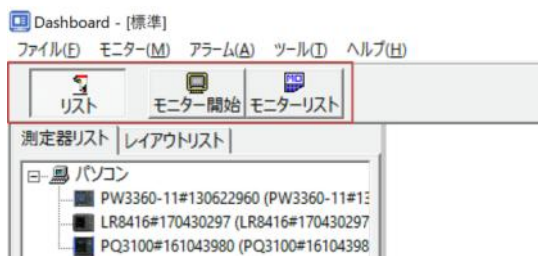
運用モード	<ul style="list-style-type: none"> ・パスワードを知らない人(運用者)がダッシュボード機能を使用するときのモードです。 ・測定値のモニターのみ使用することができます。
管理モード	<ul style="list-style-type: none"> ・パスワードを知っている人(管理者)がダッシュボード機能を使用するときのモードです。 ・各種設定変更などすべての機能を使用することができます。

[管理モード → 運用モード] を切り替える

1. [ツール]-[運用モードへ変更]のメニューをクリックします。

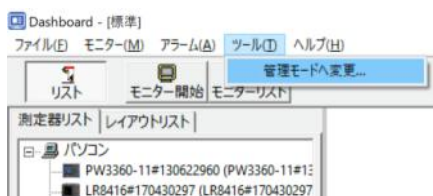


2. ダッシュボード機能が[運用モード]に切り替わります。
測定値のモニターのみ使用することができます。

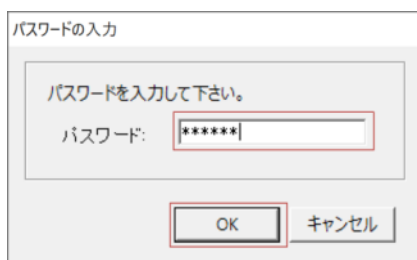


[運用モード → 管理モード] を切り替える

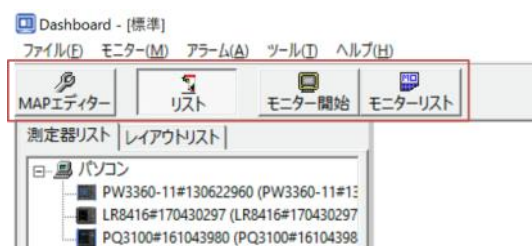
1. [ツール]-[管理モードへ変更]のメニューをクリックします。



2. [パスワードの入力]画面が表示されます。パスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックします。



3. ダッシュボード機能が[管理モード]に切り替わります。
すべての機能を使用することができます。



デモモードを使用する

あらかじめ作成した各レイアウトパーツに、仮の測定値を表示し、本機能の動作確認をすることができます。
測定器が PC に接続されていない場合にも、利用できます。

※事前にレイアウトを作成しておく必要があります。

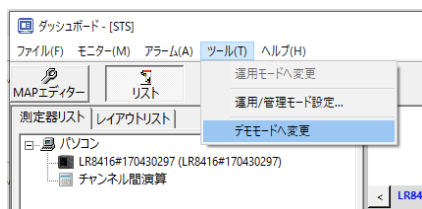
※デモモード開始時に測定器の記録は開始されません。

※デモモード中に表示されたモニター値は PC に保存されません。

※デモモード中に発生したアラーム項目は、区分が[測定値アラーム(DEMO)]と表示されます。この項目は、モニター/デモ開始のタイミングでアラーム履歴から削除されます。

発生時刻	解除時刻	機種コメント	測定項目	情報	区分	確認時刻
12-04 21:...		現場 1	Urms__CH1(Urms__CH1)	3.38 V (下限:10 V 上限:---)	測定値アラーム(DEMO)	

1. [ツール]-[デモモードへ変更]のメニューを選択します。



2. デモモード用のツールバーに切り替わります。[デモ開始]ボタンをクリックします。



3. [デモ設定]画面が表示されます。デモモードの設定をし、[デモ開始]をクリックします。

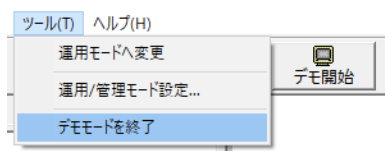


モニター間隔	モニター値が更新される間隔を設定します。(1 秒、2 秒、5 秒、10 秒、30 秒、1 分)
正弦波の振幅	デモモードで出力される正弦波の振幅を設定します。(-3E+38~+3E+38)

4. 各レイアウトパーツに仮のモニター値が表示されます。
5. [デモ停止]をクリックして、モニター値の更新を停止します。



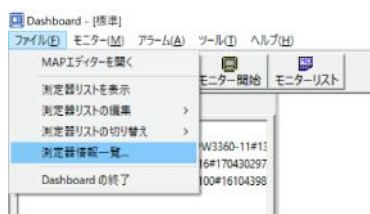
6. [ツール]-[デモモードを終了]のメニューを選択して、デモモードを終了します。



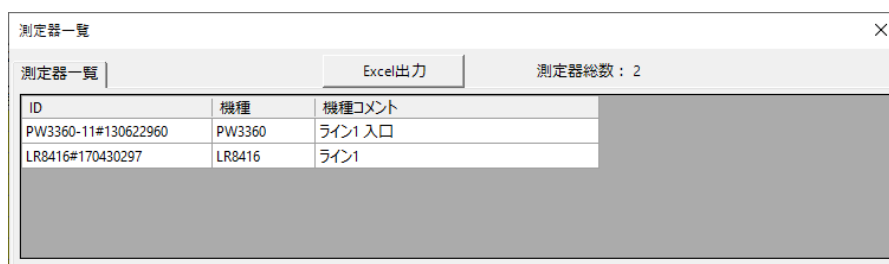
測定器の情報を確認する

測定器の情報を一度に確認することができます。

1. [ファイル]-[測定器情報一覧]を選択します。



2. [測定器一覧]画面が表示されます。



ID	測定器の ID です。測定器ごとに一意の ID が自動的に割り振られています。
機種	測定器の形名です。
機種コメント	測定器の詳細設定画面(p184)において設定した測定器の名称です。

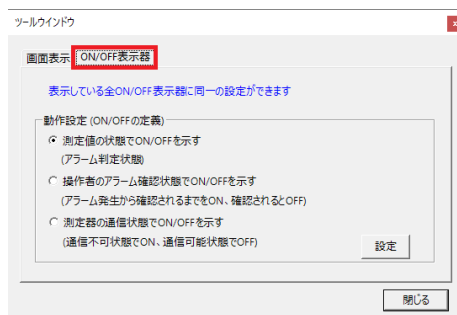
ON/OFF 表示器の動作設定をする

レイアウトに配置されている全ての ON/OFF 表示器に対して、同一の動作設定(ON/OFF の定義設定)をすることができます。

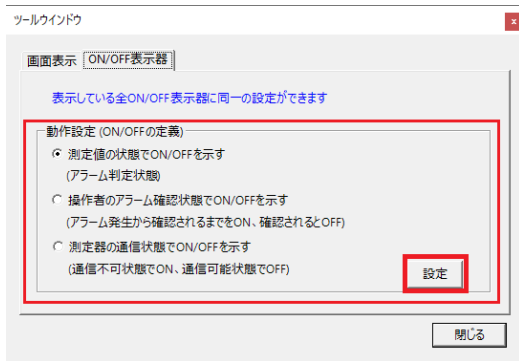
1. レイアウトを右クリックして、[ツールウィンドウの表示]を選択します。



2. [ツールウィンドウ]画面が表示されます。[ON/OFF 表示器]のタブを選択します。



3. ON/OFF 表示器の動作設定をして、[設定]ボタンをクリックします。

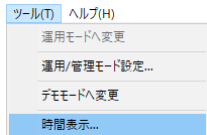


測定値の状態でも ON/OFF を示す	<ul style="list-style-type: none"> 測定値がしきい値範囲を超えた場合に ON 状態にする 測定値がしきい値範囲を下回った場合に OFF 状態にする
操作者のアラーム確認状態でも ON/OFF を示す	<ul style="list-style-type: none"> 測定値がしきい値範囲を超えた場合に ON 状態にする 操作者がアラーム状態を[確認済み]にした場合に OFF 状態にする
測定器の通信状態でも ON/OFF を示す	<ul style="list-style-type: none"> 測定値が取得できない場合に ON 状態にする 測定値が取得できた場合に OFF 状態にする <p>※ 測定値の取得可否にて測定器の通信状態を判断します</p>

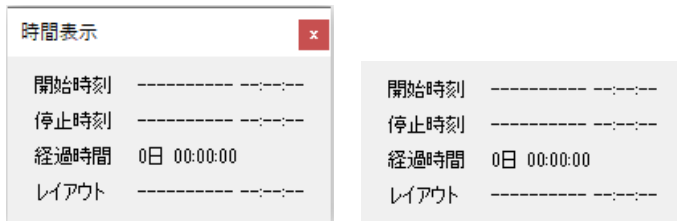
モニターの時間情報を表示する（時間表示ダイアログ）

モニターの開始時刻・停止時刻・経過時間・レイアウト切り替え時刻を画面上に表示することができます。

1. [ツール]-[時間表示]を選択します。

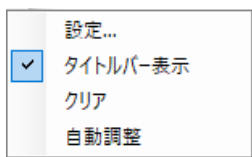


2. 時間表示ダイアログが表示されます。



(左:タイトルバーあり、右:タイトルバーなし)

3. 右クリックするとメニューが表示されます。



右クリックメニュー	説明
設定 (*1)	表示項目、色、文字の大きさ、表示フォーマットを設定します。
タイトルバー表示	タイトルバーの表示／非表示を切り替えます。
クリア	表示をクリアします。モニター中は選択できません。
自動調整	画面サイズを自動調整します。

*1: 設定について



設定	内容	
表示モード	モニター開始時刻	モニター開始時刻の表示／非表示を切り替えます。
	モニター停止時刻	モニター停止時刻の表示／非表示を切り替えます。
	モニター開始からの経過時間	モニター開始からの経過時間の表示／非表示を切り替えます。
	表示レイアウトに切り替えた時刻	表示されているレイアウトを切り替えた時刻の表示／非表示を切り替えます。 モニター開始時はモニター開始時刻と同時刻になります。
色設定	背景色	表示背景色を設定します。
	文字色	表示文字色を設定します。
文字の大きさ	表示される文字の大きさを3段階で指定できます。	
経過時間表示方法	モニター開始からの経過時間の表示フォーマットを指定します。 ※ d:経過日数、H:時間、m:分、s:秒を表しています。	
その他時間表示	モニター開始時刻／停止時刻および表示レイアウトに切り替えた時刻の表示フォーマットを指定します。 ※ y:年、M:月、d:日、H:時間、m:分、s:秒を表しています。	

チャンネル間演算の詳細設定をする

・[ロギング]機能および[ダッシュボード]機能では、あらかじめ設定しておいた演算式で演算し、演算結果を表示することができます。同時に 16 演算まで可能です。

・[ロギング]機能でチャンネル間演算を有効にする手順については以下を参照してください。

➤ [チャンネルを選択する\(演算チャンネルの設定をする\)](#)

・[ダッシュボード]機能でチャンネル間演算を有効にする手順については以下を参照してください。

➤ [チャンネルを選択する\(演算チャンネルの設定をする\)](#)

演算式を設定する

演算式情報を入力する

[ロギング]または[ダッシュボード]機能のチャンネル設定画面にある[演算式入力]ボタンをクリックすると[演算式入力]画面が表示されます。

① 演算式名チェックボックス

演算式名は Z1～Z16 になります。

チェックをつけた演算式の演算結果が[ロギング]または[ダッシュボード]機能にて表示されます。

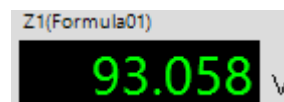
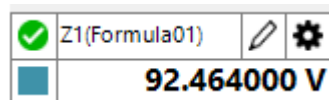
チェック状態は[ロギング]と[ダッシュボード]で別々に保持されます。

② コメント

③ 単位

コメント、単位は直接入力でき、演算結果に “演算式名(コメント)” として表示されます。

コメント、単位は[ロギング]、[ダッシュボード]共通で保持されます。



④ 演算式

演算式は、演算式表示領域をクリックすると表示される[演算式入力(個別)]画面にて設定できます。

設定した演算式に基づいた演算結果が、[ロギング]または[ダッシュボード]機能にて表示されます。
 演算式は[ロギング]、[ダッシュボード]共通で保持されます。

各演算式の入力方法は以下を参照してください。

▶ [各演算式を入力する](#)

⑤ 上限値

⑥ 下限値

上限値、下限値は[ダッシュボード]機能のアラーム機能のしきい値設定です。

上限値、下限値は[ロギング]機能では表示されません。

数値は指数指定も可能で、空白指定の場合はしきい値指定なしになります。

アラーム機能については、以下を参照してください。

▶ [アラーム機能](#)

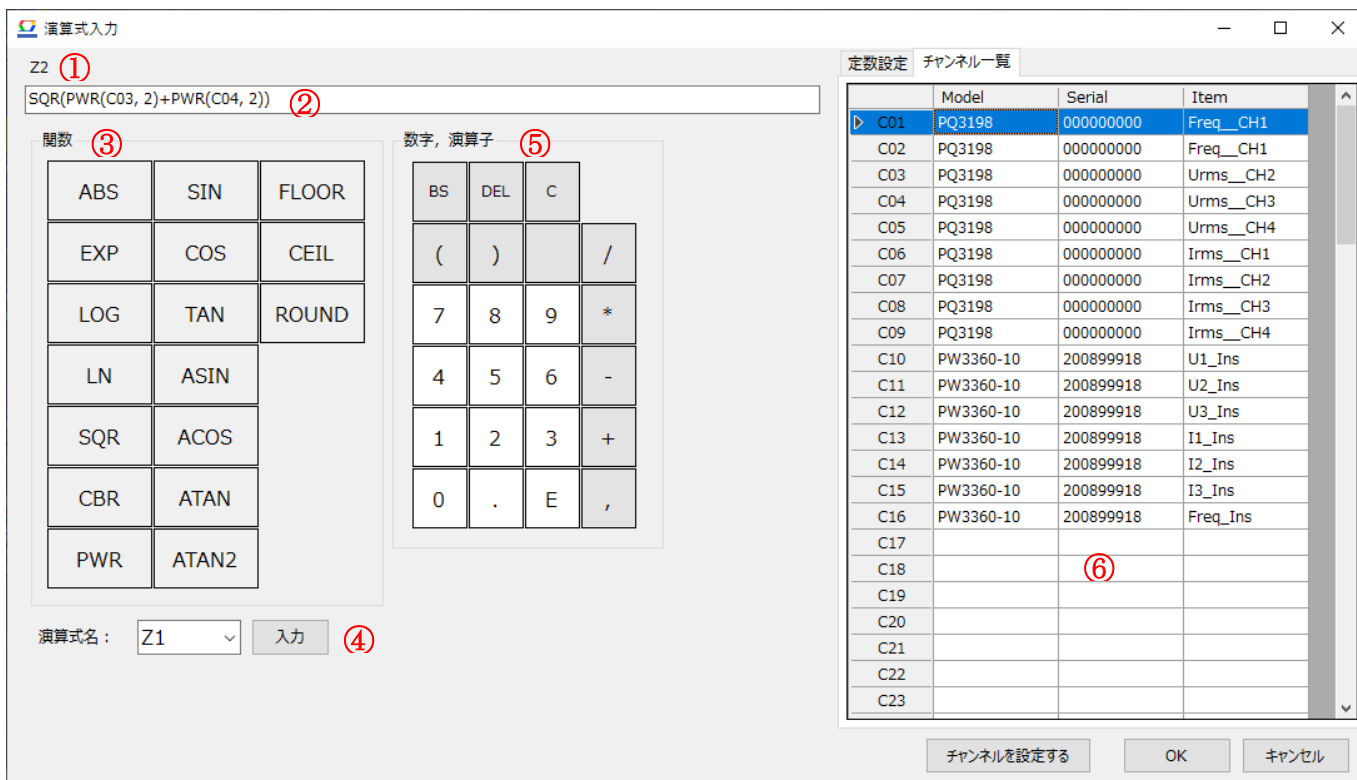
⑦ 演算式設定ファイル

演算式設定(演算式、定数、チャンネル設定)をファイル保存/読み込みすることができます。

ファイルは TSV 形式(タブ区切りテキストファイル)で保存されます。

各演算式を入力する

各演算式は[演算式入力(個別)]画面で編集できます。



① 演算式名

編集している演算式名を表示します。

② 演算式

[ロギング]または[ダッシュボード]機能で表示したい演算結果に用いる演算式を編集できます。

演算式は直接入力、または③～⑥の画面操作にて入力することができます。

演算式には以下を指定することができます。

数値(指数表記も可能)、記号(四則演算、括弧など)、演算子(関数名とパラメータの組合せ)、
 演算式名、チャンネル名、定数名

③ 演算子入力

演算式で使用できる演算子(関数名)をボタン表示しています。
 ボタンをクリックすると演算式に演算子と左括弧が入力されます。
 各演算子については以下を参照してください。

➤ [演算子一覧](#)

④ 演算式名入力

演算式名をコンボボックスから選択し、[入力]ボタンをクリックすると演算式に指定された演算式名を入力します。
 演算式名は Z1～Z16 を指定できますが、演算式が確定できない場合は演算しないように設定されます。
 例) Z1 に Z3 を、Z3 に Z1 を設定すると演算式が確定できないため、演算を行わないようにチェックを外します。

⑤ 数値、記号入力

各ボタンをクリックするとボタンに記載されている文字(数値、四則演算記号など)を演算式に入力します。
 カンマ記号は関数のパラメータ指定に使用し、小数点記号はピリオドを使用します。

⑥ 定数、チャンネル入力

定数または使用チャンネルを指定し、演算式に入力することができます。
 各設定画面はタブを切り替えて表示します。
 各画面については以下を参照してください。

➤ [定数を設定する](#)

➤ [使用チャンネルを設定する](#)

定数を設定する

定数は複数の演算式で共通値を使いたい場合などに a～p の英小文字に割り当てて使用することができます。

定数設定 チャンネル一覧

a	= -2.32E02	i	= 0
b	= 0	j	= 0
c	= 2	k	= 0
d	= 0	l	= 0
e	= 8	m	= 0
f	= 5	n	= 0
g	=	o	= 0
h	= 0	p	= -01

定数値入力用

BS	DEL	C
7	8	9
4	5	6
1	2	3
0	.	E
		+/-

① 定数名ボタン

クリックすると演算式に定数名(a～p)を入力します。

② 定数値入力

定数を直接編集できます。
 数値は指数指定も可能で、空白または無効値の場合は 0 が指定されます。

③ 数値入力

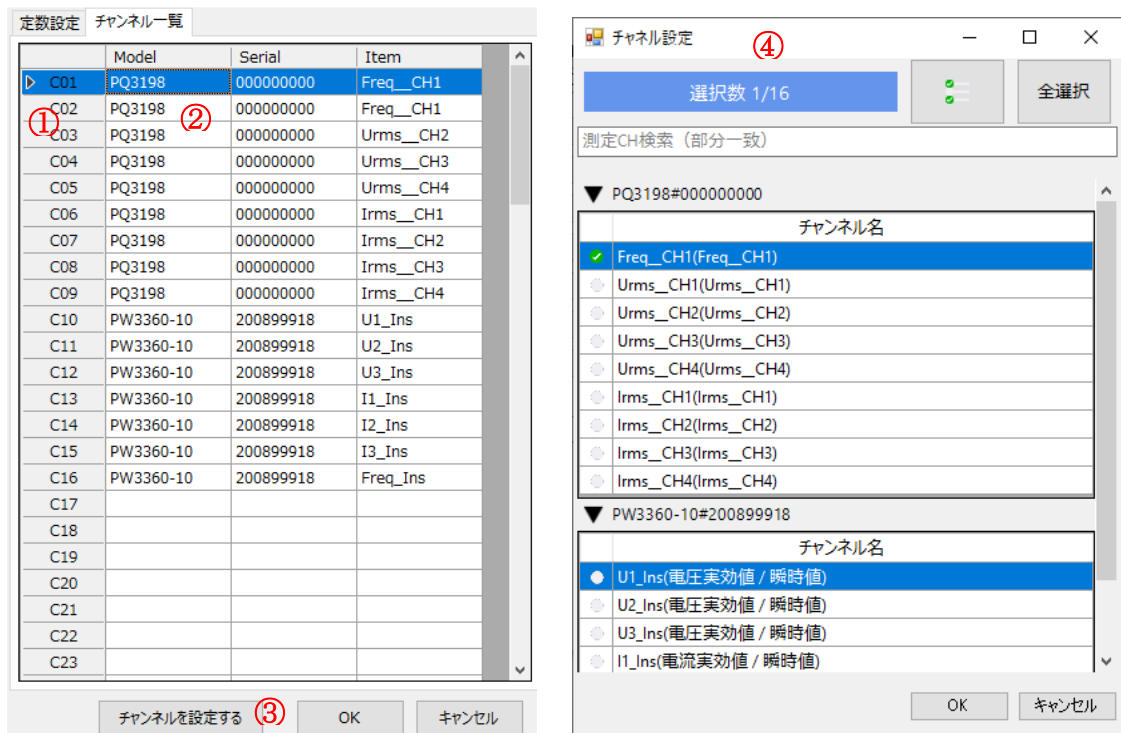
各ボタンをクリックするとボタンに記載されている文字を定数値入力部分に入力します。
[+-]ボタンをクリックすると、正負の記号を変更します。

使用チャンネルを設定する

使用するチャンネルを割り当てて演算式に使用することができます。

チャンネルは C01～C99 の 99 個指定することができます。

[ロギング]または[ダッシュボード]機能のチャンネル設定画面で選択されていないチャンネルを指定している場合は、演算結果が無効値として表示されます。



① チャンネル名

チャンネル名をダブルクリックすると、演算式にチャンネル名 (C01～C99) を入力します。

② チャンネル設定一覧

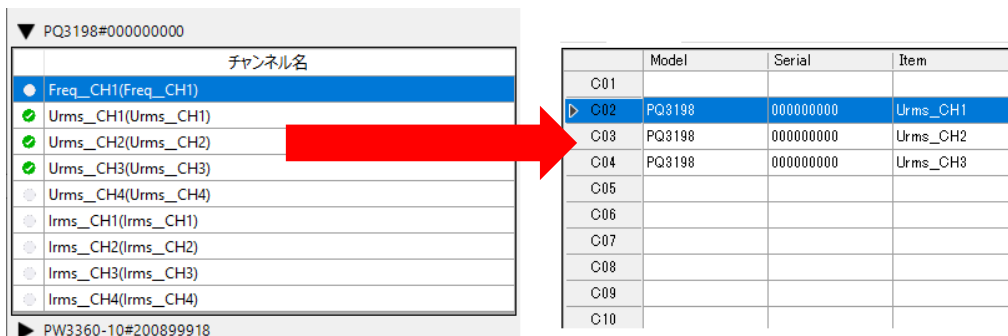
現在設定されているチャンネル設定を一覧表示します。
直接編集はできません。

③ [CH 設定]ボタン

ボタンをクリックするとチャンネル指定画面 (④) が表示されます。

④ チャンネル指定画面

[ロギング]または[ダッシュボード]機能のチャンネル設定画面で選択されているチャンネルが一覧表示されます。
使用したいチャンネルをチェックすると、チャンネル設定一覧の選択行を先頭にチェックされたチャンネル情報が設定されます。



演算子一覧

演算子名	パラメータ数 演算子例	演算内容
ABS	1 ABS(x)	パラメータ 1 の絶対値を返します。(負の値が正になる)
EXP	1 EXP(x)	自然対数 e を底とするパラメータ 1 のべき乗を返します。(e のべき乗)
LOG	1 LOG(x)	パラメータ 1 の 10 を底とする対数を返します。パラメータは正の値でなければなりません。
LN	1 LN(x)	パラメータ 1 の自然対数を返します。パラメータは正の値でなければなりません。
SQR	1 SQR(x)	パラメータ 1 の平方根を返します。
CBR	1 CBR(x)	パラメータ 1 の立方根を返します。
PWR	2 PWR(x, y)	パラメータ 1 を底とするパラメータ 2 のべき乗を返します。 (^ 記号は使用できません。)
SIN	1 SIN(x)	パラメータ 1 の正弦を返します。(度指定)
COS	1 COS(x)	パラメータ 1 の余弦を返します。(度指定)
TAN	1 TAN(x)	パラメータ 1 の正接を返します。(度指定)
ASIN	1 ASIN(x)	パラメータ 1 の逆正弦を-1 から 1 の範囲で指定し、-90～90 度の範囲で返します。
ACOS	1 ACOS(x)	パラメータ 1 の逆余弦を-1 から 1 の範囲で指定し、-90～90 度の範囲で返します。
ATAN	1 ATAN(x)	パラメータ 1 の逆正接を-90～90 度の範囲で返します。
ATAN2	2 ATAN2(x, y)	パラメータ 1 を分母、パラメータ 2 を分子とした値の逆正接を-90～90 度の範囲で返します。
FLOOR	2 FLOOR(x, y)	パラメータ 1 をパラメータ 2 に指定した小数点以下桁数で切り捨てた値を返します。
CEIL	2 CEIL(x, y)	パラメータ 1 をパラメータ 2 に指定した小数点以下桁数で切り上げた値を返します。
ROUND	2 ROUND(x, y)	パラメータ 1 をパラメータ 2 に指定した小数点以下桁数で四捨五入した値を返します。

※ 演算説明に記載している演算式例のパラメータは 1 番目を x、2 番目を y として表記しています。

自動出力（日報・週報・月報）の詳細設定をする

- 自動出力の基本仕様と詳細な設定内容について記述します。
- [ロギング]機能で自動出力(日報・週報・月報)を有効にする手順については以下を参照してください。
 - [ロギングの条件を設定する](#)
- [ダッシュボード]機能で自動出力(日報・週報・月報)を有効にする手順については以下を参照してください。
 - [測定値のモニターを開始/停止する](#)

帳票基本仕様

<日報出力例>

日報

作成日: 2021-09-27 09:00:00

1 使用機器情報 (3/1)

測定器	機種	測定ポイント	開始時刻	停止時刻
測定器1	LRB450-4	LRB450-4-1	2021-09-28 00:00:00	2021-09-28 23:59:59
測定器2	LRB450-4	LRB450-4-2	2021-09-28 00:00:00	2021-09-28 23:59:59
測定器3	LRB450-4	LRB450-4-3	2021-09-28 00:00:00	2021-09-28 23:59:59
測定器4	LRB450-4	LRB450-4-4	2021-09-28 00:00:00	2021-09-28 23:59:59

データ一覧

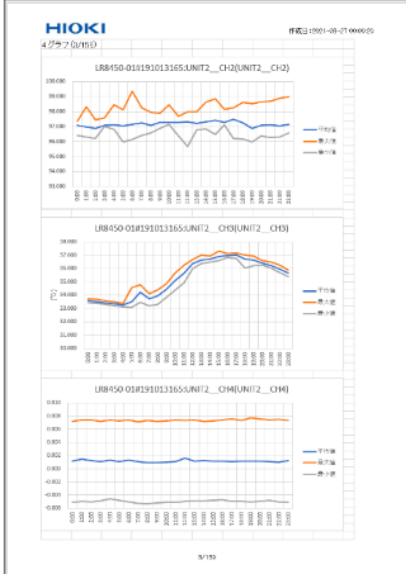
作成日: 2021-09-27 10:00:00

日	時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
09/27	00:00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

データ要約

作成日: 2021-09-27 10:00:00

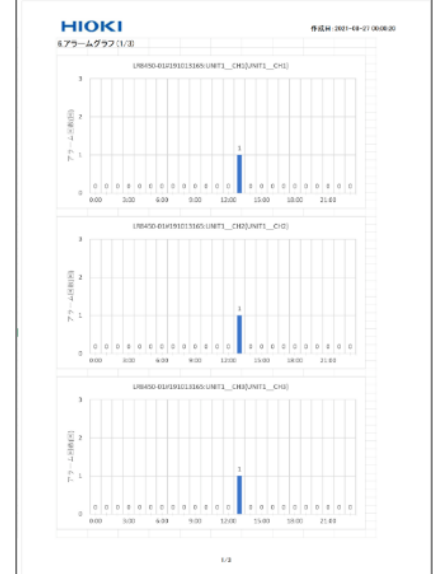
日	時	平均	最大	最小	標準偏差	最大値	最小値
09/27	00:00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00



5パラメータ (1/2)

作成日: 2021-09-27 09:00:00

日	時	UNIT_1-CH1	UNIT_1-CH2	UNIT_1-CH3	UNIT_1-CH4	UNIT_1-CH5	UNIT_2-CH1	UNIT_2-CH2	UNIT_2-CH3	UNIT_2-CH4	UNIT_2-CH5
09/27	00:00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

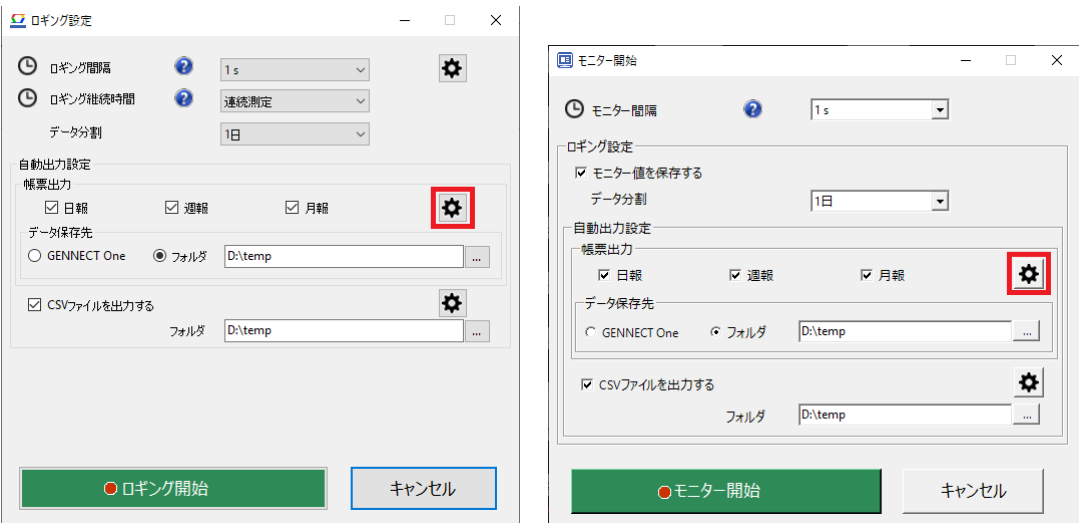


	帳票出力項目	説明
1	使用機器情報	[出力チャンネル選択]画面で選択された全ての機器の情報を表形式で出力します。
2	チャンネル情報	[出力チャンネル選択]画面で選択された全てのチャンネルの情報を表形式で出力します。 チャンネルに対し上下限値が設定されている場合、設定された値を出力します(※1)。
3	データリスト	各チャンネルの平均値/最大値/最小値を指定された間隔(30分 or 1時間)で集計し、表形式で出力します。
4	グラフ	各チャンネルの平均値/最大値/最小値を指定された間隔(データリストと同じ間隔)で集計し、グラフ形式で出力します。 1ページあたり3つ(3CH分)のグラフが出力されます。
5	アラームリスト(※1)	各チャンネルの集計間隔(30分 or 1時間)あたりのアラーム発生回数を表形式で出力します。
6	アラームグラフ(※1)	各チャンネルの集計間隔(アラームリストと同じ間隔)あたりのアラーム発生回数を棒グラフ形式で出力します。 1ページあたり3つ(3CH分)のグラフが出力されます。
7	アラーム履歴(※1)	測定期間中に発生した全てのアラーム情報を、時系列順に表形式で出力します。

(※1) ダッシュボード機能使用時のみ出力できます。

自動出力設定画面を開く

1. [ロギング設定]画面、または[モニター開始]画面で、画像赤枠部の[⚙️]ボタンをクリックします。



2. [自動帳票出力設定]画面が開きます。

自動出力の詳細設定をする

[全般]設定をする



設定項目	説明
1 帳票(日報)を出力する	帳票(日報)を出力するかどうかを指定します。
2 データ保存先	GENNECT One
	フォルダ
3 保存形式	Excel
4 保存方法(※2)	バックアップをする
	バックアップをしない
5 ファイル名(※2)	<ファイル名ボディ>に使用する文字列を指定します。デフォルト値は”AutoReport”です。
6 コメント	
7 ロゴ	HIOKI ロゴ
	ロゴなし
	任意の画像
8 帳票出力項目	使用機器情報 チャンネル情報 データリスト グラフ アラーム統計リスト(※1) アラーム統計グラフ(※1) アラーム履歴(※1)
	のうち、帳票に出力する項目を指定します(複数指定可)(※3)。[詳細設定...]をクリックすると、[帳票出力項目の詳細設定]画面が開きます。
9 測定値・統計値の表示形式	小数
	指数
	小数点以下桁数

(※1) ダッシュボード機能のみの設定です。ロギング機能使用時には表示されません。

(※2) ファイルの命名規則について
例)ファイル名(ファイル名ボディ):AutoReport、測定開始日時:2021/08/31

・保存方法:バックアップをするの場合

“AutoReport.xlsx” と バックアップファイル:AutoReport_2021-08-31.xlsx が作成されます。
 指定された保存先に AutoReport.xlsx が存在する場合は上書きします。
 指定された保存先にバックアップファイル:AutoReport_2021-08-31.xlsx が存在する場合は連番が付けられます。
 :AutoReport_2021-08-31_1.xlsx

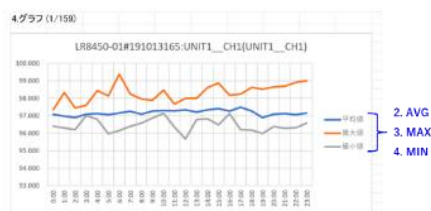
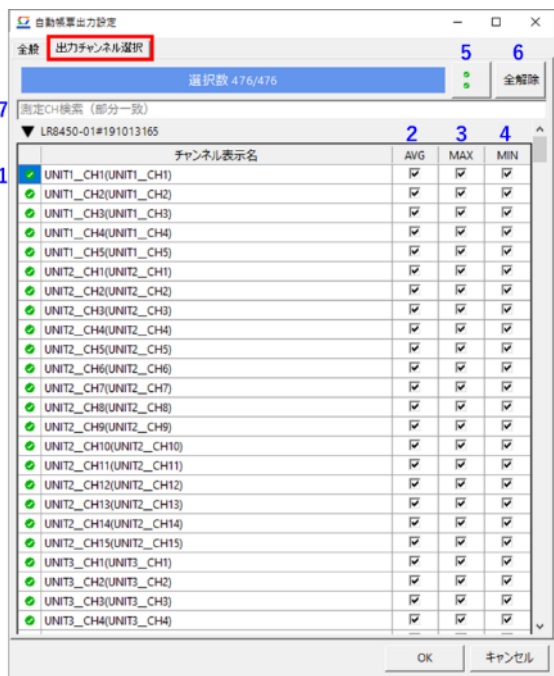
・保存方法:バックアップをしないの場合

AutoReport.xlsx のみが作成されます。
 指定された保存先に AutoReport.xlsx が存在する場合は上書きします。

(※3) [使用機器情報]のチェックを外した場合、日報タイトル部のみが帳票に出力されます。

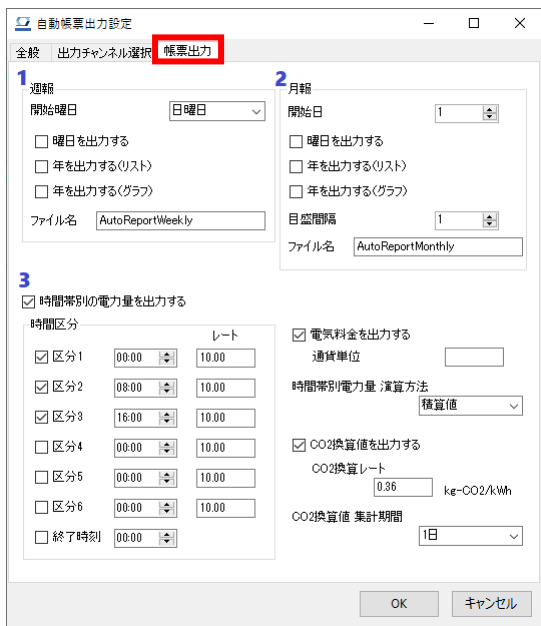
[出力チャンネル選択]の設定をする

- ・ロギングに使用するチャンネルとして選択したチャンネルの中から、帳票に出力するチャンネルを選択します。
- ※ここでチェックを外したチャンネルもロギングデータとして保存されます。
- ・チャンネルごとに集計間隔(30分または1時間)あたりの平均値/最大値/最小値を出力するかどうかを指定できます。



項目	説明
1	帳票に出力するチャンネルにチェックをつけます。
2	AVG 集計間隔(30分 or 1時間)あたりの平均値を出力する場合、チェックをつけます。
3	MAX 集計間隔(30分 or 1時間)あたりの最大値を出力する場合、チェックをつけます。
4	MIN 集計間隔(30分 or 1時間)あたりの最小値を出力する場合、チェックをつけます。
5	リストに表示する測定チャンネルを選択済みのチャンネルに限定することができます
6	項目 1 の選択状態を切り替えることができます。(すべて選択またはすべて選択解除)
7	リストに表示する測定チャンネルをチャンネル名で絞り込むことができます。

[帳票出力]の詳細な出力設定をする



設定項目	説明	
1 週報	開始曜日	週報の先頭曜日を指定します。
	曜日を出力する	日付に曜日を出力するか指定します。
	年を出力する(リスト)	リストの日付を年月日出力にするか指定します。
	年を出力する(グラフ)	グラフの先頭日付を年月日出力にするか指定します。
	ファイル名	週報のファイル名を指定します。
2 月報	開始日	月報の先頭日を指定します。
	曜日を出力する	日付に曜日を出力するか指定します。
	年を出力する(リスト)	リストの日付を年月日出力にするか指定します。
	年を出力する(グラフ)	グラフの先頭日付を年月日出力にするか指定します。
	目盛間隔	グラフ横軸(日)の目盛間隔を指定します。
	ファイル名	月報のファイル名を指定します。
3 デマンドリスト設定 (※1)	時間帯別の電力量を出力する (※2, 3)	時間帯別の有効電力量を出力します。
	時間区分 (※2)	区分 1~6: 指定時間区分の有効/無効を指定します。 終了時間: 区分終了時間の有効/無効および終了時間を指定します。 * 時間区分は先頭時間および電気料金レートを指定できます。 * 先頭時間、終了時間は時単位指定となります。
	電気料金を出力する (※2, 3, 4, 5, 6)	時間帯別の有効電力量および電気料金レートを使用して、時間帯別の電気料金を出力します。 * 時間帯別の電力量を出力せず、電気料金のみ出力できます。
	通貨単位 (※2, 4, 5, 6)	電気料金の通貨単位を指定します。
	時間帯別電力量 演算方法 (※2, 3, 4, 5, 6)	時間帯別の有効電力量の演算方法を選択できます。 時間平均値: 時間区分値・電気料金・CO2 換算値を時間平均値で出力します。 積算値: 時間区分値・電気料金・CO2 換算値を積算値で出力します。
	CO2 換算値を出力する (※2, 3)	出力期間の有効電力量を CO2(二酸化炭素) 排出量に換算して出力します。
	CO2 換算レート (※2)	CO2 換算値の換算レートを指定します。
	CO2 換算値 集計期間	CO2 換算値の集計期間を選択できます。 1日: 24時間集計で表示します。 有効時間帯のみ: 時間区分指定の時間帯のみ集計して表示します。

※1: PW3360, PW3365, PQ3100, PQ3198 の測定項目のうち電力量・デマンド量・デマンド値などの項目を出力選択すると、帳票に[デマンドリスト]タブが追加されます。

※2: PW3360, PW3365, PQ3100, PQ3198 の測定項目のうち有効電力デマンド量(消費)を出力選択すると、[デマンドリスト]の下部に対象行が追加されます。

CO2換算値(時間当たり) (0.3600kg-CO2/kW)	[kg-CO2]	25.596
時間区分1(時間当たり) (00:00-08:00)	[kW]	71.100
電気料金1(時間当たり) (10.00/kW)	参考値	711.000

出力例

※3：[時間帯別電力量 演算方法]を“時間平均値”に指定した場合、CO2 換算値・時間帯別電力量・電気料金は1時間当たりの演算値が出力されますので、指定期間内の集計値は指定期間内の時間を乗算することで算出することができます。

※4：[時間帯別電力量 演算方法]を“積算値”に指定した場合、出力欄が下図のように変更になります。

CO2換算値(積算値) (0.3600kg-CO2/kWh)	[kg-CO2]	25.596
時間区分1(積算値) (00:00-08:00)	[kWh]	71.100
電気料金1(積算値) (10.00/kWh)	参考値	711.000

出力例

※5：電気料金の出力値は参考値となります。(取引や証明における計量には使用できません)

※6：PW3360, PW3365 本体の出力項目の電気料金とは異なります。

帳票出力項目の詳細な出力設定をする

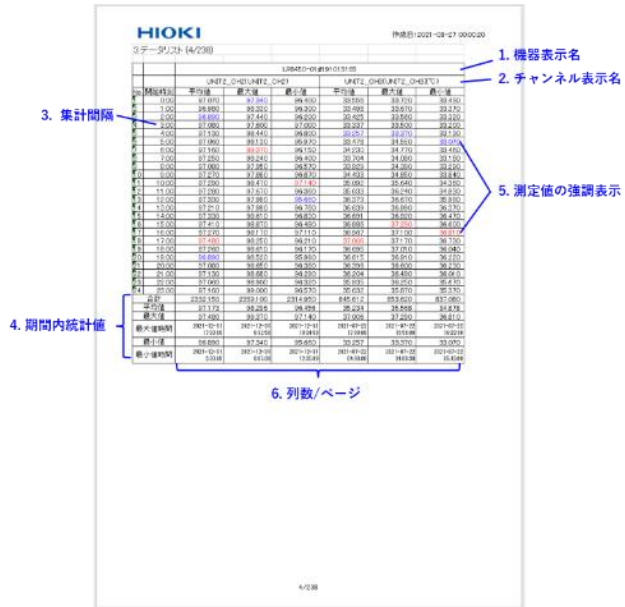
・帳票出力項目(データリスト、グラフ、アラームリスト、アラームグラフ、アラーム履歴)について、より詳細な出力設定をすることができます。

1. [自動帳票出力設定]画面の[詳細設定...]ボタンをクリックします。



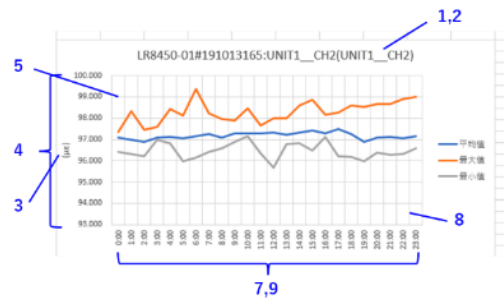
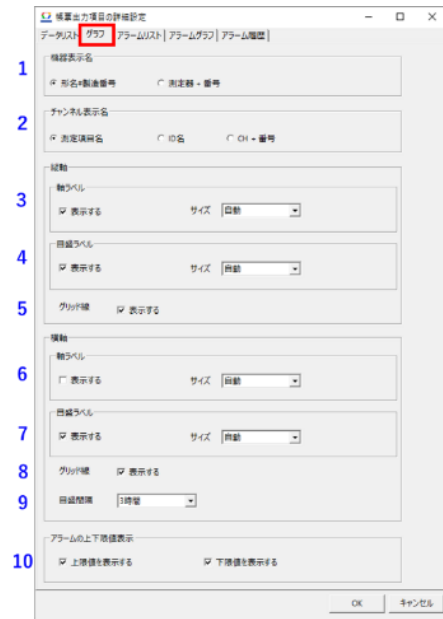
2. [帳票出力項目の詳細設定]画面が開きます。
それぞれの画面で設定できる内容は以下を参照してください。

[データリスト]の詳細な出力設定をする



設定項目	説明
1 機器表示名	形名#製造番号 機器表示名を「形名#製造番号」の形式で出力します。
	測定器+番号 機器表示名を「測定器 1」、「測定器 2」、「測定器 3」、...の形式で出力します。 [使用機器情報]の測定器 1,測定器 2,...に対応しています。
2 チャンネル表示名	測定項目名 チャンネル表示名として、チャンネルに固有の測定項目名を出力します。 例: U1_Ins_Avg (電圧表効値 / 平均値)
	ID 名 チャンネル表示名として、チャンネルに固有の ID 名を出力します。 例: U1_Ins_Avg
	CH+番号 チャンネル表示名を「CH1」、「CH2」、「CH3」、...の形式で出力します。 [チャンネル情報]の CH1,CH2,...に対応しています。
3 集計間隔	30 分単位 30 分ごとに集計した平均値/最大値/最小値を出力します。
	1 時間単位 1 時間ごとに集計した平均値/最大値/最小値を出力します。
4 期間内統計値	測定期間内の平均値、最大値、最大値発生時間、最小値、最小値発生時間、合計を出力するかどうかを指定します(複数指定可)。
5 測定値の強調表示	最大値を強調表示する 測定期間内の最大値を指定した色で強調表示するかどうかを指定します。
	色 最大値の強調表示に用いる色を指定します。
	最小値を強調表示する 測定期間内の最小値を指定した色で強調表示するかどうかを指定します。
色 最小値の強調表示に用いる色を指定します。	
6 列数/ページ	3 列/6 列/9 列 1 ページあたりに出力するデータリストの列数を指定します。

[グラフ]の詳細な出力設定をする



設定項目	説明
1 機器表示名	形名#製造番号 機器表示名を「形名#製造番号」の形式で出力します。
2 チャンネル表示名	測定器+番号 機器表示名を「測定器 1」、「測定器 2」、「測定器 3」...の形式で出力します。
	測定項目名 チャンネル表示名として、チャンネルに固有の測定項目名を出力します。 例: U1_Ins_Avg (電圧実効値 / 平均値)
	ID 名 チャンネル表示名として、チャンネルに固有の ID 名を出力します。 例: U1_Ins_Avg
3 縦軸-軸ラベル	CH+番号 チャンネル表示名を「CH1」、「CH2」、「CH3」...の形式で出力します。
	表示する 縦軸の軸ラベルを表示するかどうかを指定します。
	サイズ 縦軸の軸ラベルのフォントサイズ(pt)を指定します。
4 縦軸-目盛ラベル	表示する 縦軸の目盛ラベルを表示するかどうかを指定します。
	サイズ 縦軸の目盛ラベルのフォントサイズ(pt)を指定します。
5 縦軸-グリッド線	表示する 縦軸のグリッド線を表示するかどうかを指定します。
6 横軸-軸ラベル	表示する 横軸の軸ラベルを表示するかどうかを指定します。
	サイズ 横軸の軸ラベルのフォントサイズ(pt)を指定します。
7 横軸-目盛ラベル	表示する 横軸の目盛ラベルを表示するかどうかを指定します。
	サイズ 横軸の目盛ラベルのフォントサイズ(pt)を指定します。
8 横軸-グリッド線	表示する 横軸のグリッド線を表示するかどうかを指定します。
9 横軸-目盛間隔	1 時間/3 時間 横軸の目盛間隔を指定します。
10 アラームの上下限值表示 (※1)	上限値を表示する グラフにアラームの上限値を表示するかどうかを指定します。
	下限値を表示する グラフにアラームの下限値を表示するかどうかを指定します。

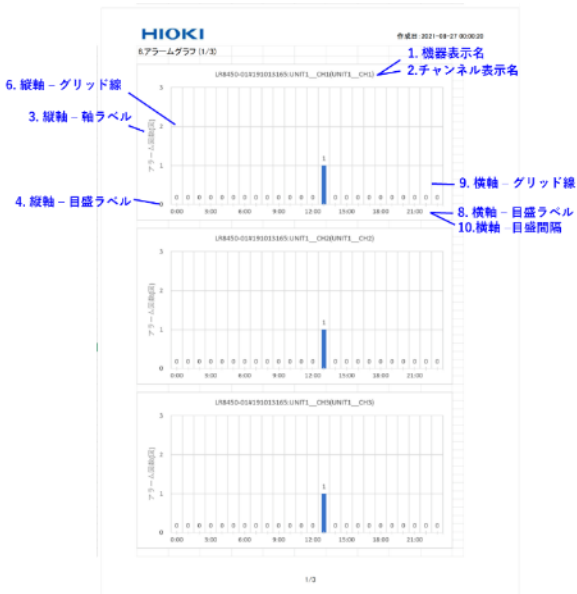
※1: ダッシュボード機能のみの設定です。ロギング機能使用時には表示されません。

[アラームリスト]の詳細な出力設定をする



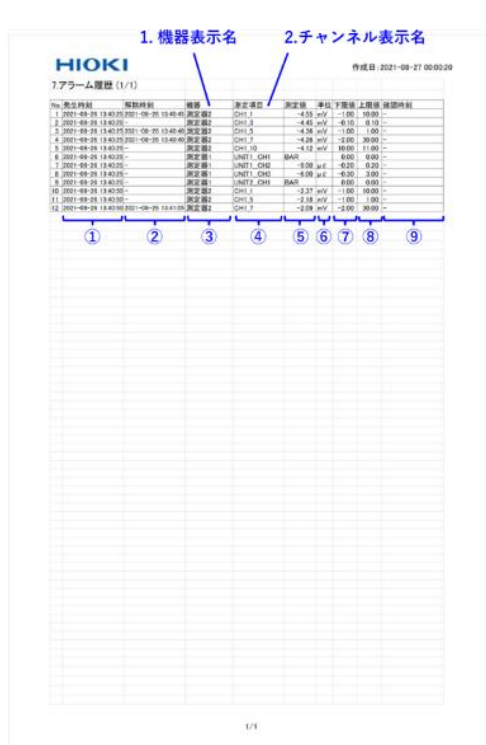
設定項目	説明
1 機器表示名	形名#製造番号 機器表示名を「形名#製造番号」の形式で出力します。
2 チャンネル表示名	測定項目名 機器表示名を「測定器 1」、「測定器 2」、「測定器 3」...の形式で出力します。 例: U1_Ins_Avg (電圧実効値 / 平均値)
	ID 名 チャンネル表示名として、チャンネルに固有の ID 名を出力します。 例: U1_Ins_Avg
	CH+番号 チャンネル表示名を「CH1」、「CH2」、「CH3」...の形式で出力します。
3 集計間隔	30 分単位 30 分あたりのアラーム回数を出力します。
4 期間内統計値	1 時間単位 1 時間あたりのアラーム回数を出力します。
	測定期間内の平均値、最大値、最小値、合計を出力するかどうかを指定します (複数指定可)。
5 測定値の強調表示	最大値を強調表示する 測定期間内の最大値を指定した色で強調表示するかどうかを指定します。
	色 最大値の強調表示に用いる色を指定します。
	最小値を強調表示する 測定期間内の最小値を指定した色で強調表示するかどうかを指定します。
色 最小値の強調表示に用いる色を指定します。	
6 列数/ページ	3 列/6 列/9 列 1 ページあたりに出力するアラームリストの列数を指定します。

[アラームグラフ]の詳細な出力設定をする



設定項目	説明
1 機器表示名	形名#製造番号 機器表示名を「形名#製造番号」の形式で出力します。
	測定器+番号 機器表示名を「測定器 1」、「測定器 2」、「測定器 3」、...の形式で出力します。
2 チャンネル表示名	測定項目名 チャンネル表示名として、チャンネルに固有の測定項目名を出力します。 例: U1_Ins_Avg(電圧実効値 / 平均値)
	ID 名 チャンネル表示名として、チャンネルに固有の ID 名を出力します。 例: U1_Ins_Avg
	CH+番号 チャンネル表示名を「CH1」、「CH2」、「CH3」、...の形式で出力します。
3 縦軸-軸ラベル	表示する 縦軸の軸ラベルを表示するかどうかを指定します。
	サイズ 縦軸の軸ラベルのフォントサイズ(pt)を指定します。
4 縦軸-目盛ラベル	表示する 縦軸の目盛ラベルを表示するかどうかを指定します。
	サイズ 縦軸の目盛ラベルのフォントサイズ(pt)を指定します。
5 縦軸-表示範囲	各グラフで自動スケール 縦軸の表示範囲を、各グラフで自動に指定します。
	全てのグラフで同一スケール 全てのグラフの縦軸の表示範囲を、出力されているグラフのうち最も表示範囲の広いグラフの表示範囲に統一します。
6 縦軸-グリッド線	表示する 縦軸のグリッド線を表示するかどうかを指定します。
7 横軸-軸ラベル	表示する 横軸の軸ラベルを表示するかどうかを指定します。
	サイズ 横軸の軸ラベルのフォントサイズ(pt)を指定します。
8 横軸-目盛ラベル	表示する 横軸の目盛ラベルを表示するかどうかを指定します。
	サイズ 横軸の目盛ラベルのフォントサイズ(pt)を指定します。
9 横軸-グリッド線	表示する 横軸のグリッド線を表示するかどうかを指定します。
10 横軸-目盛間隔	1 時間 / 3 時間 横軸の目盛間隔を指定します。

[アラーム履歴]の詳細な出力設定をする



設定項目	説明
1 機器表示名	形名#製造番号 帳票の”機種”列に機器表示名を「形名#製造番号」の形式で出力します。
	測定器+番号 帳票の”機種”列に機器表示名を「測定器 1」、「測定器 2」、「測定器 3」、...の形式で出力します。
2 チャンネル表示名	測定項目名 帳票の”測定項目”列に、チャンネル表示名としてチャンネルに固有の測定項目名を出力します。 例: U1_Ins_Avg (電圧実効値 / 平均値)
	ID 名 帳票の”測定項目”列に、チャンネル表示名としてチャンネルに固有の ID 名を出力します。 例: U1_Ins_Avg

	CH+番号	帳票の”測定項目”列に、チャンネル表示名を「CH1」、「CH2」、「CH3」、...の形式で出力します。
--	-------	--

・[アラーム履歴]の出力内容について

項目	説明
① 発生時刻	アラームが発生した日時が表示されます。
② 解除時刻	アラームが解除された(アラームがしきい値外からしきい値内になった)日時が表示されます。
③ 機種	測定器の形名と製造番号が表示されます。
④ 測定項目	測定項目に設定したコメントが表示されます。
⑤ 測定値	アラーム発生時の測定値(モニター値)が表示されます。
⑥ 単位	測定値の単位が表示されます。
⑦ 下限値	チャンネルに設定された下限値が表示されます。
⑧ 上限値	チャンネルに設定された上限値が表示されます。
⑨ 確認時刻	アラームを確認済みにした日時が表示されます。

自動出力 (CSV) の詳細設定をする

・自動出力 (CSV) の詳細な設定内容について記述します。

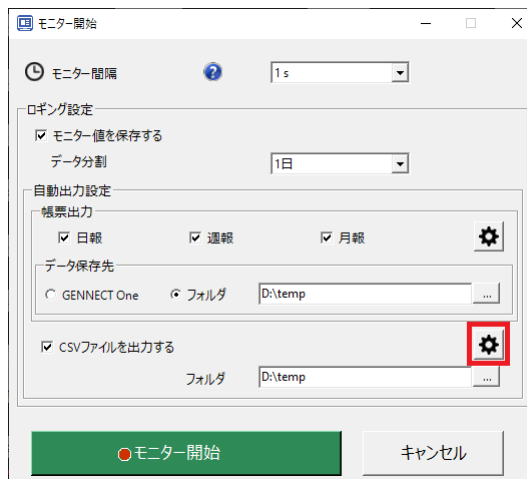
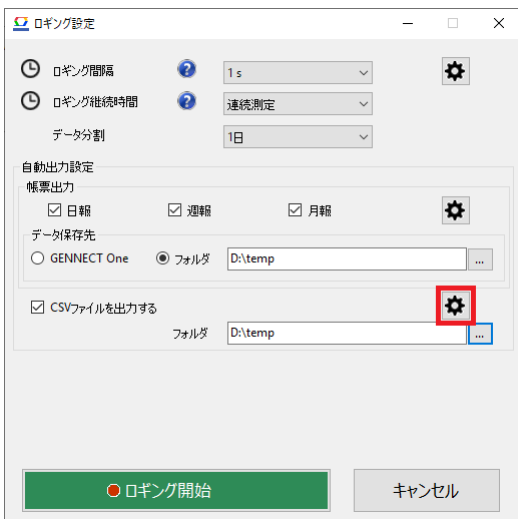
・[ロギング]機能で自動出力 (CSV) を有効にする手順については以下を参照してください。

➤ [ロギングの条件を設定する](#)

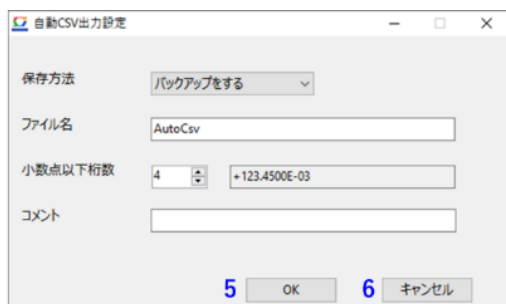
・[ダッシュボード]機能で自動出力 (CSV) を有効にする手順については以下を参照してください。

➤ [測定値のモニターを開始/停止する](#)

1. [ロギング設定]画面、または[モニター開始]画面で、画像赤枠部の[]ボタンをクリックします。



2. [自動 CSV 出力設定]画面が開きます。



項目	説明	
1	保存方法(※1)	バックアップをする 以下の 2 つのファイルを作成します。 1. <ファイル名ボディ>.<拡張子>のファイル 2. <ファイル名ボディ>_<ファイル名接尾辞>.<拡張子>のファイル(バックアップファイル) ※接尾辞を追加したファイル名が重複する場合は末尾に<連番>を付加したファイル名になります。 バックアップをしない ・<ファイル名ボディ>.<拡張子>のファイル名でファイルを新規作成または上書き保存します。
2	ファイル名(※1)	<ファイル名ボディ>に使用する文字列を指定します。 デフォルト値は”AutoCsv”です。
3	小数点以下桁数	CSV ファイルに出力する測定値の小数点以下の桁数を指定します。
4	コメント	CSV ファイルのコメントヘッダに含める文字列を指定します。
5	OK ボタン	この画面での設定を保存し、画面を閉じます。
6	キャンセルボタン	この画面での設定を破棄し、画面を閉じます。

(※1)ファイルの命名規則について

例)ファイル名(ファイル名ボディ):AutoCsv、測定開始日時:2021/08/31 12:34:56

・保存方法:バックアップをするの場合

“AutoCsv.csv” と バックアップファイル:AutoCsv_2021-08-31_12-34-56.csv が作成されます。

指定された保存先に AutoCsv.csv が存在する場合は上書きします。

指定された保存先にバックアップファイル:AutoCsv_2021-08-31_12-34-56.csv が存在する場合は連番が付けられます。

:AutoCsv_2021-08-31_12-34-56_1.csv

・保存方法:バックアップをしないの場合

AutoCsv.csv のみが作成されます。

指定された保存先に AutoCsv.csv が存在する場合は上書きします。

また、ダッシュボードでの CSV 出力はレイアウトを切り替えるとその時点でそこまでの結果を”(指定ファイル名)_(レイアウト名).csv” として CSV 出力し、レイアウト切り替え後の結果は別の csv ファイルとして出力されます。

測定器を操作する（遠隔操作（LAN 内））

- ・LAN 内遠隔操作は、測定器本体の HTTP サーバー機能を利用して測定器を操作する機能です。
- ・遠隔操作中は、他の機能を利用することができません。

対応測定器

- ・LAN 内遠隔操作は次の測定器に対応しています。

形名	品名	対応バージョン
PQ3100	電源品質アナライザ	V1.02 以降
PQ3198	電源品質アナライザ	V1.10 以降
PW3335	パワーメータ	V1.11 以降
PW3336	パワーメータ	V1.23 以降
PW3337	パワーメータ	V1.23 以降
PW3360	クランプオンパワーロガー	V3.20 以降
PW3365	クランプオンパワーロガー	V2.10 以降
PW3390	パワーアナライザ	V2.00 以降
PW6001	パワーアナライザ	V3.02 以降
PW8001	パワーアナライザ	V1.00 以降
※LR8400,LR8401,LR8402	メモリハイロガー	V1.28 以降
※LR8410	ワイヤレスロギングステーション	V1.42 以降
※LR8416	ワイヤレス熱流ロガー	V1.42 以降
LR8450, LR8450-01	メモリハイロガー	V1.20 以降
LR8101, LR8102	データロガー	V1.00 以降
MR6000	メモリハイコーダ	V2.10 以降

※データロガー LR8400 等の Java™ を使用する測定器を遠隔操作するためには、お使いの PC に Java™ のインストールと、ブラウザへの例外サイト登録設定が必要です。詳しくは以下の Java™ 設定説明ページをご覧ください。

[「Java™ の設定をする」](#)

制限

LAN 内遠隔操作に関する制限

項目	制限値	備考
通信インタフェース	LAN	

通信に関する制限

項目	制限値	備考
インタフェース	LAN	
自動検索のネットワーク範囲	□.□.□.2 – □.□.□.254 ※コンピューターと同一のネットワーク範囲に限る	
DHCP	非対応	

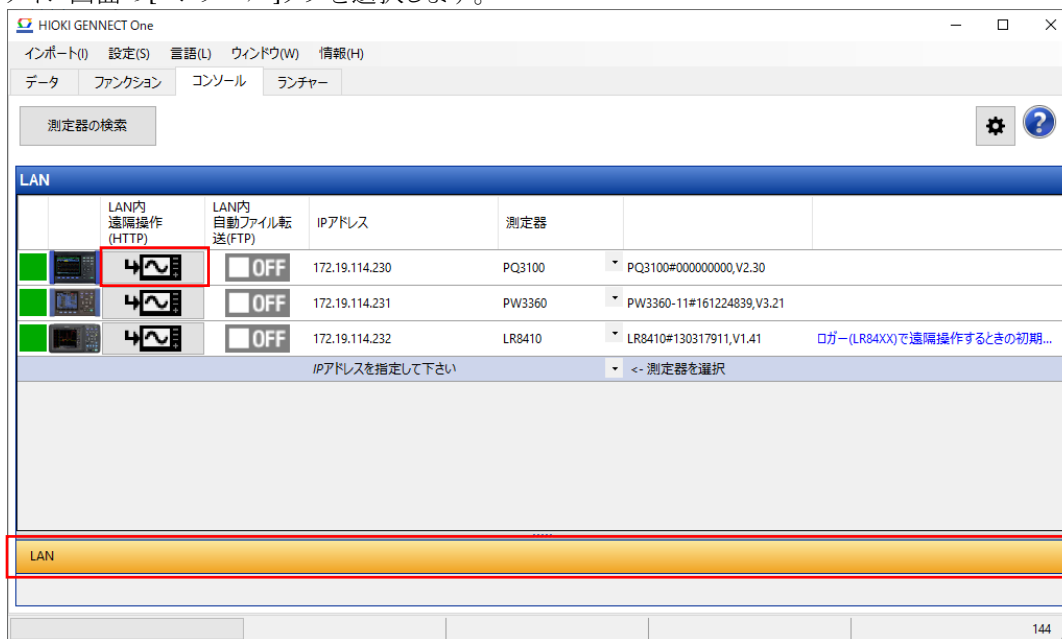
操作の流れ

コンピューターと測定器を接続する (LAN)

遠隔操作を開始する (p.252)

遠隔操作を開始する

1. メイン画面の[コンソール]タブを選択します。



2. [LAN]のナビゲーションバーを選択します。
3. [LAN 内遠隔操作]ボタン()をクリックします。
4. [遠隔操作]画面が開き、測定器を操作することができます。



5. 測定器画面が表示されない場合は、画面上部の[更新]ボタンを何度か押してください。
 ※ 遠隔操作ウィンドウを開いている間は、他の機能を使うことができません。

測定器の時計を合わせる（LAN 内）

- ・測定器の時計を PC の時間に合わせます。
- ・測定器毎の時計合わせ動作の詳細については[測定器の時計合わせ詳細]を確認してください。
- ・測定器が記録中または積算中の状態で時計合わせを行うと、記録中の測定データに空白期間が生じる場合があります。測定器の時計を合わせる場合は、測定器の記録または積算を予め停止しておくことをおすすめします。

対応測定器

測定器の時計合わせは次の測定器に対応しています。

形名	品名	対応バージョン	備考
PQ3100	電源品質アナライザ	V2.30 以降	
PQ3198	電源品質アナライザ	V1.10 以降	
PW3360	クランプオンパワーロガー	V3.20 以降	
PW3365	クランプオンパワーロガー	V2.10 以降	
PW3390	パワーアナライザ	V2.00 以降	*1
PW6001	パワーアナライザ	V3.02 以降	*1
PW8001	パワーアナライザ	V1.00 以降	*1 *2
LR8400, LR8401, LR8402	メモリハイロガー	V1.28 以降	
LR8410	ワイヤレスロギングステーション	V1.42 以降	
LR8416	ワイヤレス熱流ロガー	V1.42 以降	
LR8450, LR8450-01	メモリハイロガー	V1.20 以降	
LR8101 LR8102	データロガー	V1.00 以降	
MR6000	メモリハイコーダ	V2.12 以降	
ST5680	DC 耐電圧絶縁抵抗試験器	V1.00 以降	
RM3545A	抵抗計	V1.00 以降	LAN 通信ポートは初期値の 23 番のみ対応
DM7275, DM7276	直流電圧計	V1.09 以降	LAN 通信ポートは初期値の 23 番のみ対応

*1 本機能により測定器の時刻合わせを行うと、その時点までに測定器が保持している積算データはすべてリセットされます。積算データの記録と解析が終了した状態（データリセット状態）で時刻合わせをすることをお勧めします。

*2 結線別積算または時間制御機能（タイマーまたは実時間制御）が有効な場合は、本機能は実行されません。

操作方法（コンソール画面から時刻を合わせる）

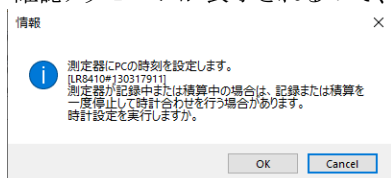
- ・[コンソール]タブに登録された測定器の時計を手動で PC の時間に合わせます。
 - ・詳細は次を参照してください。
- [測定器の時計合わせ詳細](#)

1. 測定器を指定して測定器の時計を合わせる

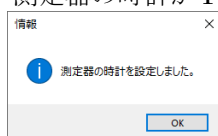
- 1. [コンソール]タブを選択します。
- 2. 時計合わせをする測定器の上でマウスの右ボタンをクリックします。
- 3. [測定器の時計を設定する]のメニューを選択します。



- 4. 確認メッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。

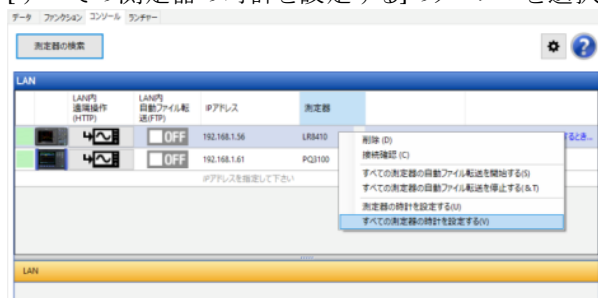


- 5. 測定器の時計が PC の時刻で時計合わせされます。

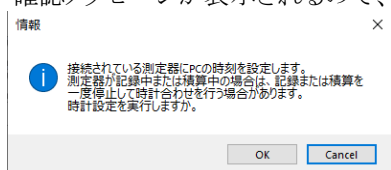


2. 接続されているすべての測定器の時計を合わせる

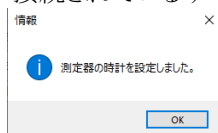
- 1. [コンソール]タブを選択します。
- 2. 測定器リストの上でマウスの右ボタンをクリックします。
- 3. [すべての測定器の時計を設定する]のメニューを選択します。



- 4. 確認メッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



- 5. 接続されているすべての測定器の時計が PC の時刻で時計合わせされます。



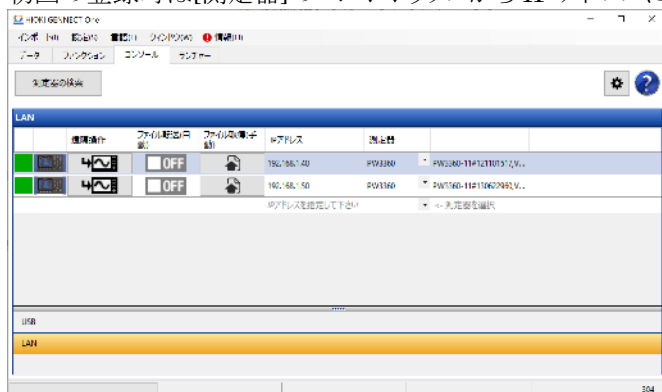
操作方法（自動で時刻を合わせる設定をする）

- 毎日指定した時刻に[コンソール]タブに登録された測定器の時計を PC の時間に合わせます。
- GENNECT One を終了すると測定器の時刻合わせは行われません。
- 測定器の種類、バージョンによっては時刻合わせにより測定や積算が停止されます。この場合、時刻合わせされた時間でファイルが区切られます。
- 詳細は次を参照してください。

➤ [測定器の時計合わせ詳細](#)

1. [コンソール]タブに測定器を登録する

- 1. [コンソール]タブを選択します。
 - 2. [測定器の検索]をクリックするか測定器の IP アドレスを入力して測定器を登録します。
- ※ 初回の登録時は[測定器]のコンボボックスから IP アドレスに対応した測定器を選択する必要があります。

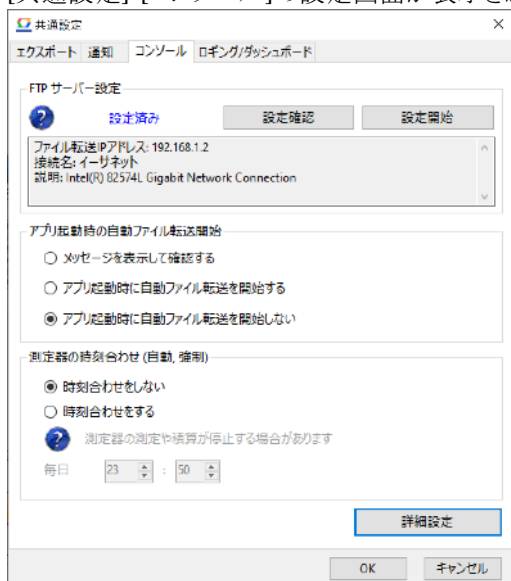


2. 自動時刻合わせの設定をする

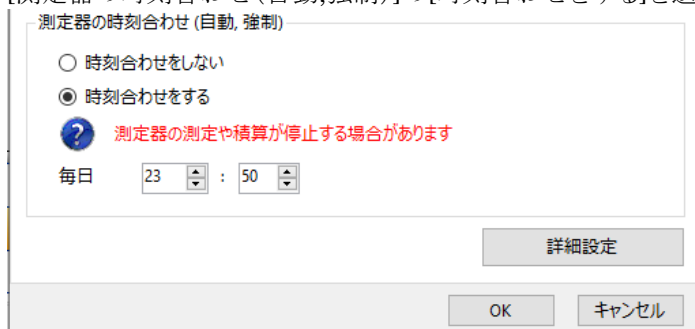
- 1. 右上の[設定]ボタン(⚙️)をクリックします。



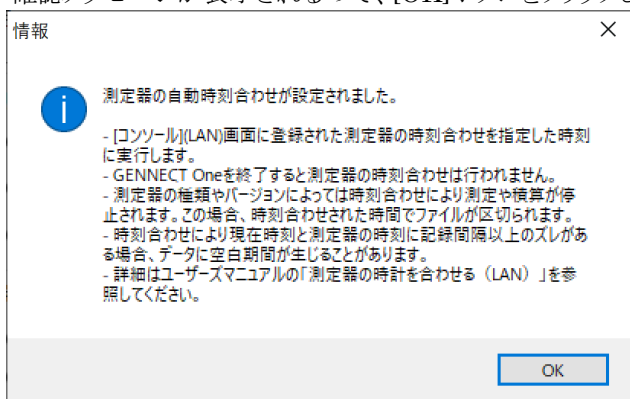
- 2. [共通設定]-[コンソール]の設定画面が表示されます。



- 3. [測定器の時刻合わせ(自動,強制)]の[時刻合わせをする]を選択して時刻を設定します。



-4. 確認メッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



-5. GENNECT One を起動中は[コンソール]画面に登録されている測定器の時刻合わせが毎日指定した時刻に行われるようになります。

測定器の時計合わせ詳細

時計合わせの際に、各測定器に対して次の動作を行います。また、各測定器に設定される時刻には、LAN 通信による遅延時間は考慮されていません。

形名	品名	時計合わせの動作詳細	
PQ3100	電源品質アナライザ	基準時刻:	PC の時刻
		タイミング:	基準時刻が”hh:mm:ss.000”になった時点
		記録中の動作:	[V2.10] 測定器が記録中の場合は、時計合わせの際に、記録を一旦停止して再開します。 [V2.20 以降] 測定器が記録中の場合でも、記録を停止せずに時計合わせを行います。(*1)(*2)
PQ3198	電源品質アナライザ	基準時刻:	PC の時刻
		タイミング:	基準時刻が”hh:mm:ss.000”になった時点
		記録中の動作:	測定器が記録中の場合も、記録を停止せずに時計合わせを行います。(*1)(*3)
PW3360	クランプオンパワーロガー	基準時刻:	PC の時刻
		タイミング:	基準時刻が”hh:mm:ss.000”になった時点
		記録中の動作:	[V3.20 以前] 測定器が記録中の場合は、時計合わせの際に、記録を一旦停止して再開します。 [V3.21 以降] 測定器が記録中の場合でも、記録を停止せずに時計合わせを行います。(*1)(*4)
PW3365	クランプオンパワーロガー	基準時刻:	PC の時刻

		タイミング:	基準時刻が”hh:mm:ss.000”になった時点
		記録中の動作:	[V2.00 以前] 測定器が記録中の場合は、時計合わせの際に、記録を一旦停止して再開します。 [V2.10 以降] 測定器が記録中の場合でも、記録を停止せずに時計合わせを行います。(*1)(*4)
PW3390	パワーアナライザ	基準時刻:	PC の時刻
		タイミング:	基準時刻が”hh:mm:00.000”になった時点(*5)
		記録中の動作:	測定器が積算中の場合は、時計合わせの際に、積算を一旦停止して再開します。
PW6001 PW8001	パワーアナライザ	基準時刻:	PC の時刻
		タイミング:	基準時刻が”hh:mm:ss.000”になった時点
		記録中の動作:	測定器が積算中の場合は、時計合わせの際に、積算を一旦停止して再開します。
LR8400,LR8401,LR8402, LR8450, LR8450-01 LR8410 LR8416 LR8101, LR8102	メモリハイロガー ワイヤレスロギングステーション ワイヤレス熱流ロガー データロガー	基準時刻:	PC の時刻
		タイミング:	基準時刻が”hh:mm:ss.000”になった時点
		記録中の動作:	測定器が記録中の場合は、時計合わせの際に、記録を一旦停止して再開します。
MR6000	メモリハイコーダ	基準時刻:	PC の時刻
		タイミング:	基準時刻が”hh:mm:ss.000”になった時点
		記録中の動作:	測定器が記録中の場合は、時計合わせの際に、記録を一旦停止して再開します。
ST5680	DC 耐電圧絶縁抵抗試験器	基準時刻:	PC の時刻
		タイミング:	基準時刻が”hh:mm:ss.000”になった時点
		記録中の動作:	測定器が記録中の場合は、時計合わせの際に、記録を一旦停止して再開します。
RM3545A	抵抗計	基準時刻:	PC の時刻
		タイミング:	基準時刻が”hh:mm:ss.000”になった時点
		記録中の動作:	測定器が記録中の場合は、時計合わせの際に、記録を一旦停止して再開します。
DM7275, DM7276	直流電圧計	基準時刻:	PC の時刻
		タイミング:	基準時刻が”hh:mm:ss.000”になった時点
		記録中の動作:	測定器が記録中の場合は、時計合わせの際に、記録を一旦停止して再開します。

(*1) 基準時刻と測定器の時刻に記録間隔以上のずれがある場合、記録データに空白期間が生じる恐れがあります。測定器の記録が停止した状態で時計合わせを行うことをおすすめします。

(*2) 以下の条件の場合は、時刻合わせの際に、記録の停止と再開を伴います。

- イベント IN, KEEP, OUT 状態のいずれか、あるいは変動データを保存中の場合

- インターバル保存時間が、150/180Cycle のいずれかの設定になっている場合
 - フリッカが OFF 以外に設定されている場合
 - 基準時刻と測定器の時刻が 5 分を超えて乖離している場合
- (*3) 以下の条件の場合は、時刻合わせの際に、記録の停止と再開を伴います。
- イベント IN, KEEP, OUT 状態のいずれか、あるいは変動データを保存中の場合
 - 基準時刻と測定器の時刻が 1 分を超えて乖離している場合
- (*4) 以下の条件の場合は、時刻合わせの際に、記録の停止と再開を伴います。
- 基準時刻と測定器の時刻が 5 分を超えて乖離している場合
- (*5) X 時 X 分 0 秒まで待機して時計合わせを行うため、時計合わせの際に、最大1分の待ち時間が発生します。

GENNECT Cloud と連携する

GENNECT Cloud は HIOKI が運用する GENNECT 専用のクラウドサービスです。本アプリと GENNECT Cloud の連携することで、コンピューターに接続されている測定器に遠隔地から監視または操作（遠隔計測モード）したり、アカウント内の別のユーザーとファイルを共有することができます。詳細は以下を参照してください。

➤ [GENNECT Cloud - GENNECT One](#)

※GENNECT One と GENNECT Cloud を連携してご利用いただくには、以下の準備が必要です。

- **PC のインターネット接続**
- **GENNECT Cloud のアカウント**
アカウントをお持ちでない場合は、作成してください。
➤ [GENNECT Cloud の準備](#)
- **メールを受信できる環境**
@mail.gennect.net(中国国外でご利用の場合)または@mail.gennect.cn(中国国内でご利用の場合)のドメインからのメールの受信を許可してください。

インターネット接続について

本アプリと GENNECT Cloud を連携する機能をお使いになるには、インターネットへの接続が必要です。本機能をお使いになる前に、本アプリがインストールされている PC がインターネットに接続できる環境であることをご確認ください。

注記

お使いのネットワークにアクセス制限がある場合は、機能の一部が使えない場合があります。ネットワーク管理者にご相談のうえ、制限の解除をご検討ください。

GENNECT One に使用する回線に対するネットワーク要件

中国国外でご利用の場合

機能名	接続先名 (ドメイン)	ネットワーク要件
最新版インストーラの確認、ダウンロード	アプリケーションサーバー (app.hioki.com)	[HTTPS] 外向き TCP:443 番ポートを使用した通信が許可されていること (*1) (*2) 。
ログイン、ファイル共有	GENNECT Cloud (cloud.gennect.net) (app.gennect.net)	[HTTPS] 外向き TCP:443 番ポートを使用した通信が許可されていること (*1) (*2) 。
遠隔計測モード	AWS IoT Core (iot.cloud.gennect.net)	[MQTTS] AWS IoT Core (iot.cloud.gennect.net) に対して外向き TCP:443 番ポート、TLS 相互通信を使用した通信が許可されていること (*1) 。経路上で TLS 復号がされていないこと (*3) 。
測定器の遠隔操作(コンソール機能)	(cloud-relay.gennect.net)	[SSH] cloud-relay.gennect.net に対して、外向き TCP:443 番ポートを使用した通信が許可されていること (*1)

中国国内でご利用の場合

機能名	接続先名 (ドメイン)	ネットワーク要件
最新版インストーラの確認、ダウンロード	アプリケーションサーバー (one.gennect.cn)	[HTTPS] 外向き TCP:443 番ポートを使用した通信が許可されていること (*1) (*2) 。

ログイン, ファイル共有	GENNECT Cloud (gennect.cn) (app.gennect.net)	[HTTPS] 外向き TCP:443 番ポートを使用した通信が許可されていること (*1) (*2) 。
遠隔計測モード	AWS IoT Core (iot.cloud.gennect.cn)	[MQTTS] AWS IoT Core (iot.cloud.gennect.cn) に対して外向き TCP:443 番ポート, TLS 相互通信を使用した通信が許可されていること (*1) 。経路上で TLS 復号がされていないこと (*3) 。
測定器の遠隔操作(コンソール機能)	(cloud-relay.gennect.cn)	[SSH] cloud-relay.gennect.cn に対して、外向き TCP:443 番ポートを使用した通信が許可されていること (*1)

(*1) フィルタリングソフトなどによるアクセス制限がある場合は本ドメインに対するアクセスを許可します。

(*2) ファイルのダウンロード, アップロードに対する制限がある場合は本ドメインに対するファイルのダウンロードとアップロードを許可します。

(*3) お使いのネットワークの経路上で TLS 復号によるトラフィックの検知が実施されている場合は、本ドメインに対して TLS 復号をしない通信を許可する設定をします(サーバー名表示(SNI)による許可ルールの使用を推奨)。

GENNECT Cloud の準備

GENNECT Cloud には Free/Standard/Pro/Trial の 4 種類のプランがあります。Free プランと Trial プランは無料でご利用いただけます。Standard プランと Pro プランは有償です。各プランの詳細は以下を参照してください。

➤ [GENNECT Cloud ライセンスのプラン | GENNECT Cloud](#)

Trial とそれ以外のプランでは、以下のようにアカウント作成手順が異なります。

GENNECT Cloud Free/Standard/Pro プランを使用する場合

GENNECT Cloud ウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成します。

GENNECT Cloud との連携機能を中国国外でご利用の場合は <https://cloud.gennect.net/app/>, 中国国内でご利用の場合は <https://gennect.cn/app/> にアクセスしてください。

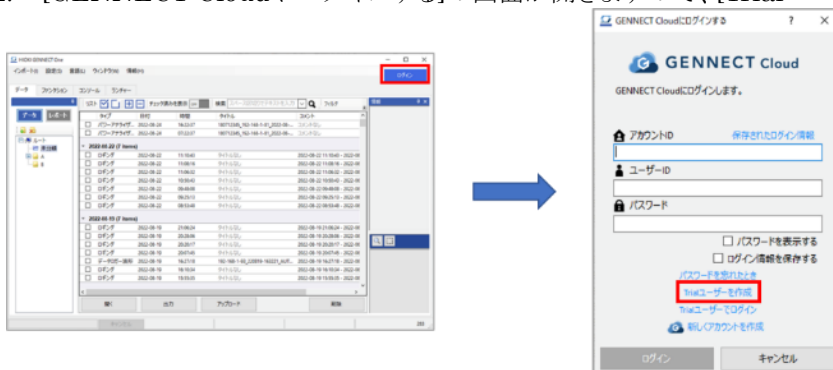
詳細は GENNECT Cloud のオンラインヘルプを参照してください。

<https://www.gennect.net/ja/cloud/manual/1-2>

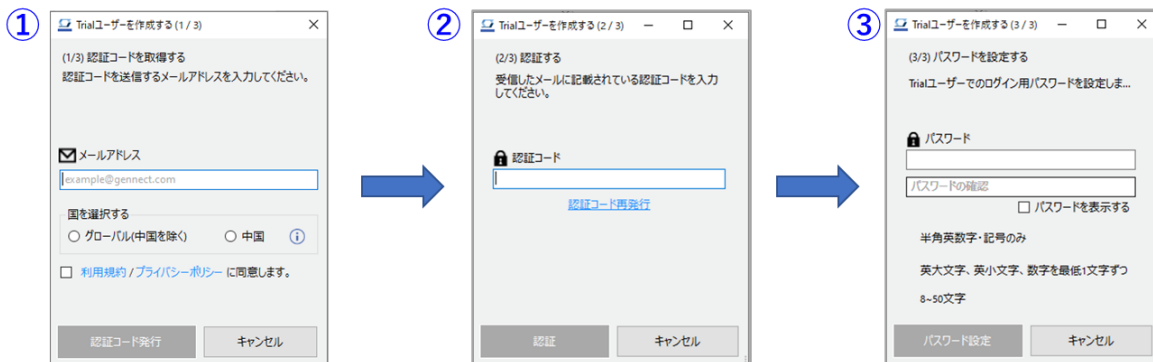
GENNECT Cloud Trial プランを使用する場合

GENNECT Cloud Trial プランのユーザーは、本アプリで作成します。

1. アプリメイン画面右上の[ログイン]ボタンをクリックします。
2. [GENNECT Cloud にログインする]の画面が開きますので、[Trial ユーザーを作成]をクリックします。

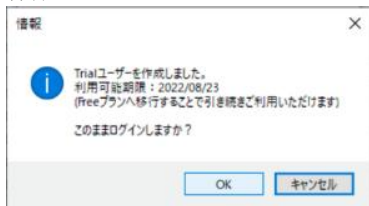


3. [Trial ユーザーを作成する]の画面が開きます。



- ① メールアドレスを入力し、国を選択(*1)します。利用規約とプライバシーポリシーの内容を確認し、[利用規約/プライバシーポリシーに同意する]にチェックを付けます。[認証コード発行]をクリックします。入力したメールアドレスに 6 桁の認証コードが届きます。
(*1) GENNECT Cloud との連携機能を中国国外でご利用の場合は[グローバル]、中国国内でご利用の場合は[中国]を選択してください。
- ② 認証コードを入力し、[認証]をクリックします。
 [認証コードを再発行]をクリックすると、入力したメールアドレスに別の認証コードが届きます。
- ③ パスワードを設定します。
 パスワードは半角の数字、英字大文字、英字小文字を混在の上、8 文字以上で設定してください。[パスワードの確認]欄に再度同じパスワードを入力し、[パスワード設定]をクリックします。

4. ユーザーが正しく作成できると、「Trial ユーザーを作成しました。」のメッセージボックスが表示されます。作成した Trial ユーザーで GENNECT Cloud にログインする場合は[OK]を選択してください。

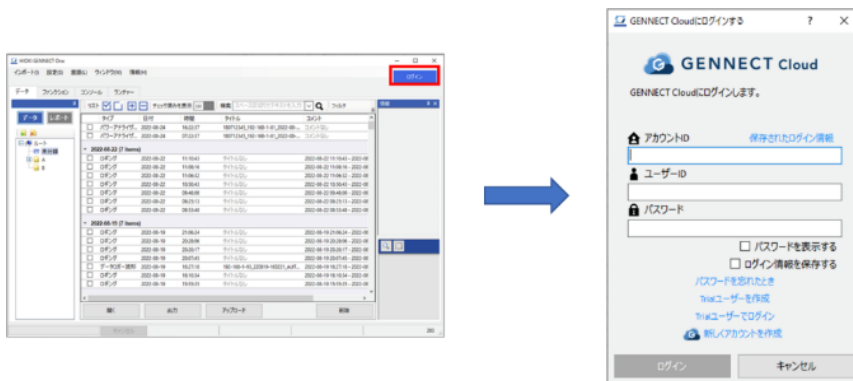


GENNECT Cloud にログインする

※GENNECT Cloud のアカウントをお持ちでない場合は、先にアカウントを作成してください。

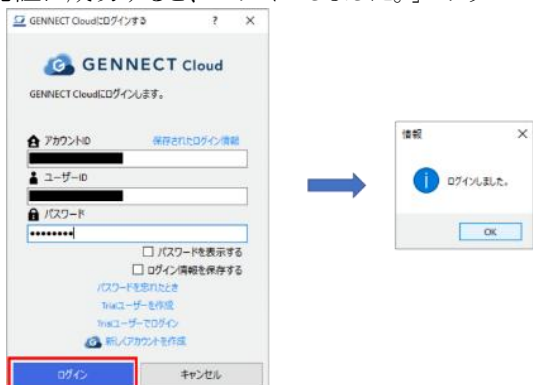
➤ GENNECT Cloud の準備

1. GENNECT One を起動します。
2. アプリ画面右上の[ログイン]ボタンをクリックします。[GENNECT Cloud にログインする]の画面が開きます。



GENNECT Cloud Free/Standard/Pro プランをご利用の方

[アカウント ID]、[ユーザー ID]、[パスワード]を入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
 認証に成功すると、「ログインしました。」のメッセージボックスが表示されます。



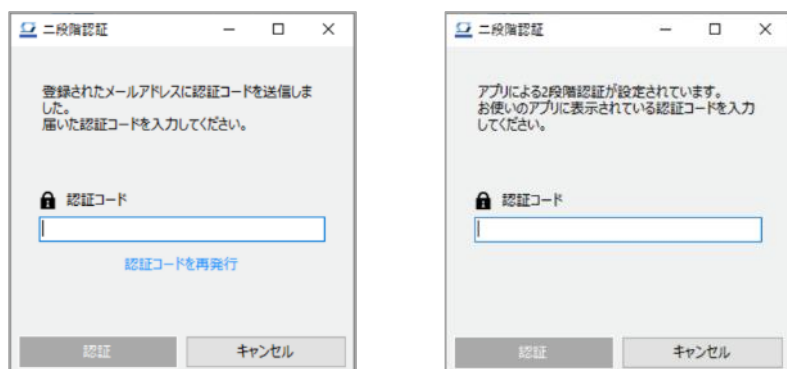
GENNECT Cloud Trial プランをご利用の方

1. [GENNECT Cloud にログインする]の画面にある[Trial ユーザーでログイン]をクリックします。
2. [Trial ユーザーでログインする]の画面が開きます。Trial ユーザー作成に用いた[メールアドレス]、[パスワード]を入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
 認証に成功すると、「ログインしました。」のメッセージボックスが表示されます。



二段階認証を設定済みの場合

二段階認証を設定済みの場合は、認証コードを入力する画面が表示されます。



- メールによる二段階認証が設定されている場合：
登録済みのメールアドレスに送信された認証コードを入力して[認証]をクリックします。
- アプリによる二段階認証が設定されている場合：
お使いの二段階認証のアプリケーション(Authy など)に表示される認証コードを入力して[認証]をクリックします。

二段階認証の設定方法については GENNECT Cloud のオンラインヘルプを参照してください。

- [（応用）ユーザーに二段階認証を設定する](https://www.gennect.net/ja/cloud/manual/10-3)
<https://www.gennect.net/ja/cloud/manual/10-3>

ログイン情報を保存 / 削除する

GENNECT Cloud へのログインに必要な情報(アカウント ID、ユーザー ID)を本アプリ内に保存することができます。ログイン情報を保存すると、次回以降のログイン時にアカウント ID、ユーザー ID の入力を省略することができます。

ログイン情報を保存する

1. [GENNECT Cloud にログインする]の画面で、[ログイン情報を保存する]にチェックをつけた状態でログインします。ログインに成功すると、ユーザー情報(アカウント ID、ユーザー ID、ユーザーアイコン、ユーザー名)が本アプリ内に保存されます。



保存したログイン情報を使用する

1. [GENNECT Cloud にログインする]の画面で、[保存されたログイン情報]をクリックします。
2. 保存されたログイン情報の一覧が表示されますので、使用するログイン情報を選択して[選択]をクリックしてください。



保存したログイン情報を削除する

1. [GENNECT Cloud にログインする]の画面で、[保存されたログイン情報]をクリックします。
2. 保存されたログイン情報の一覧が表示されますので、削除するログイン情報を選択して[削除]をクリックしてください。

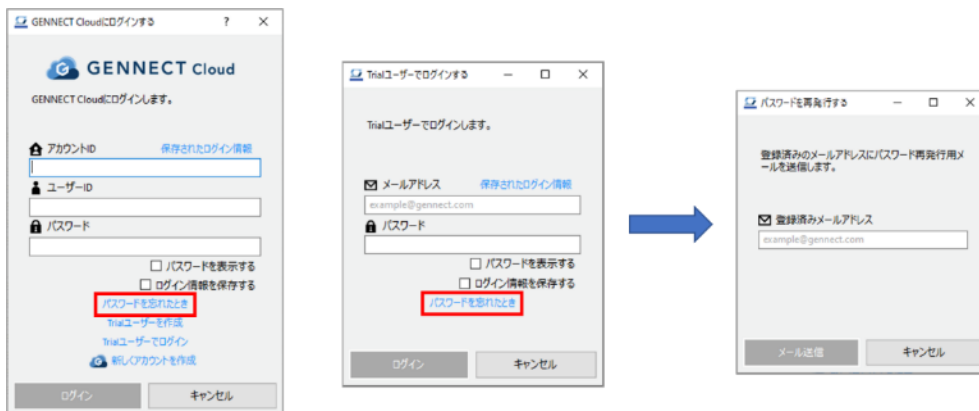


パスワードを再発行する

GENNECT Cloud で登録済みのメールアドレス宛にパスワード再発行用 URL を記載したメールを送信します。パスワード再発行用 URL から新しいパスワードを設定できます。

※メールアドレスを登録していないユーザーのパスワードを再発行する場合は、アカウントの管理者にパスワードの再発行を依頼してください。

1. [GENNECT Cloud にログインする]または[Trial ユーザーでログインする]の画面にある[パスワードを忘れたとき]をクリックします。
2. [パスワードを再発行する]の画面が開きますので、登録済みのメールアドレスを入力し、[メール送信]をクリックします。
3. 入力したメールアドレス宛にメールが届きます。メールに記載の URL で開く Web ページに従い、新しいパスワードを設定してください。



GENNECT Cloud と連携してデータを共有・管理する

GENNECT Cloud にログイン(*1)することで、GENNECT One と GENNECT Cloud を連携して複数のユーザー間で測定データを共有・管理できます。GENNECT Cloud と連携して次のようなデータ共有と管理の機能がご利用いただけます。

- ローカル PC 上の測定ファイルをクラウド上にアップロードして共有する
- クラウド上の測定ファイルをローカル PC 上にダウンロードする
- クラウド上の測定ファイルを GENNECT One から開く
- クラウド上の測定ファイルをローカル PC 上に出力する
- ロギング、ダッシュボード機能で自動出力されるロギングデータをクラウド上に自動アップロードして共有する (*2)
- バッテリーテスタ BT3554, BT3554-01, BT3554-50 のしきい値情報、BT3554-50 のプロフィール情報をクラウド上にアップロードして共有する

(*1) GENNECT One から GENNECT Cloud にログインする方法については以下を参照してください。

➤ [GENNECT Cloud にログインする](#)

(*2) クラウドのストレージ容量の上限に達するとロギングデータの自動アップロードは停止されます。本機能は GENNECT Cloud の Standard 以上のプランでのご利用をお勧めします。

各プランにおける GENNECT Cloud のストレージ容量については以下を参照してください。

➤ [GENNECT Cloud ライセンスのプラン | GENNECT Cloud](#)

ロギングデータを自動アップロードする設定については以下を参照してください。

➤ [\[ロギングデータ\] タブ](#)

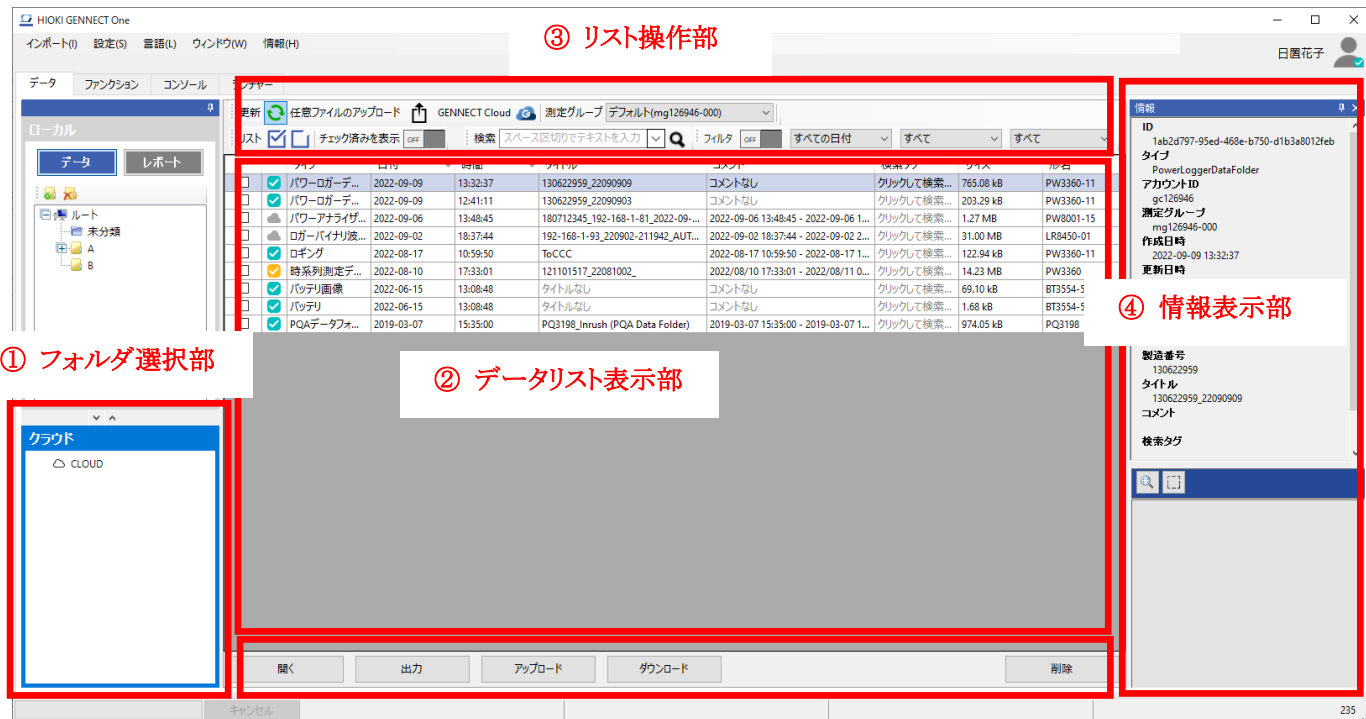
制限

GENNECT Cloud のプラン毎の制限値について

項目	制限値	備考
ユーザー数	GENNECT Cloud プラン名: ユーザー数 Trial: 1 Free: 3 Standard: 10 Pro: 100	詳細は GENNECT Cloud のオンラインヘルプを参照してください。
ストレージ容量	GENNECT Cloud プラン名: ストレージ容量 Trial: 512MB Free: 5GB Standard: 50GB Pro: 500GB	詳細は GENNECT Cloud のオンラインヘルプを参照してください。
測定グループ数	GENNECT Cloud プラン名: 測定グループ数 Trial: 1 Free: 1 Standard: 10 Pro: 100	詳細は GENNECT Cloud のオンラインヘルプを参照してください。
ファイル共有の最大数 - バッテリしきい値/バッテリー値, - バッテリプロフィール情報	GENNECT Cloud プラン名: 最大数 Standard: 30 Pro: 100	本機能では GENNECT Cloud の Standard または Pro のプランでのみご利用いただけます。本機能の詳細は以下を参照してください。 ➤ バッテリーテスタのしきい値、プロフィール情報をクラウド上で共有・管理する

画面構成 (全体)

GENNECT Cloud にログインすると[データ]タブは次のような表示になります。
データリスト画面の各部の名称と機能について説明します。

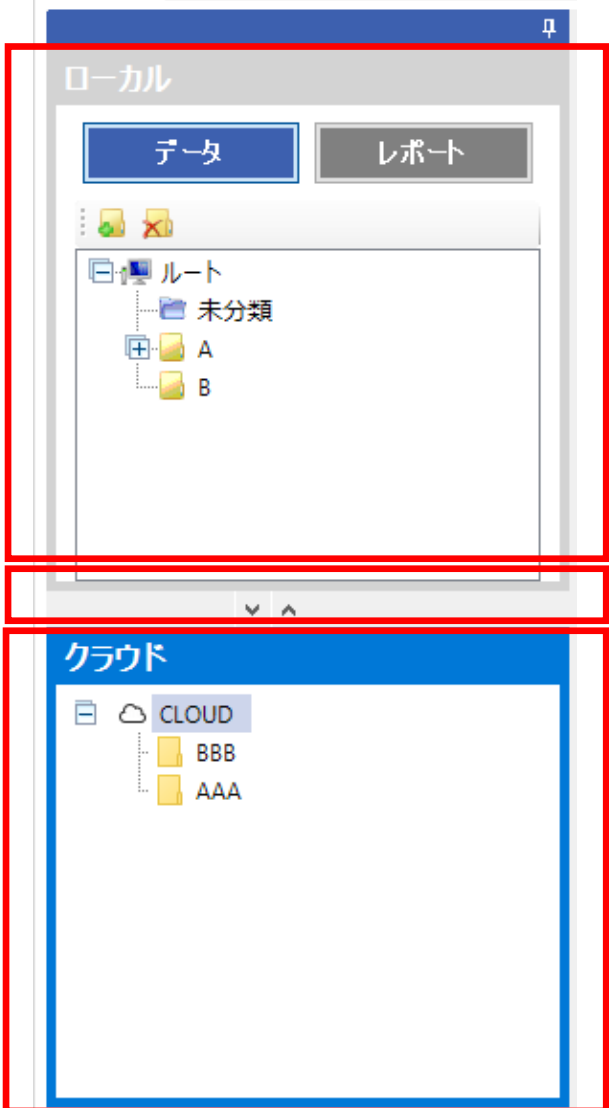


⑤ 機能ボタン部

名称	機能
① フォルダ選択部	GENNECT Cloud に保存されている測定データのフォルダ階層を選択します。フォルダ階層を選択するとデータリスト表示部に表示される内容が変わります。 詳細は以下を参照してください。 ➤ 画面構成と機能(① フォルダ選択部)
② データリスト表示部	GENNECT Cloud と連携している測定データが一覧表示されます。データリストにはアップロード状態を表すステータス、データ種別、ファイルサイズ、測定器形名などの情報が表示されます。また、データのタイトル、コメント、タグを編集できます。 詳細は以下を参照してください。 ➤ 画面構成と機能(② データリスト)
③ リスト操作部	データリストに対して更新、測定グループの変更、フィルタ操作などの操作ができます。 詳細は以下を参照してください。 ➤ 画面構成と機能(③ リスト操作部)
④ 情報表示部	データリスト上で選択されている測定データの詳細情報と画像ファイルのサムネイルを表示します。 詳細は以下を参照してください。 ➤ 画面構成と機能(④ 情報表示部)
⑤ 機能ボタン部	測定ファイルのアップロード、ダウンロード、削除など GENNECT Cloud とデータを連携するための操作ができます。 詳細は以下を参照してください。 ➤ 画面構成と機能(⑤ 機能ボタン部)

画面構成と機能 (① フォルダ選択部)

GENNECT Cloud にログインすると2種類のデータリストを切り替えて表示できるようになります。



フォルダ選択部(ローカル)

フォルダを選択するとデータリスト表示部にローカル PC のストレージに保存された測定データの一覧が表示されます。ログイン時は、ローカル PC にのみ存在する測定ファイルを GENNECT Cloud にアップロードすることができます。

展開ボタン

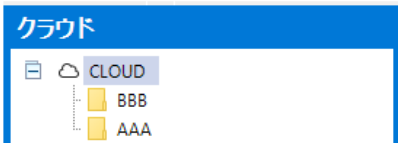
- フォルダ選択部(ローカル)が展開された表示になります。
- フォルダ選択部(クラウド)が展開された表示になります。

フォルダ選択部(クラウド)

フォルダを選択するとデータリスト表示部に GENNECT Cloud と連携している測定データの一覧が表示されます。

データリスト(クラウド)とデータリスト(ローカル)の切り替えについて

名称	機能
データリスト(ローカル)	“ローカル” の表示のあるフォルダツリーを選択するとローカル PC のストレージに保存された測定データの一覧が表示されます。GENNECT Cloud にログインしている場合、[アップロード]ボタンをクリックして、ローカル PC のストレージにのみ保存されている測定データをアップロードできます。アップロードされた測定データは、GENNECT Cloud のドライブ画面または、GENNECT One のデータリスト(クラウド)で管理できます。
データリスト(クラウド)	“クラウド” の表示のあるフォルダツリーを選択すると GENNECT Cloud と連携している測定データが一覧表示されます。このデータリストでは、同じアカウント内のほかのユーザーと共有している測定データを閲覧・管理できます。



	タイプ	日付
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> パワーロガーデ...	2022-09-09
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> パワーロガーデ...	2022-09-09
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> パワーアナライザ...	2022-09-06
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ロガーバイナリ波...	2022-09-02

画面構成と機能 (② データリスト)

データリスト(クラウド)では、GENNECT Cloud と連携している測定データの一覧を表示します。

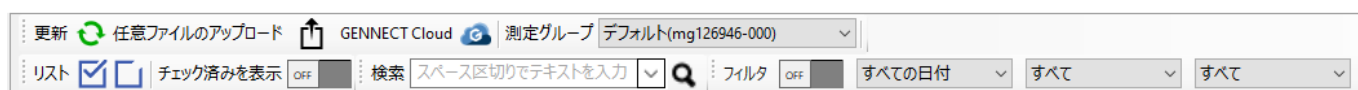
	タイプ	日付	時間	タイトル	コメント	検索タグ	サイズ	形名
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> パワーロガーデ...	2022-09-09	13:32:37	130622959_22090909	コメントなし	クリックして検索...	765.08 kB	PW3360-11
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> パワーロガーデ...	2022-09-09	12:41:11	130622959_22090903	コメントなし	クリックして検索...	203.29 kB	PW3360-11
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> パワーアナライザ...	2022-09-06	13:48:45	180712345_192-168-1-81_2022-09-...	2022-09-06 13:48:45 - 2022-09-06 1...	クリックして検索...	1.27 MB	PW8001-15
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ロガーバイナリ渡...	2022-09-02	18:37:44	192-168-1-93_220902-211942_AUT...	2022-09-02 18:37:44 - 2022-09-02 2...	クリックして検索...	31.00 MB	LR8450-01
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> ログイン	2022-08-17	10:59:50	Exp	2022-08-17 10:59:50 - 2022-08-17 1...	クリックして検索...	122.94 kB	PW3360-11





項目名	機能												
チェックボックス	アップロード、ダウンロード、出力、削除などの操作をする測定データを選択します。												
ステータス	測定データの GENNECT Cloud との連携状態を表すステータスアイコンを表示します。 次のステータスを表示します。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>アイコン</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>[完全同期] クラウドとローカルのストレージの両方にファイルが存在し、測定データの内容が一致しています。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[部分同期] クラウドとローカルのストレージの両方にファイルが存在しているが、測定データの内容が異なります。クラウドの変更を[データリスト(クラウド)]にダウンロードするか、[データリスト(クラウド)]の変更をクラウドにアップロードすると[完全同期]のステータスになります。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[未ダウンロード] クラウドのストレージにのみファイルが存在しています。 GENNECT One からクラウド上のファイルをダウンロードすることができます。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[未アップロード] ローカルのストレージにのみファイルが存在しています。 GENNECT One からファイルをアップロードすることにより同じアカウントの別のユーザーからファイルがダウンロードできるようになります。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[未アップロード(別端末)] 別端末のローカルストレージのみにファイルが存在します。 遠隔地の GENNECT One (遠隔計測モード) または GENNECT Remote のゲートウェイがファイル属性のみクラウドと共有する設定で動作している場合にこの表示になります。 このファイルをダウンロードする場合は、まず GENNECT Cloud のウェブアプリケーションからファイルをアップロードします。その後、GENNECT One からダウンロードします。 詳細は、GENNECT Cloud のオンラインヘルプを参照してください。 ➤ GENNECT Cloud マニュアル</td> </tr> </tbody> </table>	アイコン	内容		[完全同期] クラウドとローカルのストレージの両方にファイルが存在し、測定データの内容が一致しています。		[部分同期] クラウドとローカルのストレージの両方にファイルが存在しているが、測定データの内容が異なります。クラウドの変更を[データリスト(クラウド)]にダウンロードするか、[データリスト(クラウド)]の変更をクラウドにアップロードすると[完全同期]のステータスになります。		[未ダウンロード] クラウドのストレージにのみファイルが存在しています。 GENNECT One からクラウド上のファイルをダウンロードすることができます。		[未アップロード] ローカルのストレージにのみファイルが存在しています。 GENNECT One からファイルをアップロードすることにより同じアカウントの別のユーザーからファイルがダウンロードできるようになります。		[未アップロード(別端末)] 別端末のローカルストレージのみにファイルが存在します。 遠隔地の GENNECT One (遠隔計測モード) または GENNECT Remote のゲートウェイがファイル属性のみクラウドと共有する設定で動作している場合にこの表示になります。 このファイルをダウンロードする場合は、まず GENNECT Cloud のウェブアプリケーションからファイルをアップロードします。その後、GENNECT One からダウンロードします。 詳細は、GENNECT Cloud のオンラインヘルプを参照してください。 ➤ GENNECT Cloud マニュアル
アイコン	内容												
	[完全同期] クラウドとローカルのストレージの両方にファイルが存在し、測定データの内容が一致しています。												
	[部分同期] クラウドとローカルのストレージの両方にファイルが存在しているが、測定データの内容が異なります。クラウドの変更を[データリスト(クラウド)]にダウンロードするか、[データリスト(クラウド)]の変更をクラウドにアップロードすると[完全同期]のステータスになります。												
	[未ダウンロード] クラウドのストレージにのみファイルが存在しています。 GENNECT One からクラウド上のファイルをダウンロードすることができます。												
	[未アップロード] ローカルのストレージにのみファイルが存在しています。 GENNECT One からファイルをアップロードすることにより同じアカウントの別のユーザーからファイルがダウンロードできるようになります。												
	[未アップロード(別端末)] 別端末のローカルストレージのみにファイルが存在します。 遠隔地の GENNECT One (遠隔計測モード) または GENNECT Remote のゲートウェイがファイル属性のみクラウドと共有する設定で動作している場合にこの表示になります。 このファイルをダウンロードする場合は、まず GENNECT Cloud のウェブアプリケーションからファイルをアップロードします。その後、GENNECT One からダウンロードします。 詳細は、GENNECT Cloud のオンラインヘルプを参照してください。 ➤ GENNECT Cloud マニュアル												
データ種類	測定データのデータ種類を表示します。												
作成日, 作成時間	測定データの作成日と作成時間がローカル PC 上のタイムゾーンで表示されます。												
タイトル	測定データのタイトルを表示または編集します。 セルを2回クリックすると編集を開始できます。												
コメント	測定データのコメントを表示または編集します。 セルを2回クリックすると編集を開始できます。												
タグ	測定データのタグを表示または編集します。 セルをクリックするとタグの編集と選択を開始できます。												
サイズ	測定データのファイルサイズを表示します。												

形名	測定データに関する測定器の形名を表示します。
----	------------------------

画面構成と機能 (③ リスト操作部)

データリストに対して更新,測定グループの変更,フィルタ操作などの操作ができます。

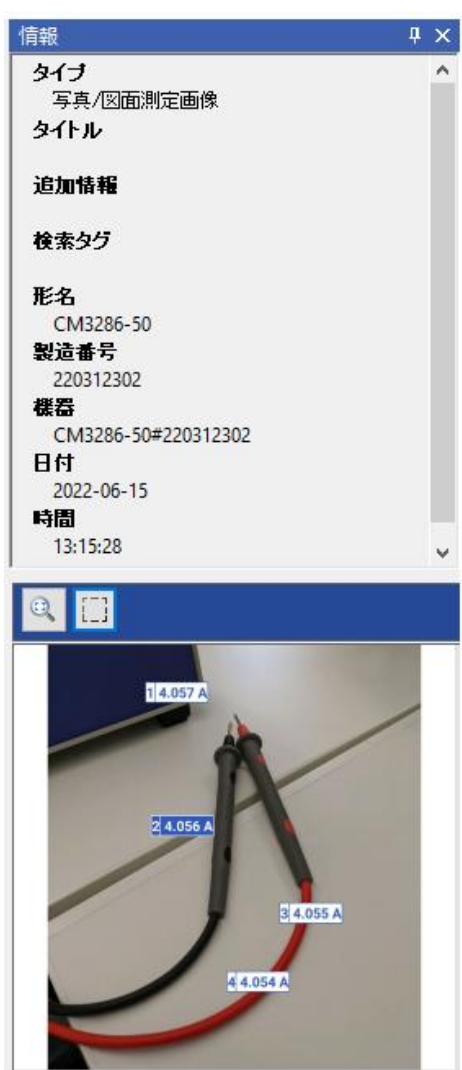


名称	機能
[更新] ボタン 	GENNECT Cloud から情報を取得して、データリストを最新の状態に更新します。
[任意ファイルのアップロード] ボタン 	測定データ以外の任意のファイルを GENNECT Cloud にアップロードします。
[GENNECT Cloud] ボタン 	ウェブブラウザで GENNECT Cloud のウェブアプリケーションを開きます。 GENNECT Cloud のウェブアプリケーションの詳細は GENNECT Cloud のオンラインヘルプを参照してください。 ➤ GENNECT Cloud マニュアル
[測定グループ] 選択ドロップダウン デフォルト(mg5130) ▼	データリストに表示する測定グループを選択します。 初期状態では [デフォルト] の測定グループが選択されています。 測定グループの詳細は GENNECT Cloud のオンラインヘルプを参照してください。 ➤ GENNECT Cloud マニュアル
[すべてチェックする] ボタン 	データリストに表示されている測定データをすべて選択状態にします。
[すべてチェックをはずす] ボタン 	データリストに表示されている測定データをすべて未選択の状態にします。
[チェック済みのみ表示する] ボタン OFF	オン: データリスト上の測定データを、選択状態になっているものに絞り込んで表示します。 オフ: データリスト上の測定データを選択状態にかかわらずすべて表示します。
[検索] ボックス スペース区切りでテキストを入力 ▼	データリスト上で測定データの表示状態を絞り込むためのキーワードとなるテキストを入力します。複数の検索語を使用する場合、半角スペースでテキストを区切って入力してください。(OR 条件)
[検索] ボタン 	データリスト上の測定データを、[検索] ボックスに入力されたテキストに部分一致するものに絞り込んで表示します。
[フィルタ] ボタン OFF	オン: [検索]ボタンをクリック、または、[日付], [データ種類], [測定器形名] のドロップダウンを変更して測定データを絞り込んで表示すると本ボタンが”オン”の表示になります。 オフ: 上記の絞り込み条件をすべて解除して測定データを表示します。
[日付] 選択ドロップダウン すべての日付 ▼	すべての日付: 測定データを日付で絞り込まずに表示します。 今日: 測定データを更新日時が直近1日のものに絞り込んで表示します。 今週: 測定データを更新日時が直近1週間のものに絞り込んで表示します。 今月: 測定データを更新日時が直近1か月間のものに絞り込んで表示します。 日付指定: 任意の期間を指定して、測定データを期間内のものに絞り込んで表示します。

	初期状態では [すべての日付] が選択されています。
[データ種類] 選択ドロップダウン すべて	測定データを [データ種類] で絞り込んで表示します。 初期状態では[すべて]が選択されています。
[測定器形名] 選択ドロップダウン すべて	測定データを[測定器の形名]で絞り込んで表示します。 初期状態では[すべて]が選択されています。

画面構成と機能 (④ 情報表示部)

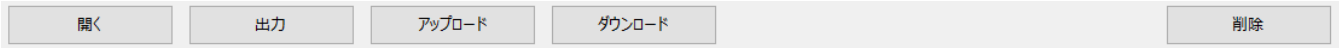
データリスト上で選択されている測定データの詳細情報を表示します。選択されている測定データが画像ファイルの場合は、縮小した画像を表示します。



画面構成と機能 (⑤ 機能ボタン部)

測定ファイルのアップロード、ダウンロード、削除など GENNECT Cloud とデータを連携するための操作ができます。GENNECT One の測定データを GENNECT Cloud と連携して共有・管理する手順については以下を参照してください。

- [GENNECT One と GENNECT Cloud の測定データの連携を開始する](#)
- [データリスト\(クラウド\)の測定データを管理する](#)



名称	機能						
[開く] ボタン	<p>データリスト上で選択した測定データを GENNECT One で開きます。測定ファイルがローカル PC のストレージに存在しない場合は GENNECT Cloud から測定ファイルがダウンロードされます。詳細は以下を参照してください。</p> <p>➤ 測定データを GENNECT One で開く</p>						
[出力] ボタン	<p>データリスト上で選択した測定データを GENNECT One の外部にファイル出力します。測定ファイルがローカル PC のストレージに存在しない場合は、測定ファイルを GENNECT Cloud からダウンロードして出力します。詳細は以下を参照してください。</p> <p>➤ 測定データをファイル出力する</p>						
[アップロード] ボタン	<p>データリスト上で選択した測定データを GENNECT Cloud にアップロードします。詳細は以下を参照してください。</p> <p>➤ 測定データを GENNECT Cloud にアップロードする</p>						
[ダウンロード] ボタン	<p>データリスト上で選択した測定データを GENNECT Cloud から GENNECT One にダウンロードします。詳細は以下を参照してください。</p> <p>➤ 測定データを GENNECT Cloud からダウンロードする</p>						
[削除] ボタン	<p>データリストに表示されている測定データを、削除方法を指定して削除します。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>削除方法</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ローカルのファイルのみ削除する</td> <td>ローカル PC のストレージに保存されている測定データのみ削除します。削除した測定データは再びダウンロードして取得することができますので、ローカルストレージを節約できます。</td> </tr> <tr> <td>ローカルとクラウドのファイルを両方削除する</td> <td>ローカル PC のストレージと GENNECT Cloud に保存されている測定データの両方を完全に削除します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>詳細は以下を参照してください。</p> <p>➤ 測定データを削除する</p>	削除方法	説明	ローカルのファイルのみ削除する	ローカル PC のストレージに保存されている測定データのみ削除します。削除した測定データは再びダウンロードして取得することができますので、ローカルストレージを節約できます。	ローカルとクラウドのファイルを両方削除する	ローカル PC のストレージと GENNECT Cloud に保存されている測定データの両方を完全に削除します。
削除方法	説明						
ローカルのファイルのみ削除する	ローカル PC のストレージに保存されている測定データのみ削除します。削除した測定データは再びダウンロードして取得することができますので、ローカルストレージを節約できます。						
ローカルとクラウドのファイルを両方削除する	ローカル PC のストレージと GENNECT Cloud に保存されている測定データの両方を完全に削除します。						

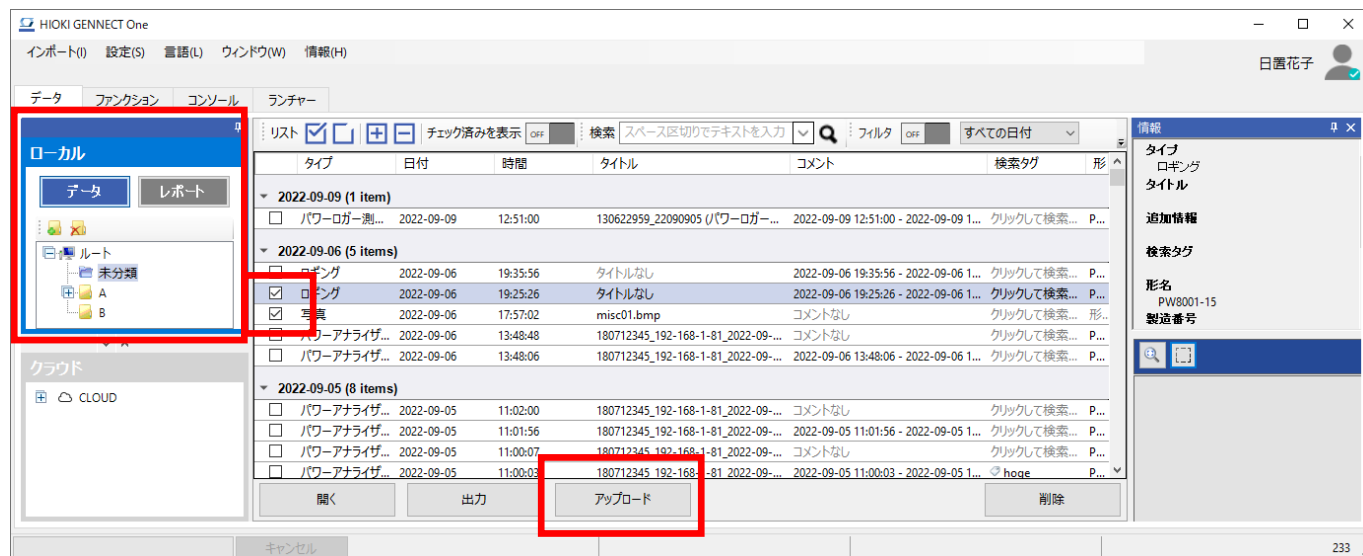
GENNECT One と GENNECT Cloud の測定データの連携を開始する

GENNECT One と GENNECT Cloud の測定データの連携を開始する手順を説明します。

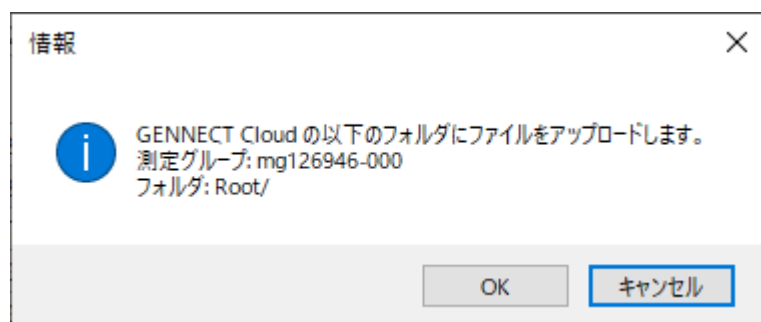
データリスト（ローカル）の測定データを GENNECT Cloud にアップロードする

GENNECT One のデータリスト(ローカル)に保存されている測定データを GENNECT Cloud にアップロードする方法を説明します。アップロードされた測定データは GENNECT Cloud のドライブ画面と GENNECT One のデータリスト(クラウド)に反映されて、GENNECT Cloud とのデータ連携が開始されます。データ連携が開始された測定データはアカウント内の別のユーザーと共有できます。

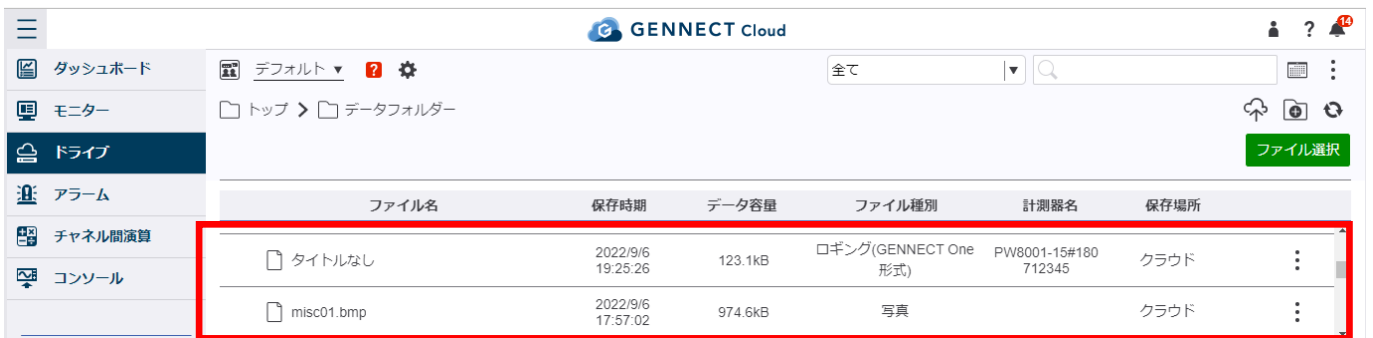
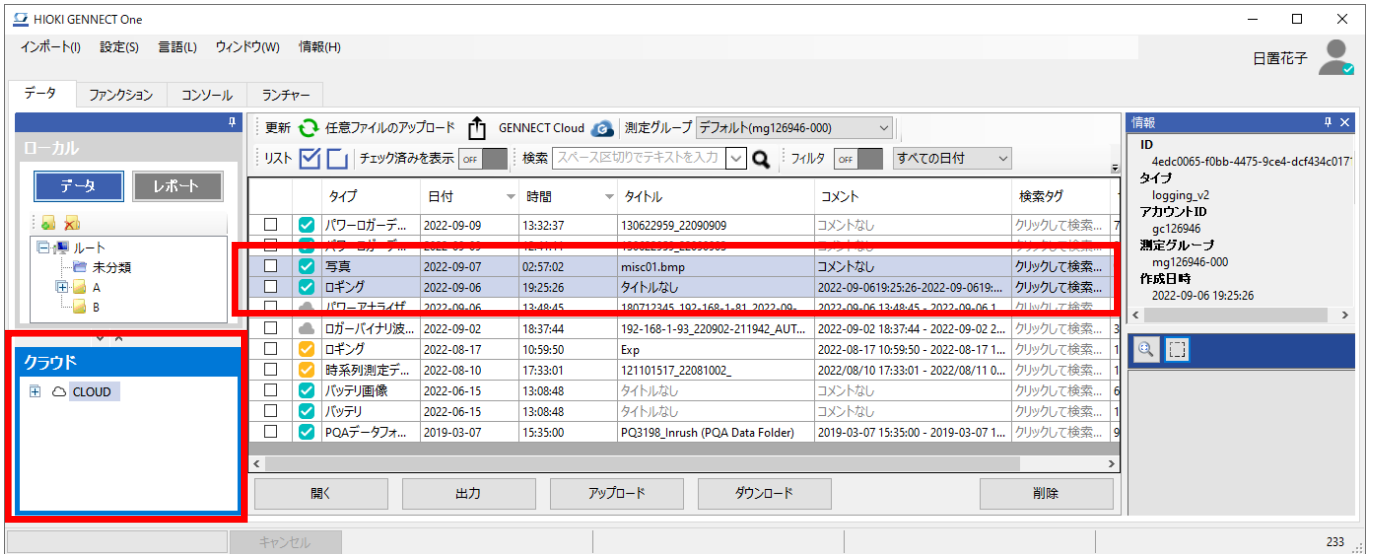
1. GENNECT Cloud にログインします。
2. データリスト(ローカル)を開きます。
3. データリスト(ローカル)上で測定データを選択して[アップロード]ボタンをクリックします。



4. アップロード先の測定グループとフォルダを確認する画面が表示されます。(*1)
GENNECT Cloud 上のアップロード先を確認して [OK] ボタンをクリックします。



5. しばらく待つとアップロードが完了します。
6. GENNECT Cloud にアップロードされた測定データは
 - ・GENNECT One のデータリスト(クラウド)画面
 - ・GENNECT Cloud のドライブ画面
 に反映されて、アカウント内の別のユーザーと共有できるようになります。



注記

(*1) データリスト(ローカル)から測定データをアップロードする場合に、アップロード先の測定グループとフォルダを変更する設定については以下を参照してください。

- ▶ [\[データリスト\(ローカル\)\] タブ](#)



データリスト (クラウド) の測定データを管理する

GENNECT One のデータリスト(クラウド)で、アカウント内で共有された測定データを閲覧または管理（出力、アップロード、ダウンロード、削除）する方法を説明します。

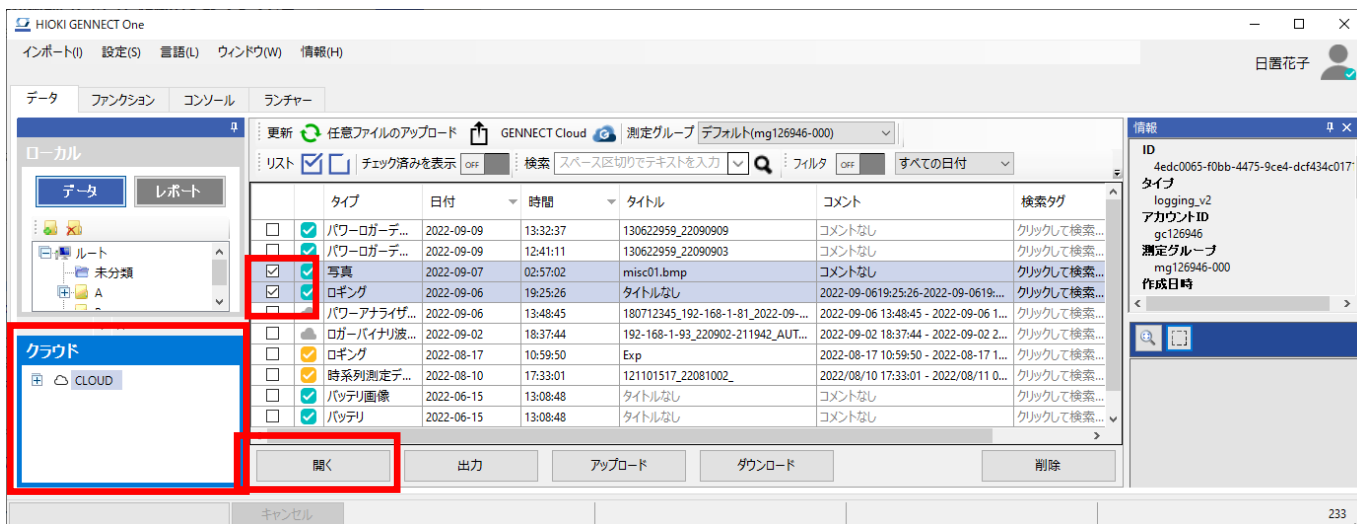
測定データを GENNECT One で開く

GENNECT One のデータリスト(クラウド)で、アカウント内で共有された測定データを GENNECT One で開く手順について説明します。

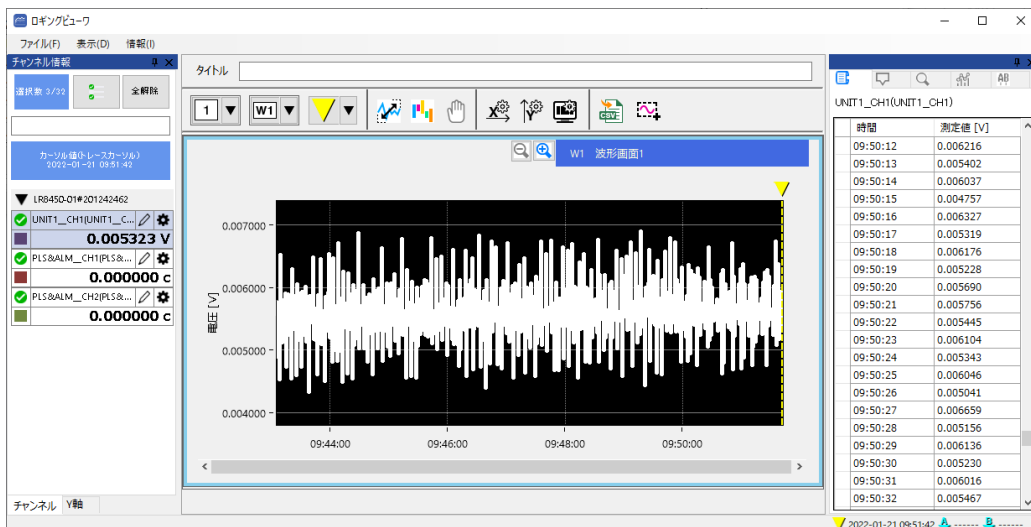
ステータス	動作内容
<input checked="" type="checkbox"/> [完全同期]	ローカルストレージに保存された測定データを GENNECT One で開きます。

<p><input checked="" type="checkbox"/> [部分同期]</p>	<p>測定データを GENNECT Cloud からローカルストレージにダウンロードするかどうかを確認するダイアログ画面が表示されます。(*2)</p> <p>ダウンロードしない場合:</p> <p>ローカルストレージに保存された測定データを GENNECT One で開きます。</p> <p>ダウンロードする場合:</p> <p>GENNECT Cloud からローカルストレージにダウンロードした測定データを GENNECT One で開きます。</p>
<p> [未ダウンロード]</p>	<p>GENNECT Cloud からローカルストレージにダウンロードした測定データを GENNECT One で開きます。</p>
<p> [未アップロード]</p>	<p>ローカルストレージに保存された測定データを GENNECT One で開きます。</p>
<p> [未アップロード(別端末)]</p>	<p>GENNECT One から測定データを開くことはできません。(*1)</p>

1. データリスト(クラウド)上で測定データを選択して [開く] ボタンをクリックします。



2. 選択した測定データの種類に応じたビューが起動して測定データを開覧できます。測定ファイルがローカル PC のストレージに存在しない場合は、まず GENNECT Cloud から測定ファイルをダウンロードされます。(*1)(*2)



注記

(*1) 測定ファイルが GENNECT Cloud のストレージに存在しない場合 ([未アップロード]または[未アップロード(別端末)])のステータスは、測定ファイルをダウンロードできません。GENNECT Cloud のウェブアプリケーションまたは、GENNECT Cloud と連携している端末からファイルをアップロードすることでファイルをダウンロードすることができます。

(*2) GENNECT Cloud のストレージとローカル PC のストレージの両方に測定ファイルが保存されていて、ファイルの内容が異なる測定データ ([部分同期]のステータス)が選択されている場合は、ローカル PC のファイルを更新するかどうかを確認するメッセージが表示されます。この動作を変更する設定については以下を参照してください。

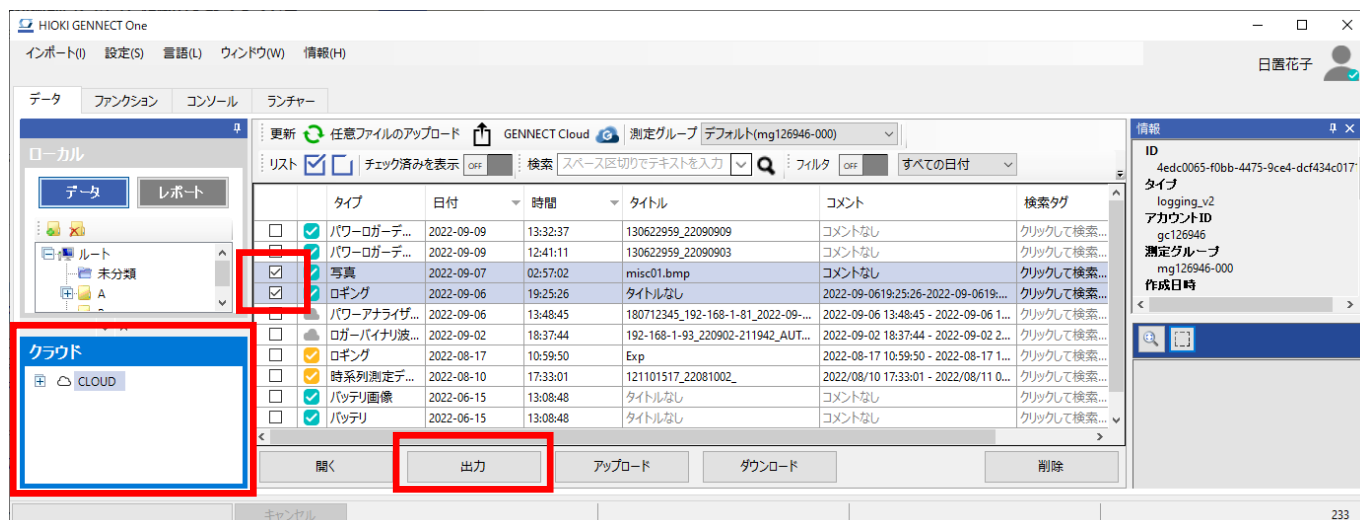
➤ [\[データリスト\(クラウド\)\] タブ](#)

測定データをファイル出力する

GENNECT One のデータリスト(クラウド)で、アカウント内で共有された測定データをファイル出力する手順を説明します。

ステータス	動作内容
 [完全同期]	ローカルストレージに保存された測定データを GENNECT One から出力します。
 [部分同期]	測定データを GENNECT Cloud からローカルストレージにダウンロードするかどうかを確認するダイアログ画面が表示されます。(*3) ダウンロードしない場合: ローカルストレージに保存された測定データを GENNECT One から出力します。 ダウンロードする場合: GENNECT Cloud からローカルストレージにダウンロードした測定データを GENNECT One から出力します。
 [未ダウンロード]	GENNECT Cloud からローカルストレージにダウンロードした測定データを GENNECT One から出力します。
 [未アップロード]	ローカルストレージに保存された測定データを GENNECT One から出力します。
 [未アップロード(別端末)]	GENNECT One から測定データを出力することはできません。 (*2)

1. データリスト(クラウド)上で測定データを選択して [開く] ボタンをクリックします。



2. 出力形式を選択して [OK] ボタンをクリックします。(*1)



3. 保存先を指定して [OK] ボタンをクリックします。測定ファイルがローカル PC のストレージに存在しない場合は、GENNECT Cloud から測定ファイルがダウンロードされます。(*2) (*3)

4. 測定ファイルが指定した保存先に保存されます。

注記

(*1) CSV/画像形式は選択できないデータ種類があります。CSV 形式での出力に対応したデータ種類については以下を参照してください。

>> [対応出力形式](#)

(*2) 測定ファイルが GENNECT Cloud のストレージに存在しない場合 ([未アップロード] または [未アップロード(別端末)]) のステータスは、測定ファイルをダウンロードできません。

(*3) GENNECT Cloud のストレージとローカル PC のストレージの両方に測定ファイルが保存されていて、ファイルの内容が異なる測定データ ([部分同期] のステータス) が選択されている場合は、ローカル PC のファイルを更新するかどうかを確認するメッセージが表示されます。この動作を変更する設定については以下を参照してください。

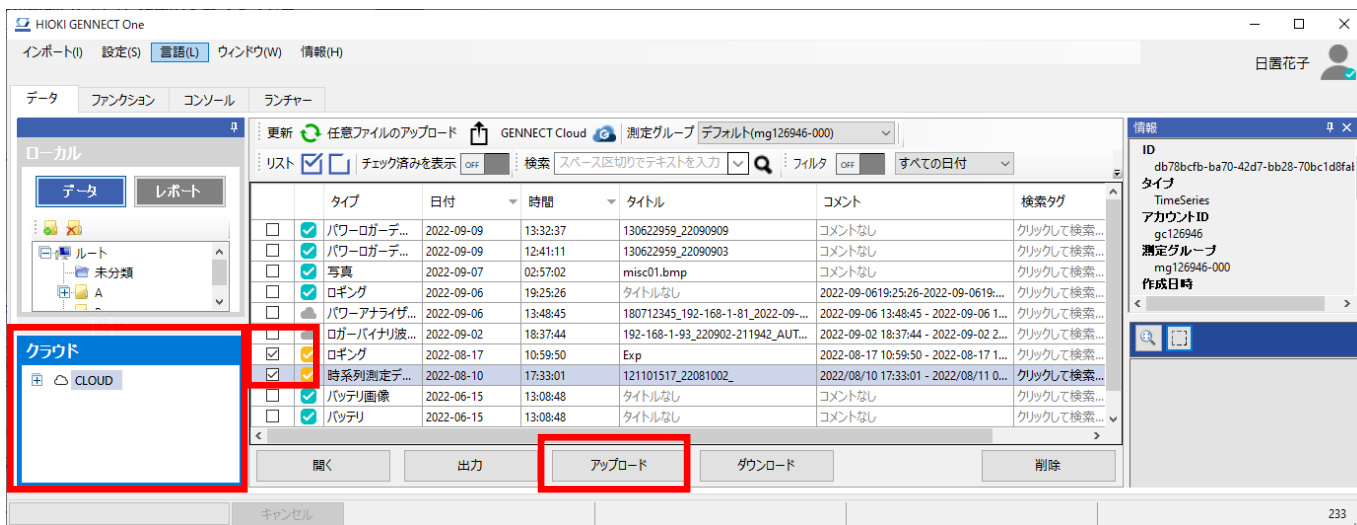
> [\[データリスト\(クラウド\)\] タブ](#)

測定データを GENNECT Cloud にアップロードする

GENNECT One のデータリスト(クラウド)で、[未アップロード] または [部分同期] のステータスの測定データを GENNECT Cloud にアップロードする手順について記述します。

ステータス	動作内容
 [完全同期]	測定データが最新の状態になっています。測定データはアップロードされません。 (*1)
 [部分同期]	測定データをローカルストレージから GENNECT Cloud にアップロードするかどうかを確認するダイアログ画面が表示されます。 (*3) アップロードしない場合： GENNECT Cloud に測定データはアップロードされません。 アップロードする場合： GENNECT Cloud に測定データがアップロードされます。
 [未ダウンロード]	測定データはローカルストレージに存在しません。測定データはアップロードされません。 (*2)
 [未アップロード]	GENNECT Cloud に測定データがアップロードされます。
 [未アップロード(別端末)]	測定データはローカルストレージに存在しません。測定データはアップロードされません。 (*2)

1. データリスト(クラウド)上で、[未アップロード]または[部分同期]のステータスの測定データを選択して、[アップロード]ボタンをクリックします。



2. しばらく待つとアップロードが完了します。 **(*1) (*2)**

アップロードが完了すると測定データは[完全同期]のステータスになります。

注記

(*1) GENNECT Cloud とデータのファイルの内容が完全に一致する測定データ([完全同期]のステータス)の場合は、測定データはアップロードされません。

(*2) 測定ファイルがローカル PC のストレージに存在しない測定データ([未ダウンロード]または[未アップロード(別端末)]のステータス)の場合は、測定データはアップロードされません。

(*2) GENNECT Cloud のストレージとローカル PC のストレージの両方に測定ファイルが保存されていて、ファイルの内容が異なる測定データ([部分同期]のステータス)の場合場合は、GENNECT Cloud のファイルを更新するかどうかを確認するメッセージが表示されます。この動作を変更する設定については以下を参照してください。

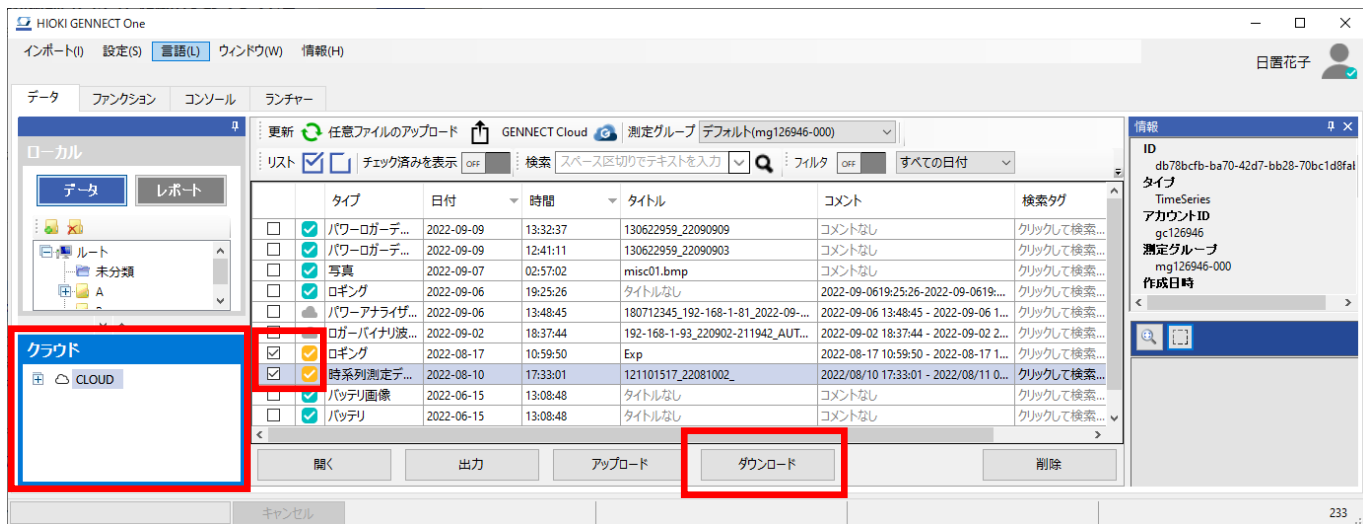
➤ [\[データリスト\(クラウド\)\] タブ](#)

測定データを GENNECT Cloud からダウンロードする

GENNECT One のデータリスト(クラウド)で、[部分同期]または[未ダウンロード]のステータスの測定データを GENNECT Cloud から GENNECT One にダウンロードする手順について記述します。

ステータス	動作内容
[完全同期]	測定データが最新の状態になっています。測定データはダウンロードされません。(*1)
[部分同期]	測定データを GENNECT Cloud からローカルストレージにダウンロードするかどうかを確認するダイアログ画面が表示されます>(*3) ダウンロードしない場合: 測定データはダウンロードされません。 ダウンロードする場合: GENNECT Cloud からローカルストレージに測定データがダウンロードされます。
[未ダウンロード]	GENNECT Cloud からローカルストレージに測定データがダウンロードされます。
[未アップロード]	測定データは GENNECT Cloud のストレージに存在しません。測定データはダウンロードされません>(*2)
[未アップロード(別端末)]	GENNECT One から測定データをダウンロードすることはできません>(*2)

1. データリスト(クラウド)上で、[部分同期]または[未ダウンロード]のステータスの測定データを選択して、[ダウンロード]ボタンをクリックします。



2. しばらく待つとダウンロードが完了します>(*1) (*2)

ダウンロードが完了すると測定データは[完全同期]のステータスになります。

注記

(*1) GENNECT Cloud とデータのファイルの内容が完全に一致する測定データ([完全同期]のステータス)の場合は、測定データはダウンロードされません。






(*2) 測定ファイルが GENNECT Cloud のストレージに存在しない場合([未アップロード]または[未アップロード(別端末)]のステータス)は、測定ファイルをダウンロードできません。GENNECT Cloud のウェブアプリケーションまたは、GENNECT Cloud と連携している端末からファイルをアップロードすることでファイルをダウンロードすることができます。

(*3) GENNECT Cloud のストレージとローカル PC のストレージの両方に測定ファイルが保存されていて、ファイルの内容が異なる測定データ([部分同期]のステータス)が選択されている場合は、ローカル PC のファイルを更新するかどうかを確認するメッセージが表示されます。この動作を変更する設定については以下を参照してください。

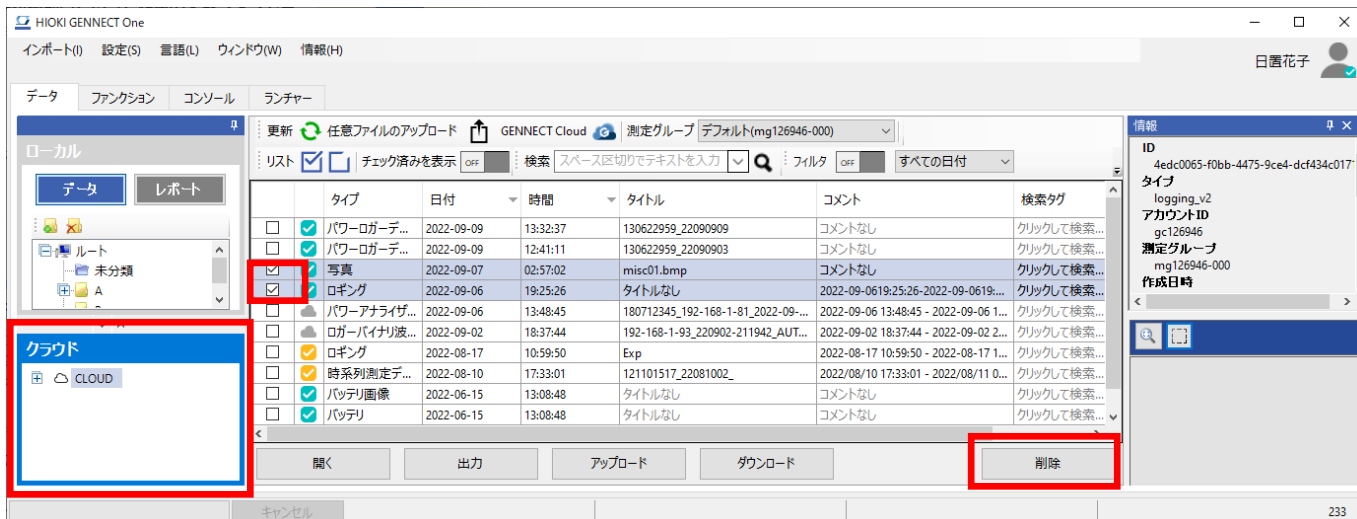
▶ [\[データリスト\(クラウド\)\] タブ](#)

測定データを削除する

GENNECT One のデータリスト(クラウド)で、アカウント内で共有された測定データを削除する手順について記述します。

ステータス	動作内容
 [完全同期]	削除方法を確認するダイアログ画面が表示されます。 (*1)
 [部分同期]	ローカルのファイルのみ削除: ローカル PC のストレージに保存されている測定データのみ削除します。削除した測定データは再びダウンロードして取得することができますので、ローカルストレージを節約できます。 ローカルとクラウドのファイルを両方削除: ローカル PC のストレージと GENNECT Cloud に保存されている測定データの両方を完全に削除します。
 [未ダウンロード]	
 [未アップロード]	ローカル PC のストレージと GENNECT Cloud に保存されている測定データの両方が完全に削除されます。 (*2)
 [未アップロード(別端末)]	GENNECT One から測定データを削除することはできません。 (*3)

1. データリスト(クラウド)上で、測定データを選択して、[削除]ボタンをクリックします。



2. 削除方法を確認するメッセージが表示されます(*1) (*2) (*3)。削除方法を選択して[OK]ボタンをクリックします。

削除方法	説明
ローカルのファイルのみ削除する	ローカル PC のストレージに保存されている測定データのみ削除します。削除した測定データは再びダウンロードして取得することができますので、ローカルストレージを節約できます。
ローカルとクラウドのファイルを両方削除する	ローカル PC のストレージと GENNECT Cloud に保存されている測定データの両方を完全に削除します。

3. 測定データが削除されます。

注記

(*1) 初期状態では削除方法を確認するメッセージが表示されます。この動作を変更する設定については以下を参照してください。

➤ [\[データリスト\(クラウド\)\] タブ](#)

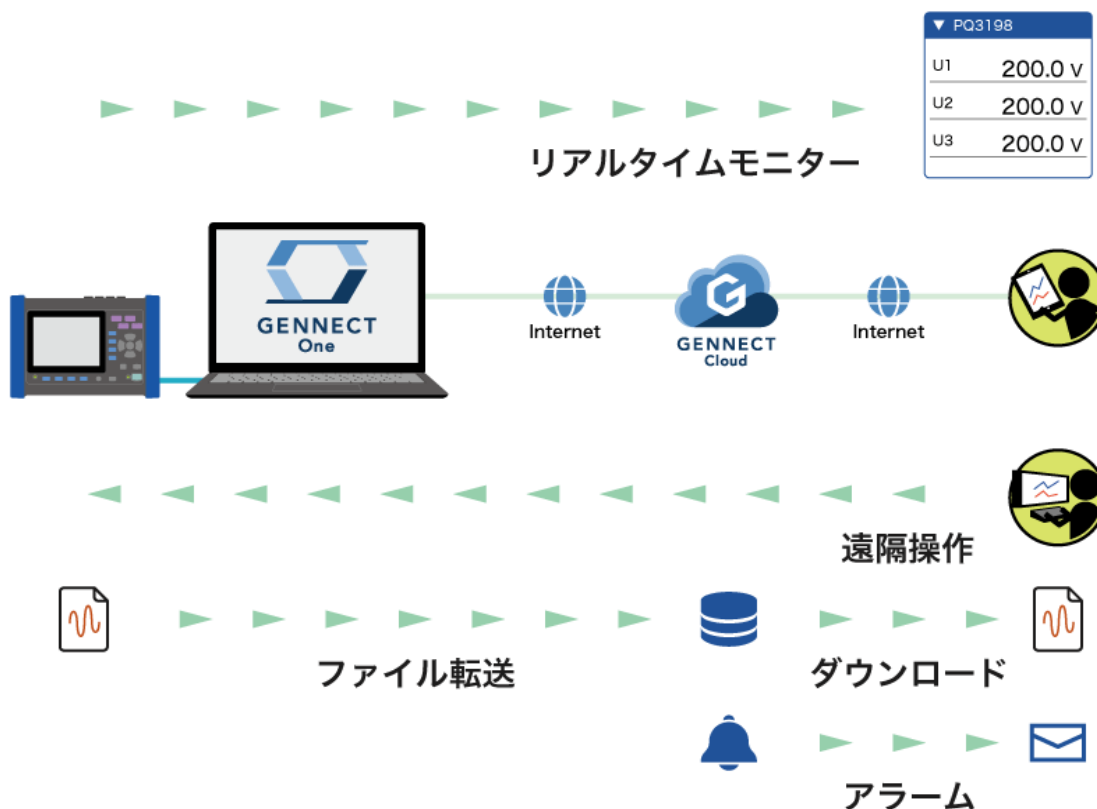
(*2) [未アップロード]のステータスの測定データが選択されている場合は、削除を確認するダイアログ画面が表示されます。[未アップロード]のステータスの測定データを削除すると GENNECT Cloud との測定データの連携が失われます。測定データを再びダウンロードする必要がある場合は、測定データを GENNECT Cloud にアップロードして、ローカルのファイルのみ削除するようにしてください。

(*3) [未アップロード(別端末)]の測定データは GENNECT One から削除することはできません。GENNECT Cloud のウェブアプリケーションまたは、GENNECT Cloud と連携している別の端末からファイルを削除する必要があります。

遠隔計測モードを利用する

概要

本機能では GENNECT Cloud を利用して、コンピューターに接続されている測定器に遠隔地からアクセスできます。GENNECT Cloud の機能詳細については、GENNECT Cloud オンラインヘルプ (<https://www.gennect.net/ja/cloud/manual/1-1>) でご確認ください。



リアルタイムモニター

各測定器の測定項目の中から選択したチャンネルの測定値を、クラウドサーバーに保存します。測定間隔は 1 分間固定です。

この保存されるデータを GENNECT 取得データと呼びます。

- リアルタイムに更新される測定値を Web ブラウザで確認できます。
- チャンネルと期間を選択して、グラフにまとめることができます。測定機種が混合していても 1 枚のグラフにまとまります。
- CSV 形式でダウンロードできます。

遠隔操作

測定器本体の HTTP サーバー機能を使用して、遠隔地から安全に測定器を遠隔操作できます。

ファイル転送・ダウンロード

測定器の本体に測定データのファイルが保存されると、自動でローカルのコンピューターに転送されます。コンピューターに転送されたファイルは、クラウド経由で遠隔取得できます。この測定データを測定器データファイルと呼びます。本機能を利用するには測定器の設定をファイル転送のために変更します。詳細については以下をご確認ください。

➤ 測定器の保存設定

※ 測定器から転送された測定器データファイルが取得可能になるまで 7 分程度の時間がかかります。

アラーム

GENNECT 取得データがアラーム条件を満たしたときや、各測定器が測定器データファイルをアップロードしたとき、アラーム通知をします。通知方法は、メール、LINE、Slack、Microsoft Teams、GENNECT Cross およびウェブアプリケーション内での通知画面でお知らせします。

操作の流れ

次の手順で遠隔計測モードを開始/停止します。

コンピューターと測定器を接続する (LAN)

遠隔計測モードを開始する (p.282)

通信環境の確認とログインを行う (p.283)

測定グループの設定を行う (p.284)

測定器を選択する (p.285)

チャンネルを選択する (p.287)

遠隔計測モードを終了する (p.289)

遠隔計測モードを開始する

遠隔計測モードを開始する

1. [ファンクション]のタブをクリックして、[遠隔計測モード]をクリックします。



通信環境の確認とログインを行う

[遠隔計測モード開始準備]画面が表示されます。

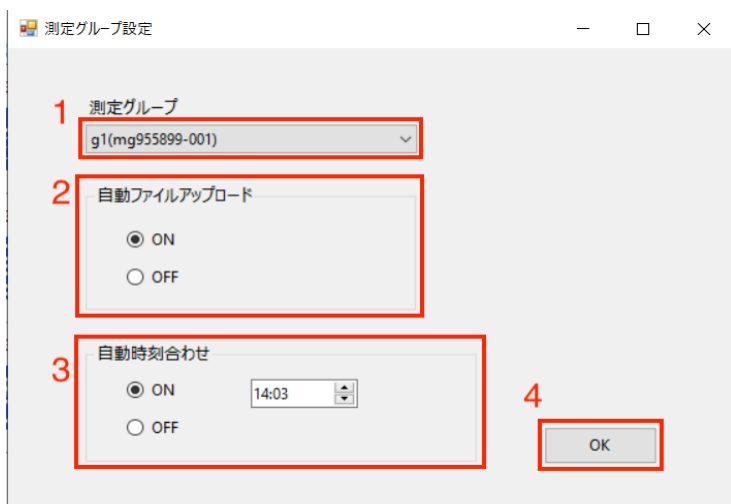
1. 必要に応じて、[通信環境の確認]の[確認]ボタンをクリックします。
お使いの環境で遠隔計測モードが利用できるか確認することができます。
NGになる場合には、遠隔計測モードはご利用いただけません。
お使いのネットワークにアクセス制限がある場合は、ネットワーク管理者にご相談のうえ、制限の解除をご検討ください。
ネットワーク要件：
AWS IoT (中国国外でご利用の場合は"iot.cloud.gennect.net"、中国国内でご利用の場合は"iot.cloud.gennect.cn")
に対して、外向き TCP:443 番ポート、TLS 相互通信を使用した通信が許可されていること
対応例：
-1. "iot.cloud.gennect.net"(443 番ポート)に対して SSL Decryption などの機能を無効にします
-2. フィルタリングソフトによる制限がある場合は本サービスに対するアクセスを許可します
2. [ログイン]ボタンをクリックして GENNECT Cloud にログインします。
既にログイン済みの場合は不要です。GENNECT Cloud アカウントをお持ちでない場合は、先にアカウントを作成します。
➤ [GENNECT Cloud の準備](#)
➤ [GENNECT Cloud にログインする](#)
3. [次へ]ボタンをクリックします。



測定グループの設定を行う

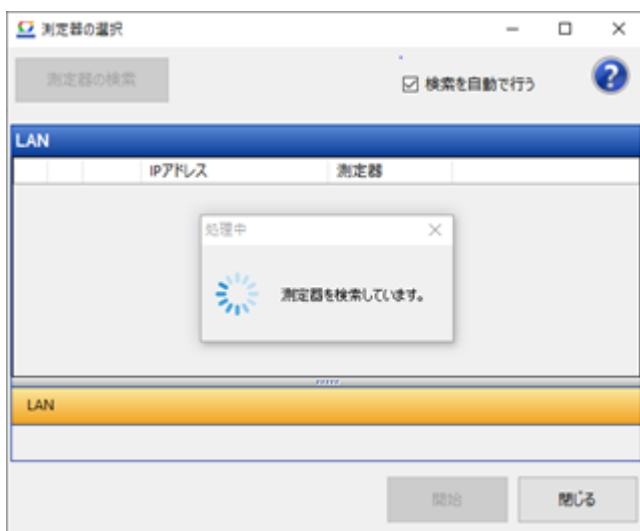
GENNECT Cloud ではすべてのデータはいずれかの測定グループに所属し、測定グループ単位で管理されます。測定グループについて詳しくはオンラインヘルプ(<https://www.gennect.net/ja/cloud/manual/12-1>)をご覧ください。

- GENNECT 取得データ、および、測定器データファイルをアップロードする測定グループを選択します。
 - 自動ファイルアップロードの設定を行います。生成された測定器データファイルをクラウド上にアップロードするための設定です。
ON: 測定器データファイルを自動でアップロードします。測定器の種類や設定によってはファイルサイズが大きくなり、大量のデータ通信が行われますのでご注意の上ご利用ください。自動でアップロードするファイルは 128MB 以下のものに限りです。
OFF: 測定器データファイルは自動でアップロードされず、コンピューターに残ります。
 - 自動時刻合わせの設定を行います。
ON にすると、1 日 1 回指定の時刻に測定器の時計合わせを行います。測定器の種類、バージョンによっては時刻合わせにより測定や積算が停止されます。この場合、時刻合わせされた時間でファイルが区切られます。詳細は次を参照してください。
- [測定器の時計合わせ詳細](#)
- [OK] ボタンをクリックします。



測定器を選択する

1. [測定器の選択]画面が表示されます。
 本アプリケーションが、コンピューターに LAN で接続された測定器を検索している間、「測定器を検索しています。」のメッセージが表示されます。



2. 1.の検索で見つかった測定器が一覧で表示されます。



※ [測定器の検索]ボタンをクリックして、測定器を再検索できます。

※ 検索を自動で行う のチェックを OFF にすると、この画面を開いた時に測定器の自動検索を行いません。
 検索を自動で行う のチェックを ON にすると、この画面を開いた時に測定器の自動検索を行います

※ 検索結果に本アプリケーションで一度も接続したことがない測定器が含まれる場合は、以下のような表示になります。

IPアドレス	測定器
172.19.114.230	<- 測定器を選択

この測定器への接続を確立する場合は、[測定器]のコンボボックスで形名を選択します。

IPアドレス	測定器
172.19.114.230	PQ3100

※ 検索で見つからない測定器を手動で追加する場合は、[IP アドレスを入力]欄に直接 IP アドレスを指定してから、対象の測定器をコンボボックスから選択します。

IPアドレスを入力	測定器
	<- 測定器を選択

※ 右クリックで表示されるメニューで、[接続確認]を選択して、接続の確認できます。

IPアドレス	測定器
172.19.114.230	PQ3100
IPアドレスを指定	削除 (D)
	接続確認 (C)

LAN ケーブルが抜けているなどの理由で、測定器との通信が確認できない場合は次のような表示になります。

IPアドレス	測定器
172.19.114.230	<- 測定器を選択

※ 右クリックで表示されるメニューで、[削除]を選択して、測定器をリストから削除できます。

IPアドレス	測定器
172.19.114.230	<- 測定器を選択
IPアドレスを指定	削除 (D)
	接続確認 (C)

3. 遠隔計測モードで利用する測定器をチェックボックスで選択します。
 [開始]ボタンをクリックして次に進みます。



※ 薄緑色の接続ステータスは、測定器が発見されたが、未接続状態のステータスです。ステータスアイコンをダブルクリックするか、[開始]ボタンをクリックすると接続します。

	IPアドレス	測定器
<input checked="" type="checkbox"/>	172.19.114.230	PQ3100
<input type="checkbox"/>	172.19.114.231	<- 測定器を選択
<input checked="" type="checkbox"/>	172.19.114.232	LR8410
<input type="checkbox"/>	IPアドレスを指定して下さい	<- 測定器を選択

接続済： 緑 (■)
 発見済： 薄緑 (■)
 未発見： 赤 (■)

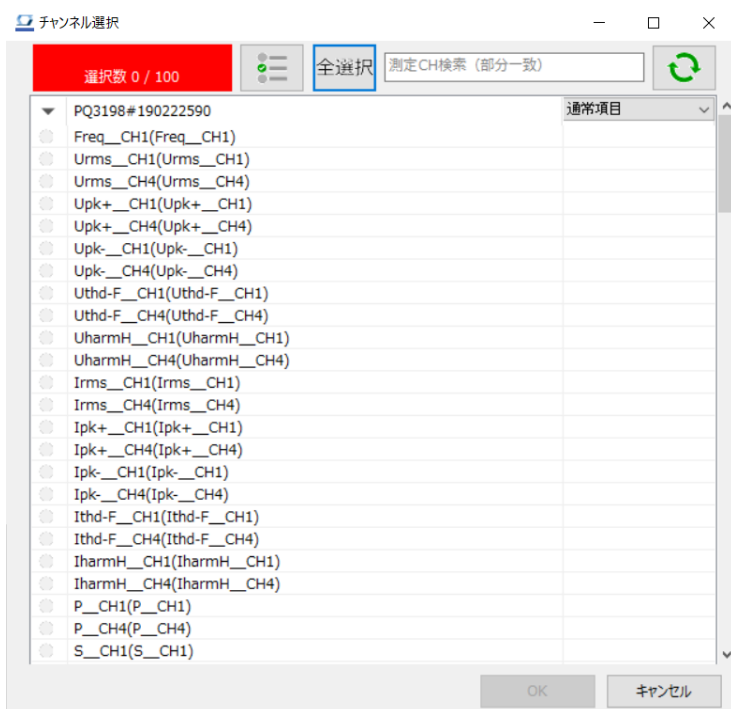
※ GENNECT Cloud Free では最大 3 台まで、GENNECT Cloud Standard/Pro では最大 8 台まで選択できます。


チャンネルを選択する

1. [チャンネル選択]画面が表示されます。「測定チャンネルを取得しています。」のメッセージが表示されます。



2. [測定器の選択]画面で選択した測定器の有効な測定チャンネルが一覧で表示されます。



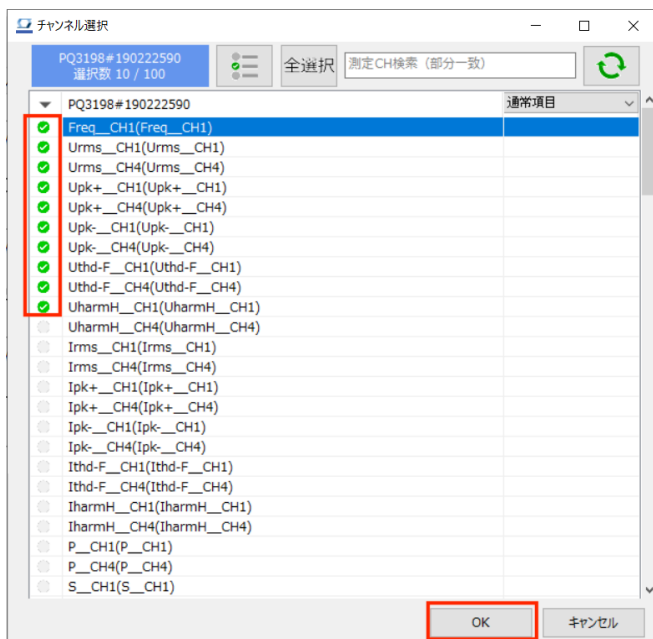
- ※  ボタンをクリックして、測定チャンネルを再検索できます。
- ※ PQ3100,PQ3198,PW3335(*),PW3336(*),PW3337(*),PW3360,PW3365,PW8001 (高調波対応モデル)では、測定項目のコンボボックスを選択して、リストに表示する測定チャンネルを高調波チャンネルに切り替えることができます。
***本アプリケーションのバージョンが V5.10 未満の場合、PW3335,PW3336,PW3337 の高調波項目の取得に対応していません。本アプリケーションを V5.10 以降にバージョンアップしてご利用ください。**



- ※ PW3336, PW8001, PQ3198 など一部の測定器に関する測定項目は識別名(PWP, MU_{pk} など)で表示されます。識別名と測定項目名の対応関係は以下を参照してください。
 ▶ [ロギング・ダッシュボード機能の識別名と測定項目名](#)
- ※ 通常項目の測定チャンネル数が 1200 を超える場合、ページが複数に分かれます。その場合は、コンボボックスで表示するページを選択して、ページを切り替えてください。



3. ロギングを行う測定チャンネルをチェックボックスで選択します。
 [OK]ボタンをクリックして次に進みます。



※ 選択できるチャンネル数は以下の通りです。

プラン	チャンネル数(1 測定器あたり)
Trial	10
Free	30
Standard	30
Pro	100

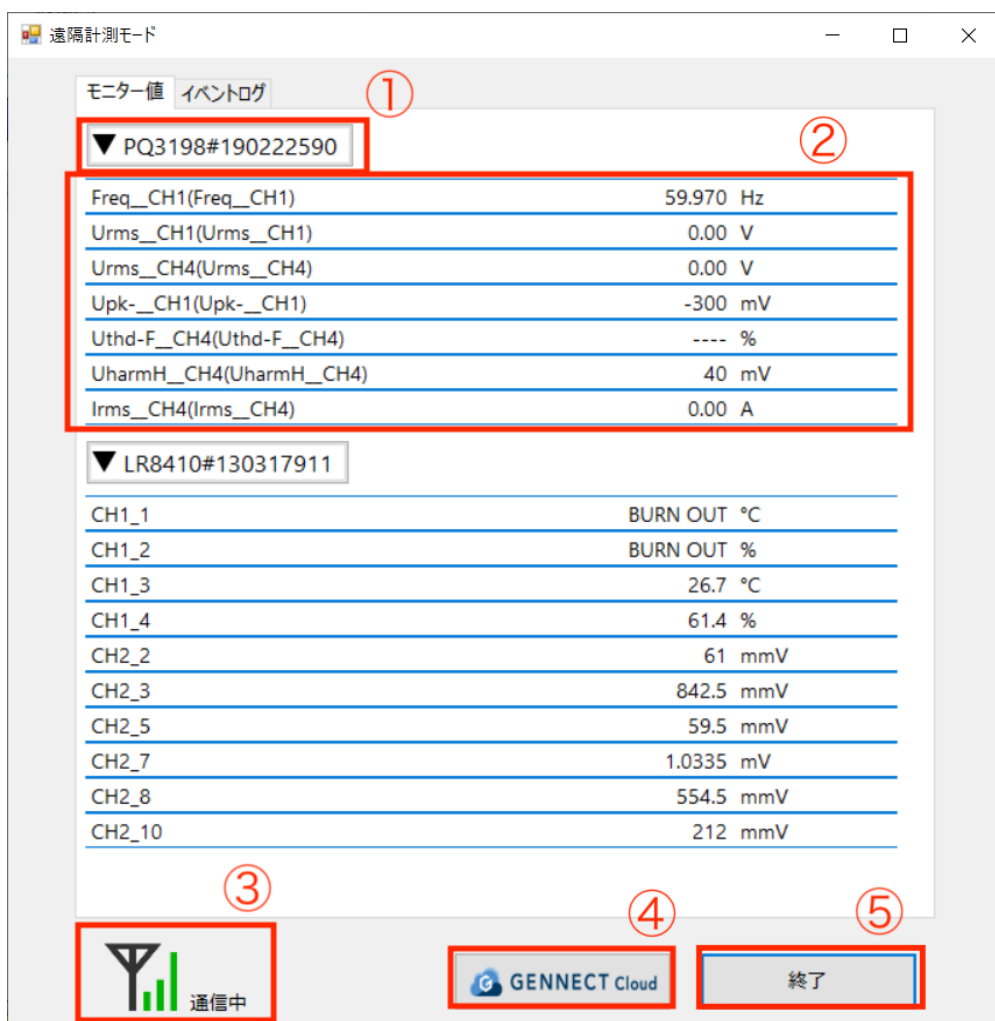
- ※ [測定 CH 検索]の検索ボックスで、リストに表示する測定チャンネルを絞り込むことができます。
- ※ ボタンをクリックして、リストに表示する測定チャンネルを選択済みのチャンネルに限定することができます。
- ※ ボタンをクリックして、「すべて選択/すべて選択解除」を切り替えることができます。

遠隔計測モードを終了する

1. [終了]ボタンをクリックして、遠隔計測モードを停止します。

遠隔計測モードが停止されると、クラウドへの GENNECT 取得データ、および、測定器データファイルのアップロードが終了します。

画面構成について




① 測定器名表示

この領域をクリックすると、②の領域の表示/非表示が切り替わります。

② 測定チャンネル、測定値の表示

現在の測定値が表示されます。

③ インターネットとの通信環境アイコン

インターネットとの通信が正常にできていれば表記のアイコンが、
通信が正常にできていなければ  のアイコンが表示されます。

④ ブラウザで開くためのボタン

このボタンをクリックすると、GENNECT Cloud の WEB アプリをブラウザで開きます。

⑤ 終了ボタン

このボタンをクリックすると、遠隔計測モードを終了します。

測定器を操作する（遠隔操作（Cloud））

GENNECT Cloud にログイン(*1)することで、GENNECT Cloud を経由して、遠隔地にあるゲートウェイ(GENNECT Remote で利用する通信用デバイス)、もしくは GENNECT One がインストールされた別のコンピューターに接続された測定器を操作できます。

(*1) GENNECT One から GENNECT Cloud にログインする方法については以下を参照してください。

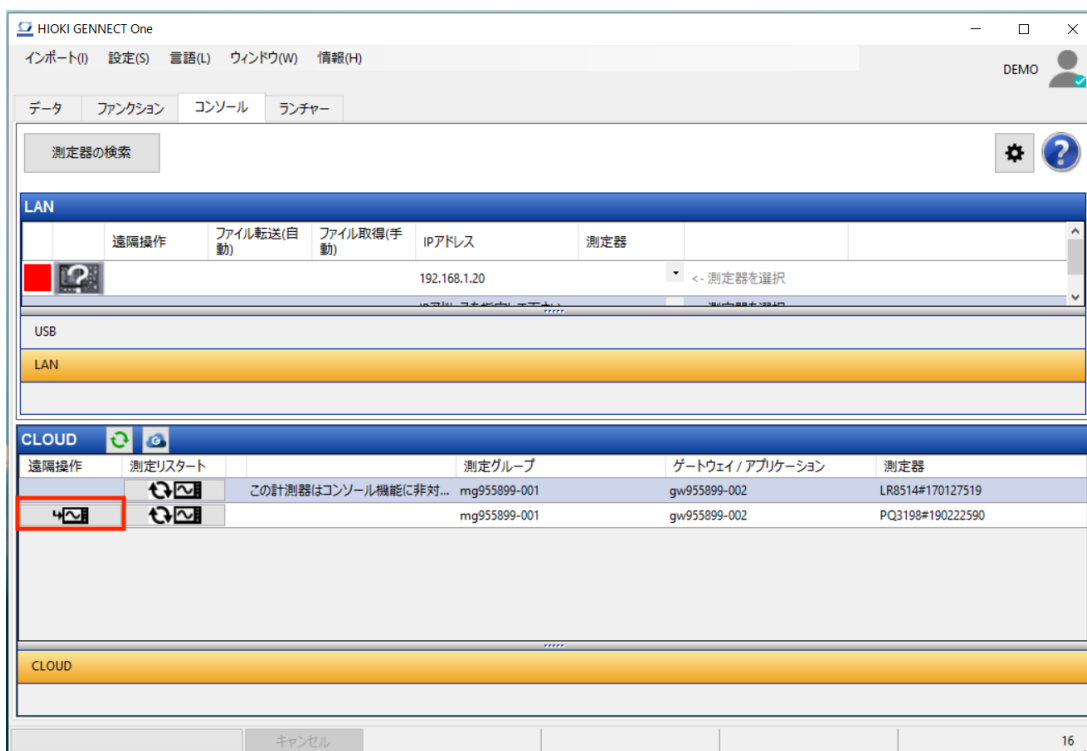
➤ [GENNECT Cloud にログインする](#)


対応測定器

形名	品名	対応バージョン
PQ3100	電源品質アナライザ	V2.30 以降
PQ3198	電源品質アナライザ	V2.00 以降
PW3335	パワーメータ	V1.11 以降
PW3336	パワーメータ	V1.23 以降
PW3337	パワーメータ	V1.23 以降
PW3360	クランプオンパワーロガー	V3.21 以降
PW3365	クランプオンパワーロガー	V2.10 以降
PW3390	パワーアナライザ	V2.00 以降
PW6001	パワーアナライザ	V3.02 以降
PW8001	パワーアナライザ	V1.00 以降
LR8450, LR8450-01	メモリハイロガー	V1.50 以降
LR8101 LR8102	データロガー	V1.00 以降
MR6000	メモリハイコーダ	V3.11 以降
MR8875	メモリハイコーダ	V2.17 以降

遠隔操作を開始する

1. メイン画面の[コンソール]タブを選択します。




2. [CLOUD]のパネル内の[遠隔操作]ボタン()をクリックします。

3. [遠隔操作]画面が開き、測定器を操作できます。



測定器のリスタートを行う

1. メイン画面の[コンソール]タブを選択します。
2. [CLOUD]のパネル内の[測定リスタート]ボタン()をクリックします。
3. 対象の測定器のリスタートが行われます。

ブラウザで開く

1. メイン画面の[コンソール]タブを選択します。
2. [CLOUD]のパネル内の()ボタンをクリックします。
3. GENNECT Cloud の WEB アプリがブラウザで開きます。

測定器のファームウェアをアップデートする

PC に LAN 接続された測定器のファームウェアを、PC の操作により最新版にアップデートすることができます。(※1, ※2)

- ・接続された測定器のファームウェアが最新版かどうかを自動で確認し、アイコンでステータスを表示します。(※1)
- ・最新のファームウェアを GENNECT Cloud からダウンロードするため、アプリの操作のみでバージョンアップを実行できます。(※1, ※2)

※1. PC のインターネット接続が必要です。

※2. GENNECT Cloud へのログインが必要です。

➤ [GENNECT Cloud にログインする](#)

対応測定器

形名	品名	対応バージョン	備考
LR8450 LR8450-01	メモリハイロガー	V2.20 以降(*1)	*1: 製造番号が以下の機体は、本機能には非対応です。 LR8450 製造番号 210317114 以前の機体 LR8450-01 製造番号 210322039 以前の機体
LR8101, LR8102	データロガー	V1.50 以降	
PW8001	パワーアナライザ	V1.50 以降	
BT6065, BT6075	バッテリーテスタ	V1.00 以降	

制限

ファームウェアのバージョンアップ機能に関する制限

項目	制限値	備考
通信インターフェース	LAN	USB 通信には非対応です。
同時にバージョンアップできる測定器の数	1 台	

測定器ごとの仕様

形名	測定器の記録メディアの要否	バージョンアップ中に測定器の電源が切れた場合の対応
LR8450, LR8450-01	不要	測定器の修理が必要です。
LR8101, LR8102	不要	測定器の修理が必要です。
PW8001	USB メモリの挿入が必要	測定器の修理が必要です。
BT6065, BT6075	不要	測定器の再起動により復旧します。

操作の流れ

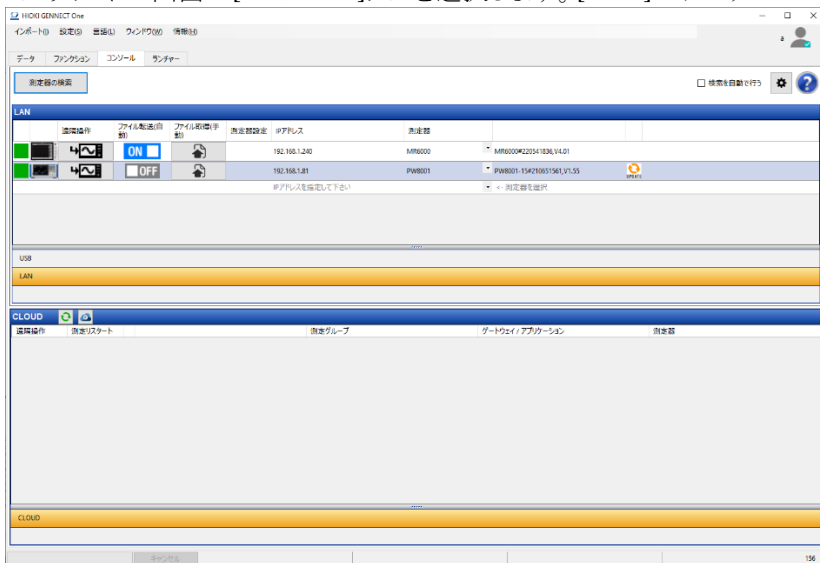
[コンピューターと測定器を接続する \(LAN\)](#)

[GENNECT Cloud にログインする](#)

[測定器のバージョンアップを実行する](#)

操作手順

1. アプリメイン画面の[コンソール]タブを選択します。[LAN]のナビゲーションバーを選択します。

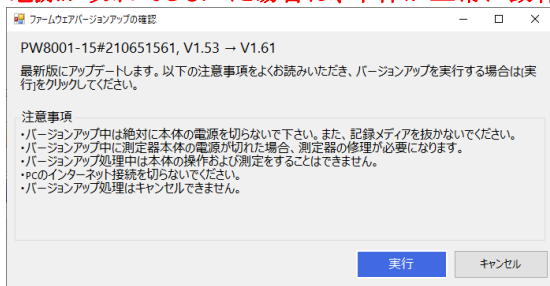


2. [測定器の検索]を実行します。ファームウェアバージョンアップ機能に対応した測定器の場合、バージョン番号の横にアイコンが表示されます。

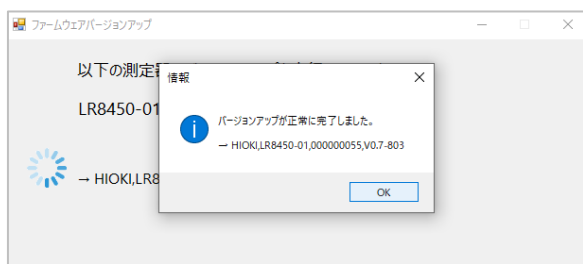


アイコン	内容
	ファームウェアは既に最新バージョンです。
	最新のファームウェアが公開されています。 このアイコンをクリックすると、ファームウェアバージョンアップの確認画面が開きます。
	通信エラーにより、最新バージョンの取得に失敗しました。 PCと測定器との接続や、PCのインターネット接続を確認してください。

3. [UPDATE]ステータスのアイコンをクリックすると、[ファームウェアバージョンアップの確認]画面が表示されます。画面内の注意事項をよく読み、バージョンアップを実行する場合は[実行]をクリックしてください。
※バージョンアップ中は、絶対に本体の電源を切らないでください。また、メディアの抜き取りを行わないでください。電源が切れてしまった場合は、本体が正常に動作しなくなり修理が必要になります。

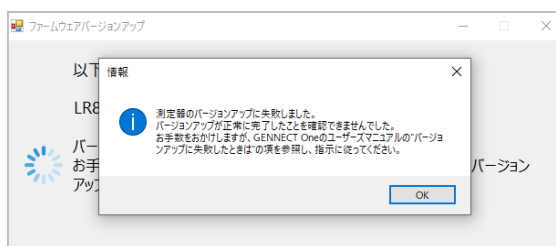


4. バージョンアップが正常に完了すると、「バージョンアップが正常に完了しました。」というメッセージが表示されます。バージョンアップに失敗した場合、失敗した理由がメッセージとして表示されますので、画面の案内に従って操作してください。



バージョンアップに失敗したときは

測定器のバージョンアップ実行後、バージョンアップが正常に完了したことを確認できなかった場合、以下のメッセージが表示されます。



この場合、メッセージが表示された後、数分後を目安に接続確認を行ってください。接続確認後、

- バージョン番号が最新のものに更新されていれば、バージョンアップは正常に完了しています。
- バージョン番号が最新でない場合、もう一度バージョンアップをお試しください。
- 測定器がコンソール画面に表示されない、もしくは、測定器との通信にエラーが発生する場合は、測定器ごとに表に記載の内容をご確認ください。

形名	対応内容
LR8450 LR8450-01 LR8101 LR8102 PW8001	測定器の電源が入っていることを確認してください。 ・電源が入っている場合、一度再起動をして、再度接続確認を行って下さい。 ・電源が入っていない場合、電源が入るかどうかを確認してください。電源が入らない場合、測定器の修理が必要です。お手数をおかけしますが、最寄りの営業へお問い合わせください。
BT6065 BT6075	測定器を再起動し、もう一度バージョンアップをお試しください。

測定器の接続確認について

コンソール画面には、LAN 接続された測定器のファームウェアバージョンが表示されています。

コンソール画面に表示される測定器のバージョン番号と、本体に表示されるバージョン番号が異なる場合(測定器のファームウェアを手動でバージョンアップした場合など)は、コンソール画面に表示される情報を更新するために、[接続確認]を行う必要があります。

測定器の[接続確認]は、以下のいずれかの方法で行うことができます。

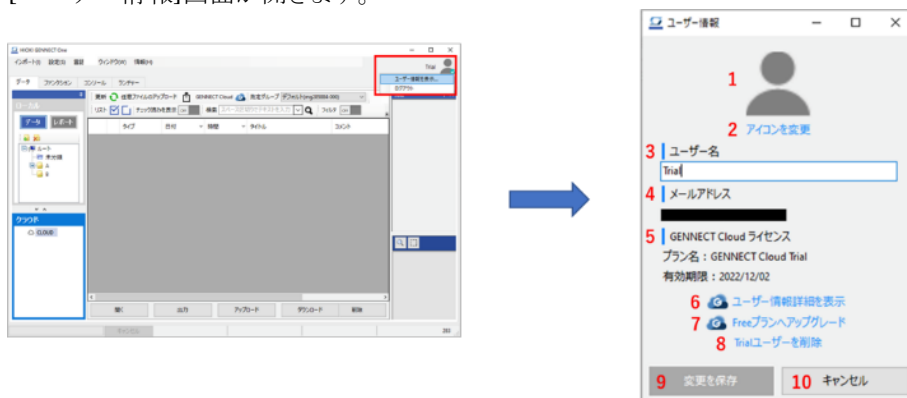
- 測定器を選択して、右クリックで表示されるメニューで[接続確認]を選択する。
- 接続ステータスのアイコンをダブルクリックする。



ユーザー情報・アカウント情報を確認・編集する

本アプリで GENNECT Cloud にログイン中のユーザーの情報、およびユーザーが属するアカウントの情報を確認・編集します。

1. 該当のアカウント・ユーザーでログインします。(参照:[GENNECT Cloud にログインする](#))
2. 本アプリメイン画面右上のアイコンをクリックし、表示されるメニューの[ユーザー情報を表示...]をクリックします。[ユーザー情報]画面が開きます。



※本アプリで確認・編集できる項目は以下の表の項目に限られています。より詳細な情報については、GENNECT Cloud の Web ページにて確認や編集ができます。

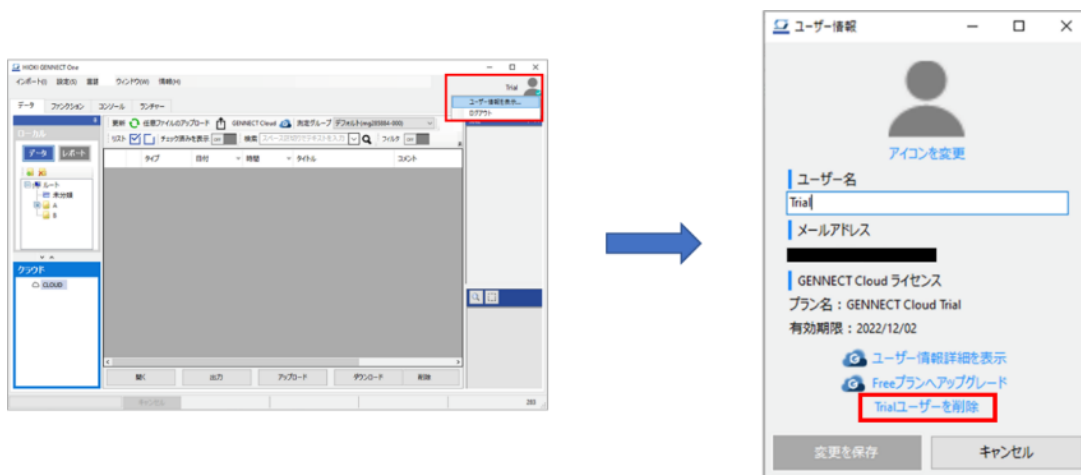
項目名	説明
1 ユーザーアイコン	ユーザーが設定した任意のアイコンが表示されます。
2 アイコンを変更	アイコンに関するメニューが表示されます。 ・[アイコンを選択...]: ユーザーアイコンとして任意の画像ファイルを指定します。選択できる画像ファイルは jpg/png/gif/bmp 形式のもの、かつファイルサイズが 1MB 未満のものです。 ・[アイコンを初期化]: ユーザーアイコンをデフォルトのアイコンに変更します。
3 ユーザー名	ユーザーの表示名として任意の文字列を設定できます。(1~50 文字以内)
4 メールアドレス	登録したメールアドレスが表示されます。
5 GENNECT Cloud ライセンス	ご契約中の GENNECT Cloud のプラン名と有効期限が表示されます。有効期限が 31 日以内になると「！」マークが表示され、有効期限が迫っていることをお知らせします。
6 ユーザー詳細情報を表示	GENNECT Cloud の Web ページにアクセスし、より詳細なユーザー情報・アカウント情報を確認・編集します。※ブラウザが起動します。
7 Free プランへアップグレード ※Trial プランのみ	ログイン中のアカウントを Trial プランから Free プランに移行します。GENNECT Cloud の Web ページにアクセスし、手続きを行います。詳細は Trial プランから Free プランにアップグレードする を参照してください。
8 Trial ユーザーを削除 ※Trial プランのみ	ログイン中の Trial ユーザーを削除します。詳細は Trial ユーザーを削除する を参照してください。
9 変更を保存	この画面で編集した内容を保存します。※アイコンやユーザー名を編集すると選択できるようになります。
10 キャンセル	この画面で編集した内容を保存せず、この画面を閉じます。

Trial ユーザーを削除する

本アプリから Trial ユーザーを削除できます。

Trial ユーザーを削除すると、クラウドに保存されているデータは全て削除され、データリストの[GENNECT Cloud]フォルダ内データにもアクセスできなくなります。必要に応じてデータのバックアップを行ってから、Trial ユーザーを削除してください。

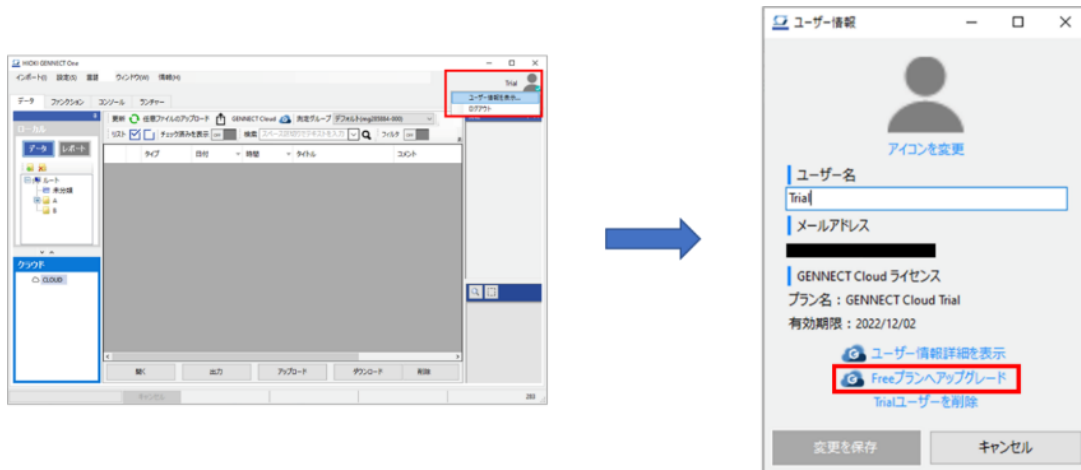
1. 削除したい Trial ユーザーでログインします。(参照:[GENNECT Cloud にログインする](#))
2. アプリメイン画面右上のアイコンをクリックし、表示されるメニューの[ユーザー情報を表示...]をクリックします。[ユーザー情報]画面が開きますので、[Trial ユーザーを削除]をクリックします。



TrialプランからFreeプランにアップグレードする

Trialプランには有効期限があります。期限後も引き続きご利用になる場合は、**有効期限が過ぎる前にFreeプランへのアップグレードをお願いします。**期日までにアップグレードされなかった場合、クラウドに保存されているデータは全て削除され、データリストの[クラウド]フォルダ内のデータにもアクセスできなくなります。期限後はFreeプランへのアップグレードもできなくなります。

1. FreeプランにアップグレードしたいTrialユーザーでログインします。(参照:[GENNECT Cloud にログインする](#))
2. 本アプリメイン画面右上のアイコンをクリックし、表示されるメニューの[ユーザー情報を表示...]をクリックします。
3. [ユーザー情報]画面が開きますので、[Freeプランへアップグレード]をクリックします。
4. Webブラウザが起動しますので、ページの案内に従って手続きしてください。



バッテリーテストのしきい値, プロファイル情報をクラウド上で共有・管理する

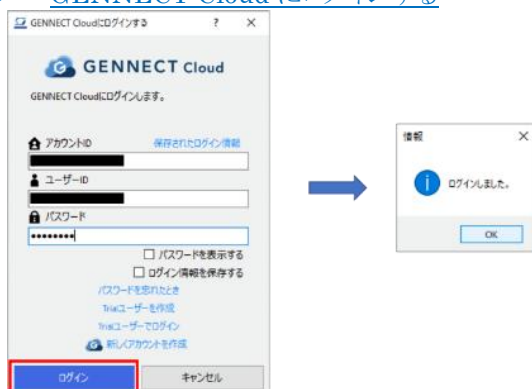
本機能をお使いいただくには、GENNECT Cloud の Standard または Pro のプランへのご契約が必要です。バッテリーテストのしきい値テーブルを 同じアカウント内の別のユーザーと共有することができます。GENNECT Cloud の各プランでのしきい値テーブル、プロファイル情報テーブルの共有数は以下をご参照ください。

GENNECT Cloud プラン	ファイル名	共有数
Standard	バッテリーしきい値テーブル	30
	バッテリープロファイル情報テーブル	30
Pro	バッテリーしきい値テーブル	100
	バッテリープロファイル情報テーブル	100

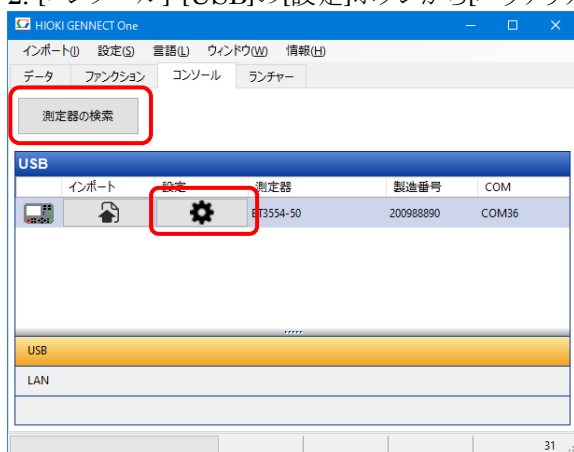
バッテリーテストのしきい値をクラウド上で共有する

1. GENNECT One から GENNECT Cloud にログインします。
詳細は以下を参照してください。

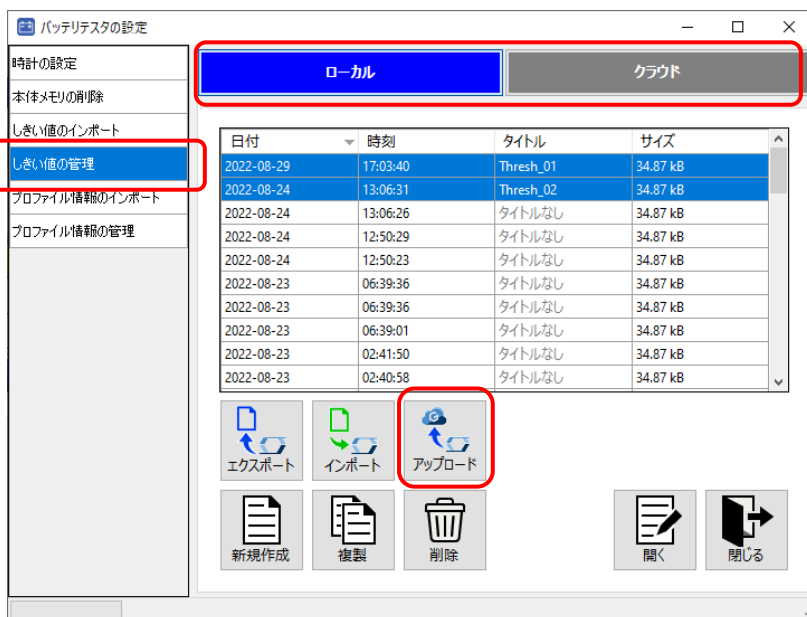
➤ [GENNECT Cloud にログインする](#)



2. [コンソール]-[USB]の[設定]ボタンから[バッテリーテストの設定]画面を開きます。

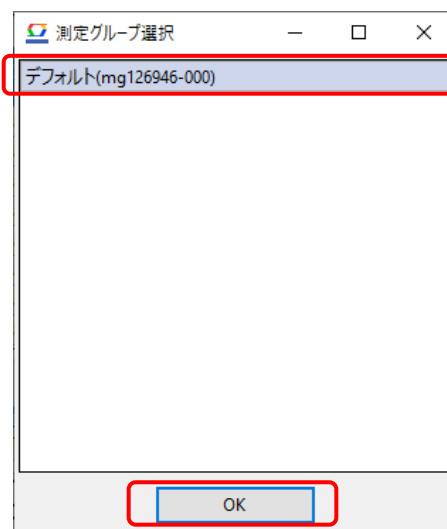
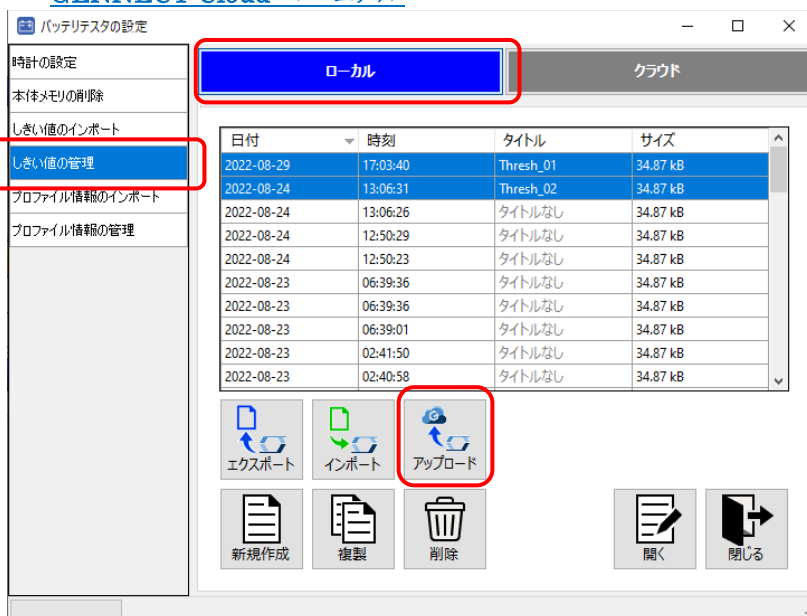


3. GENNECT Cloud にログインすると
[しきい値の管理]画面に[ローカル],[クラウド]の各機能ボタンが表示されています。
また、[ローカル]の画面には[アップロード]ボタンが表示されています。

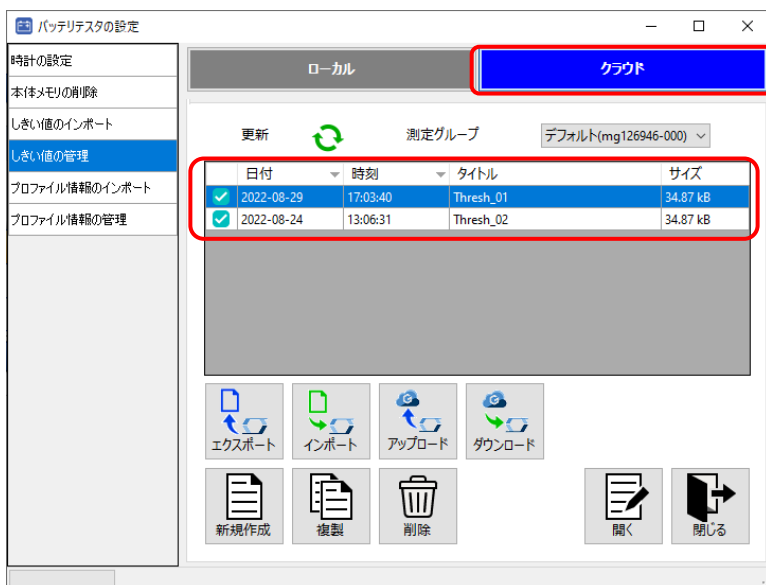


4. [ローカル]の画面で共有したいローカルのしきい値テーブルを選択して、[アップロード]ボタンをクリックします。このとき、[測定グループの選択]画面が表示されますので、アップロード先の測定グループを選択します。測定グループについては、GENNECT Cloud のオンラインマニュアルを参照してください。

➤ [GENNECT Cloud マニュアル](#)



5. [クラウド]の画面に選択したしきい値テーブルがアップロードされます。

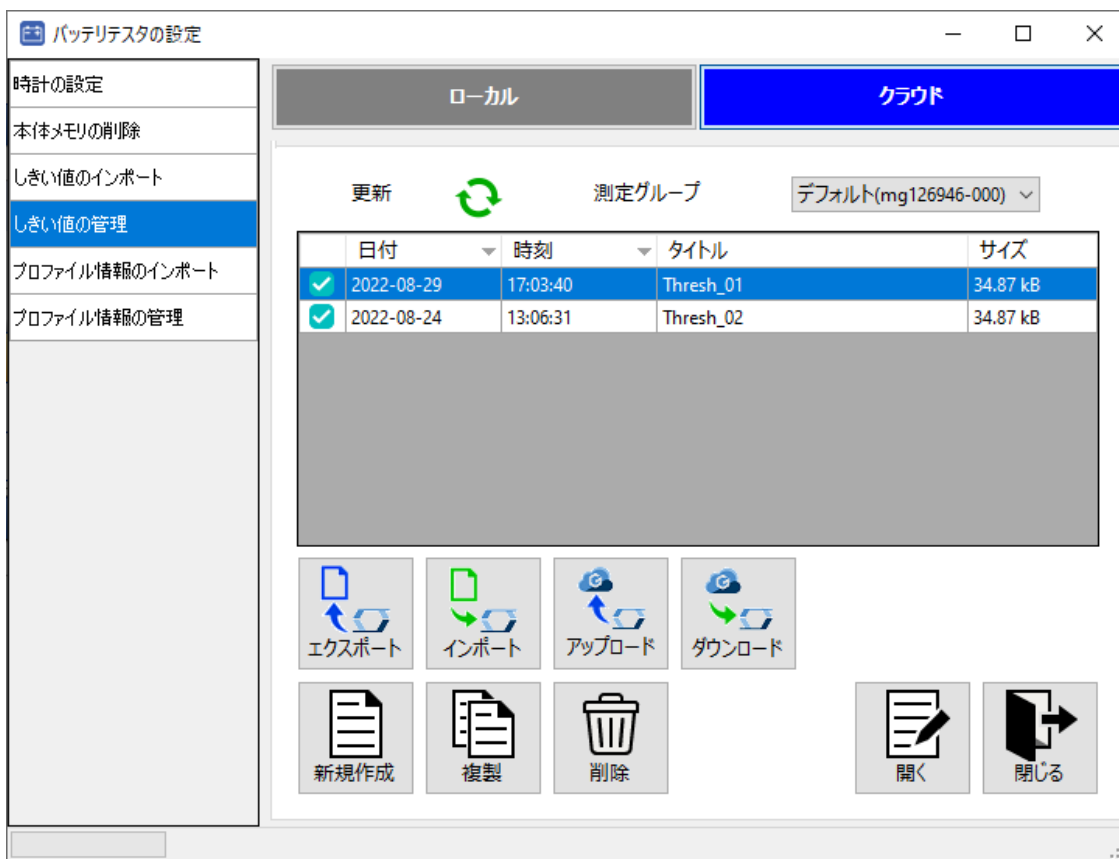



バッテリーテストのしきい値をクラウド上で管理する

同じアカウント内の別のユーザーと共有しているしきい値テーブルを管理することができます。しきい値テーブル情報は[しきい値の管理]画面の[クラウド]画面で管理します。
[クラウド]の管理画面に表示されるファイルのステータスアイコンについては以下をご参照ください。






アイコン	内容
	[完全同期] クラウドとローカルのストレージの両方にファイルが存在し、測定データの内容が一致しています。
	[部分同期] クラウドとローカルのストレージの両方にファイルが存在しているが、測定データの内容が異なります。クラウドの変更を[データリスト(クラウド)]にダウンロードするか、[データリスト(クラウド)]の変更をクラウドにアップロードすると[完全同期]のステータスになります。
	[未ダウンロード] クラウドのストレージにのみファイルが存在しています。 GENNECT One からクラウド上のファイルをダウンロードすることができます。

[クラウド]の管理画面の機能の詳細は以下を参照してください。



項番	機能名	内容
①	更新 	[クラウド]の管理画面を最新の情報に更新します。
②	測定グループ デフォルト(mg126946-000) ▾	[クラウド]の管理画面に情報を表示する測定グループを切り替えます。 測定グループについては GENNECT Cloud のオンラインマニュアルを参照してください。 GENNECT Cloud マニュアル

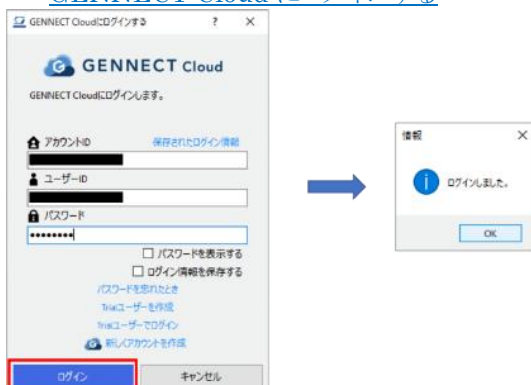
項番	機能名	内容
③	エクスポート 	選択したしきい値テーブルをファイル (hok 形式) にエクスポートします。 ステータスが[未ダウンロード]の場合は GENNECT Cloud からファイルをダウンロードしてエクスポートします。
④	インポート 	選択したしきい値テーブルをファイル (hok 形式) からインポートします。 インポートしたしきい値は GENNECT Cloud にアップロードされます。
⑤	アップロード 	ステータスが[部分同期]のしきい値テーブルを GENNECT Cloud にアップロードします。 アップロード先は[測定グループ]で現在表示している測定グループです。
⑥	ダウンロード 	ステータスが[未ダウンロード]または[部分同期]のしきい値テーブルを GENNECT Cloud からダウンロードします。
⑦	新規作成	しきい値テーブルを新規作成します。

	 <p>新規作成</p>	作成したしきい値テーブルは GENNECT Cloud にアップロードされます。						
⑧	<p>複製</p>  <p>複製</p>	<p>選択したしきい値テーブルを複製します。</p> <p>複製されたしきい値テーブルは GENNECT Cloud にアップロードされます。</p>						
⑨	<p>削除</p>  <p>削除</p>	<p>選択したしきい値テーブルを削除します。</p> <p>次の2つの削除方法があります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>削除方法</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ローカルのファイルのみ削除する</td> <td>ローカル PC のストレージに保存されている測定データのみ削除します。削除した測定データは再びダウンロードして取得することができますので、ローカルストレージを節約できます。</td> </tr> <tr> <td>ローカルとクラウドのファイルを両方削除する</td> <td>ローカル PC のストレージと GENNECT Cloud に保存されている測定データの両方を完全に削除します。</td> </tr> </tbody> </table>	削除方法	説明	ローカルのファイルのみ削除する	ローカル PC のストレージに保存されている測定データのみ削除します。削除した測定データは再びダウンロードして取得することができますので、ローカルストレージを節約できます。	ローカルとクラウドのファイルを両方削除する	ローカル PC のストレージと GENNECT Cloud に保存されている測定データの両方を完全に削除します。
削除方法	説明							
ローカルのファイルのみ削除する	ローカル PC のストレージに保存されている測定データのみ削除します。削除した測定データは再びダウンロードして取得することができますので、ローカルストレージを節約できます。							
ローカルとクラウドのファイルを両方削除する	ローカル PC のストレージと GENNECT Cloud に保存されている測定データの両方を完全に削除します。							
⑩	<p>開く</p>  <p>開く</p>	<p>選択したしきい値テーブルを開きます。</p> <p>[しきい値テーブルの編集]画面が開かれます。</p> <p>[しきい値テーブルの編集]画面で、しきい値テーブルを編集することができます。また、[転送]ボタンでしきい値テーブルをバッテリーテストに転送することができます。</p>						
⑪	<p>閉じる</p>  <p>閉じる</p>	[バッテリーテストの設定]画面を閉じます。						

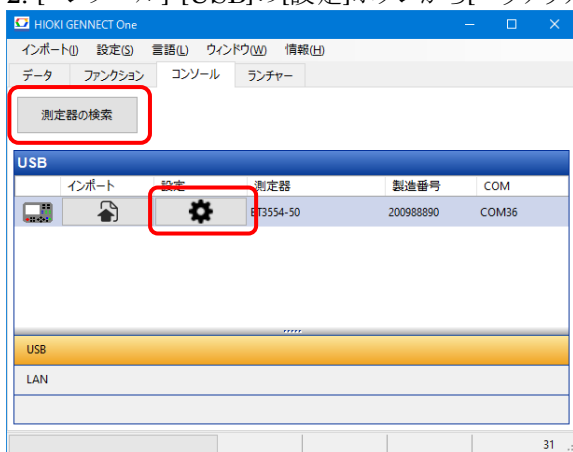
バッテリーテストのプロファイル情報をクラウド上で共有する（BT3554-50 のみ）

- GENNECT One から GENNECT Cloud にログインします。
詳細は以下を参照してください。

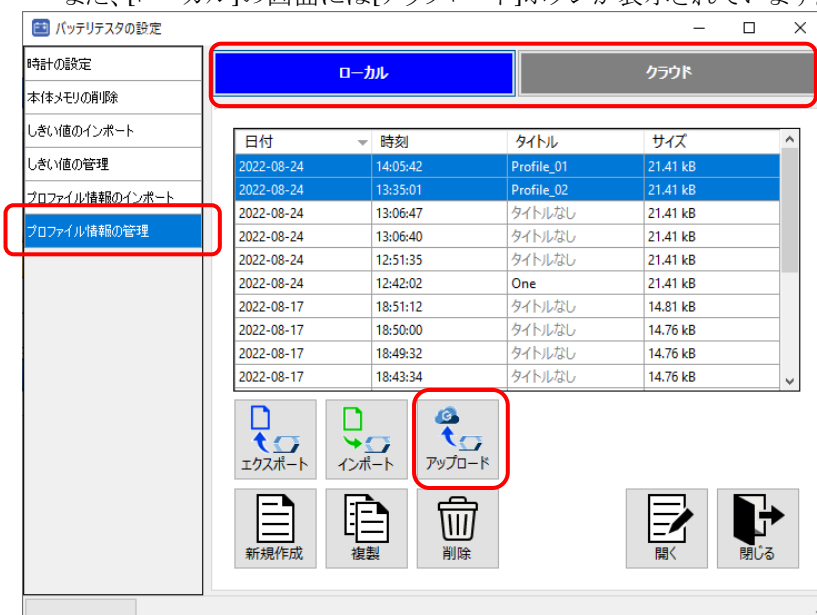
➤ GENNECT Cloud にログインする



- [コンソール]-[USB]の[設定]ボタンから[バッテリーテストの設定]画面を開きます。



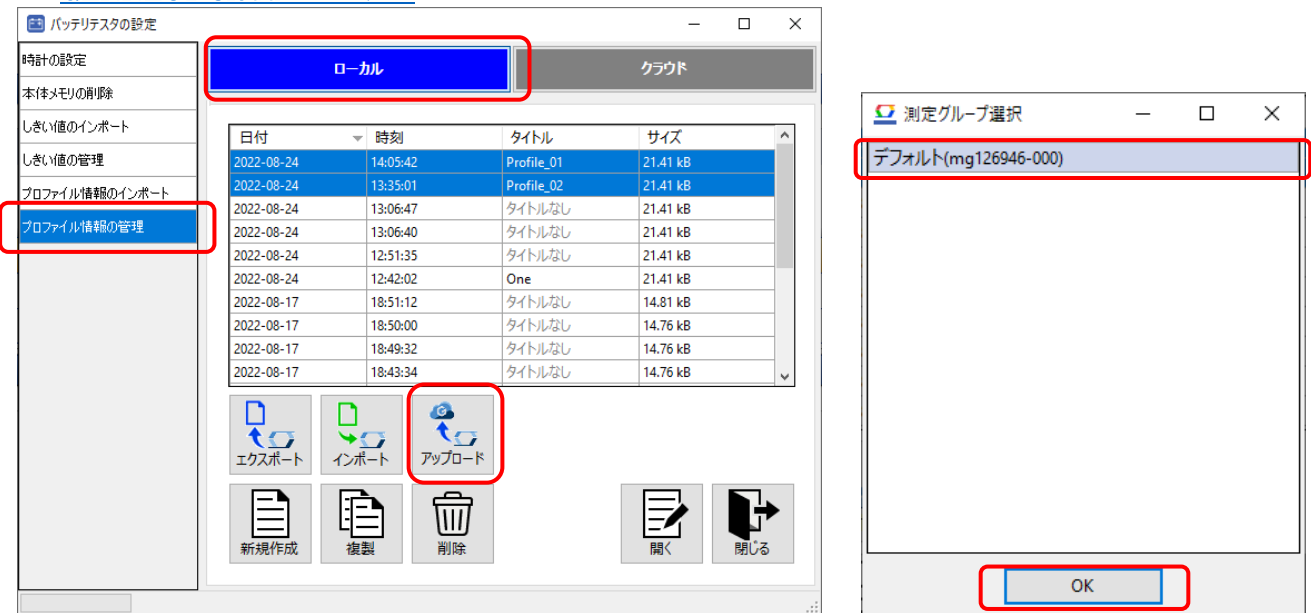
- GENNECT Cloud にログインすると
[プロファイル情報の管理]画面に[ローカル],[クラウド]の各機能ボタンが表示されています。
また、[ローカル]の画面には[アップロード]ボタンが表示されています。



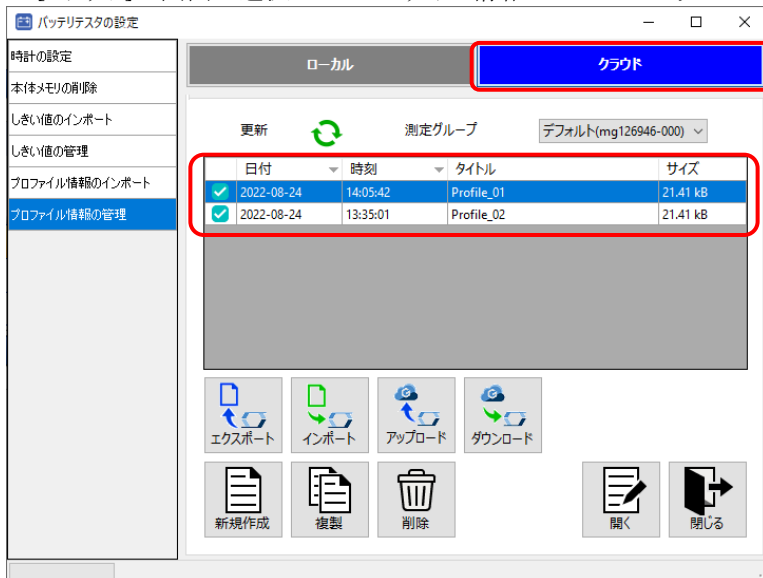
- [ローカル]の画面で共有したいローカルのプロファイル情報テーブルを選択して、[アップロード]ボタンをクリックします。

このとき、[測定グループの選択]画面が表示されますので、アップロード先の測定グループを選択します。
測定グループについては、GENNECT Cloud のオンラインマニュアルを参照してください。

➤ [GENNECT Cloud マニュアル](#)





5. [クラウド]の画面に選択したプロファイル情報テーブルがアップロードされます。



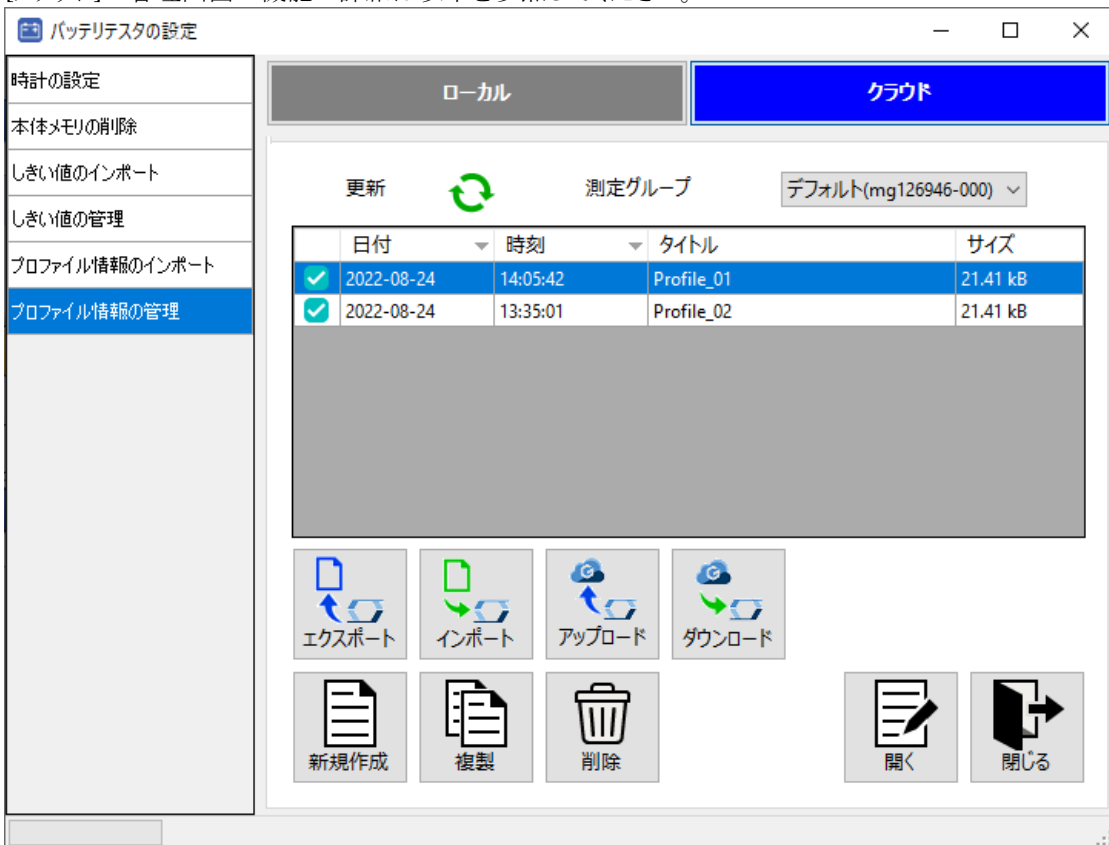
バッテリーテストのプロファイル情報をクラウド上で管理する (BT3554-50 のみ)


バッテリーテストのプロファイル情報の機能はバッテリーテスト BT3554-50 にのみ対応しています。
同じアカウント内の別のユーザーと共有しているプロファイル情報テーブルを管理することができます。
プロファイル情報テーブル情報は[プロファイル情報の管理]画面の[クラウド]画面で管理します。
[クラウド]の管理画面に表示されるファイルのステータスアイコンについては以下をご参照ください。


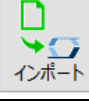
アイコン	内容
	[完全同期] クラウドとローカルのストレージの両方にファイルが存在し、測定データの内容が一致しています。
	[部分同期]

	クラウドとローカルのストレージの両方にファイルが存在しているが、測定データの内容が異なります。クラウドの変更を[データリスト(クラウド)]にダウンロードするか、[データリスト(クラウド)]の変更をクラウドにアップロードすると[完全同期]のステータスになります。
	[未ダウンロード] クラウドのストレージにのみファイルが存在しています。 GENNECT One からクラウド上のファイルをダウンロードすることができます。

[クラウド]の管理画面の機能の詳細は以下を参照してください。



項番	機能名	内容
②	更新 	[クラウド]の管理画面を最新の情報に更新します。
②	測定グループ デフォルト(mg126946-000) v	[クラウド]の管理画面に情報を表示する測定グループを切り替えます。 測定グループについては GENNECT Cloud のオンラインマニュアルを参照してください。 ➤ GENNECT Cloud マニュアル

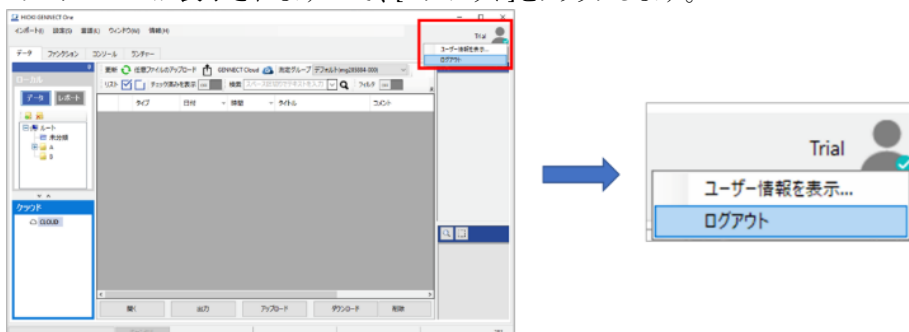
項番	機能名	内容
③	エクスポート 	選択したプロファイル情報テーブルをファイル(hok形式)にエクスポートします。 ステータスが[未ダウンロード]の場合は GENNECT Cloud からファイルをダウンロードしてエクスポートします。
④	インポート 	選択したプロファイル情報テーブルをファイル(hok形式)からインポートします。 インポートしたプロファイル情報は GENNECT Cloud にアップロードされます。
⑤	アップロード	ステータスが[部分同期]のプロファイル情報テーブルを GENNECT Cloud にアップロードします。

		アップロード先は[測定グループ]で現在表示している測定グループです。						
⑥	ダウンロード 	ステータスが[未ダウンロード]または[部分同期]のプロファイル情報テーブルを GENNECT Cloud からダウンロードします。						
⑦	新規作成 	プロファイル情報テーブルを新規作成します。 作成したプロファイル情報テーブルは GENNECT Cloud にアップロードされます。						
⑧	複製 	選択したプロファイル情報テーブルを複製します。 複製されたプロファイル情報テーブルは GENNECT Cloud にアップロードされます。						
⑨	削除 	選択したプロファイル情報テーブルを削除します。 次の2つの削除方法があります。						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>削除方法</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ローカルのファイルのみ削除する</td> <td>ローカル PC のストレージに保存されている測定データのみ削除します。削除した測定データは再びダウンロードして取得することができますので、ローカルストレージを節約できます。</td> </tr> <tr> <td>ローカルとクラウドのファイルを両方削除する</td> <td>ローカル PC のストレージと GENNECT Cloud に保存されている測定データの両方を完全に削除します。</td> </tr> </tbody> </table>	削除方法	説明	ローカルのファイルのみ削除する	ローカル PC のストレージに保存されている測定データのみ削除します。削除した測定データは再びダウンロードして取得することができますので、ローカルストレージを節約できます。	ローカルとクラウドのファイルを両方削除する	ローカル PC のストレージと GENNECT Cloud に保存されている測定データの両方を完全に削除します。
		削除方法	説明					
ローカルのファイルのみ削除する	ローカル PC のストレージに保存されている測定データのみ削除します。削除した測定データは再びダウンロードして取得することができますので、ローカルストレージを節約できます。							
ローカルとクラウドのファイルを両方削除する	ローカル PC のストレージと GENNECT Cloud に保存されている測定データの両方を完全に削除します。							
⑩	開く 	選択したプロファイル情報テーブルを開きます。 [プロファイル情報テーブルの編集]画面が開かれます。 [プロファイル情報テーブルの編集]画面で、プロファイル情報テーブルを編集することができます。また、[転送]ボタンでプロファイル情報テーブルをバッテリーテストに転送することができます。(*1)						
⑪	閉じる 	[バッテリーテストの設定]画面を閉じます。						

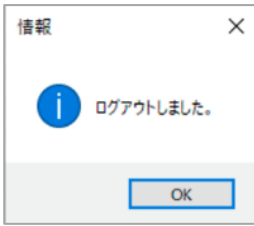
(*1) プロファイル情報テーブルは、バッテリーテスト BT3554-50 にのみ転送できます。

ログアウトする

1. アプリメイン画面右上のアイコンをクリックします。
2. メニューが表示されますので、[ログアウト]をクリックします。



3. ログアウトに成功すると、「ログアウトしました。」のメッセージが表示されます。



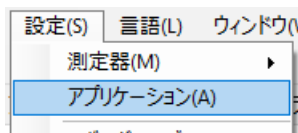
アプリケーションの設定をする

共通の設定をする

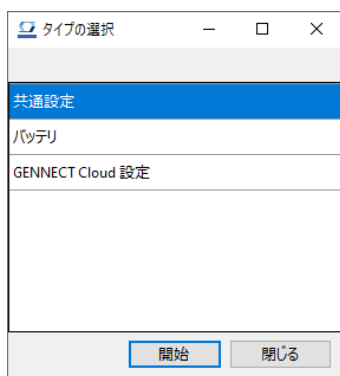
CSV 出力の設定をする

CSV ファイルで出力する、小数点記号の文字と、データ区切り記号の文字を変更する手順を記述します。

1. [設定]-[アプリケーション]のメニューを選択します。



2. [タイプの選択]画面が表示されます。[共通設定]を選択して、[開始]ボタンをクリックします。



3. [共通設定]画面の[CSV 出力]タブが表示されます。



項目名	内容
-----	----

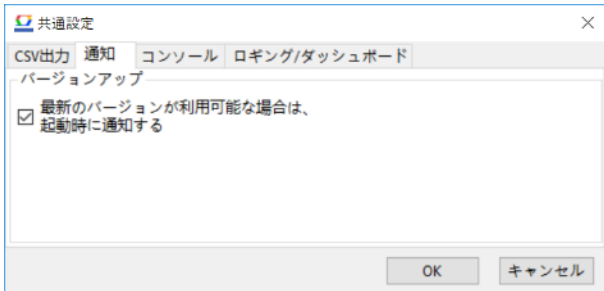
共通	小数点記号	CSV に出力される数値の小数点記号を設定します。 .(ピリオド) ,(コンマ)
	データ区切り	CSV の区切り文字を設定します。 ,(コンマ) ;(セミコロン)
ロギング	出力形式	ロギングデータの CSV 出力形式を設定します。 ログ形式 時系列データ形式
	小数点以下桁数	ロギングデータの CSV に出力する測定値の小数点以下桁数を設定します。
	チャンネル表示名	CSV のチャンネル表示名を設定します。 CH + 番号: チャンネル表示名を「CH1」,「CH2」,「CH3」,...の形式で出力します。 [チャンネル情報]の CH1,CH2,...に対応しています。 ID 名: チャンネル表示名として、チャンネルに固有の ID 名を出力します。 例: Urms1 ID 名+形名#製造番号: チャンネル表示名として、チャンネルに固有の ID 名+型名#製造番号を出力します。 例: Urms1-PW8001-12#230312345
時系列測定データ	出力形式	時系列データの CSV 出力形式を表示します。 時系列データ形式
	時間軸形式	時系列データのタイムスタンプの表示形式を設定します。 絶対時間 相対時間
	相対時間表示形式	時間軸形式が「相対時間」の場合の時間表示形式を設定します。 自動 s(秒) ポイント
	相対時間	時間軸形式が「相対時間」の場合の 0s を表示する基準位置を設定します。 トリガ位置を 0s として表示 先頭を 0s として表示
	データ補完	時系列データの CSV 出力対象にインターバル時間が異なる測定項目(チャンネル)が存在する場合、測定データが存在しない時刻の測定値を補完して出力するかどうかを指定します。 なし::測定データが存在しない時刻の測定値を補完しない 直前の測定値で補完::測定データが存在しない時刻の測定値を直前の測定値で補完する
	データ間引き	時系列データの CSV 出力の際に途中のデータポイントを間引いて出力するかどうかを指定します。 (例) 1: 間引きなし 2: 2 ポイント毎に 1 ポイントを出力します。 3: 3 ポイント毎に 1 ポイントを出力します。 ...
	小数点以下桁数	時系列データの CSV に出力する測定値の小数点以下の桁数を指定します。

※ 小数点記号とデータ区切り記号の両方を[, (コンマ)]に指定することはできません

4. [OK]ボタンをクリックします。

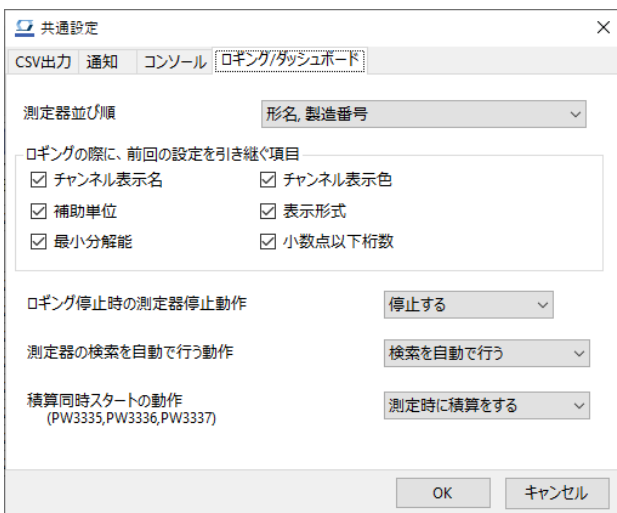
バージョンアップ通知の設定をする

1. アプリケーションの起動時に最新バージョンを通知する場合は、[最新バージョンが利用可能な場合は、起動時に通知する]のチェックをオンにします。



ロギング/ダッシュボードの設定をする

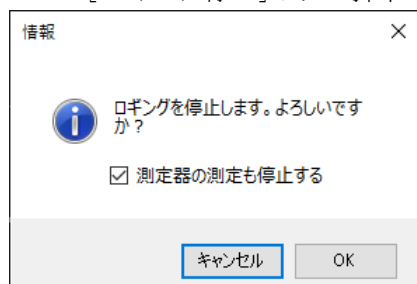
ロギング/ダッシュボードの設定をします。



項目名	内容	
測定器並び順	形名, 製造番号	ロギングデータに表示される測定器の並び順を形名→製造番号の順にします。
	測定器リスト	ロギングデータに表示される測定器の並び順を測定器リストの順にします。
ロギングの際に、前回の設定を引き継ぐ項目	チェックを付けて ON	チャンネル表示名、チャンネル表示色、補助単位、表示形式、最小分解能、小数点以下桁数 それぞれについて、チェックを付けて ON にすると、前回の設定を引き継いでロギングを行います。
	チェックをはずして OFF	チャンネル表示名、チャンネル表示色、補助単位、表示形式、最小分解能、小数点以下桁数 それぞれについて、チェックをはずして OFF にすると、前回の設定を引き継がないで初期設定でロギングを行います。
ロギング停止時の測定器停止動作(※1)	停止しない	ロギングを停止するときに対象測定器の測定を停止しないままロギングを終了します。
	停止する	ロギングを停止するときに対象測定器の測定を停止して

		ロギングを終了します。
測定器の検索を自動で行う動作	検索を自動で行わない	ロギングなどの測定器の選択画面を開いた時に、測定器の自動検索を行いません。
	検索を自動で行う	ロギングなどの測定器の選択画面を開いた時に、測定器の自動検索を行います。
積算同時スタートの動作 (PW3335,PW3336,PW3337)	測定時に積算をしない	ロギングなどの測定時に、積算を行いません。
	測定時に積算をする	ロギングなどの測定時に、積算を行います。

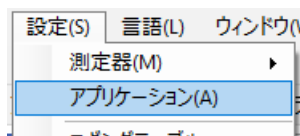
※1：ロギングビューワ左下の[ロギング停止]ボタン押下時以外の停止時動作を指定します。
 [ロギング停止]ボタン押下時の停止動作はその時に表示されるメッセージにて動作選択してください。



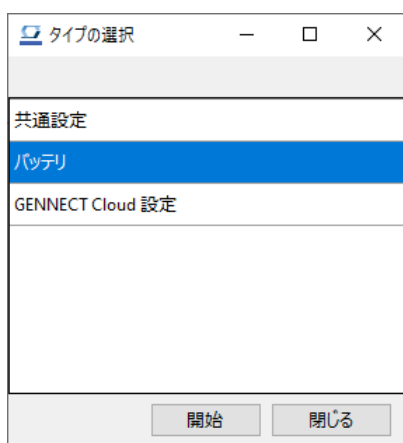
バッテリー機能の設定をする

USB での通信を行わずに、しきい値テーブルを新規作成/編集/削除する手順を記述します。

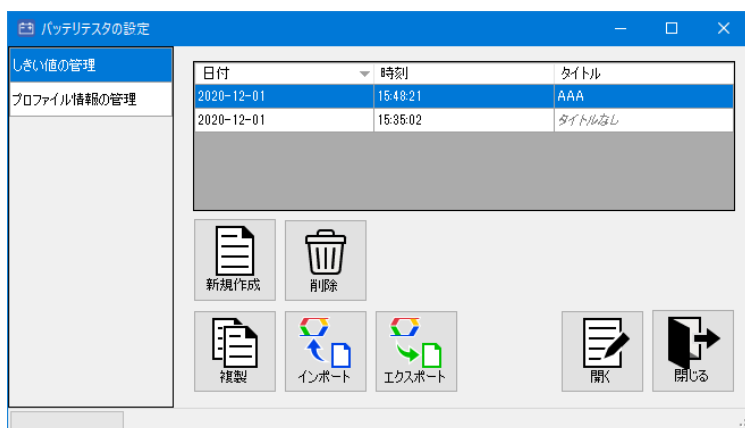
1. [設定]-[アプリケーション]のメニューを選択します。



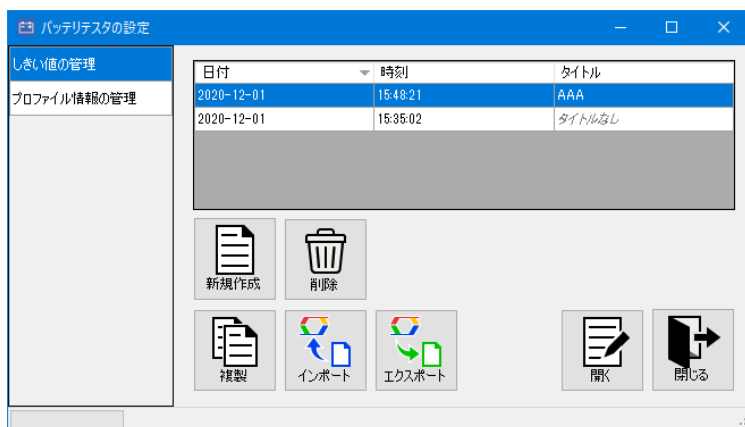
2. [タイプの選択]画面が表示されます。[バッテリー]を選択して、[開始]ボタンをクリックします。



3. バッテリテストの設定画面が表示されます



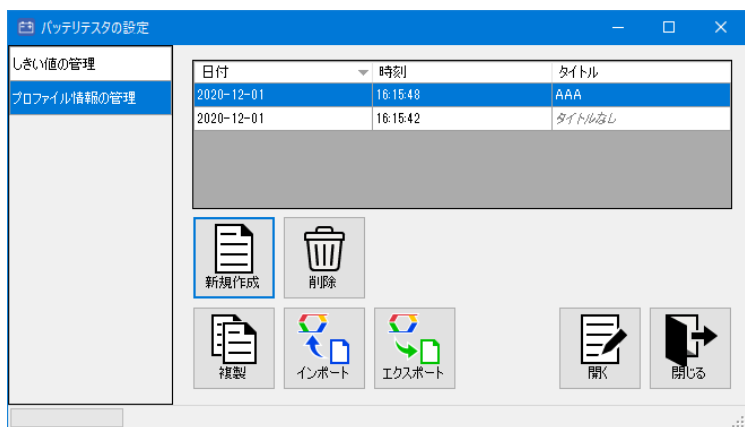
4. [しきい値の管理]を選択し、しきい値テーブルの新規作成/編集/削除を行います。



※ しきい値の管理については、次の項目を参照してください。

- ▶ [しきい値テーブルを新規作成する](#)

5. [プロファイル情報の管理]を選択し、プロファイル情報テーブルの新規作成/編集/削除を行います。



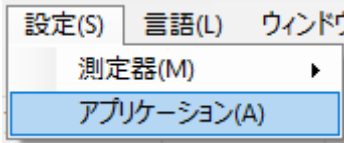
※ プロファイル情報については、次の項目を参照してください。

- ▶ [プロファイル情報テーブルを新規作成する\(BT3554-50\)](#)

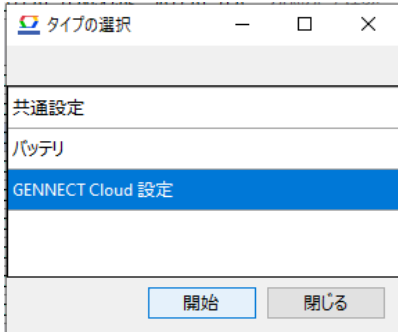
GENNECT Cloud に関するアプリケーション設定をする

GENNECT One と GENNECT Cloud の連携で適用される設定項目について記述します。

1. [設定]-[アプリケーション] のメニューを選択する

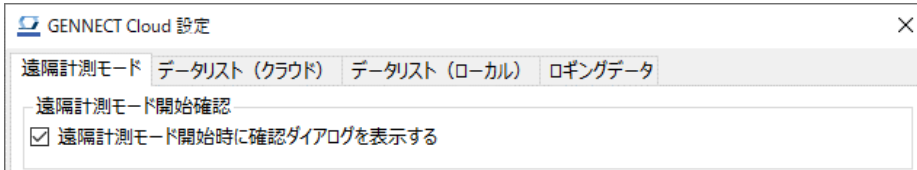


2. [GENNECT Cloud 設定] を選択して[選択]をクリックすると設定画面が表示されます。



[遠隔計測モード] タブ

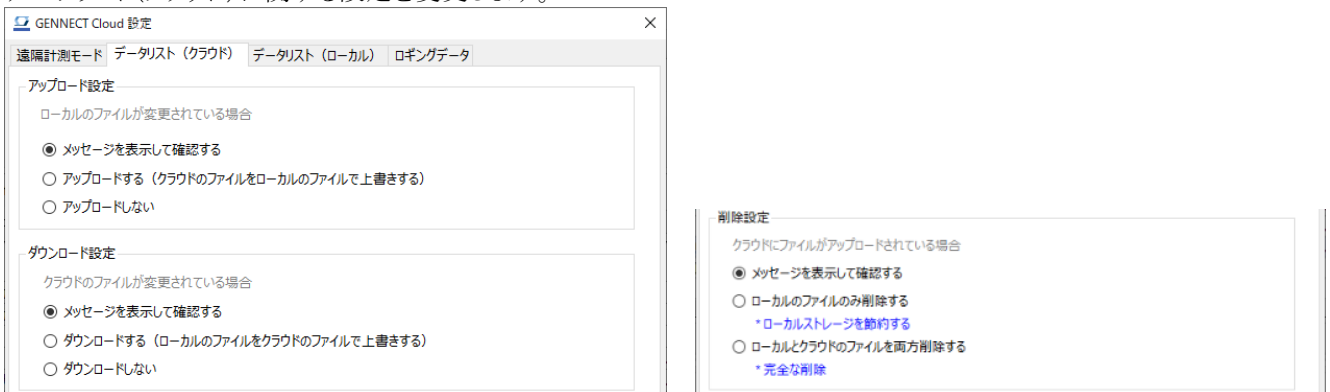
GENNECT One の遠隔計測モードに関する設定を変更します。



設定項目	設定値	説明
遠隔計測モード開始確認		
遠隔計測モード開始時に確認ダイアログを表示する	オン	遠隔計測モード開始時に確認ダイアログ画面を表示します。
	オフ	遠隔計測モード開始時に確認ダイアログ画面を表示しません。

[データリスト (クラウド)] タブ

データリスト(クラウド)に関する設定を変更します。

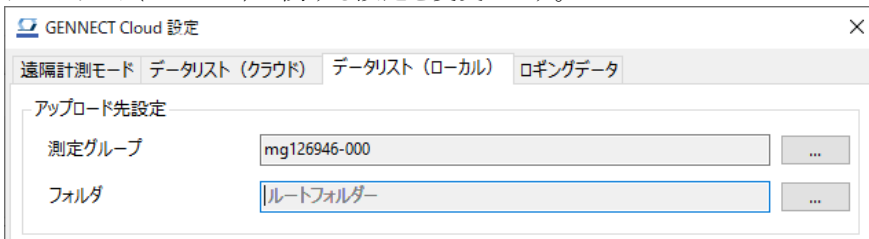


設定項目	設定値	説明
------	-----	----

アップロード設定		
ローカルのファイルが変更されている場合	メッセージを表示して確認する	アップロード時に確認ダイアログ画面で確認します。
	アップロードする	常に GENNECT Cloud の測定データをローカルの測定データで上書きしてアップロードします。
	アップロードしない	常に GENNECT Cloud に測定データをアップロードしません。
ダウンロード設定		
クラウドのファイルが変更されている場合	メッセージを表示して確認する	ダウンロード時に確認ダイアログ画面で確認します。
	ダウンロードする	常にローカルの測定データを GENNECT Cloud の測定データで上書きしてダウンロードします。
	ダウンロードしない	常に GENNECT Cloud から測定データをダウンロードしません。
削除設定		
クラウドにファイルがアップロードされている場合	メッセージを表示して確認する	削除の方法を確認するメッセージを表示します。
	ローカルファイルのみ削除する	常にローカルの測定データのみ削除します。 (ローカルストレージを節約する設定)
	ローカルとクラウドのファイルを両方削除する	常にローカルとクラウドの測定データを両方削除します (完全に削除する設定)

[データリスト (ローカル)] タブ

データリスト(ローカル)に関する設定を変更します。



設定項目	操作方法	説明
アップロード先設定		
測定グループ	[...] ボタンをクリックして選択する	データリスト(ローカル)から GENNECT Cloud にアップロードするとき、アップロード先となる測定グループを指定します。未指定の場合は[デフォルト]の測定グループにアップロードされます。
フォルダ	[...] ボタンをクリックして選択する	データリスト(ローカル)から GENNECT Cloud にアップロードするとき、アップロード先となるデータフォルダを指定します。未指定の場合は GENNECT Cloud の[ドライブ]画面のルートフォルダ ([データフォルダ]) にアップロードされます。

[ロギングデータ] タブ

ロギング機能やダッシュボード機能で保存されるロギングデータに関する設定を変更します。

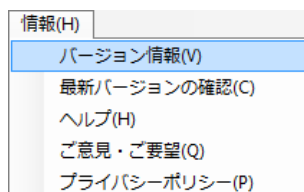


設定項目	設定値	説明
アップロード設定	手動	自動的に GENNECT Cloud にアップロードされません。データリスト(ローカル)に保存されますので、手動でアップロードしてください。
	自動	保存またはデータ分割されたロギングデータを GENNECT Cloud に自動でアップロードします。
自動設定	ファイルとファイルの属性をクラウドにアップロード	ロギングデータの保存分割時にファイルとファイルの属性 (GENNECT Cloud と連携するための情報) を GENNECT Cloud にアップロードします。 (*1) (*2) (*1) GENNECT Cloud のストレージ容量が上限に達した場合は、ロギングデータは自動でアップロードされなくなります。 (*2) 本設定は[アップロード設定]-[自動]の設定がオンの場合にのみ有効です。

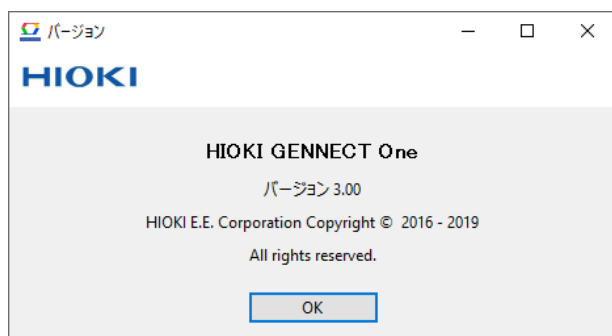
その他のアプリケーションのメニュー

バージョンを表示する

1. [情報]-[バージョン情報]のメニューを選択します。



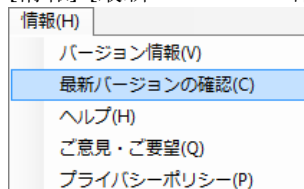
2. GENNECT One のバージョン情報が表示されます。



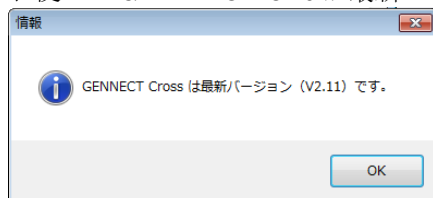
最新バージョンを確認する

※ この機能の利用にはインターネット接続が必要です。

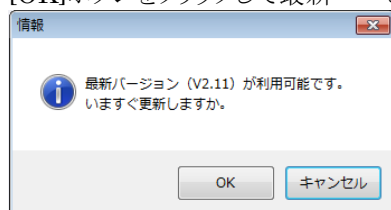
1. [情報]-[最新バージョンの確認]のメニューを選択します。



2. お使いの GENNECT One が最新バージョンの場合は、次のメッセージが表示されます。

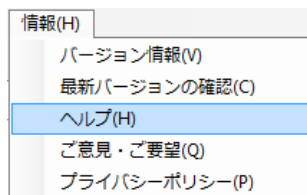


3. GENNET One の最新バージョンが取得できる場合は、次のメッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックして最新バージョンをダウンロードします。

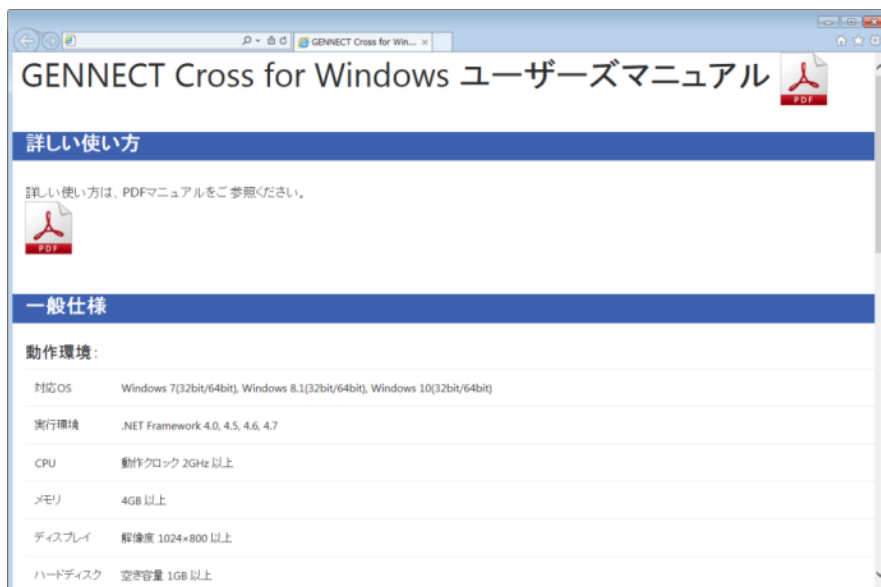


ヘルプを表示する

1. [情報]-[ヘルプ]のメニューを選択します。



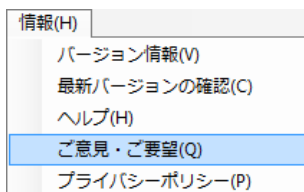
2. ブラウザが起動して、ヘルプが表示されます。



お問い合わせフォームを表示する

※ この機能の利用にはインターネット接続が必要です。

1. [情報]-[ご意見・ご要望]のメニューを選択します。



2. ブラウザが起動して、お問い合わせフォームが表示されます。

3. 必要な項目内容を記入して頂き、画面を下にスクロールして[送信]ボタンをクリックすると弊社に問い合わせ内容が送信されます。

※ 件名は自動的に「GENNECT One に関するお問い合わせ」になります。

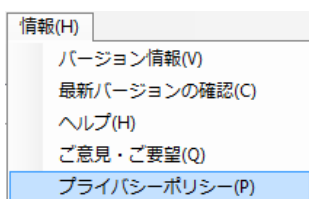


4. 弊社から記載頂いたメールアドレスにお問い合わせ内容の回答を返信させていただきます。

プライバシーポリシーを表示する

※ この機能の利用にはインターネット接続が必要です。

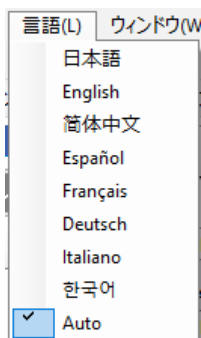
1. [情報]-[プライバシーポリシー]のメニューを選択します。



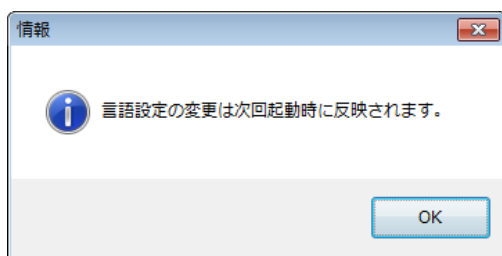
2. ブラウザが起動して、プライバシーポリシーが表示されます。

表示言語を変更する

1. [言語]メニューを選択して、表示言語を選択します。



2. 確認メッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックして、表示言語の変更を反映します。



- ※ [AUTO]を選択すると、OSの言語設定から、適切な表示言語を自動的に判断します。
- ※ 言語設定の変更は、アプリケーションの次回起動時から反映されます。

付録

ロギング・ダッシュボード機能の識別名と測定項目名

PW3335, PW3336, PW3337

識別名	測定項目名
U/I	電圧/電流実効値
P/S/Q	有効電力/皮相電力/無効電力
UMN/IMN/PMN/SMN/QMN/PFMN	電圧/電流/有効電力/皮相電力/無効電力/力率平均値整流実効値換算値
UDC/IDC/PDC	電圧/電流/有効電力単純平均値
UAC/IAC/PAC/SAC/QAC/PFAC	電圧/電流/有効電力/皮相電力/無効電力/力率交流成分
UFND/IFND/PFND/SFND/QFND/PFND	電圧/電流/有効電力/皮相電力/無効電力/力率基本波成分
DEGAC	位相角交流成分
DEGFND	位相角基本波成分
FREQU/FREQI	電圧/電流周波数
UPK/IPK	電圧/電流波形ピーク
EFF1	効率1
EFF2	効率2
UCF/ICF	電圧/電流クレストファクタ
ITAV/PTAV	時間平均電流/有効電力
ITAVMN/PTAVMN	時間平均電流/有効電力平均値整流実効値換算値
ITAVDC/PTAVDC	時間平均電流/有効電力単純平均値
URF/IRF	電圧/電流リップル率
UTHD/ITHD	総合高調波電圧/電流ひずみ率
PWP/MWP	積算正/負方向有効電力量
WP	積算正負方向有効電力量和
PWPMN/MWPMN	積算正/負方向有効電力量平均値整流実効値換算値
WPMN	積算正負方向有効電力量平均値整流実効値換算値和
PWPDC/MWPDC	積算正/負方向有効電力量単純平均値
WPDC	積算正負方向有効電力量単純平均値和
IH	積算正負方向電流量和
IHMN	積算正負方向電流量平均値整流実効値換算値和
PIHDC/MIHDC	積算正/負方向電流量単純平均値
IHDC	積算正/負方向電流量単純平均値和
HUL/HIL	高調波電圧/電流実効値(レベル)
HPL	高調波有効電力(レベル)
HUD/HID	高調波電圧/電流含有率
HPD	高調波電力含有率
HUP/HIP	高調波電圧/電流位相角
HPP	高調波電圧電流位相差

PW8001

識別名	測定項目名
Urms/Irms	電圧/電流実効値
Umn/Imn	電圧/電流平均値整流実効値換算値
Uac/Iac	電圧/電流交流成分
Udc/Idc	電圧/電流単純平均値
Ufnd/Ifnd/Pfnd/Sfnd/Qfnd/Pfnd	電圧/電流/電力/皮相電力/無効電力/力率基本波成分
PUpk/PIpk	電圧/電流波形ピーク(+)
MUpk/MIpk	電圧/電流波形ピーク(-)
Uthd/Ithd	総合高調波電圧/電流ひずみ率
Urf/Irf	電圧/電流リップル率
P	有効電力
S	皮相電力
Q	無効電力
PF	力率
Udeg/Ideg/DEG	電圧/電流/電力位相角
FU/FI	電圧/電流周波数
PIH/MIH	積算正/負方向電流量

IH	積算正負方向電流量和
PWP/MWP	積算正/負方向有効電力量
WP	積算正負方向有効電力量和
ETIME	積算経過時間
Eff	効率
Loss	損失値
Tq	トルク
Spd	回転数
Pm	モーターパワー
Slip	すべり
MTCH	独立入力モード時の自由入力
UDF	ユーザー定義演算
Pst	短期フリッカ値
PstMax	短期フリッカ値最大値
Plt	長期フリッカ値
PinstMax	瞬時フリッカ値最大値
PinstMin	瞬時フリッカ値最小値
DC	相対定常電圧変化
DMax	最大相対電圧変化
TMax	しきい値超過時間
HF	高調波同期周波数
HUL/HIL	高調波電圧/電流実効値(レベル)
HPL	高調波有効電力(レベル)
HUD/HID	高調波電圧/電流含有率
HPD	高調波電力含有率
HUP/HIP	高調波電圧/電流位相角
HPP	高調波電圧電流位相差
IHUL/IHIL	中間高調波電圧/電流実効値
IHUD/IHID	中間高調波電圧/電流含有率

※青色のセルの項目は、モーター解析オプションが実装されている機器のみ取得できます。

※黄色セルの項目は、IEC 高調波モード設定時のみ取得できます。

※光リンクモード使用時のセカンダリー機の測定項目の識別名は、上記表の識別名の末尾に”SC”が付いたものになります。

例：UrmsSC1：セカンダリー機の CH1 の電圧実効値, PSC2：セカンダリー機の CH2 の有効電力

PQ3198

識別名	測定項目名
Freq	周波数
Urms/Irms	電圧/電流実効値
Upk+/Ipk+	電圧/電流波形ピーク(+)
Upk-/Ipk-	電圧/電流波形ピーク(-)
Uthd-F/Ithd-F	総合高調波電圧/電流ひずみ率(基本波)
Uthd-R/Ithd-R	総合高調波電圧/電流ひずみ率(実効値)
UharmH/IharmH	高次高調波電圧/電流成分
P	有効電力
S	皮相電力
Q	無効電力
PF	力率
KF	Kファクタ
Eff	効率
Uunb/Iunb	電圧/電流逆相不平衡率
Uunb0/Iunb0	電圧/電流零相不平衡率
WP+/ WP-	有効電力量(消費/回生)
WQ_LAG/ WQ_LEAD	無効電力量(遅れ/進み)
Msv	Mains signaling voltage (レベル)
Msv%	Mains signaling voltage (含有率)
Dv10/Dv10max	ΔV10 フリッカ(1分毎/1時間最大値)
Pst/Plt	IEC フリッカ(短期間/長期間電圧フリッカ)
Uharm/Iharm/Pharm	高調波電圧/電流レベル
Pharm	高調波電力レベル
Uharm%/Iharm%	高調波電圧/電流含有率
Pharm%	高調波電力含有率

Uphase/Iphase	高調波電圧/電流位相角
Pphase	高調波電圧電流位相差

アンインストールする

[すべてのプログラム]からアンインストールする

1. Windows の[スタート]メニューをクリックします。

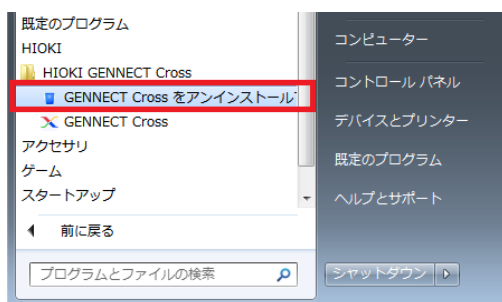


2. [すべてのプログラム]をクリックします。

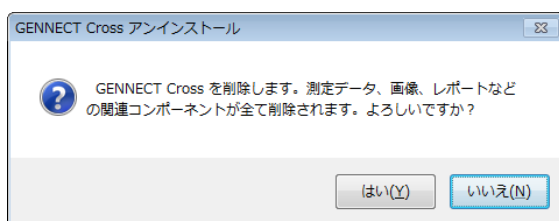


3. [HIOKI]-[HIOKI GENNECT One]の順にクリックします。

4. [GENNECT One をアンインストールする]をクリックします。



5. 確認メッセージが表示されます。[はい]をクリックして、アンインストールを実行します。



[コントロールパネル]からアンインストールする

1. Windows の[スタート]メニューをクリックします。



2. [コントロールパネル]をクリックします。



3. [プログラム]-[プログラムのアンインストール]をクリックします。



4. 一覧から[HIOKI GENNECT One]を選択して、ダブルクリックします。



5. 確認メッセージが表示されます。[はい]をクリックして、アンインストールを実行します。

